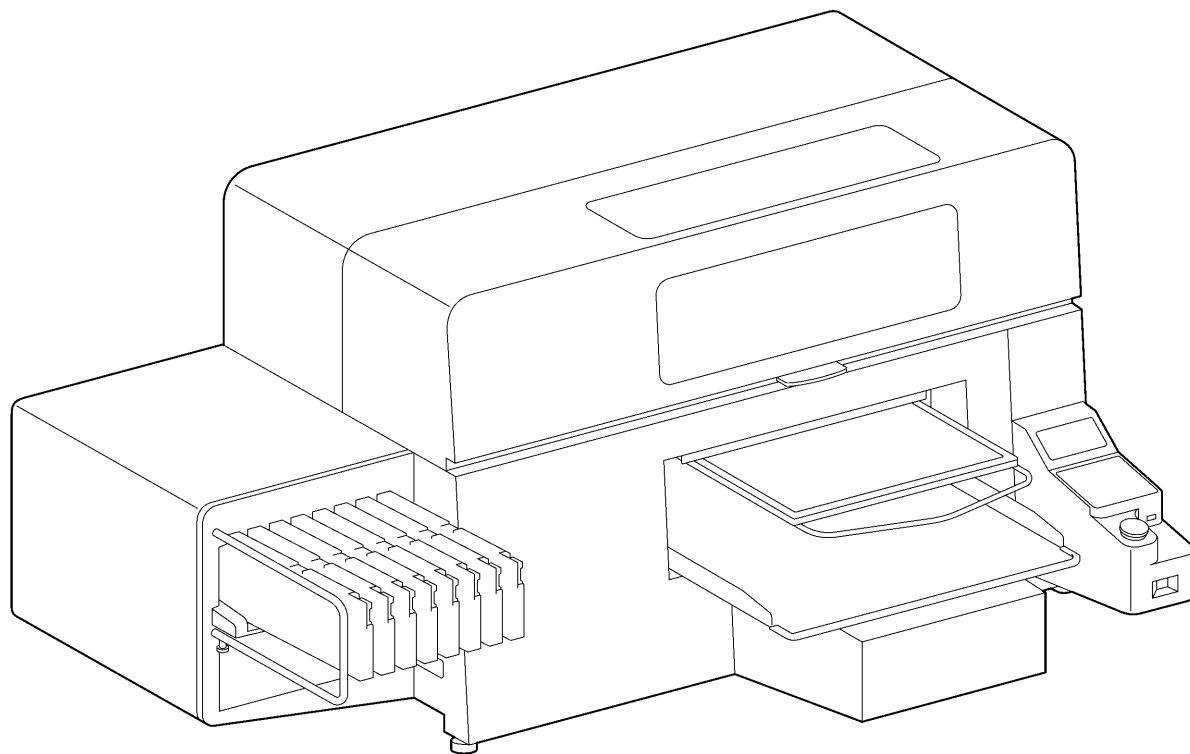


GT-3 Series

取扱説明書

この説明書を読んでから、製品をご使用ください。
この説明書は、必要なときにすぐに取り出せる場所に、保管してください。

ガーメントプリンター



より豊かな環境をめざして

ご協力のお願い

ブラザー製品をご愛用いただきまして、まことにありがとうございます。

ブラザー工業は、この地球がいつまでも緑豊かな地であるよう、「製品の開発から廃棄まで、環境に配慮した物づくり」を基本とした環境方針を定め、地域社会、環境と共生できる良き企業市民として、環境保全活動に微力ながら貢献していきたいと思っています。

そこで、みなさま方にもこの考え方にご賛同いただき、環境保全活動の一環として廃棄物の処理に特別のご配慮をいただきますようお願いいたします。

- 1.** 不用になった梱包材は、可能な限り再資源化するため、回収業者に処理を依頼してください。
- 2.** 使用済みのインクの処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。不明な場合は購入先にご相談のうえ処理してください。
- 3.** メンテナンスの際、発生した不用な電子基板や電子部品は、産業廃棄物として処理してください。

当社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。
性能部品とは、この商品の機能を維持するために必要な部品です。

このたびはブラザー製品をお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、[安全にお使いいただくために]および取扱いの説明をよくお読みください。




安全にお使いいただくために

[1] 安全についての表示とその意味







この取扱説明書および製品に使われている表示と図記号は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

その表示と意味は次のとおりです。



表 示




 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、軽症または中程度の傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

図記号

-   記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。
この記号の中の図は注意の内容を表しています。(左の例は、けがに注意)
-   記号は「してはいけないこと」を意味しています。
-   記号は「しなければいけないこと」を意味しています。
この記号の中の図は指示の内容を表しています。(左の例は、アース接続をすること)

[2] 安全上のご注意

 危険	
	右側面カバーを開ける時は必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、その後5分間待ってから右側面カバーを開けてください。コントロールボックスの高電圧部分にふれると、大けがをすることがあります。

 警告	
基本事項	
	事故・故障防止のため、機械を改造しないでください。改造によって生じた事故・故障に対しては、当社は責任を負いません。
	濡れた手で、電源プラグにふれないでください。感電の原因となります。

警告

据え付け



ほこりの多い場所に置かないでください。ほこりが本機の内部に堆積すると、火災・感電・故障の原因となります。



コードを固定するときは、コードを無理に曲げたり、ステーブル等で押えすぎないでください。火災・感電の原因となります。



アース接続をしてください。アース接続が不完全な場合、感電や誤動作の原因となります。

印刷



万一異物が本機の内部に入った場合、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買求めの販売店または訓練を受けた技術者にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



煙が出ている、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。速やかに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買求めの販売店または訓練を受けた技術者にご連絡ください。



本機を液体でぬらさないようご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。



万一、プリンター内に液体が入ったときは、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買求めの販売店または訓練を受けた技術者にご連絡ください。

注意

使用環境



電源ラインノイズや静電気ノイズなどの、強い電気ノイズの影響を受けない環境で使用してください。強い電気ノイズは本機の誤動作の原因となります。



雰囲気温度は 18°C から 30°C の環境で使用してください。低温や高温は本機の誤動作の原因となります。



電源電圧の変動は、定格電圧の±10%以内の環境で使用してください。大きな電圧の変動は本機の誤動作の原因となります。



相対湿度は 45% から 85% で、装置に結露しない環境で使用してください。乾燥や多湿、装置の結露は本機の誤動作の原因となります。



電源容量は装置の電力消費量より余裕のある環境で使用してください。電源容量の不足は本機の誤動作の原因となります。









換気のよい場所で使用してください。印刷物を熱定着するときに若干の臭気が発生します。









雷が発生しているときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。雷は本機の誤動作の原因となります。

⚠ 注意








据え付け

-  本機の設置や移動は、訓練を受けた技術者が行なってください。
-  本機は約 111 kg の質量があります。運搬・設置の際は、本機の正しい保持方法に従ってください。本機が落下して、けがの原因や、本機の故障の原因となります。
-  ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となります。また、本体を載せる台は耐荷重 150 kg 以上で、横幅 137cm 以上×奥行 104.5cm 以上のものを使用してください。
-  他の機械の振動が伝わるような場所に置かないでください。印刷品質の低下、または本機が落下して、けがの原因や、本機の故障の原因となります。
-  設置が完了するまで、電源プラグを接続しないでください。誤って電源スイッチを入れると、本機が作動してけがの原因となります。
-  本機の上に乗ったり、重い物を置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

印刷

-  本機は、安全に操作するための訓練を受けた人のみが使用してください。
-  本機の前には十分な空間を取り、物を置かないでください。プラテンがぶつかって破損したり、プラテンと物の間に手をはさみ、けがの原因となります。
-  動作中はプラテンから手を離してください。プラテンや T シャツトレイと各カバーとの間に手をはさみ、けがの原因となります。
-  プラテンを手で動かさないでください。本機に深刻な故障を与える原因になります。
-  通電中は各カバー内に手を入れないでください。可動部に手がふれてけがの原因となります。
-  本機が故障した場合、お買求めの販売店または訓練を受けた技術者にご連絡ください。

メンテナンス

-  前面カバーを開けるときは必ず電源スイッチを切り、その後 1 分間待ってからカバーを開けてください。ヘッド上部のヒートシンクにふれると、やけどをすることがあります。
-  前面カバーを閉めるときは指をはさまないように注意してください。指をはさむとけがをする恐れがあります。
-  プラテンを手で動かさないでください。本機に深刻な故障を与える原因になります。
-  インクカートリッジを分解しないでください。
-  インク・充填剤・ウォッシュ液・前処理剤・廃液などの液体類を飲まないでください。下痢・おう吐する可能性があります。またインク・充填剤・ウォッシュ液・前処理剤・廃液などの液体類が目や皮膚に付かないようにしてください。炎症を起こす可能性があります。目に入ったときはこすらずに、すぐに水で洗い流してください。子供の手の届かないところに置いてください。
-  グリースを扱うときは、保護めがねや保護手袋等を使用し、目や皮膚に付かないようにしてください。炎症を起こす原因となります。またグリースを食べないでください。下痢・おう吐することがあります。子供の手の届かないところに置いてください。
-  部品交換、オプション部品装着の際は、当社純正部品を使用してください。非純正部品を使用して生じた事故・故障に対しては、当社は責任を負いません。

[3] 警告ラベルについて

プリンターには、下記の警告ラベルが表示されています。
各警告ラベルの注意事項を守って作業を行なってください。
また、ラベルがはがれていたり、読み取れなくなった場合は、お買求めの販売店にご連絡ください。

1

	▲ 危険 高電圧部分にふれて、大けがをすることがある。電源を切り、5分たってからカバーをはずすこと。	▲ 危険 触接高電圧部分、会导致受伤。在切断电源5分钟后，再开启盖罩。
▲ DANGER	▲ GEFAHR	▲ DANGER ▲ PELIGRO
Hazardous voltage will cause injury. Turn off main switch and wait 5 minutes before opening this cover.	Hochspannung vorletzungsgefahr! Bitte schalten sie den hauptschalter aus und warten sie 5 minuten, bevor sie diese abdeckung öffnen.	Un voltage non adapte provoque des blessures. Etendre l'interrupteur et attendre 5 minutes avant d'ouvrir le capot.
		Un voltaje inadecuado puede provocar las heridas. Apagar el interruptor principal y esperar 5 minutos antes de abrir esta cubierta.

2

	▲ WARNING Hazardous moving parts. Keep fingers and other body parts away.
--	---

動く部品があり危険
指や身体を近づけないこと

3

	▲ 注意 プラテンやTシャツトレイと各カバーとの間に手をはさみ、けがをする。印刷中はプラテンから手を離すこと。
	▲ 注意 手夾在压板、T恤托盘和各遮盖之间会导致受伤。打印中请将手离开压板。
	▲ CAUTION Moving platen, T-shirt tray and covers can cause bodily injury. Keep hands off platen while printing.
	▲ ACHTUNG Druckplatte, T-Shirt-Ablage und Abdeckungen können körperliche Verletzungen verursachen. Halten Sie die Hände von der Auflage während des Druckvorganges fern.
	▲ ATTENTION Déplacement du plateau, chargeur T-shirt et couvercle peut blesser le corps. Garder les mains éloignées lors de l'impression.
	▲ ATENCION Moviendo la placa, la bandeja de camiseta y las cubiertas pueden causar una herida personal. Retire las manos de la placa durante la impresión.
	▲ ATTENZIONE Tavoletta mobile, il ripiano per la T-shirt ed il carter potrebbero causare infortuni. Tenere le mani lontane dalla tavoletta durante la stampa.

4

▲ 注意 下剤・おう吐する可能性がある。インクなどの液体を飲まないこと。炎症を起こす可能性がある。インクなどの液体が目や皮膚に付かないようにすること。子供の手の届かないところに置くこと。
▲ 注意 有可能导致腹泻、呕吐、请勿饮用油墨等液体。有可能引发炎症。注意油墨等液体不要飞溅到眼中或皮肤上。请放置在儿童无法触及的地方。
▲ CAUTION Do not drink the liquids under any circumstances, as they can cause vomiting and diarrhea. Take care not to let the liquids come into contact with your eyes or onto your skin, otherwise inflammation can result. Keep the liquids out of the reach of children.
▲ ACHTUNG Bitte trinken Sie nicht die Flüssigkeiten, da die Gefahr von Erbrechen und Durchfall besteht. Vermeiden Sie den Kontakt der Flüssigkeiten mit Augen und Haut, sonst können diese gereizt werden. Halten Sie die Flüssigkeiten von Kindern fern.
▲ ATTENTION Ne pas avaler les liquides d'aucune manière, car ceci pourrait entraîner vomissements et diarrhée. Veuillez à ne pas laisser ces liquides être en contact avec les yeux ou la peau, car ceci pourrait entraîner une inflammation. Maintenez les liquides hors de portée des enfants.
▲ ATENCION No tome los líquidos en cualquier caso, como pueden causar vomitar y diarrea. Tome el cuidado para no permitir que los líquidos toquen los ojos ni en la piel, de otro modo inflamación puede resultar. Mantenga los líquidos fuera del alcance de niños.
▲ ATTENZIONE Non bere per nessun motivo i liquidi poiché possono causare vomito e diarrea. Evitare il contatto di questi liquidi con gli occhi e con la pelle poiché potrebbero creare infiammazioni. Conservare i liquidi lontano dalla portata dei bambini.
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の法令に従って廃棄してください。 ■ 正統な処理方法を守り。 ■ Deposit in compliance with your local regulations. ■ Gebrauchte es gemäß örtlichen Richtlinien entsorgen. ■ Jetez conformément à la réglementation locale en vigueur. ■ Deseche siguiendo la normativa local. ■ Smaltire in conformità alle normative locali.

5

▲ 注意 下剤・おう吐する可能性がある。インクなどの液体を飲まないこと。炎症を起こす可能性がある。インクなどの液体が目や皮膚に付かないようにすること。子供の手の届かないところに置くこと。
▲ 注意 有可能导致腹泻、呕吐、请勿饮用油墨等液体。有可能引发炎症。注意油墨等液体不要飞溅到眼中或皮肤上。请放置在儿童无法触及的地方。
▲ CAUTION Do not drink the liquids under any circumstances, as they can cause vomiting and diarrhea. Take care not to let the liquids come into contact with your eyes or onto your skin, otherwise inflammation can result. Keep the liquids out of the reach of children.
▲ ACHTUNG Bitte trinken Sie nicht die Flüssigkeiten, da die Gefahr von Erbrechen und Durchfall besteht. Vermeiden Sie den Kontakt der Flüssigkeiten mit Augen und Haut, sonst können diese gereizt werden. Halten Sie die Flüssigkeiten von Kindern fern.
▲ ATTENTION Ne pas avaler les liquides d'aucune manière, car ceci pourrait entraîner vomissements et diarrhée. Veuillez à ne pas laisser ces liquides être en contact avec les yeux ou la peau, car ceci pourrait entraîner une inflammation. Maintenez les liquides hors de portée des enfants.
▲ ATENCION No tome los líquidos en cualquier caso, como pueden causar vomitar y diarrea. Tome el cuidado para no permitir que los líquidos toquen los ojos ni en la piel, de otro modo inflamación puede resultar. Mantenga los líquidos fuera del alcance de niños.
▲ ATTENZIONE Non bere per nessun motivo i liquidi poiché possono causare vomito e diarrea. Evitare il contatto di questi liquidi con gli occhi e con la pelle poiché potrebbero creare infiammazioni. Conservare i liquidi lontano dalla portata dei bambini.

6

brother ワッシュ液 / 清洗液 / Wash Liquid Reinigungsflüssig / Liquide nettoyage Líquido de lavar / Liquido detergente
▲ 注意 下剤・おう吐する可能性がある。飲まないこと。液体を飲んだり呼吸器に入らないこと。吸入した場合は、鼻をすすり、息を吐き出すこと。
▲ 注意 有可能导致腹泻、呕吐、请勿饮用。有可能导致呼吸器吸入。不要吸入眼睛。吸入时请擦鼻涕，并吐出鼻涕。
▲ CAUTION Do not drink the liquid, it can cause vomiting and diarrhea. Do not let the liquid come into contact with your eyes or onto your skin, inflammation can result. In case of contact with eyes, do not rub.
▲ ACHTUNG Bitte trinken Sie nicht die Flüssigkeiten. Es die Gefahr von Erbrechen und Durchfall besteht. Vermeiden Sie den Kontakt der Flüssigkeiten mit Augen und Haut, sonst können diese gereizt werden. Geraten diese Flüssigkeiten in die Augen, nicht reiben, sondern sofort mit klarem Wasser ausspülen.
▲ ATTENTION Ne pas avaler le liquide, il peut causer vomissements et diarrhée. Ne permettez pas le liquide entrer en contact avec les yeux ou la peau. Une inflammation peut résulter. En cas de contact avec les yeux, ne frottez pas mais rincez immédiatement avec de l'eau claire.
▲ ATENCION No tome el líquido, puede causar vomitos y diarrea. No permita que el líquido toque los ojos ni en la piel, inflamación puede resultar. En caso de contacto con los ojos, no frotte pero sí lave inmediatamente los ojos con agua.
▲ ATTENZIONE Non bere per nessun motivo i liquidi poiché possono causare vomito e diarrea. Evitare il contatto di questi liquidi con gli occhi e con la pelle poiché potrebbero creare infiammazioni. In caso di contatto con gli occhi non strofinare ma risciacquare immediatamente con acqua.
LDPE

7

	▲ ACHTUNG Niemaals auf den Drucker steigen.
▲ 注意 本体の上に乗らないこと。	▲ ATTENTION Ne montez pas sur l'imprimante.
▲ 注意 請勿放在主体上面。	▲ ATENCION No se suba encima de la impresora.
▲ CAUTION Do not climb onto the printer.	▲ ATTENZIONE Non salire sulla stampante.

8

brother グリース GREASE	▲ 注意 目に入ったり皮膚につくと、炎症を起こすことがあります。皮膚がむしや、手荒れを伴うこと。食べると、下痢、嘔吐をする。食べないこと。	▲ 注意 如果进入眼睛或接触到皮肤上，有可能导致炎症。皮肤可能会干燥、手裂。如果食用会引起腹泻、呕吐。请勿食用。	▲ CAUTION Lubricating grease may cause inflammation to eye and skin. Wear protective glasses and gloves. Swallowing grease can cause diarrhoea and vomiting. Do not swallow.
----------------------------------	---	--	--

9

brother
▲ 注意 目に入れないこと。
▲ 注意 不要进入眼睛。
▲ CAUTION Do not let liquid in your eyes.
▲ ACHTUNG Vermeiden Sie den Kontakt der Flüssigkeiten mit Ihren Augen.
▲ ATTENTION Ne pas mettre en contact avec les yeux.
▲ ATENCION No permita liquido en los ojos.
▲ ATTENZIONE Non lasciare il liquido a contatto con gli occhi.

10

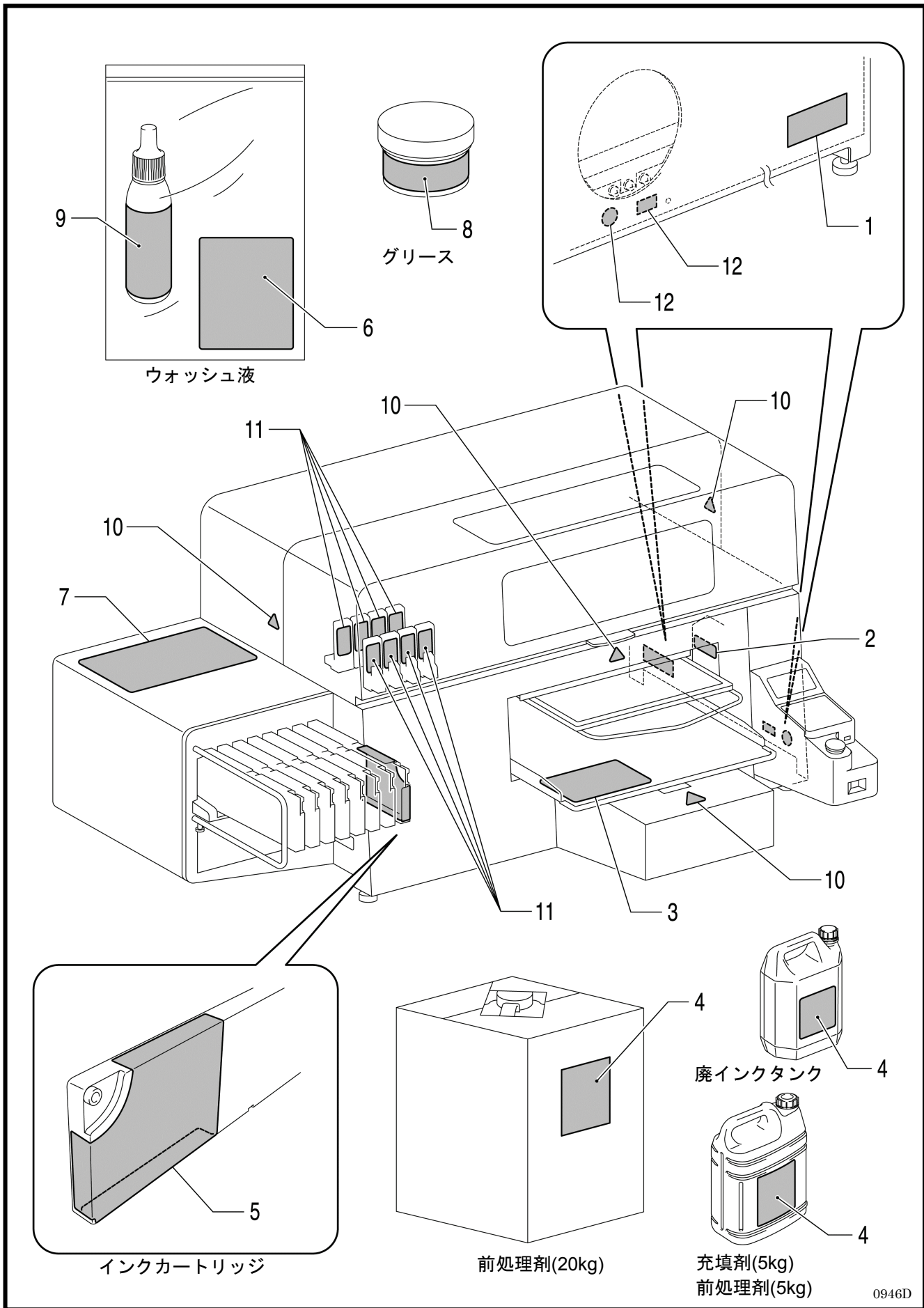
	けがの恐れあり
--	---------

11

	高温注意
--	------

12

	アース接続をしてください。 アース接続が不完全な場合、 感電や誤動作の原因となります。
--	---



目 次

1. ご使用の前に	1
1-1. かならずお読みください	1
1-2. プリンターの開梱	5
1-3. 使用条件	5
1-3-1. 動作環境	5
1-3-2. 電気環境	6
1-3-3. ソフトウェア環境	6
1-3-4. その他の必要条件	6
1-3-5. 必要な消耗品とオプション部品	7
2. 主な部品の名称	8
2-1. 前面	8
2-2. 右側面	9
2-3. 背面	10
2-4. 前面カバー内部	11
2-5. メンテナンスユニット上部	12
2-6. プラテン下部	13
2-7. 操作パネル	14
2-7-1. ディスプレー	15
2-7-2. メニュー一覧	16
3. 設置と準備	18
3-1. プリンターの設置	19
3-2. プリンターの電源 ON / OFF	20
3-2-1. プリンターの電源ON	20
3-2-2. プリンターの電源OFF	21
3-3. PC 側の準備	22
3-3-1. GT-541 / GT-782をお持ちの場合	22
3-3-2. PC 側の準備: Windows XP (32 bit)	22
3-3-3. USB 2.0 ケーブルの接続: Windows XP用	23
3-3-4. ネットワーク印刷の設定: Windows XP用	25
3-3-4-1. PCのIPアドレス設定	25
3-3-4-2. GT-3のIPアドレス設定	28
3-3-4-3. LAN接続のGT-3プリンター設定	30
3-3-5. Windows Vista / Windows 7 / Windows 8へのインストール (32 bit / 64 bit)	37
3-3-6. USB 2.0ケーブルの接続: Windows Vista / Windows 7 / Windows 8用	38
3-3-7. ネットワーク印刷の設定: Windows Vista / Windows 7 / Windows 8	39
3-3-7-1. PCのIPアドレス設定	39
3-3-7-2. GT-3のIPアドレス設定	42
3-3-7-3. LAN接続のGT-3プリンター設定	44
3-3-8. マニュアルの開き方	50
3-3-9. Useful Toolsの開き方	51
3-3-10. ファームウェア更新ツールの使い方	52
3-4. プリンターの設定	53
3-4-1. 画面の明るさ調節	53
3-4-2. スピーカー音量の調整	53
3-4-3. 温度表示の設定	53
3-4-4. 言語設定	53

4. アプリケーションから直接印刷する	54
4-1. 基本的な印刷手順	55
4-2. アプリケーションの印刷条件の設定	55
4-2-1. すべてのアプリケーションへの共通項目	55
4-2-2. CorelDRAW	57
4-2-3. Adobe Photoshop	63
4-2-4. Adobe Illustrator	69
4-2-5. Adobe Photoshop Elements	74
4-2-6. Paint Shop Photo Pro	75
4-2-7. 他のアプリケーションからの印刷	75
4-3. プリンタードライバーの設定	76
4-3-1. 機種モードの選択	77
4-3-2. ジョブコメントの入力	78
4-3-3. プラテンサイズを選択	78
4-3-4. インクを選択	78
4-3-5. 解像度	78
4-3-6. 白インク設定	79
4-3-7. ブラックインクを使用する	80
4-3-8. CMYグレー	80
4-3-9. カラーの複合パス印刷	81
4-3-10. カラーインク量の調整	81
4-3-11. 白インクの設定	82
4-3-12. 画質改善	82
4-3-13. 透明レイヤーを含む画像データの印刷	83
4-3-14. 片方向印刷の指定	88
4-3-15. カラーチャートの印刷	89
4-4. プラテンの着脱	90
4-4-1. プラテンの取り外し	90
4-4-2. プラテンの取り付け	91
4-4-3. プラテン低下セットの取付け	92
4-5. Tシャツをプラテンに装着	94
4-6. 印刷	97
4-6-1. 前処理剤の塗布	97
4-6-2. 1枚印刷する	100
4-6-3. 同じ印刷データを複数枚印刷する	100
4-7. 印刷物のプラテンからの取り外し	101
4-8. 印刷物のインクを定着	101
5. AR3 ファイルの印刷	102
5-1. 印刷データをAR3 フォーマットにする	102
5-2. USB メモリーに保存されたAR3 ファイルの読み出し	104
5-3. GT-3 File Viewer でプリンターにAR3 ファイルを送信	105

6.	メンテナンス	108
6-1.	定期メンテナンス	109
6-1-1.	白インクの入替えおよび吐出の確認 (印刷開始前、1日1回)	109
6-1-2.	白インク攪拌 (ファームウェア ver. 3.00以上)	110
6-1-3.	白チューブクリーニング : (週1回)	110
6-1-4.	廃インクの処理	114
6-1-5.	長期保管時に必要なメンテナンス	115
6-2.	清掃と消耗品の交換	118
6-2-1.	ワイパークリーナーの交換とキャップ&ワイパーの掃除	118
6-2-2.	プリンター内部の掃除	122
6-2-3.	フラッシング受けスポンジとフラッシング受けフェルトの交換	123
6-2-4.	ファンフィルターの交換	124
6-2-5.	ローラーフェルトの交換	126
6-2-6.	インクカートリッジの交換	127
6-2-7.	エンコーダーストリップの掃除	129
6-2-8.	プラテンシートの交換	131
7.	トラブルシューティング	133
7-1.	こんなときは	134
7-2.	印刷品質問題を解決する	136
7-2-1.	印刷品質問題を解決するための手順	138
7-2-2.	ヘッドクリーニング	140
7-2-3.	ノズルチェックパターンで印刷品質を確認	140
7-2-4.	印刷方向の変更	143
7-2-5.	オートクリーニング設定の変更	143
7-2-6.	ヘッドノズルの掃除	144
7-2-7.	プリントヘッドの交換	146
7-2-8.	プリントヘッド交換後の調整	155
7-2-9.	CRスピードの調節	156
7-2-10.	フラッシング頻度の設定	156
7-2-11.	フラッシング吐出量の調節	157
7-2-12.	白インク入れ替え設定	158
7-2-13.	ログファイルの取得	159
7-3.	アプリケーショントラブルの解決	160
7-4.	エラーメッセージ	161
8.	仕様	169
8-1.	装置	169
8-2.	ソフトウェア	169

1. ご使用の前に

1-1. かならずお読みください

プリンターをお使いになる前に、下記の点にご留意ください。

- 本文中に GT-3 と記載のある場合は、GT-381、GT-361 および GT-341 に共通の内容を示しています。個別の機種にのみ関係する内容については、それぞれの機種名を記載しています。
- 印刷物をご購入のお客様へ、下記のご注意をお伝えください。
 - ・ 印刷物を白色や淡色の塩化ビニール系の合成皮革上でこすると、色移りを起こすことがあります。また、カラーインクのための印刷面と白インクのための印刷面を強くこすり合わせると、同様に色移りを起こすことがあります。家庭用洗剤やアルコールをやわらかい布か歯ブラシにつけて汚れを落としてください。
 - ・ 前処理剤の跡残りは、洗濯（水洗い）して落としてください。
- プリンターは下記の動作環境（温度・湿度）で動作するように設計されており、低湿度下ではヘッドがインクで目詰まりを起こしやすく、高温ではインクがしぶきやすくなります。なるべく印刷保証範囲内でお使いください。

	温度	湿度
保管時：	0°C～40°C	20～85% (結露なきこと)
動作保証範囲：	10°C～35°C	45～85% (結露なきこと)
印刷保証範囲：	18°C～30°C	

- プリンターの動作中にインクカートリッジを抜かないでください。印刷品質が悪くなったり、プリンターの故障の原因になります。
- プリンターの動作中に電源を切ったり、前面カバーを開けないでください。プリンターの故障や、印刷が失敗する原因になります。
- インクを定着するまでは、印刷した T シャツの扱いにご注意ください。未定着のインクで汚れてしまうと洗濯してもきれいに落ちません。
- 印刷品質を保つために、定期的にヘッドキャップとワイパーブレードを掃除し、ワイパークリーナー、ファンフィルター、ローラーフェルト（4 個）、フラッシング受けスポンジ（上）およびフラッシング受けフェルト（下）を交換してください。ディスプレイに警告が表示された場合、新しいものに交換してください。メンテナンスが不十分な場合、印刷物が汚れたり不吐出による画質の悪化が発生します。
- ヘッドキャップやワイパーブレードをアルコールで拭かないでください。プリントヘッド故障の原因になります。ヘッド回りを掃除する際には、必ずウォッシュ液をお使いください。
- インクカートリッジは正しい位置に挿入してください。プリンターのシールの色とインクカートリッジの色を確認してください。
- インクが空になると、エラー [インク切れ**** (色)] が表示されてプリンターが停止します。新しいインクカートリッジに交換してください。操作パネルのインジケーターが点滅したら、新しいインクカートリッジをご用意ください。印刷品質を保持するため、インクカートリッジ内にインクが若干残ります。
- 新しい消耗品は、直射日光を避けて保管してください。インクカートリッジや前処理剤、充填剤に表示してある消費期限以前に、また、カラーインクは開封後 6 ヶ月以内に使い切ってください。

1. ご使用の前に

- インクの補充はできません。インクカートリッジを分解しないでください。必ず弊社指定のインクカートリッジをお使いください。指定以外のインクを使用すると、プリントヘッドなどを損傷する原因になります。
- インクカートリッジは常に挿入されているようにしてください。中の針がインクの乾燥により詰まったり、プリンターが故障する原因になります。
- 白用のチューブとプリントヘッドは1週間に1度チューブクリーニングのメニューで充填剤を用いて洗浄する必要があります。前回のチューブクリーニングから1週間が経過すると、操作パネルのディスプレイに「チューブ洗浄してください W*」が表示されます。
- プリンターが動作せずに一定期間以上放置されると、プリントヘッドやメンテナンスユニットがインクの乾燥により目詰まりを起こします。これを避けるために、1週間に1度程度ヘッドクリーニングボタンを押してヘッドクリーニングすることをお勧めします。プリンターが2週間以上使われない場合、「6-1-5. 長期保管時に必要なメンテナンス」に従って、適切な処置を行ってください。
- 白インクカートリッジは、1日1回、使用直前によく振ってください（1個につき、30秒～1分程度、未開封のものは、1～2分程度）。カートリッジは、挿入された状態で下に顔料が沈降していますので、上下反対にして長手方向に大きく振ってください。
- 前処理剤を塗布したTシャツにカラーインクのみで印刷すると、洗濯に弱くなる傾向があります。白インクを使わない場合は、前処理剤の塗布をお避けください。
- 障害物センサーと印刷面のギャップは2mm程度でお使いください。ギャップが広い状態で使用すると、インクミストがプリンター内部に飛散し、印刷面を汚したり、センサー等の故障原因となります。2mm以上で使うことが多い場合は、定期的にプリンター内部を確認し、掃除を行ってください。詳細は「6-2-2. プリンター内部の掃除」、「6-2-7. エンコーダストリップの掃除」を参照してください。
- 前処理剤をスプレーや前処理剤塗布装置で塗布すると、ミスト状となって飛散することがあります。作業時の換気には、十分ご注意ください。また、必要に応じてマスクやゴーグルを着用してください。
- Tシャツによっては、前処理剤の跡残りが発生することがあります。水で洗い流してください。また、Tシャツの染料によっては、前処理剤で脱色してしまうことがあります。初めて印刷する場合は、目立たないところで試してください。
- 残余廃棄物ならびに廃インクは、水系廃液として法令に従い適正に処理してください。不明な場合は、購入先にご相談のうえ処理してください。
- 白または淡色のTシャツに前処理剤を塗布すると、塗布面が黄ばむことがあります。塗布後は直射日光を避けて保管し、印刷後は早めに水洗いしてください。
- お客様自身がレイアウト変更等でGT本体を移動させた場合、必ず(水準器等で)GT本体が水平になるよう調整してください。

<ご注意>

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

<商標について>

本文中では、OS 名称を略記しています。また、本文中では、®マークまたは TM マークを略記しています。

Brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。

Windows XP の正式名称は、Microsoft Windows XP Operating System です。（本文中では Windows XP と表記しています。） Windows Vista の正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating System です。（本文中では Windows Vista と表記しています。） Windows 7 の正式名称は、Microsoft Windows 7 Operating System です。

（本文中では Windows 7 と表記しています。）また、Windows 8 の正式名称は、Microsoft Windows 8 Operating System です。（本文中では Windows 8 と表記しています。）

Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Corel、Corel のロゴ、CorelDRAW および Paint Shop Pro は Corel Corporation の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe のロゴ、Acrobat、Photoshop、Illustrator、および Photoshop Elements は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステム社）の商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

1. ご使用の前に

はじめに

■ソフトウェアについて

本機は、ソフトウェアを使用しています。

本機をご使用になるには、ソフトウェアの使用許諾契約書に、ご同意いただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様がこのソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）の定める各条項に従うことを同意いただいた場合、本ソフトウェアをダウンロードし、ご使用が可能です。もし同意いただけないときは、お客様は本ソフトウェアをご使用できません。

1. 所有権

本ソフトウェアおよびその複製物に関する所有権はブラザー工業株式会社（以下「当社」といいます）またはその供給者であるウインドリバー株式会社に帰属します。なお当社は、この契約により、お客様に対し本ソフトウェアに関する著作権を譲渡するものではありません。

2. 実施権の許諾

2-1. 当社はお客様に対し本ソフトウェアをご使用いただく非独占的使用権を許諾します。

2-2. お客様は、次のことを行ってはならないものとします。

- (1) 本ソフトウェアの全部または一部の改変
- (2) バックアップ以外の目的での複製
- (3) リバース・エンジニアリング、逆アセンブル及び逆コンパイル
- (4) 本ソフトウェアを賃貸またはリースすること
- (5) 公の場で本ソフトウェアをダウンロード可能な状態におくこと

3. 無保証

当社は本ソフトウェアに関し、明示または黙示であるを問わず、瑕疵がないこと、特定の目的に適合しないこと、本ソフトウェアの使用が第三者の権利を侵害しないこと、その他いかなる保証もいたしません。

4. 責任の制限

当社は、本ソフトウェアに起因または関連して発生した直接的または間接的損害について、いかなる責任も負わないものとします。

5. 第三者受益

本契約において、ウインドリバー株式会社とその供給者（以下総称して「供給者」といいます）は本ソフトウェアに関する第三者受益者となり、本契約各条項につき強制可能な権利を持つものとします。

6. 許諾の終了

お客様が本契約に定める条件に違反した場合は、当社は予告なしにこの契約を終了させることができるものとします。

7. 準拠法

この契約は日本国法に準拠し解釈されるものとします。

8. 個別条件

本契約以外に、お客様による本ソフトウェアの使用に関して、当社または本ソフトウェアの供給者が個別の条件（以下「個別条件」といいます）をお客様に提示し、お客様が当該個別条件に同意した場合、本使用許諾契約書に規定のない条件、並びに本使用許諾契約書の規定と抵触する条件については、当該個別条件が優先して適用されるものとします。

上記各条項に従うことに、同意する。

1-2. プリンターの開梱

<ご注意>

本プリンターは、ブラザーの指定業者のみが開梱作業を行ってください。

開梱が済みましたら、下記の部品が同梱されていることを確認してください。足りないものがありましたら、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

- GT-3 プリンター
- AC 電源コード
- ウォッシュ液 L : 1 個、クリーンスティック : 6 個、クリーンアプリーケーター : 6 個
- プリントヘッド GT-381 : 8 個、GT-361 : 6 個、GT-341 : 4 個
- 廃インクタンク 1 個
- エンコーダークリーナー 1 個
- メンテナンスカートリッジ GT-381、GT-361 : 1 個
- チューブ洗浄用ボトル GT-381、GT-361 : 1 個
- フラッシング受け (フラッシング受けフェルト、フラッシング受けスポンジを含む)
- 取扱説明書・基本編 1 部
- グリース
- USB2.0 ハブ

<ご注意>

インクカートリッジの挿入口に、フィルターカートリッジ (GT-381 : 8 個、GT-361 : 6 個、GT-341 : 4 個) が挿入してあります。これらはメンテナンス時や輸送時に使用しますので、保管しておいてください。

1-3. 使用条件

下記の条件下でプリンターを使用してください。

1-3-1. 動作環境

	温度	湿度
保管時 :	0℃～40℃	20～85% (結露なきこと)
動作保証範囲 :	10℃～35℃	45～85% (結露なきこと)
印刷保証範囲 :	18℃～30℃	

室内が乾燥している場合は、プリントヘッドがインク詰まりを起こさないよう加湿器を使うことをお勧めします。

1. ご使用の前に

1-3-2. 電気環境

電源：

単相 100～240V,50/60Hz

消費電流：

0.4A (実効値)

1-3-3. ソフトウェア環境

対応 OS：

最新の Windows XP(32bit)、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 (32bit/64bit)

インターフェース：

USB 2.0

LAN (10 BASE-T/100BASE-TX)

PC の最低動作環境：

256MB RAM (推奨 512MB 以上)

128MB 以上の空き容量 (推奨 256MB 以上)

1GHz CPU (推奨 2GHz 以上)

高度な画像編集のための推奨アプリケーション：

Adobe Photoshop, Adobe Photoshop Elements (主にビットマップデータ編集用)

Adobe Illustrator, CorelDRAW (主にベクトルデータ編集用)

Corel Paint Shop Pro

1-3-4. その他の必要条件

下記の条件に合う装備をご用意ください。

USB ケーブル

USB 2.0 ケーブル (AB タイプ)

<ご注意>

上記以外のケーブルをご使用になると、動作不良の恐れがあります。

LAN ケーブル

LAN ケーブル (10 BASE-T/100BASE-TX)

USB メモリー

32GB 以下で、FAT32 でフォーマットされたものをご使用ください。

ホットプレス

プラテン PLTN 14×16 (355.6mm×406.4mm) の印刷範囲がカバーでき、かつ 180℃を 35 秒間保持できる性能が必要です。前処理剤の定着時には、表面を平らにするために必ずオープンではなくホットプレスをご使用ください。

<参考>

白インクの定着には、オープンの使用をお勧めします。(目安として 2.4m 長のオープンで 160℃3 分半程度)

剥離用シート

ホットプレスで前処理剤やインクを定着する際に、定着面を平らにし、かつ剥離性を上げるため必ずお使いください。

(次ページに続く)

気泡マット（連続気泡）

ホットプレスを使用して前処理剤を定着する際に、蒸気が抜けにくい場合に使用します。

Tシャツ（印刷媒体）

綿 100 %。

淡色のポリエステル混紡（綿 50 %以上）

濃色のポリエステル混紡（綿 70 %以上）

<ご注意>

- ・綿 100 %生地（推奨品）の印刷品質が必ずしも保てない布帛もあります。
特に新しい素材の場合は、事前に印刷テストを行ってください。
- ・布帛によっては前処理剤の定着後跡残りが目立つことがありますので、その場合は軽く水洗いしてください。
- ・前処理剤で、以下の現象が発生する場合があります。事前に印刷テストをおこなってください。
 - * Tシャツのメーカーや型式によっては、脱色しやすいものがあります。またメーカー、型式が同じでもロットの違いで脱色する場合があります。
 - * 濃色のポリエステル混紡では、染料が溶出し白インクに色みがつく場合があります。（特に綿 70%未満）

1-3-5. 必要な消耗品とオプション部品

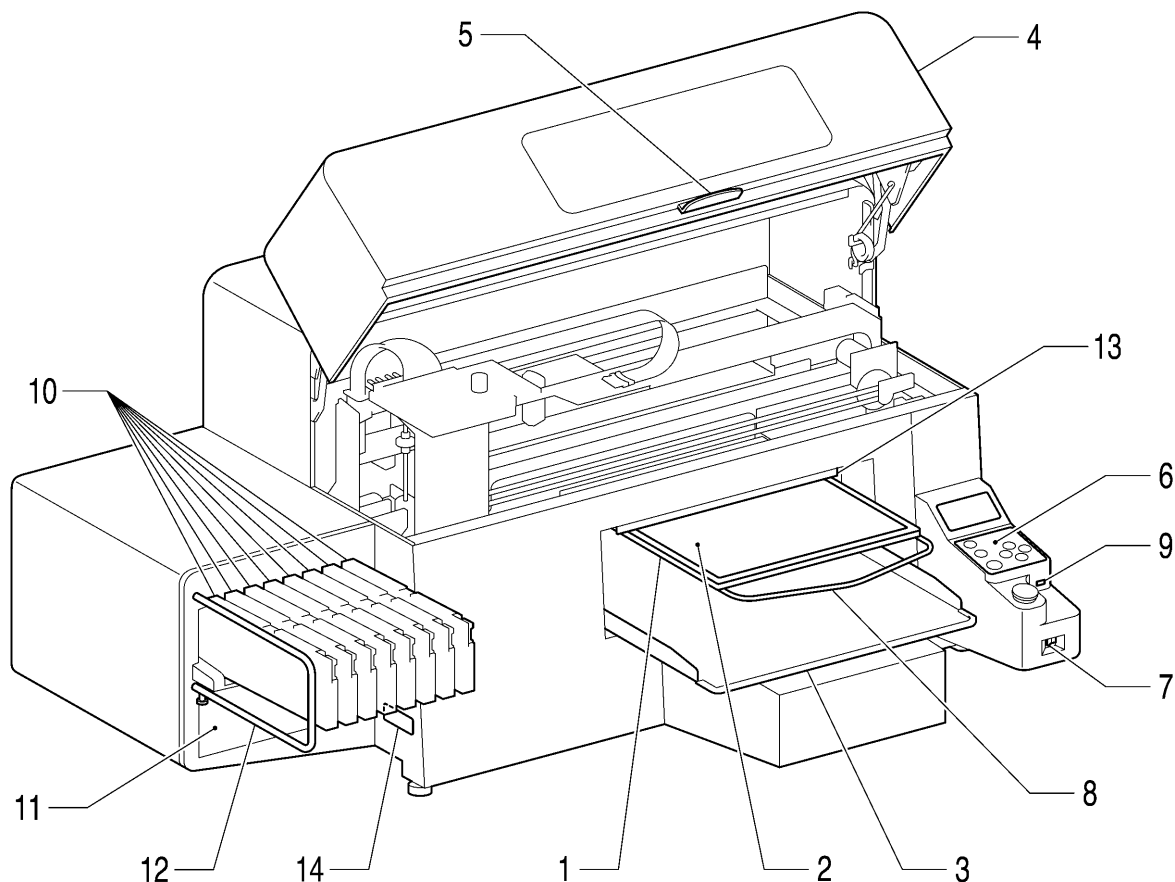
次回の注文時には、下記の部品コードをご利用ください。

消耗品	コード No.
ブラックインクカートリッジ 180 cc	GC-30K18
380 cc	GC-30K38
マゼンタインクカートリッジ 180 cc	GC-30M18
380 cc	GC-30M38
シアンインクカートリッジ 180 cc	GC-30C18
380 cc	GC-30C38
イエローインクカートリッジ 180 cc	GC-30Y18
380 cc	GC-30Y38
白インクカートリッジ 380 cc (2 個組)	GC-30W38
充填剤 5 kg	GC-50S5K
前処理剤 5 kg	GC-30P5KA
20 kg	GC-30P20A
フルメンテナンスキット	SB5677
フィルタフェルトキット	SB5678
ウォッシュ液 L	SB5679

オプション	コード No.
ミドルプラテン PLTN 14×16	SB3105
プラテンシート	SB3035
ユースプラテン PLTN 10×12	SA6399
プラテンシート S	SA6401
ベビープラテン PLTN 7×8	SA8213
プラテンシート SS	SA8211
前処理ローラー	SB1290
ボトルクミ（廃インクタンク）	SB2582
メンテナンスカートリッジ W	SB3264
メンテナンスカートリッジ C	SB3265
フィルターカートリッジ W	SB2512
フィルターカートリッジ	SB2508
キャッピングカートリッジ W	SB3047
交換部品	コード No.
プリントヘッド	SB4231
ワイパークリーナー	SB3101
W ブレードクミ	SB3635
グリース	SB3229

2. 主な部品の名称

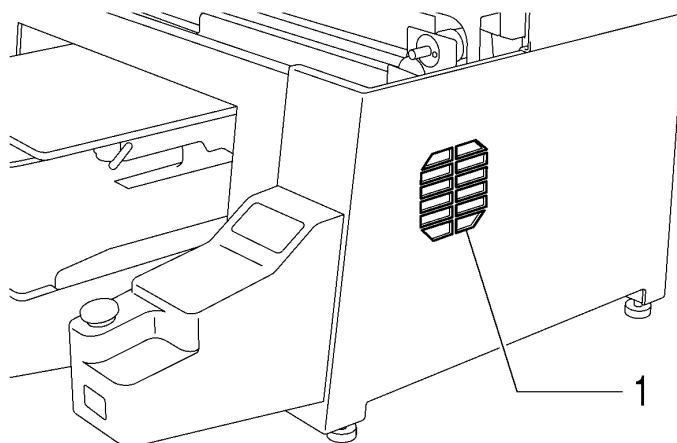
2-1. 前面



0043Y

No.	名称	機能
1	プラテン	印刷する T シャツを保持します。
2	プラテンシート	画像が鮮明に印刷されるように、T シャツの表面を平らに保持します。
3	T シャツトレイ	袖など下に垂れる部分を T シャツトレイに乗せて搬送します。
4	前面カバー	内部の掃除をする際に開きます。電源を OFF してから操作してください (電源 ON 時に開くと電源が強制的に遮断されます)。
5	ストップレバー	前面カバーを閉じる際に、ロックを解除するために押します。
6	操作パネル	プリンターを操作します。詳細は“2-7. 操作パネル”を参照してください。
7	電源スイッチ	電源の ON / OFF を行います。
8	ショルダーバー	T シャツの位置を合わせます。
9	USB メモリー挿入口	USB メモリーを挿入します。
10	インクカートリッジ挿入口	本体左側から W1、W2、W3、W4、ブラック、マゼンタ、シアン、イエローです。正しい色のインクカートリッジを挿入します。
11	インクカートリッジ保管棚	新しい予備のインクカートリッジを保管します。
12	ガードバー	インクカートリッジ側面を保護します。
13	障害物センサー	プラテンをロードする際に、印刷時の障害物がないか確認し、何かに当たるとロードを中止します。プラテンの高さを変更した場合は、印刷前に操作パネル上のプラテンボタンを押してプラテンの高さが適切であることを確認してください。ギャップが広すぎる (プラテンが低すぎる) 場合、センサーは感知しません。プラテン高さを変更した後は、目視で高さを確認してください。詳細は“4-5. T シャツをプラテンに装着”を参照してください。
14	形式板	製品のシリアルナンバーが記載されています。

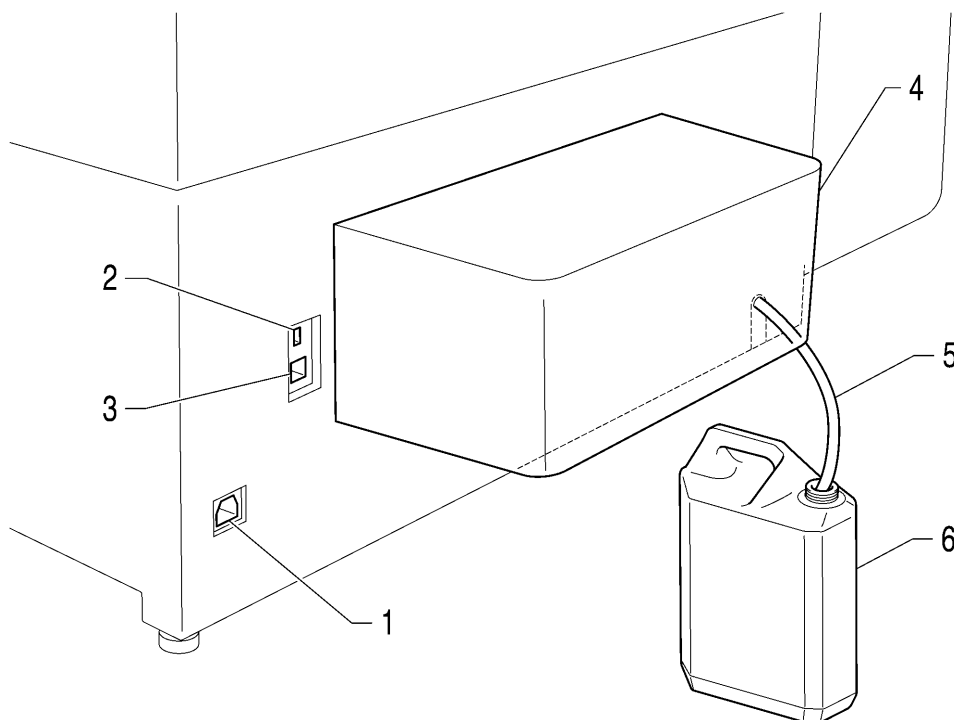
2-2. 右側面



0044Y

No.	名称	機能
1	排気口	ファン排気の吹き出し口です。 20cm 以上スペースを開けてご使用ください。

2-3. 背面

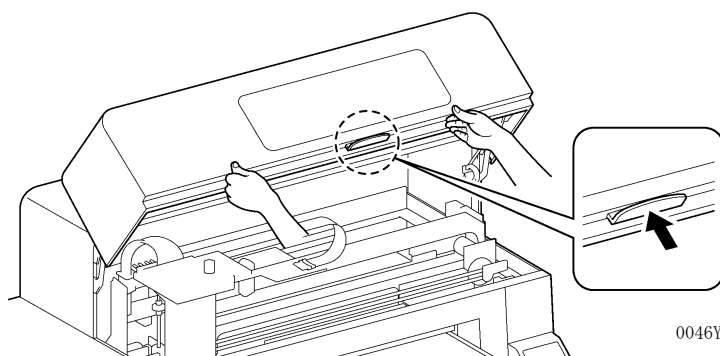


0045Y

No.	名称	機能
1	電源コード挿入口	電源コードを挿入します。
2	USB ポート	PC と接続する USB ケーブルを挿入します。
3	LAN ポート	PC と接続する LAN ケーブルを挿入します。
4	背面カバー	プラテンの動作範囲を保護します。
5	廃液チューブ	<p>廃インクを流すチューブです。 廃インクタンク(1)に廃液チューブ(2)とチューブ留め(3)を差込んでください。</p> <p><input type="checkbox"/> 廃インクタンク内の廃液チューブを短くしてください。(4～5 cm程度) <input type="checkbox"/> 廃液チューブが折れ曲がらないように注意してください。 廃液が流れにくくなる恐れがあります。</p>
6	廃インクタンク	<p>廃インクを受けるタンクです。常に廃液量をご確認ください。</p> <p><input type="checkbox"/> チューブクリーニングを実施する前に廃液を捨ててください。 (又は廃液量がタンクの二分の一以下を確認) 廃液チューブが廃液に浸かると、チューブクリーニング時に機械側から廃液が漏れる恐れがあります。</p>

0856D

2-4. 前面カバー内部



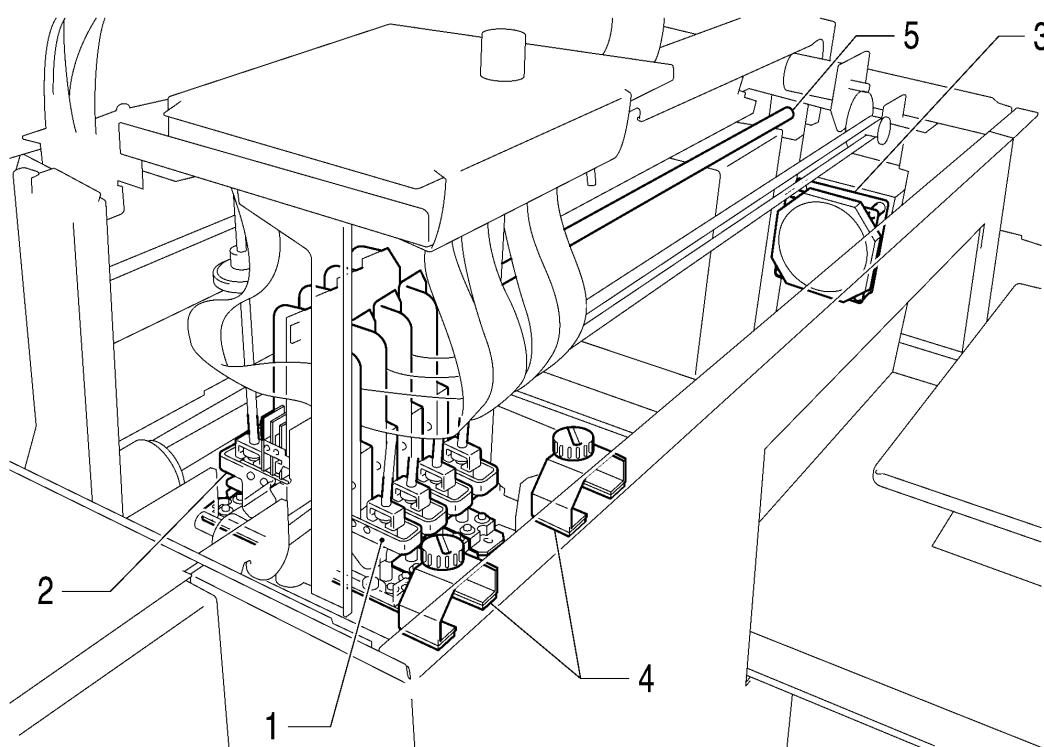
0046Y

前面カバーを開ける前に、すべての動作を中止し、プラテンを収納してから電源を OFF してください。

前面カバーを開く時は、上に持ち上げて、ストッパーでロックされるまで開いてください。前面カバーを閉じる時は、ストップレバーを上押しして、ロックを解除してください。

<ご注意>

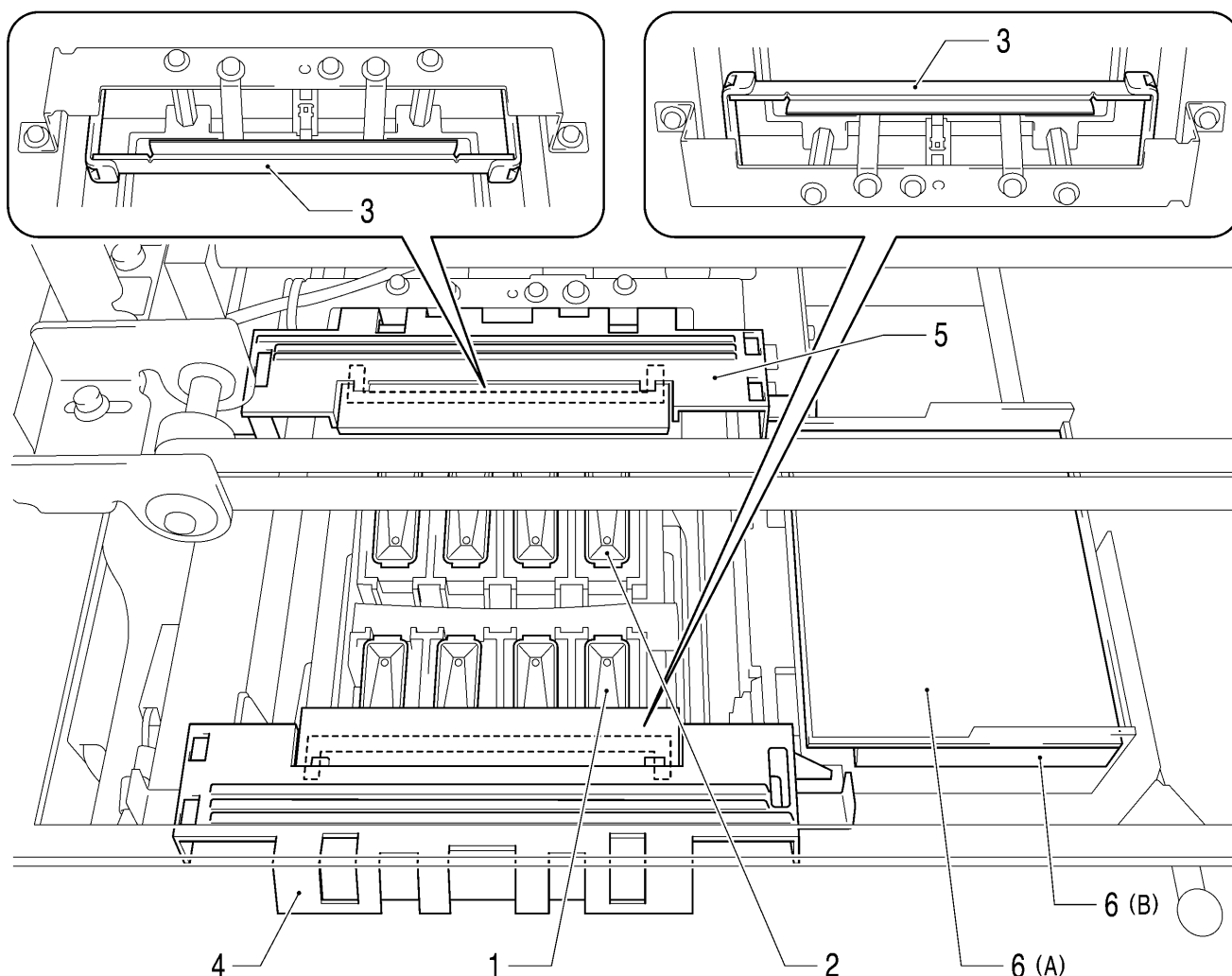
動作中に前面カバーを開けると、電源が自動的に OFF されます。



0047Y

No.	名称	機能
1	プリントヘッド (前)	カラーインクをプラテンに向けて吐出します。本体左から、ブラック、マゼンタ、シアン、イエローの順です。
2	プリントヘッド (後)	白インクをプラテンに向けて吐出します。本体左から、W1、W2、W3、W4の順です。
3	フィルターカバー、ファンフィルター、ファン	庫内に発生するインクミストを吸引します。フィルターカバー内部にあるファンフィルターを定期的に交換してください。詳細は“6-2-4. ファンフィルターの交換”を参照してください。
4	ローラーフェルト	ローラーに異物が付かないよう保護します。定期的に交換してください。詳細は“6-2-5. ローラーフェルトの交換”を参照してください。
5	キャリッジガイドシャフト	キャリッジを支えるシャフトです。インクミストなどで汚れていた場合掃除してください。詳細は“6-2-2. プリンター内部の掃除”を参照してください。

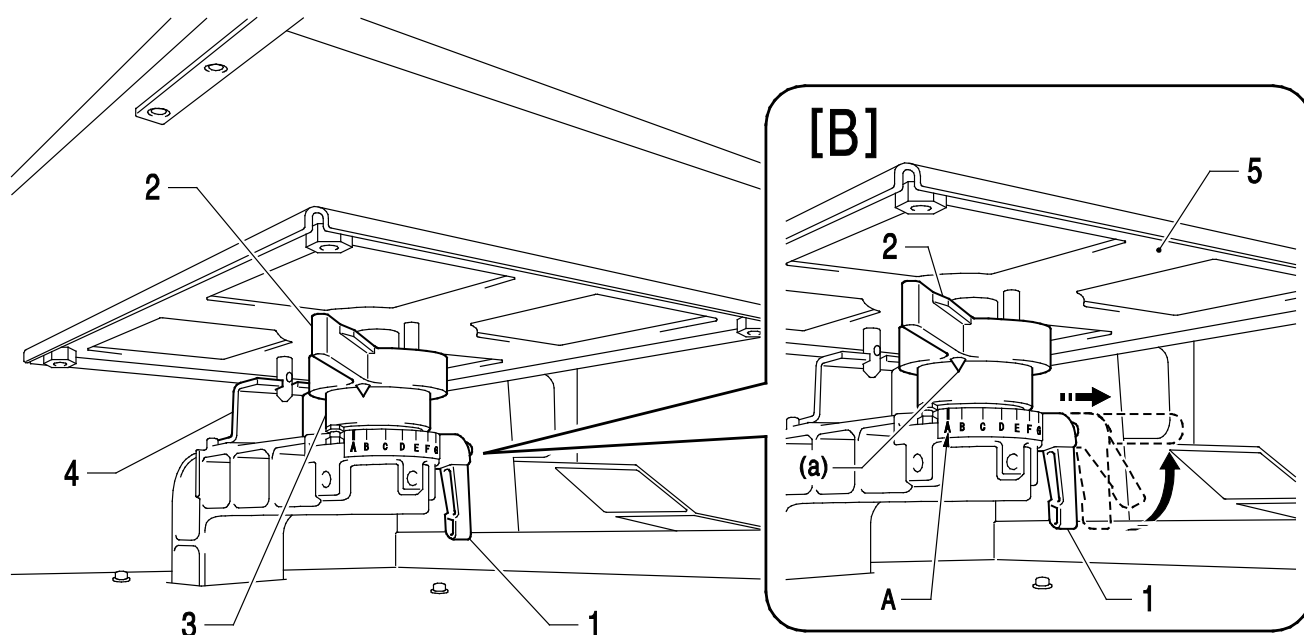
2-5. メンテナンスユニット上部



0048Y

No.	名称	機能
1	キャップ (前: カラー側)	カラー側のヘッド表面を保護し、ヘッドクリーニング時にインクを吸引します。本体左から、ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) の順です。
2	キャップ (後: 白側)	白側のヘッド表面を保護し、ヘッドクリーニング時にインクを吸引します。本体左から、W1、W2、W3、W4 の順です。
3	ワイパー (カラー、白)	ヘッド表面のインクをふき取ります。毎週およびワイパークリーナー交換時にキャップ共々クリーニングキットで掃除してください。詳細は、“6-2-1. ワイパークリーナーの交換とキャップ&ワイパーの掃除”を参照してください。
4	ワイパークリーナー (前: カラー側)	ワイパー表面に付着した廃インクを除去します。汚れたまま使用すると印刷品質を悪化させますので、インクカートリッジの交換時期および操作パネルの指示に従って必ず定期的に変換してください。外す時は左右の爪を外してから、上に引き上げます。詳細は、“6-2-1. ワイパークリーナーの交換とキャップ&ワイパーの掃除”を参照してください。
5	ワイパークリーナー (後: 白側)	
6	フラッシング受けスポンジ (A) フラッシング受けフェルト (B)	印字品質を保つ為、ヘッドから試験吐出したインクを受けます。定期的に変換してください。詳細は、“6-2-3. フラッシング受けスポンジとフラッシング受けフェルトの交換”を参照してください。

2-6. プラテン下部



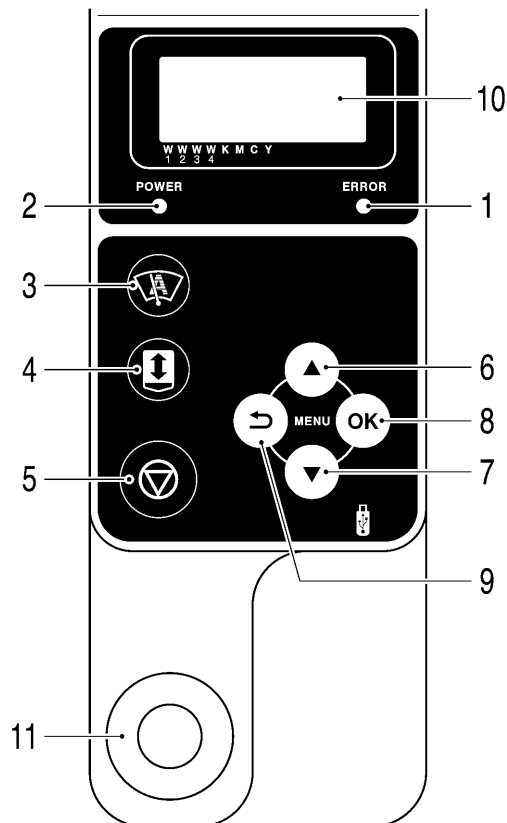
0049Y

No.	名称	機能
1	プラテン固定レバー	<p>プラテンを固定します。 プラテンの装着／脱着の時、高さを調節する時に、締めたりゆるめたりしてください。</p> <p><プラテン固定レバー(1)がプラテン(5)に当たって回せない場合...図[B]> 高さ調節レバー(2)をAの位置にして、レバー(1)を締めます。 レバー(1)を引き出すと、取手部分が空回しできるので、任意の位置まで回して放します。 その位置から締めることができます。</p>
2	プラテン高さ調節レバー	<p>プラテンの高さを調節します。 Tシャツの場合は最左の“A”の位置にしてください。 厚物等への印刷時にプラテンの高さを下げた場合は、操作パネルのプラテンボタンを用いて高さを確認してください。障害物センサーと印刷面とが2 mm程度離れた状態が適正ギャップです。詳細は“4-5. Tシャツをプラテンに装着”を参照してください。 ギャップが広い状態で使用すると、インクミストがプリンター内部に飛散し、印刷面を汚したり、センサー等の故障原因となります。</p>
3	プラテン軸受け	プラテンを固定し、保持します。
4	プラテン位置決め板	

<参考>

厚物に印刷する場合等、プラテンの高さを下げたい場合は、プラテン低下セット（※オプション）に交換してください。プラテン高さを標準位置より 13 mm 下げることができます。詳細は“4-4-3. プラテン低下セットの取付け”を参照してください。

2-7. 操作パネル



0050Y

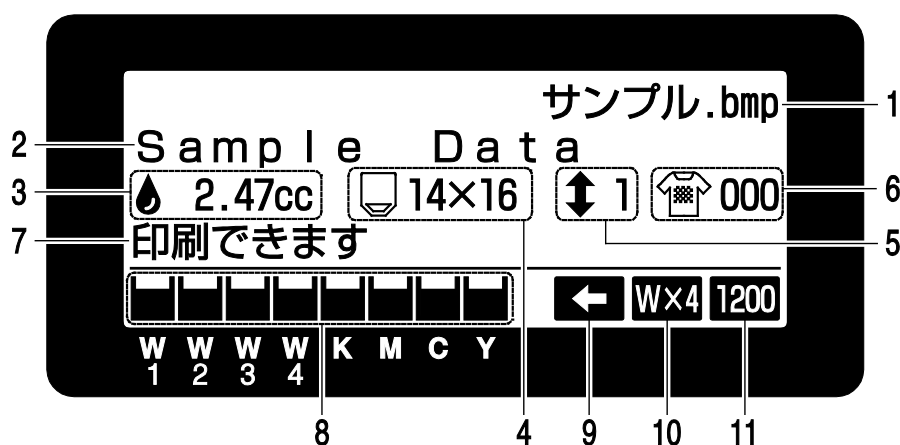
No.	名称	機能
1	エラーランプ	消灯：エラーはありません。 点灯：1つ以上のエラーが検出されています。エラーの内容や詳細は“7-4. エラーメッセージ”を参照してください。
2	電源ランプ	消灯：プリンターの電源が切れています。 点灯：プリンターが起動中（電源 ON）です。
3	ヘッドクリーニングボタン	すべてのヘッドに対し順次ノーマルヘッドクリーニングを行います。（個数は機種に依存）
4	プラテンボタン	プラテンをロード／アンロードします。プラテンの高さを調節した際に、適切かどうかを確認するのに使います。詳細は“4-5. T シャツをプラテンに装着”を参照してください。
5	ストップボタン	印刷やヘッドクリーニングを中止し、スタンバイモードに戻ります。
6	上ボタン	ひとつ上（前）の項目を選択します。 数値（スピーカー音量など）を1つ増やします。 メニューを表示します。
7	下ボタン	ひとつ下（次）の項目を選択します。 数値（スピーカー音量など）を1つ減らします。 メニューを表示します。
8	OK ボタン	選択されたコマンドを実行します。 メニューを表示します。 エラーステータスから抜けます。
9	戻りボタン	一つ前の画面に戻します。 メニューを表示します。
10	ディスプレイ	印刷データのジョブコメントやプリンターのステータス、各種設定のメニューを表示します。
11	プリントボタン	消灯時は印刷データなし、印刷データ受信中は点滅し、受信が完了すると点灯します。点灯時に押すと印刷を開始します。

<参考>

表示ランプ類は、起動時にセルフチェックのため、30 秒間点灯します。

2-7-1. ディスプレー

下図は GT-3 が印刷データを受信した状態です。印刷に必要な情報であるジョブとプリンターのステータスを表示します。



0009Y.

No.	表示	機能
1	ジョブネーム	受信データを識別するための文字が表示されます。 表示内容は、プリンタードライバーによって自動的に設定されます。
2	ジョブコメント	30 文字分のジョブコメントまたは AR3 ファイル名が表示されます。 表示内容は、データ作成時に入力することができます。
3	使用するインク量	受信データ 1 枚印刷するのに必要なインク量 (cc) が表示されます。 また、警告があればここに表示されます。
4	プラテンサイズ	プリンタードライバーで指定されたプラテンサイズが表示されます。
5	プラテン前後回数	受信データを 1 枚印刷する間に、プラテンの出入りする回数が表示されます。
6	印刷枚数	受信データを印刷完了した合計枚数が表示されます。
7	プリンターステータス	プリンターのステータスが表示されます。
8	インク残量	それぞれのインクカートリッジ内のインク残量が表示されます。 左から白 4 個 (W1、W2、W3、W4)、ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y) です。 インクの残りが少なくなると、点滅します。次のインクカートリッジをご用意ください。
9	片方向アイコン	片方向印刷のときに表示されます。
10	白インクヘッド使用数アイコン	印刷時に使用される白インクヘッド数が表示されます。
11	解像度アイコン	受信データの印刷解像度が表示されます。

<参考>

エラーや警告が検知された場合、上記表示のかわりにエラーメッセージが優先して表示されます。

2. 主な部品の名称

2-7-2. メニュー一覧

OK ボタン、上ボタン、下ボタン、戻りボタンのどれか1つを押すと、メニューに入ります。

メニュー	内容
ヘッドクリーニング	1ヘッドずつ、または指定された全ヘッドのヘッドクリーニングを実行します。 参照：“7-2-2. ヘッドクリーニング” ノーマルクリーニング：不吐出が発生した場合 パワフルクリーニング：ヘッドノズルを掃除した後、またはノーマルクリーニングで改善しない場合
テスト印刷	印刷精度を確認するためのテストパターンです。 ノズルチェック カラー/白：ヘッドの不吐出の有無を確認 スタンダード カラー/白：ヘッドの印刷精度を確認 白さチェック：白インクの白さを確認 ヘッドテスト カラー/白：ヘッドの故障位置の特定
白インク入れ替え	顔料が沈降し、白さが不安定になった部分の白インクを排出します。 参照：“6-1-1. 白インクの入れ替えおよび吐出の確認 (印刷開始前、1日1回)”
白インク攪拌	キャリッジを動かして内部の白インクを攪拌します。参照：“6-1-2. 白インク攪拌 (ファームウェア ver. 3.00 以上)”
印刷データ読み込み	USB メモリーに格納された印刷データ (AR3 ファイル) を読み込みます。内部のフォルダは[...]と表示されます。
印刷方向設定	印刷方向を設定します。プリンタードライバーの設定よりも優先されます。 自動：双方向、プリンタードライバーから片方向指定がある時、片方向 常に片方向 常に双方向 参照：“7-2-4. 印刷方向の変更”
メンテナンス	メンテナンスに進みます。 白チューブクリーニング：自用メンテナンスカートリッジでチューブとヘッドを洗浄します。参照：“6-1-3. 白チューブクリーニング：(週1回)” 洗浄後白インク導入：チューブクリーニング後、白インクを充填剤と入れ換えます。 参照：“6-1-3. 白チューブクリーニング：(週1回)” イニシャルクリーニング：インクをチューブとヘッドに新規に導入します。白インクは先に充填剤を導入してから導入します。 メンテ部品の交換：“6-2. 清掃と消耗品の交換”を参照してください。 ノズル掃除：不吐出が直らない場合にノズル表面を掃除します。 参照：“7-2-6. ヘッドノズルの掃除” エンコーダーストリップの掃除：参照：“6-2-7. エンコーダーストリップの掃除” ヘッド交換：参照：“7-2-7. プリントヘッドの交換” カラーチューブクリーニング：参照：“7-2-7. プリントヘッドの交換” ログファイル取得：“7-2-13. ログファイルの取得”
プリンター設定	プリンター設定に進みます。 画面の明るさ調節：“3-4-1. 画面の明るさ調節” スピーカー音量調整：“3-4-2. スピーカー音量の調整” 温度表示設定：摂氏か華氏かを設定します。参照：“3-4-3. 温度表示の設定” オートクリーニング設定：“7-2-5. オートクリーニング設定の変更” CR スピード調整：キャリッジの加減速を調整します。参照：“7-2-9. CR スピードの調節”

(次ページに続く)

メニュー	内容
プリンター設定	<p>フラッシング頻度：印刷中のフラッシング頻度を調整します。 参照：“7-2-10. フラッシング頻度の設定”</p> <p>フラッシング吐出量：印刷中のフラッシング吐出量を調整します。 参照：“7-2-11. フラッシング吐出量の調節”</p> <p>白インク入れ替え設定：白インク入れ替えて排出される白インク量を調整します。 参照：“7-2-12. 白インク入れ替え設定”</p> <p>印刷データ自動消去：プリンタードライバーで設定された印刷枚数分の印刷が終了すると自動的に印刷データを削除します。デフォルトはOFFです。</p> <p>GT-341 モード：白インクヘッドを使用しないように設定します。 参照：“6-1-5. 長期保管時に必要なメンテナンス”</p>
総印刷枚数	印刷した総枚数を表示します。
プラテン収納	プラテンを本体内部に格納します。
言語設定	言語設定：ディスプレイ表示言語を設定します。参照：“3-4-4. 言語設定”
バージョン	ファームウェアのバージョン情報を表示します。

3. 設置と準備

本章の指示通りに正しくセットアップしてからお使いください。

警告



濡れた手で、電源プラグにふれないでください。感電の原因となります。



ほこりの多い場所に置かないでください。ほこりが本機の内部に堆積すると、火災・感電・故障の原因となります。



アース接続をしてください。アース接続が不完全な場合、感電や誤動作の原因となります。



コードを固定するときは、コードを無理に曲げたり、ステーブル等で押えすぎないでください。火災・感電の原因となります。



注意



本機の設置や移動は、訓練を受けた技術者が行なってください。



本機は約 111kg の質量があります。



運搬・設置の際は、本機の正しい保持方法に従ってください。本機が落下して、けがの原因や、本機の故障の原因となります。



ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となります。また、本体を載せる台は耐荷重 150kg 以上で、横幅 137cm 以上 X 奥行 104.5cm 以上のものを使用してください。



他の機械の振動が伝わるような場所に置かないでください。印刷品質の低下、または本機が落下して、けがの原因や、本機の故障の原因となります。



設置が完了するまで、電源プラグを接続しないでください。誤って電源スイッチを入れると、本機が作動してけがの原因となります。



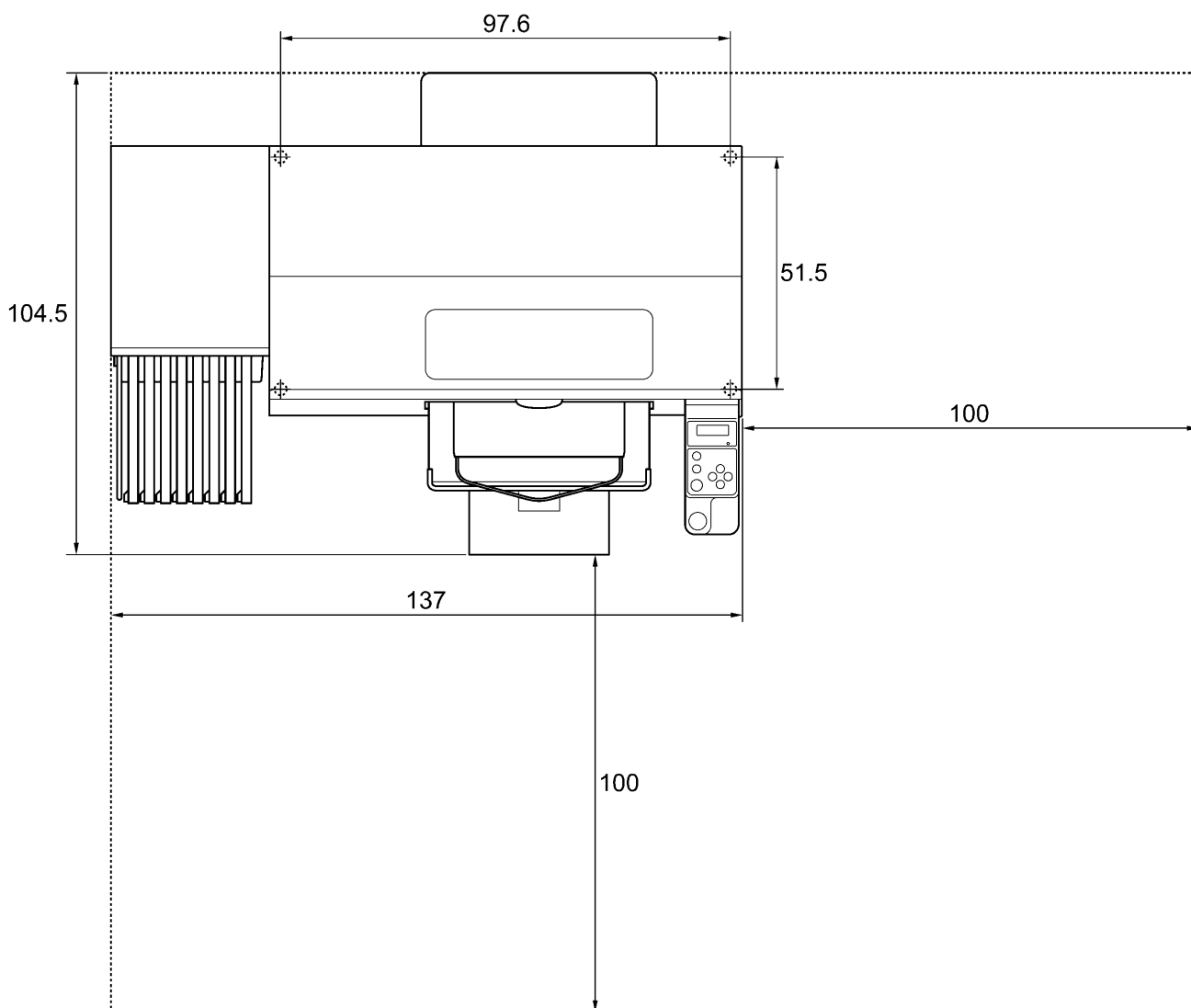
本機の上に乗ったり、重い物を置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

3-1. プリンターの設置

開梱作業、および付属品の取り付けは、本体同梱の開梱マニュアルを参照してください。下記の点を考慮してプリンターを設置してください。

- 環境条件に合致していること。
- 直射日光、ほこり、過度の湿気を避けること。
- 延長ケーブルを使わないこと。
- プリンターの周囲には作業スペースが十分あること。
プリンターの前面と右側面に作業スペースとして 100cm 以上のスペースを開けてください。
右側面の排気口から 20cm 以内には物を置かないでください。
- 本体サイズは約 137cm×104.5cm×66cm です。本体の質量は約 111kg です。
- プリンターを載せる台は耐荷重 150kg 以上で、横幅 137cm 以上×奥行 104.5cm 以上のものを使用してください。
天板が水平で、かつ、プリンター稼働中にかたつかないものを使用してください。

単位 : cm



0051Y

3-2. プリンターの電源 ON / OFF

<ご注意>

電源コードをつなぐ前に、下記の点にご留意ください。

- インクカートリッジ、ワイパークリーナーやフラッシング受けスポンジ等が挿入されていること。
- 廃インクチューブが、用意された廃インクタンク*に正しく挿入されていること。
(*…コード No.は“1-3-5. 必要な消耗品とオプション部品”を参照してください。)
- 背面カバーが取り付けられていること。
- プラテンが前方に搬出される際に必要なスペース最低約 30cm、右側面にファン排気口として最低 20cm が確保されていること。

3-2-1. プリンターの電源 ON

- (1) 事前に白インクカートリッジの上下を挿入方向と逆にして、前後左右によく振ってください。(1 個につき、30 秒～1 分程度)
- (2) 同梱の電源コードを本機の電源コード挿入口につないでください。
- (3) 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
プリンターが適切にアース接続されていることを確認してください。
- (4) プリンターの電源スイッチを ON にしてください。
電源が入ると、初期化中はディスプレイやランプ類が点灯します。
初期化には数十秒かかり、初期化が完了すると [スタンバイ] モードになります。

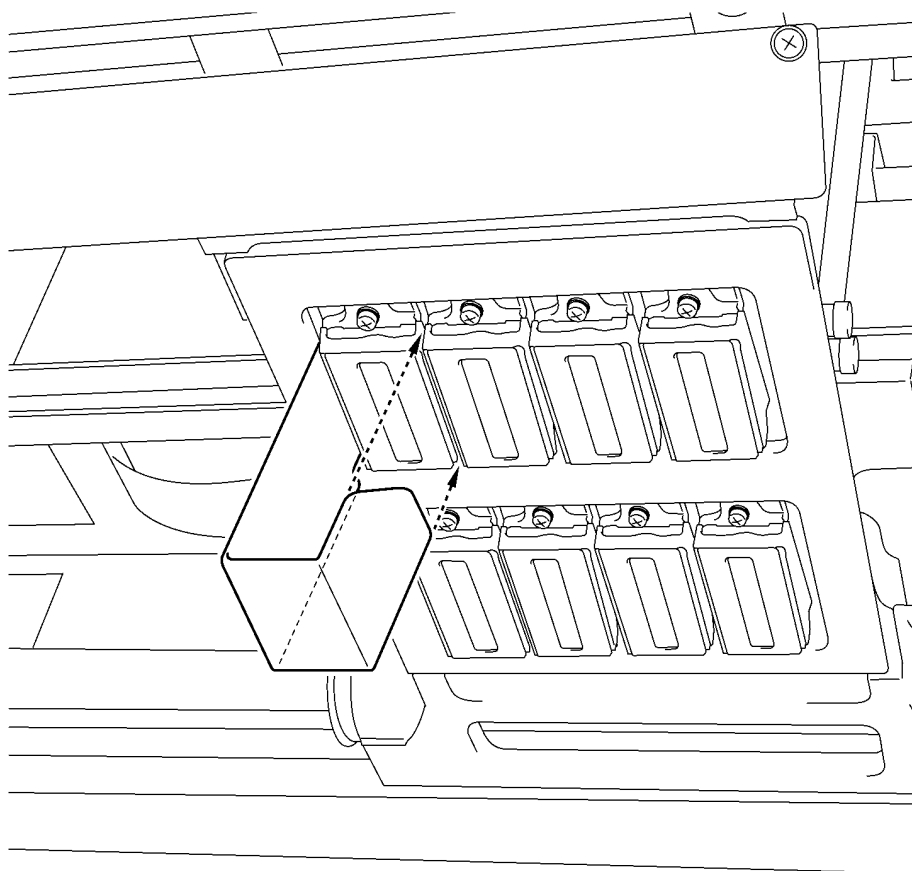
3-2-2. プリンターの電源 OFF

プリンターの使用を終える時は、電源を切る前に下記の手順に従ってください。

- (1) プリンターが [スタンバイ] か [印刷できます] モードであることを確認してください。
- (2) メニューから [プラテン収納] を選び、プラテンを本体内部に格納してください。
- (3) 電源スイッチを OFF にしてください。
- (4) もし1週間程度使わない予定であれば、電源プラグをコンセントから抜いてください。

<ご注意>

- GT-381、GT-361 の場合、白インクを導入したままでプリンターを放置しないでください。白さが不足するだけでなく、顔料が沈澱して故障の原因になります。始業時にインクカートリッジを十分振って中のインクを攪拌し (1 個につき、30 秒~1 分)、その後 [白インクの入替え] を実行してください。また定期的にチューブ内を洗浄してください。詳細は“6-1-1. 白インクの入替えおよび吐出の確認 (印刷開始前、1 日 1 回) ”、“6-1-3. 白チューブクリーニング: (週 1 回) ”を参照してください。
- プリンター動作中に電源を切らないでください。プリンターが故障する恐れがあります。突発的に電源が切れてしまった場合は、もう一度電源を入れ、起動後に上記の状態を確認してから電源を切り直してください。停電などで動作中に電源が OFF してしばらく復旧の目処が立たない場合、電源を OFF してから付属品のヘッド保護フィルムをヘッド下面に貼り付けて、ヘッドの乾燥を防止して下さい。その際は、ヘッドの下面に埃などがつかないように、ヘッド保護フィルム側の接触面を、充填剤またはウォッシュ液で洗浄してください。電源が入る状態になったら、ヘッド保護フィルムを外してプリンターを再起動し、初期化とヘッドクリーニングを実行してください。



0052Y

- プリンターが動作せずに一定期間以上放置されると、プリントヘッドやメンテナンスユニットがインクの乾燥により目詰まりを起こします。これを避けるために、1週間に1度程度ヘッドクリーニングボタンを押してヘッドクリーニングすることをお勧めします。プリンターが2週間以上使われない場合、“6-1-5. 長期保管時に必要なメンテナンス”に従って、適切な処置を行ってください。

3-3. PC 側の準備

この章では、GT-3 プリンタードライバー (FileOutput : ファイル出力用)、マニュアル (取扱説明書・基本編、取扱説明書)、GT-3 File Viewer (ファイルビューワー) その他のツール類のインストール方法を説明します。Windows XP と Windows Vista、Windows 7、Windows 8 で異なるダイアログが表示されることがあります。各ステップを確認しながら実行してください。

これらのインストールが完了した後に、USB 2.0 ケーブルを接続して GT-3 プリンタードライバー (USB)をインストールしてください。ネットワーク印刷を行う場合は USB 2.0 で接続した後で、本マニュアルの手順に従ってネットワーク印刷関係の設定を行います。

3-3-1. GT-541 / GT-782 をお持ちの場合

GT-3 の印刷データ (*.ar3) は、内部のファイルフォーマットが異なるために GT-541/GT-782 で印刷できません。また、GT-541/GT-782 の印刷データ (*.arp) は、GT-3 で印刷できません。

3-3-2. PC 側の準備: Windows XP (32 bit)

まず、PC にファイル出力用プリンタードライバー GT-3 File Output をインストールします。

この段階では、まだプリンターを PC につながないでください。

<ご注意>

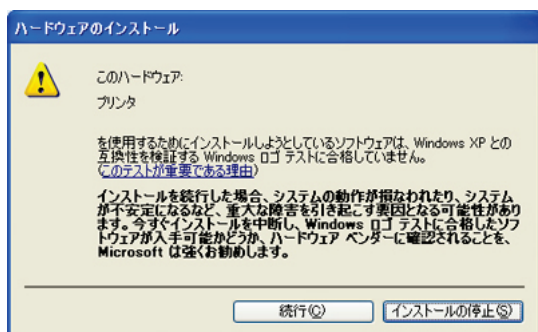
PC には Administrators 権限でログインしてください。

- (1) PC を起動してください。
- (2) すべての作業を終了してください。
- (3) インストール CD を PC に挿入してください。CD-ROM ドライブを開き、“Setup.exe”をダブルクリックしてインストーラーを起動してください。
- (4) インストールが始まります。画面の指示に従って操作してください。

<ご注意>

アップデート時など、以前のバージョンがインストールされている状態でインストールを開始すると、アンインストールの確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックするとプリンタードライバー以外のツールのアンインストールが始まります。もしも、アンインストールに失敗した場合、次のメッセージが表示されます：“選択したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか？”。この場合は [いいえ] をクリックし、インストーラーを終了して、コントロールパネルの [プログラム (アプリケーション) の追加と削除] を開き“Brother GT-3 Tools”を削除してください。その後、改めてインストールを最初から行なってください。

- (5) インストール中に、下記の警告ダイアログが表示されますが、[続行] か [はい] を選び、そのまま続行してください。



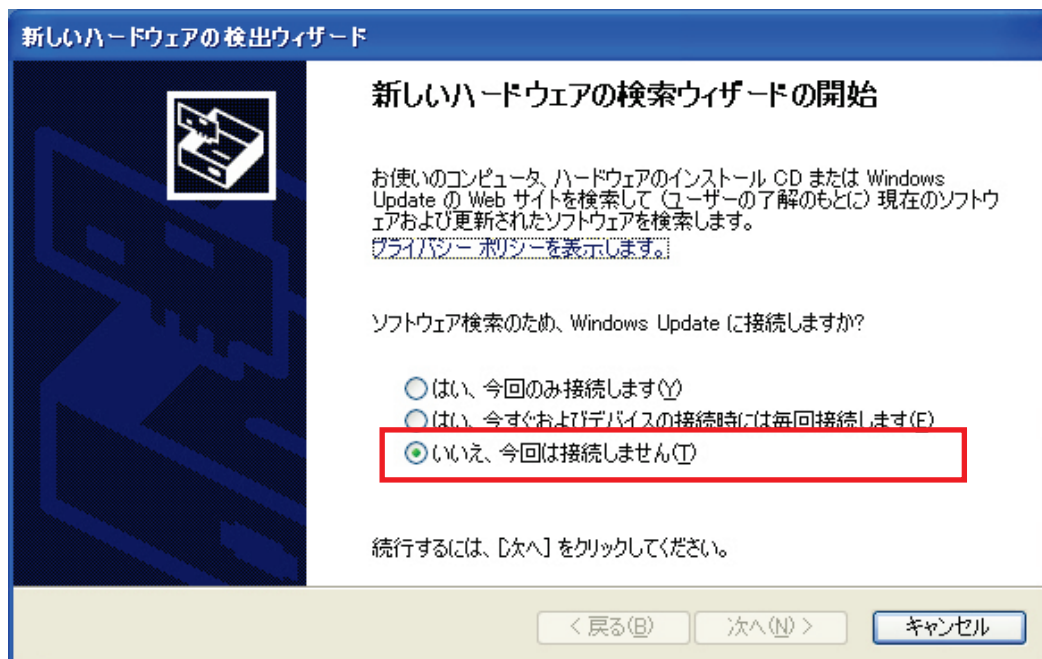
Windows XP

- (6) インストール後、PC を再起動する必要があります。PC を再起動してください。プリンターを直接 USB ケーブルにつなげずに使うのであれば、これで PC 側の準備は完了です。

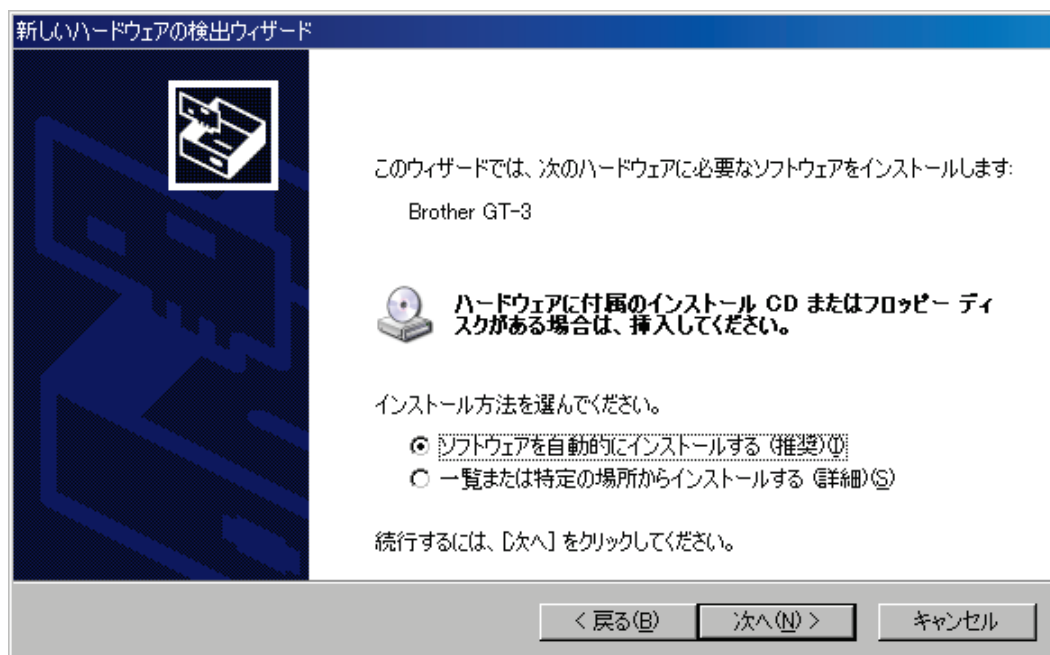
3-3-3. USB 2.0 ケーブルの接続： Windows XP 用

- (1) プリンターの電源が OFF の状態で、USB 2.0 ケーブル をプリンターに接続してください。
- (2) USB 2.0 ケーブルの他端を PC に接続してください。
- (3) この状態で GT-3 の電源を ON にしてください。

下記のダイアログが表示されることがあります。その場合は、[いいえ、今回は接続しません] を選択し、[次へ] をクリックしてください。



- (4) インストール CD を PC に挿入してください。下記のダイアログが表示されます。



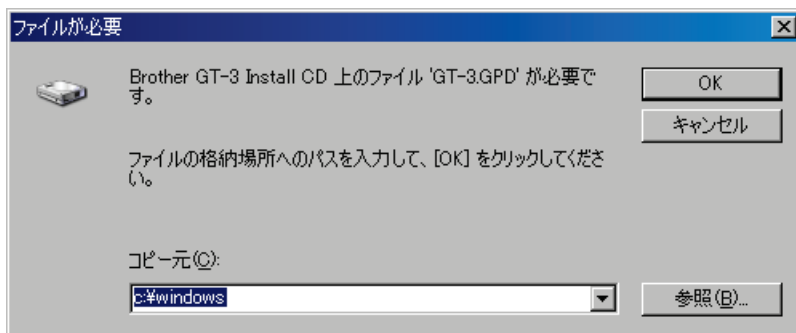
(次ページに続く)

3. 設置と準備

- (5) [ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックしてください。インストールが始まります。3-3-2. (5)の [ハードウェアのインストール] ダイアログが表示された時は、[続行] を選択し、次へ進んでください。

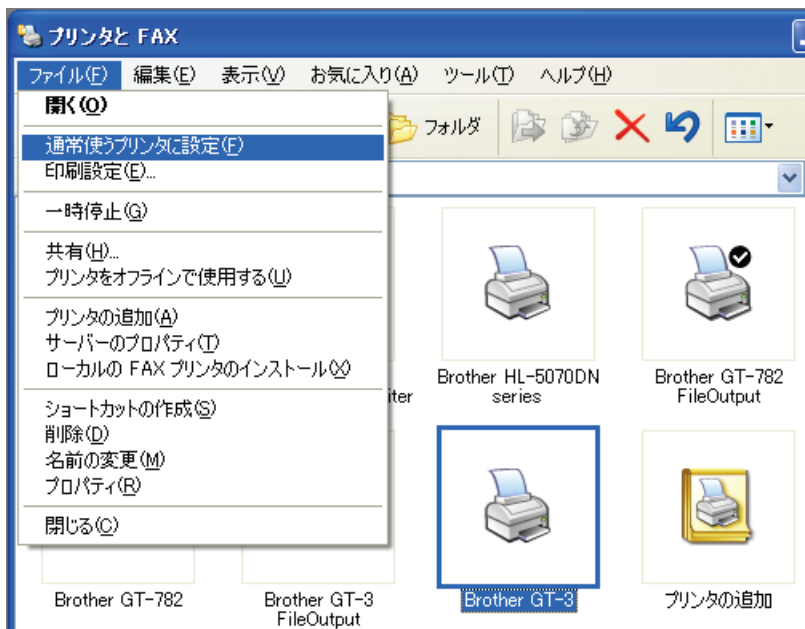
<ご注意>

- もしも、上記の手順どおりにインストールせず、先に USB 2.0 ケーブルをつないでしまった場合、インストール CD の挿入を促すダイアログが表示されます。インストール CD が正しく挿入されていることを確認し、[OK] をクリックしてください。
- インストール CD がドライブ D: でなければ、下記のダイアログが表示されます。[参照...] をクリックして、インストール CD のドライブを選択し、[32bit_OS] フォルダー内の GT-3.gpd を選んで [OK] をクリックしてください。インストールは続行されます。



- (6) [新しいハードウェアの検出ウィザード] の [完了] をクリックしてください。
- (7) コントロールパネルの [プリンターと FAX] を開いてください。
- (8) [Brother GT-3] かまたはファイル出力用の [Brother GT-3 FileOutput] のアイコンを選択し [ファイル] メニュー (または右クリック) で [通常使うプリンターに設定] を選んでください。お使いのアプリケーションからレイアウトをする場合、用紙サイズに間違いがなく便利です。

PC 側の設定はこれで終了です。



<参考>

1 台以上の GT-3 プリンターをインストールするために：

PC に他の GT-3 をつなぐ場合は、上記の“USB 2.0 ケーブルの接続：Windows XP 用”のステップを繰り返してください。2 台目の GT-3 プリンターの名前は自動的に [GT-3 (コピー*)] となります。プリンターの名前はコントロールパネルの [プリンターと FAX] で変更することが出来ますので、わかりやすい名前 (例えば、“GT-3 2 号機”) に替えるのをお勧めします。

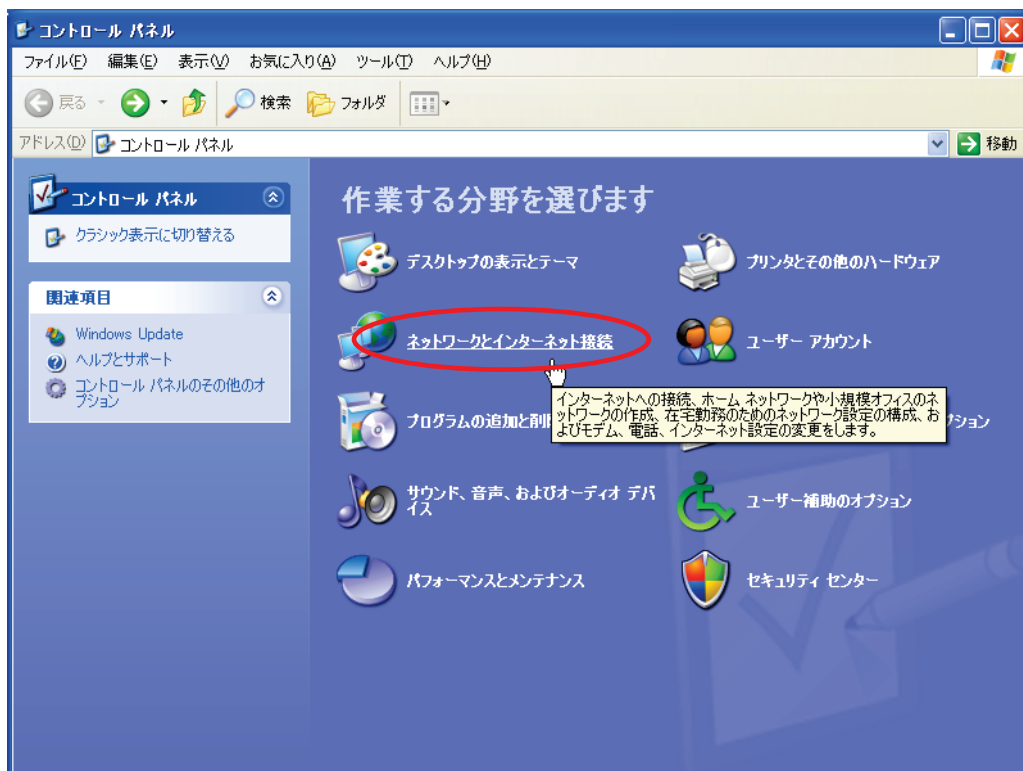
3-3-4. ネットワーク印刷の設定: Windows XP 用

3-3-4-1. PC の IP アドレス設定

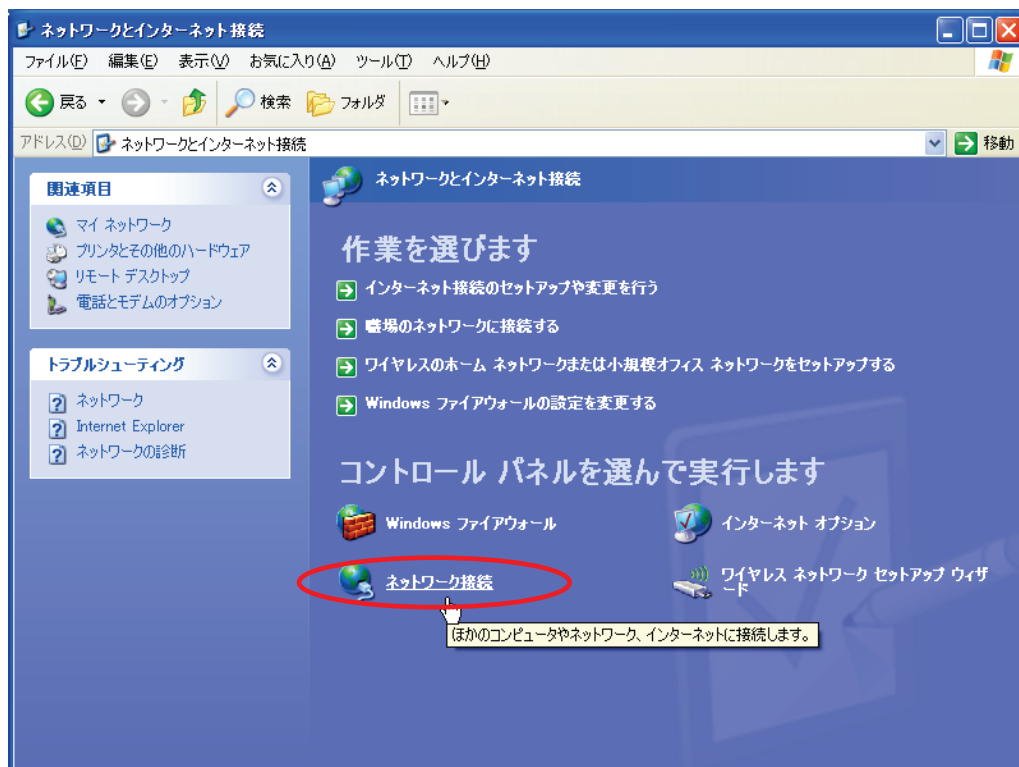
<ご注意>

お使いの PC が既に IP アドレスの設定がされている場合は、次の”3-3-4-2. GT-3 の IP アドレス設定”に進んでください。

- (1) コントロールパネルからネットワークとインターネット接続をクリックします。

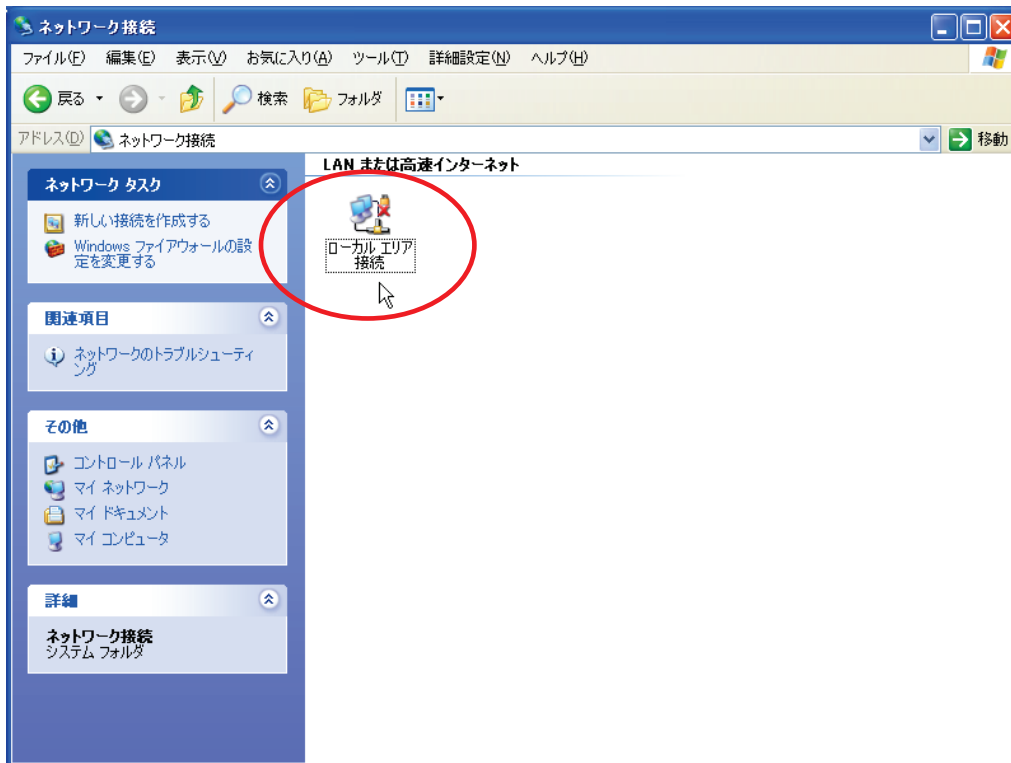


- (2) ネットワーク接続をクリックします。



3. 設置と準備

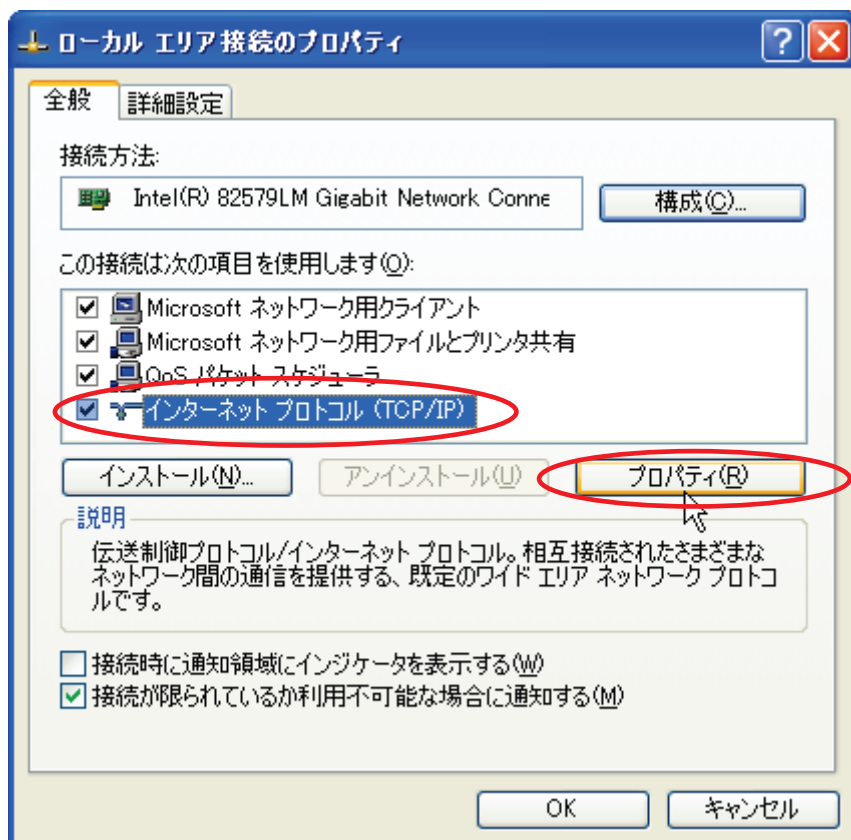
(3) ローカルエリア接続をクリックします。



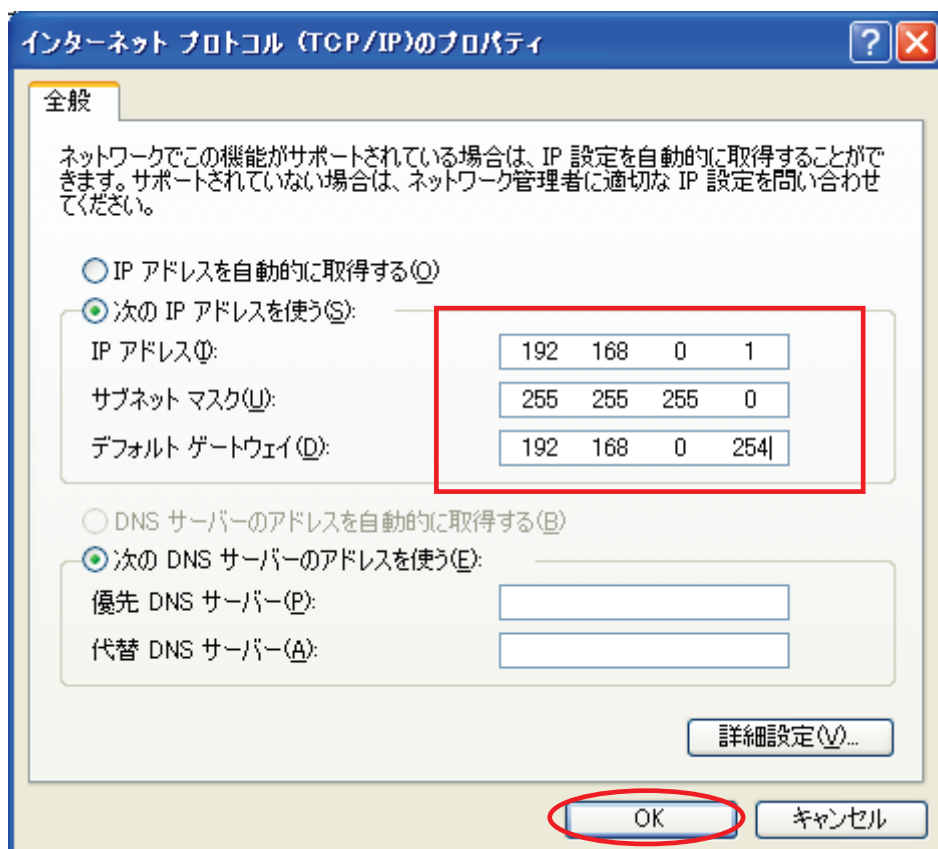
(4) [プロパティ(P)] ボタンをクリックします。



- (5) [インターネットプロトコル(TCP/IP)] を選択し、[プロパティ(R)] ボタンをクリックします。



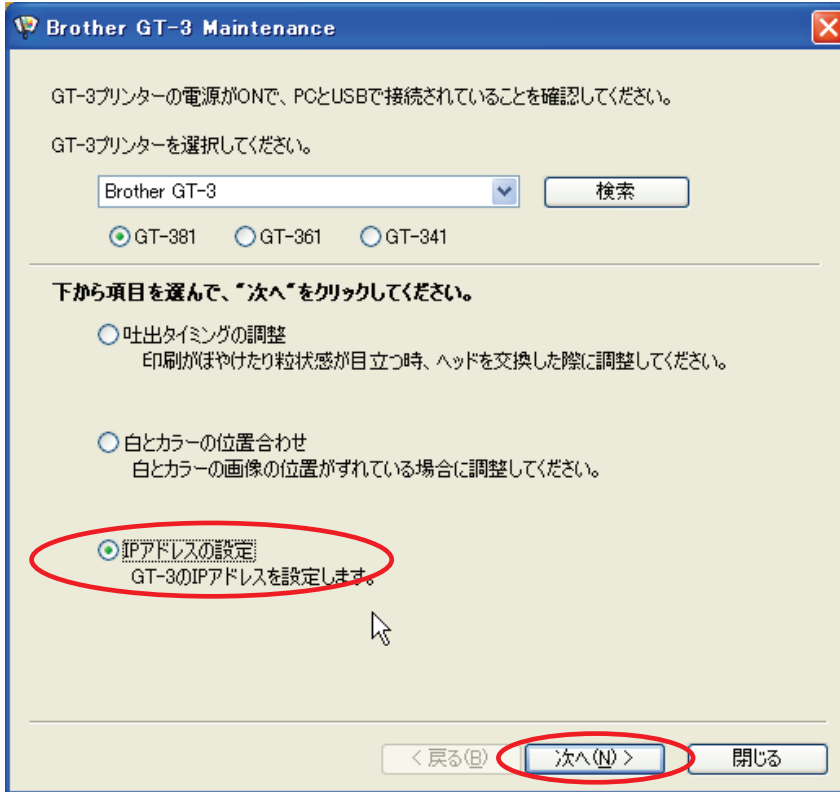
- (6) ネットワークに応じて、適切な IP アドレスとサブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイ値を入力し、[OK] ボタンをクリックします。(値は一例)



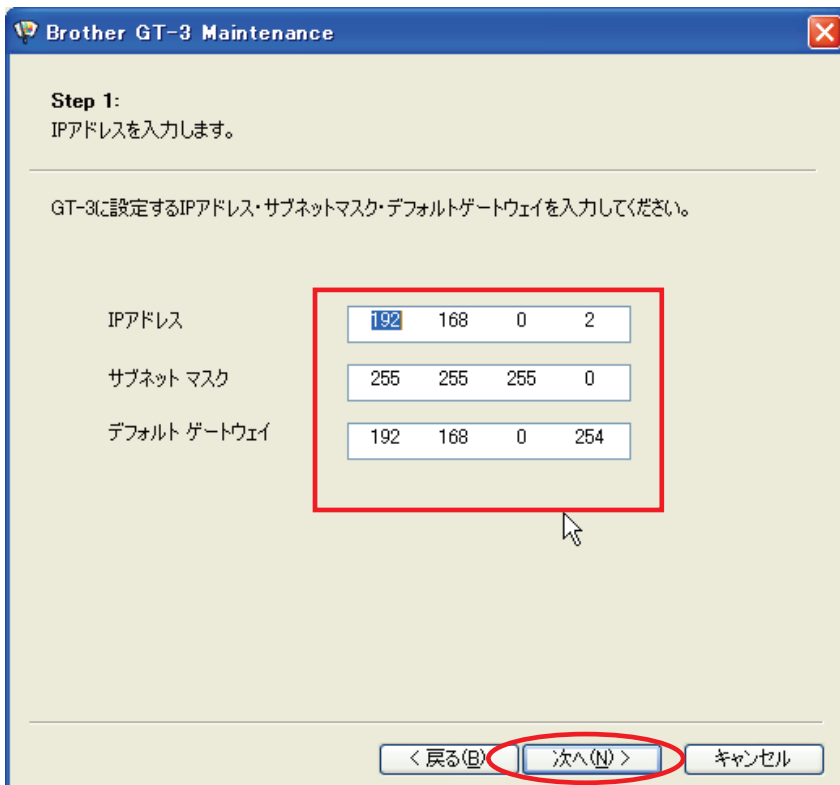
3-3-4-2. GT-3 の IP アドレス設定

PC の IP アドレス設定が完了したら、今度は GT-3 側の IP アドレス設定を行います。

- (1) PC と GT-3 が USB ケーブルで接続された状態で GT-3 の電源を入れ GT-3 メンテナンスツールを起動します。[IP アドレスの設定]を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- (2) あらかじめ決定しておいたプリンターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。(値は一例)



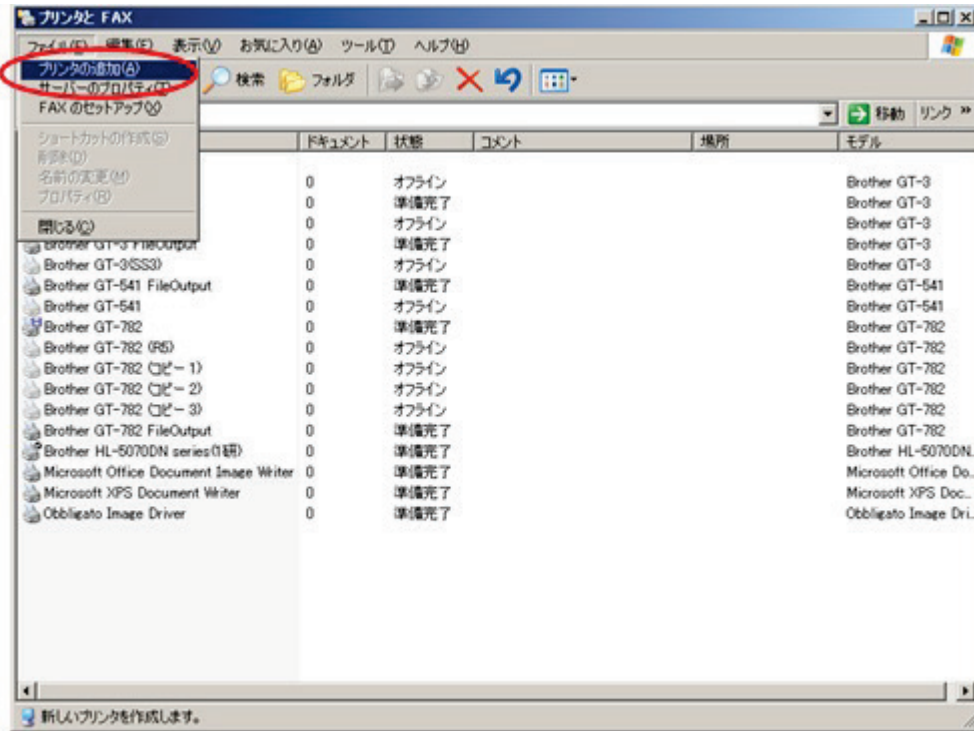
- (3) GT-3 に IP アドレスが設定されました。



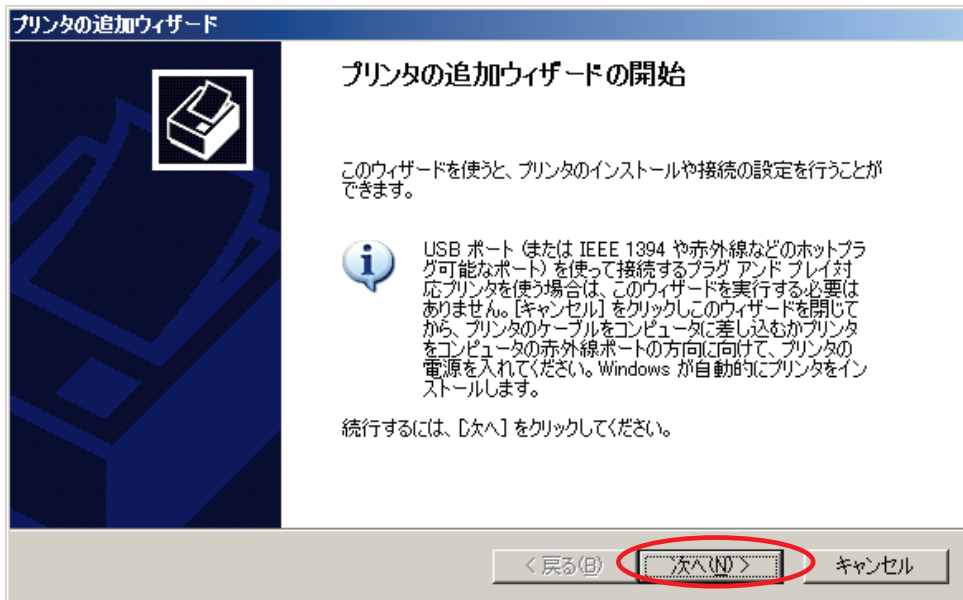
- (4) 前頁の(2)で入力した IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイにエラーがある場合はその旨が表示されます。エラーのある箇所を訂正して設定し直してください。

3-3-4-3. LAN 接続の GT-3 プリンター設定

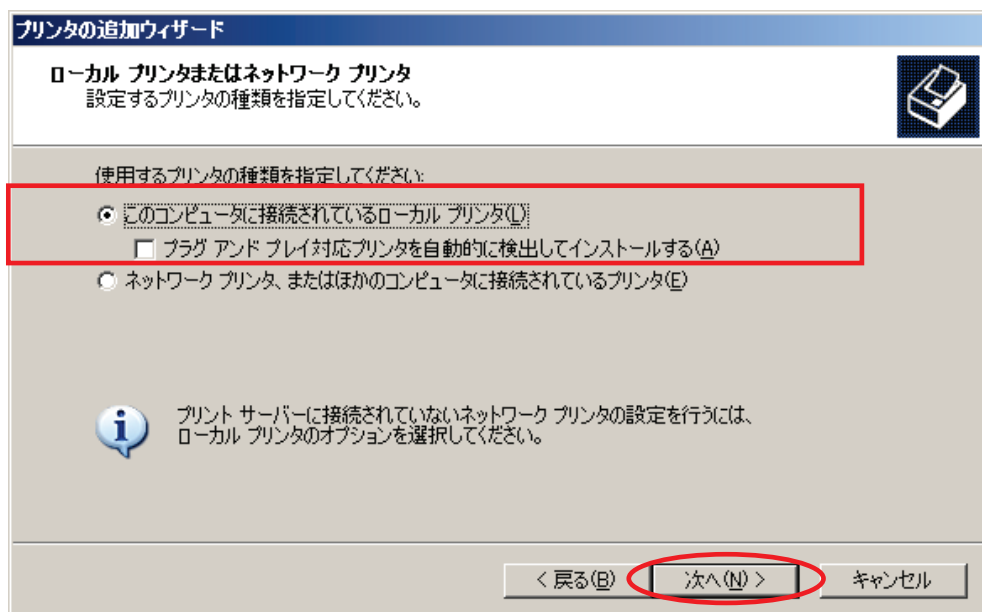
- (1) PC と GT-3 を LAN ケーブルでネットワークに接続し、GT-3 の電源を入れます。
 [コントロールパネル] から [プリンターと FAX] を選び、[プリンターの追加] をクリックします。



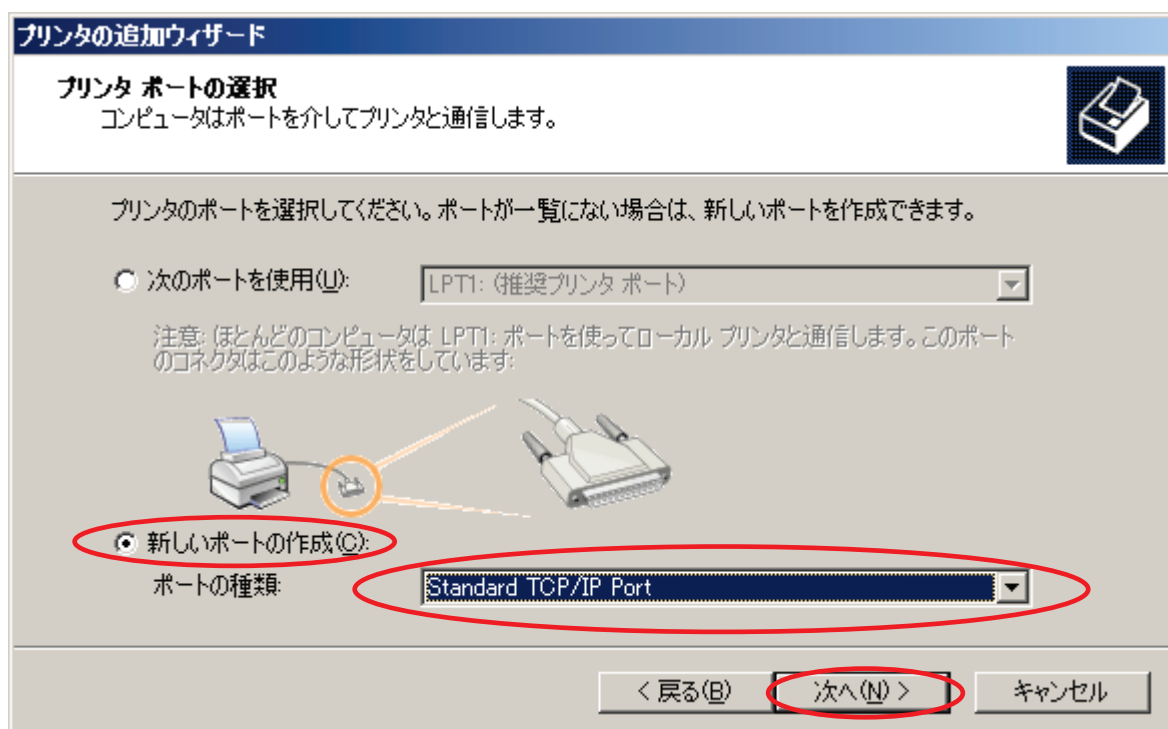
- (2) [次へ] ボタンをクリックします。



- (3) インストールするプリンターの種類で、[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

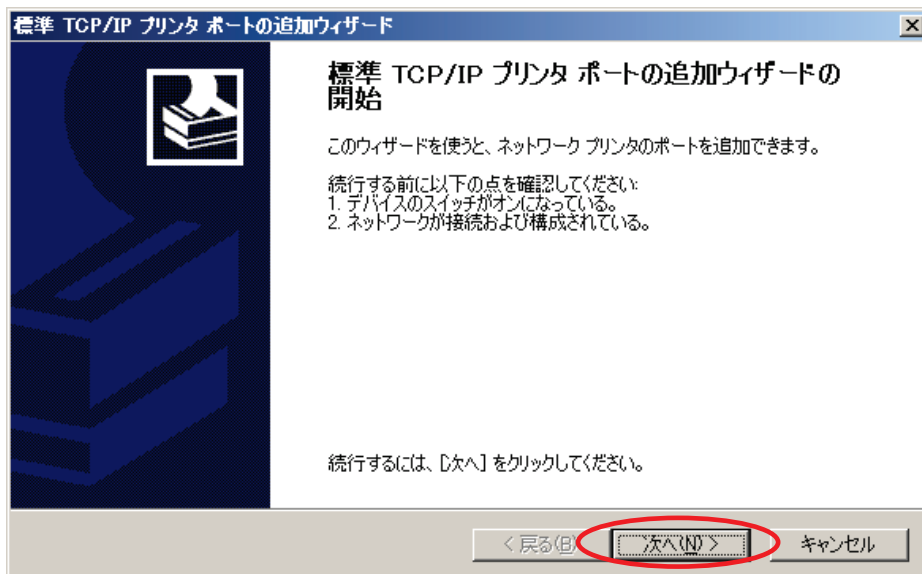


- (4) プリンターポートの選択で、[新しいポートの作成] を、ポートの種類に [Standard TCP/IP Port] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

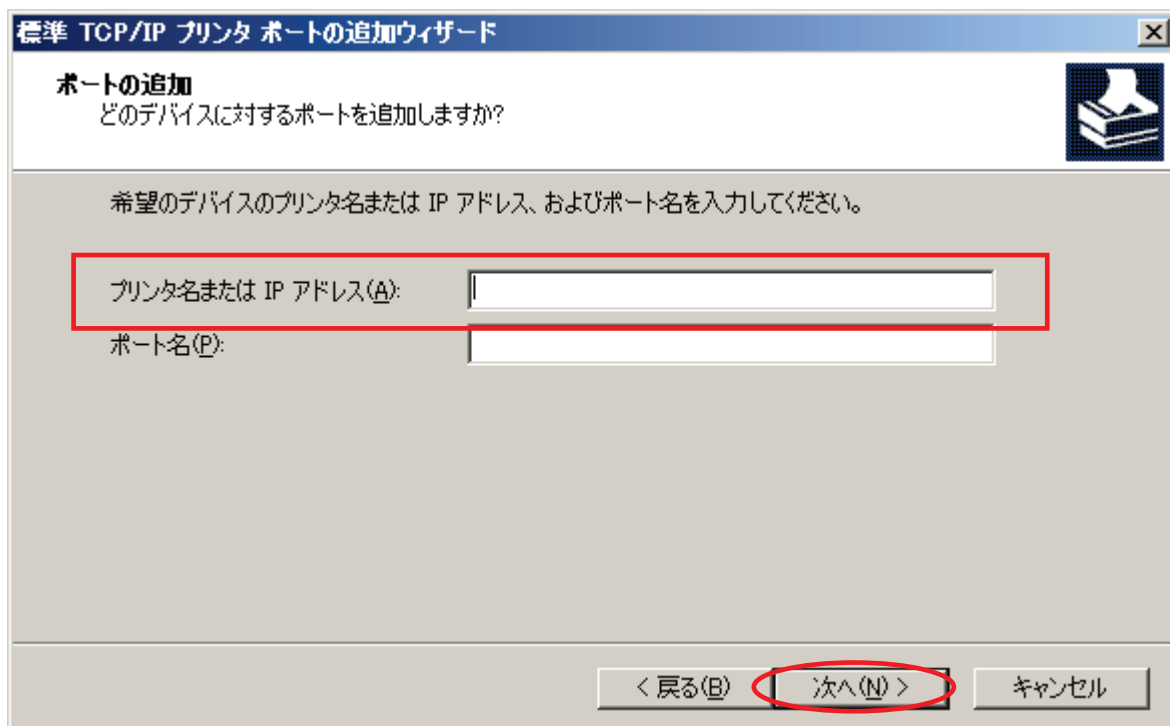


3. 設置と準備

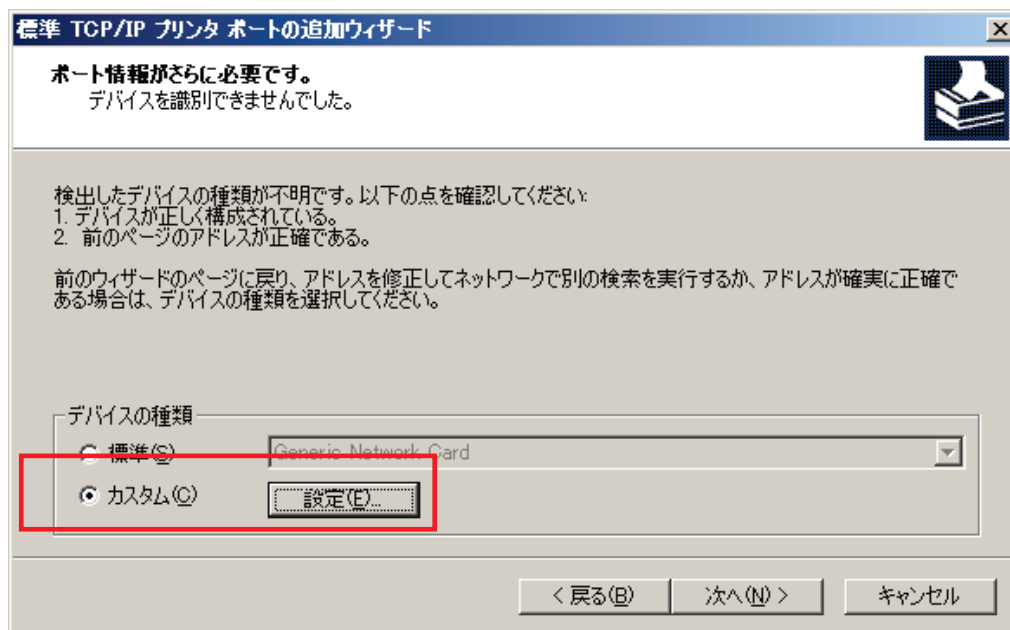
- (5) [次へ] ボタンをクリックします。



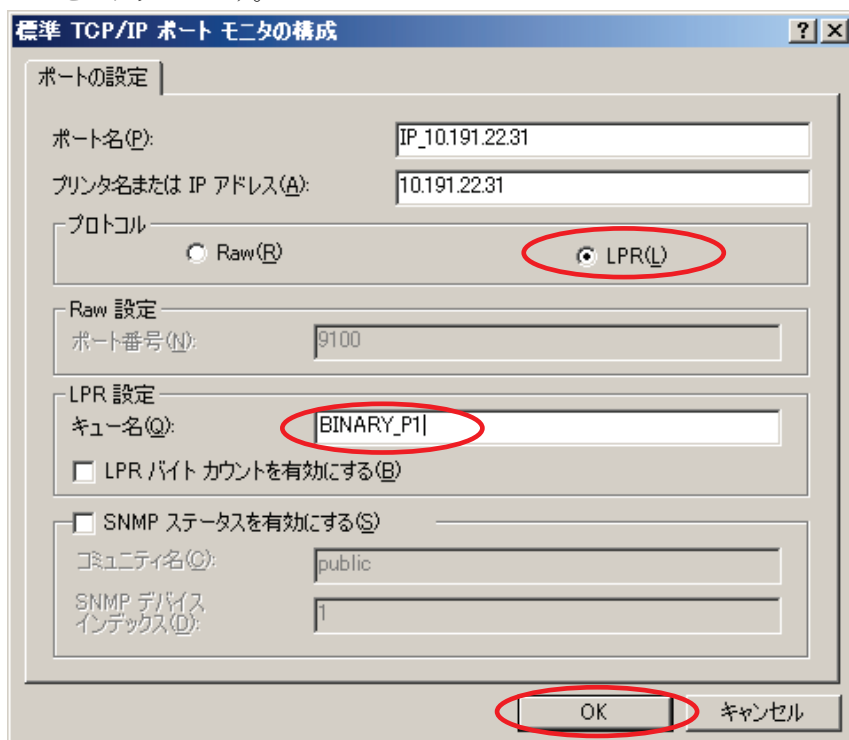
- (6) [ホスト名または IP アドレス] に”3-3-4-2. GT-3 の IP アドレス設定”のステップ(2)で入力した GT-3 の IP アドレスを入力し、[次へ] ボタンをクリックします。



- (7) しばらくすると下記のプリンターポートの追加ウィザード画面に変わります。[デバイスの種類] で [カスタム] を選択し、[設定] ボタンをクリックします。



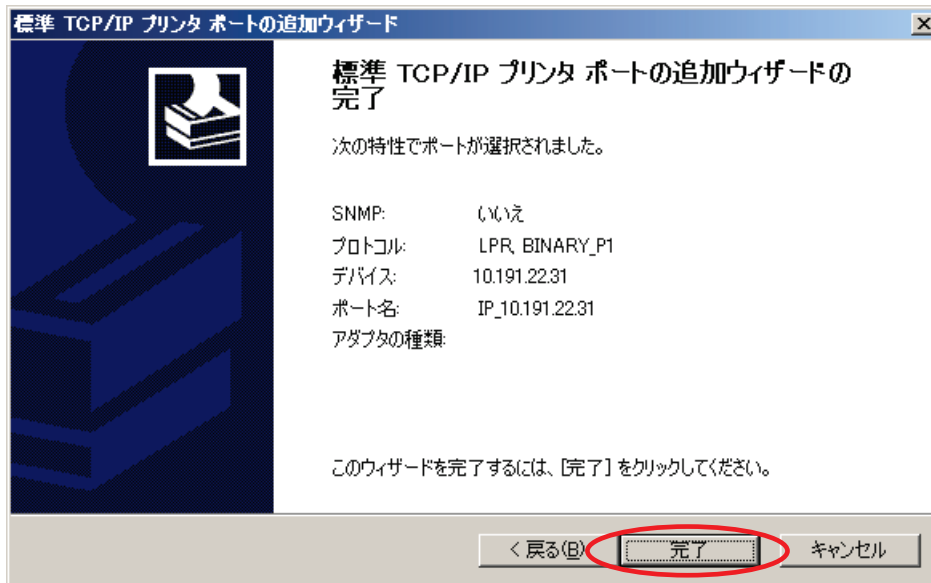
- (8) 下記の画面で、プロトコルの [LPR(L)] を選択し、LPR 設定のキュー名に [BINARY_P1] と入力し、[OK] ボタンをクリックします。



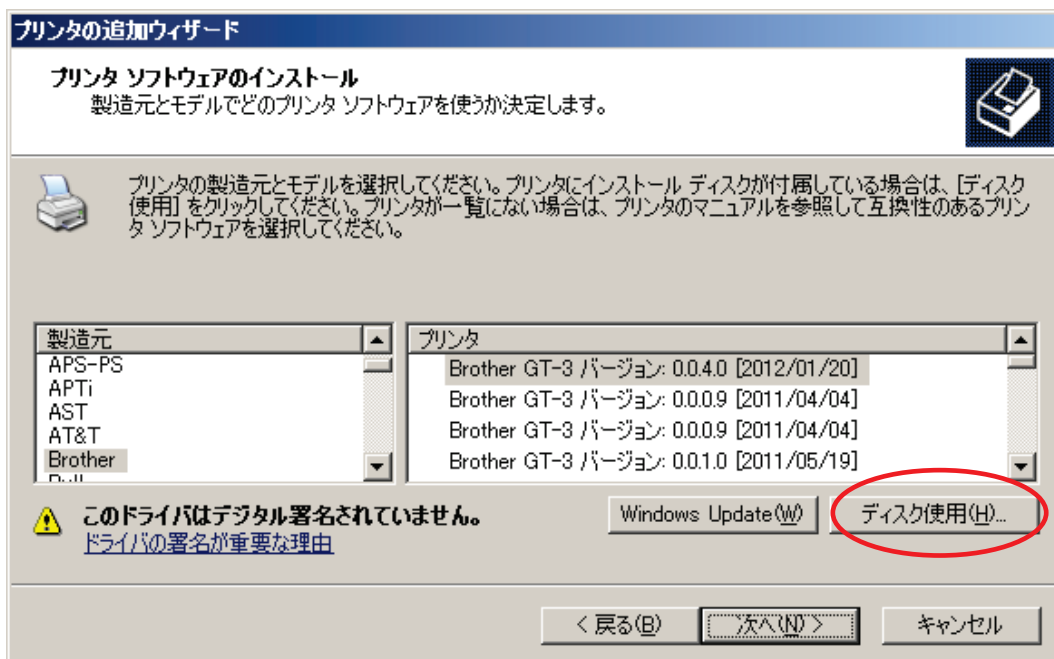
- (9) 上記(7)の画面に戻りますので、[次へ] ボタンをクリックします。

3. 設置と準備

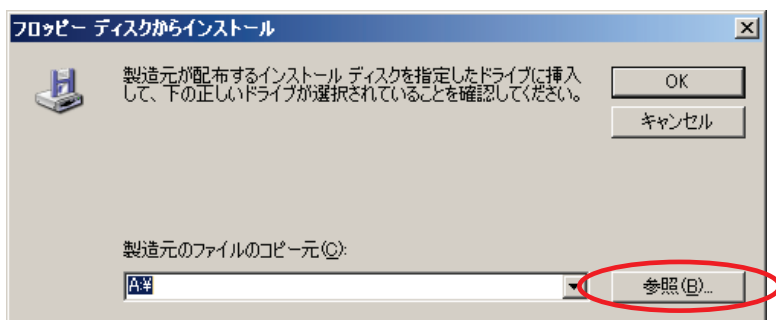
- (10) [完了] ボタンをクリックします。



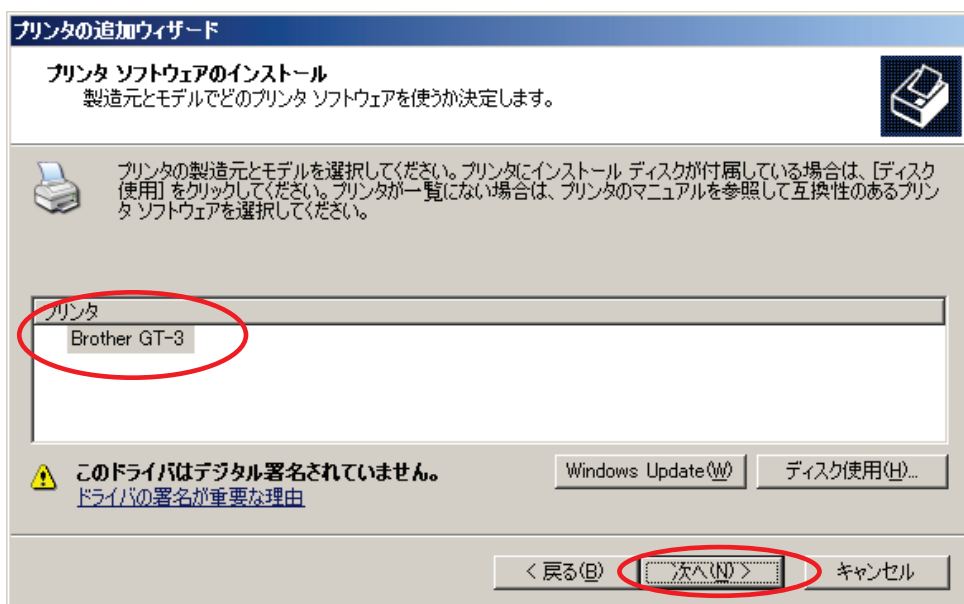
- (11) プリンターの追加ウィザードに戻ると、モデルの検出画面が表示されます。プリンタソフトウェアのインストールで、[ディスク使用] ボタンをクリックします。



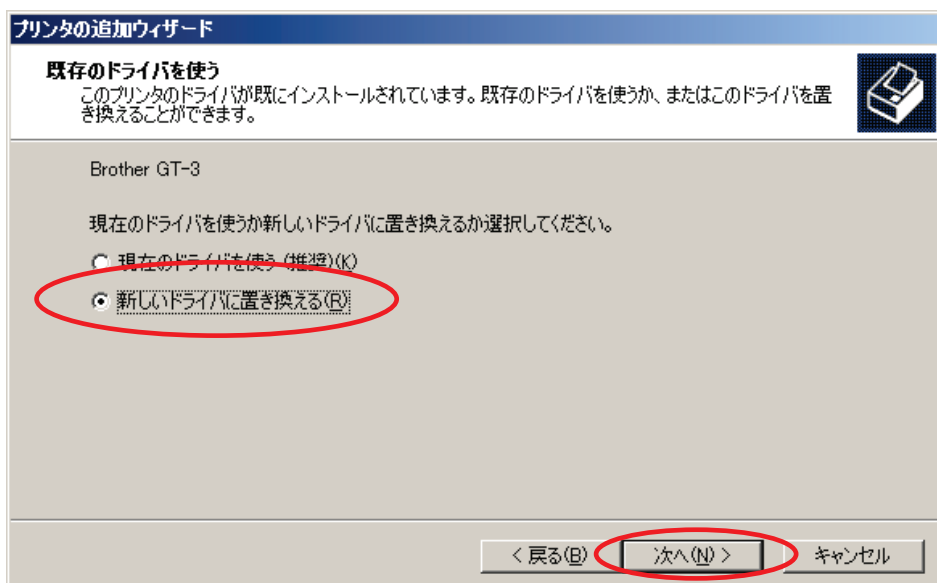
- (12) 「参照」ボタンをクリックして、インストーラーの中の [32bit_OS] フォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックします。(Windows XP の場合は 32 ビットのみ)



- (13) 選択したフォルダのプリンター一覧で [Brother GT-3] が選択されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

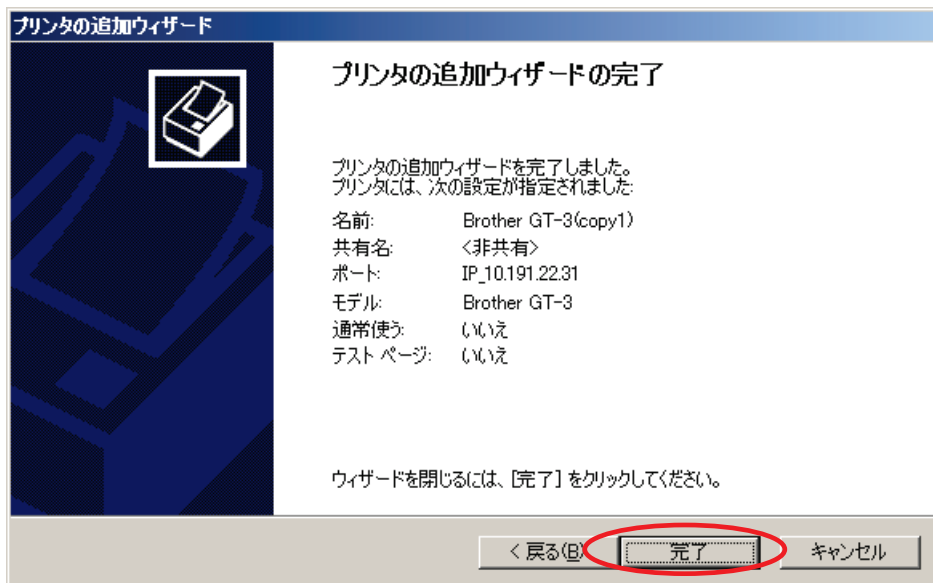


- (14) どのバージョンのドライバーを使用するか聞いてくるので、[現在のドライバーを置き換える] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



3. 設置と準備

- (15) [通常使うプリンターに設定する] (用紙サイズを選択に便利)、[プリンター共有をしない]、[テストページの印刷をしない] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。
- (16) GT-3 プリンターが正しく追加されたメッセージが表示されました。[完了] ボタンをクリックして終了します。



3-3-5. Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 へのインストール (32 bit / 64 bit)

まずは“3-3-2. PC 側の準備: Windows XP (32 bit)”をご覧ください、手順とご注意をご確認ください。

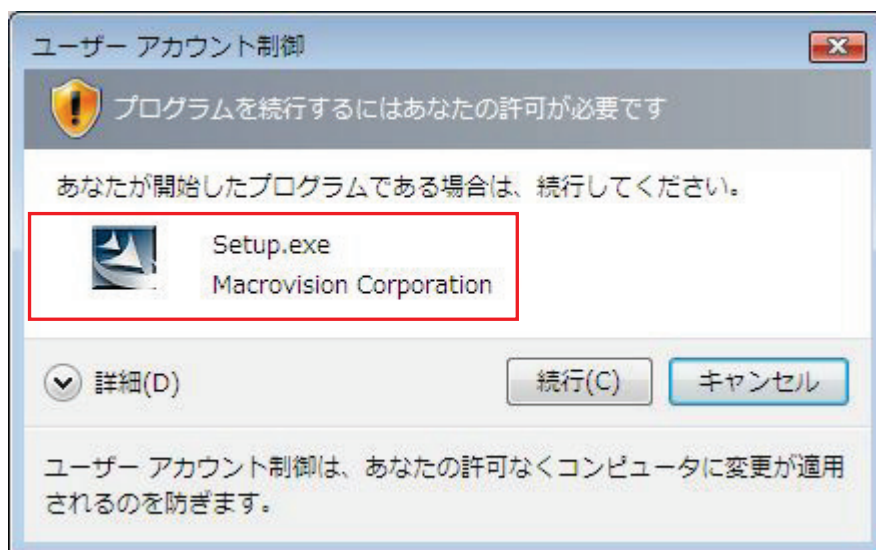
インストールの手順は、Windows XP 同様、インストール CD からファイル出力用プリンタードライバーGT-3 FileOutput とツール、マニュアル類をインストールし、PC を再起動します。その後、USB 2.0 ケーブルを PC に接続し、プリンターの電源を ON してから、プリンターに USB 2.0 ケーブルを接続します。ネットワーク印刷を行う場合は USB 2.0 で接続した後で、本マニュアルの手順に従ってネットワーク印刷関係の設定を行います。

まず、PC にファイル出力用プリンタードライバーGT-3 File Output をインストールします。

この段階では、まだプリンターを PC につながないでください。

<ご注意>PC には Administrators 権限でログインしてください。

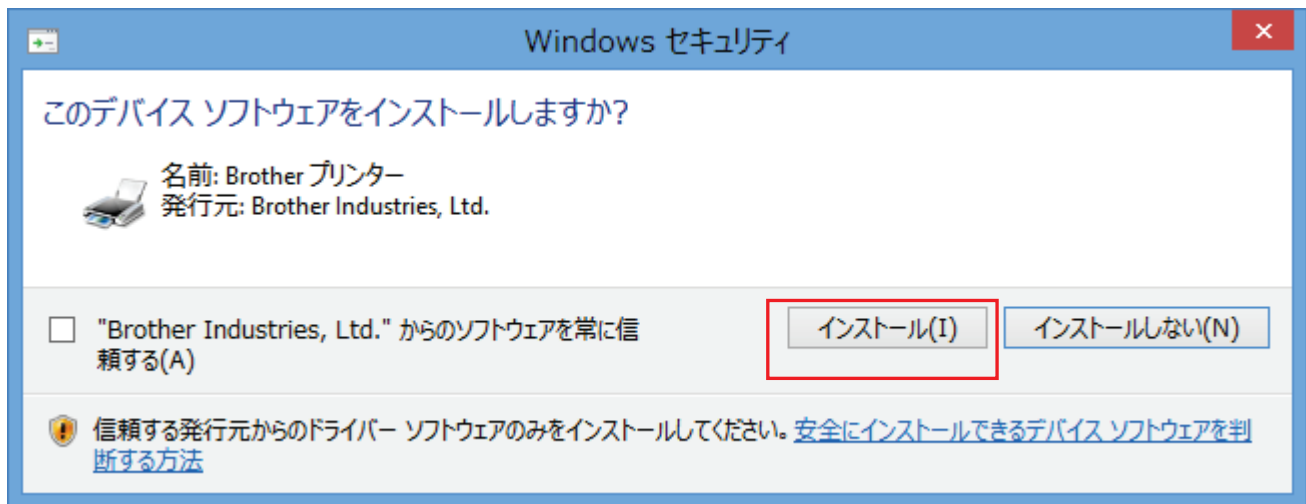
- (1) PC を起動してください。
- (2) すべての作業を終了してください。
- (3) インストール CD を PC に挿入してください。
“Setup.exe”をダブルクリックしてインストーラーを起動してください。
- (4) 画面が暗くなり、下記のダイアログが表示されることがあります (ユーザーアカウント制御 ON の場合)。**[許可]** を選択してください。



- (5) インストールが始まります。画面の指示に従って操作してください。

3. 設置と準備

- (6) 下記のダイアログが表示されたら、[インストール] を選び、続行してください。



Windows 8

- (7) インストールが終了したら、PC を再起動してください。PC とプリンターを直接 USB 2.0 ケーブルでつなぐに使う場合は、これで作業は終了です。

3-3-6. USB 2.0 ケーブルの接続: Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 用

- (1) プリンターの電源が OFF の状態で、USB 2.0 ケーブルをプリンターに接続してください。
- (2) USB 2.0 ケーブルの他端を PC に接続してください。
- (3) プリンターの電源を ON にしてください。インストールが自動的に行なわれます。PC のモニター右下に情報が表示されます。
- (4) インストールが終了したら、コントロールパネルの [プリンター] を開いてください。
- (5) [Brother GT-3] かまたはファイル出力用の [Brother GT-3 FileOutput] のアイコンを選択し [ファイル] メニュー (または右クリック) で [通常使うプリンターに設定] を選んでください。お使いのアプリケーションからレイアウトをする場合、用紙サイズに間違いがなく便利です。PC 側の設定はこれで終了です。

3-3-7. ネットワーク印刷の接続: Windows Vista / Windows 7 / Windows 8

3-3-7-1. PC の IP アドレス設定

<ご注意>

お使いの PC が既に IP アドレスの設定がされている場合は、次の”3-3-7-2. GT-3 の IP アドレス設定”に進んでください。

- (1) PC に IP アドレスの設定が行われていない場合は、PC を LAN ケーブルでネットワークに接続し、コントロールパネルから [ネットワークとインターネット] > [ネットワークと共有センター] を選択します。



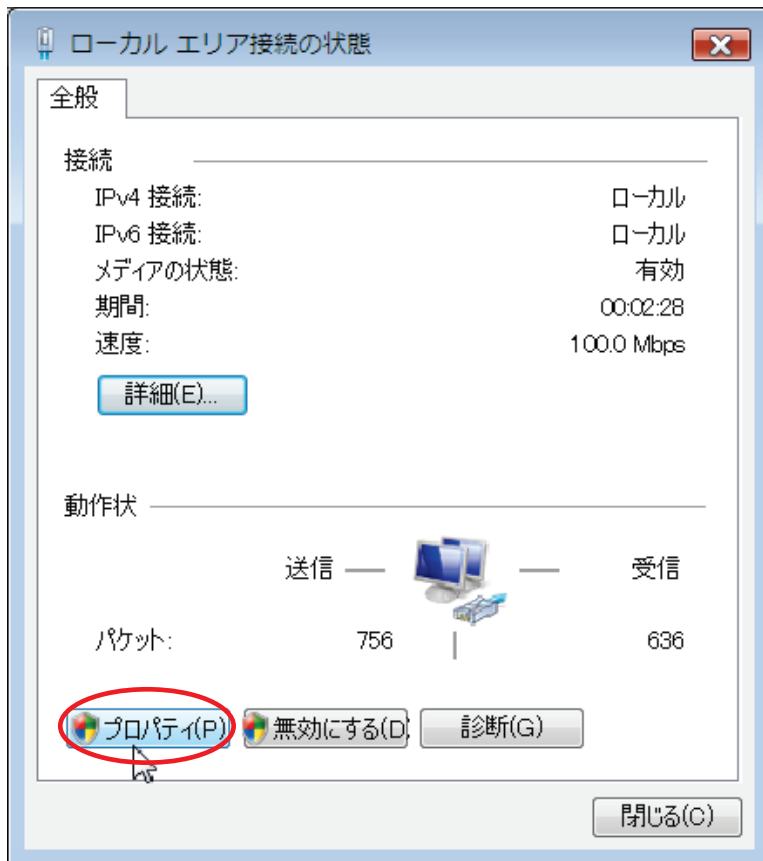
- (2) IP アドレスを設定したいネットワークの [接続] の [状態の表示] (Windows 7) をクリックします。



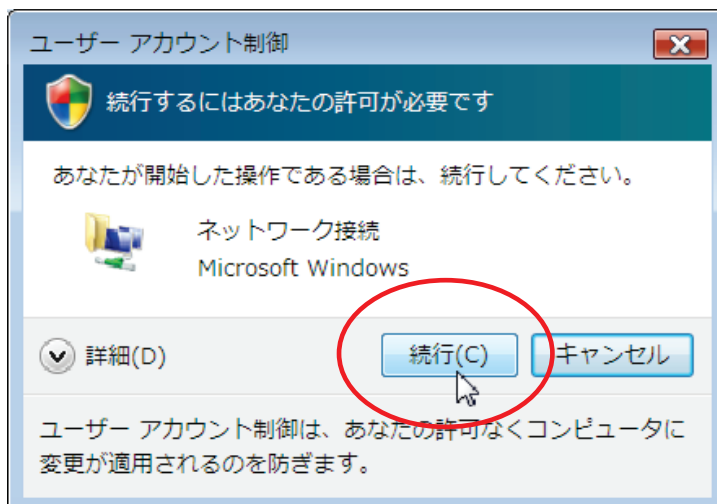
Windows 8 :
イーサネット等の
接続の種類

3. 設置と準備

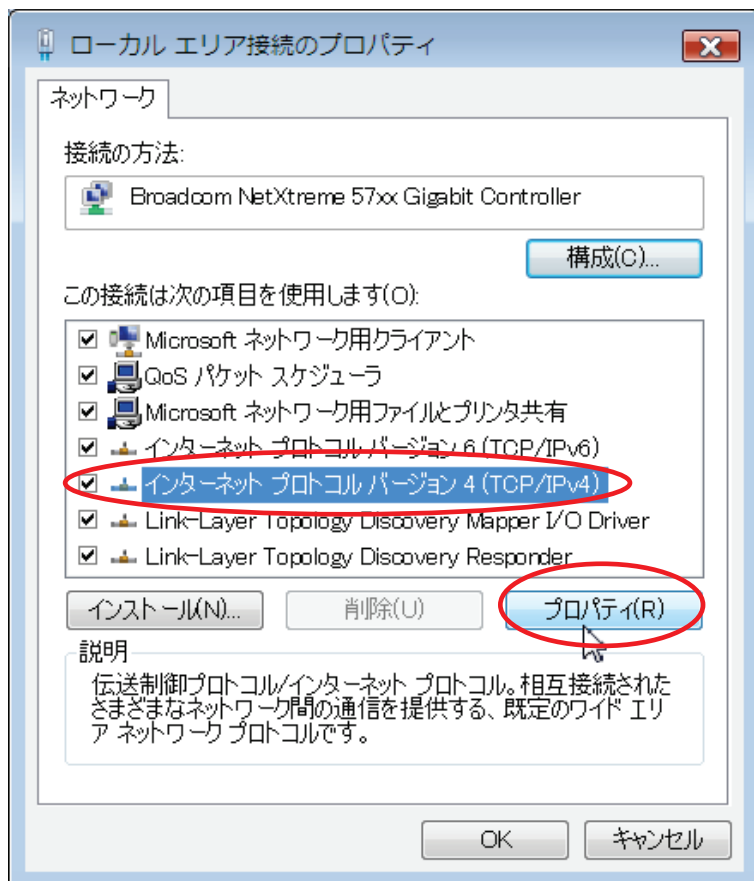
- (3) [プロパティ(P)] ボタンをクリックします。



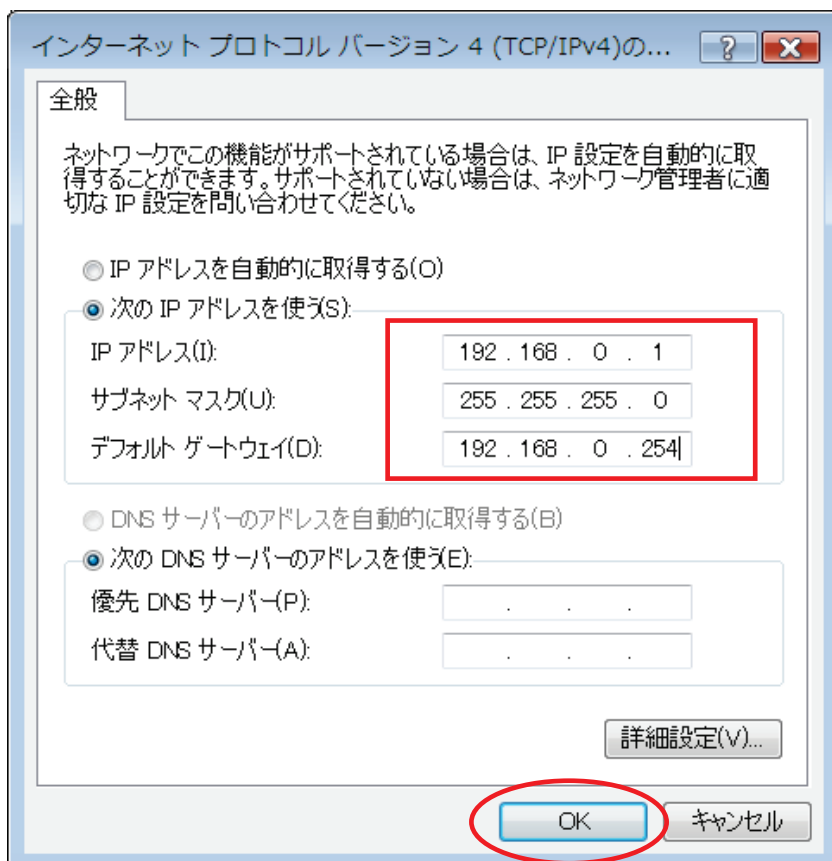
- (4) [ユーザーアカウント制御] が ON に設定されている場合、次のような警告画面が表示されます。
[続行] を押して、続行させてください。



- (5) [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ(R)] ボタンをクリックします。



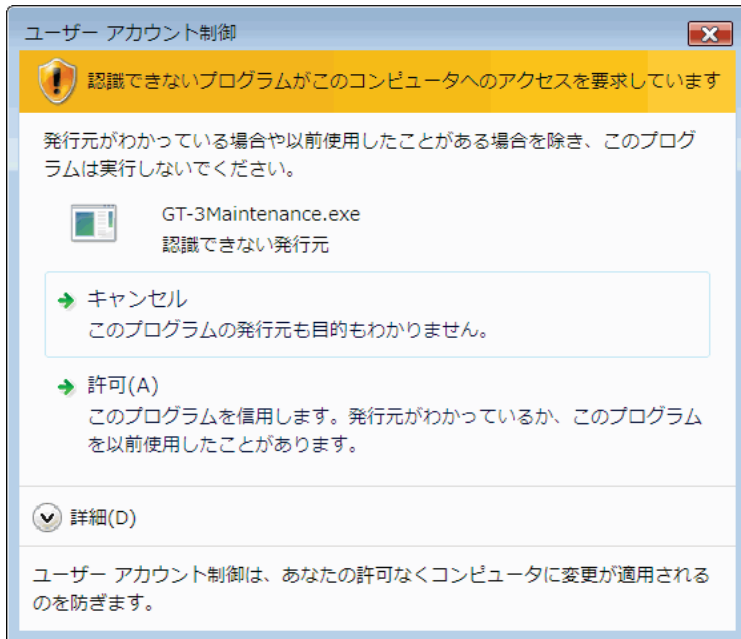
- (6) ネットワークに応じて、適切な IP アドレスとサブネットマスク、デフォルトゲートウェイ値を入力し、OK ボタンをクリックします。(値は一例)



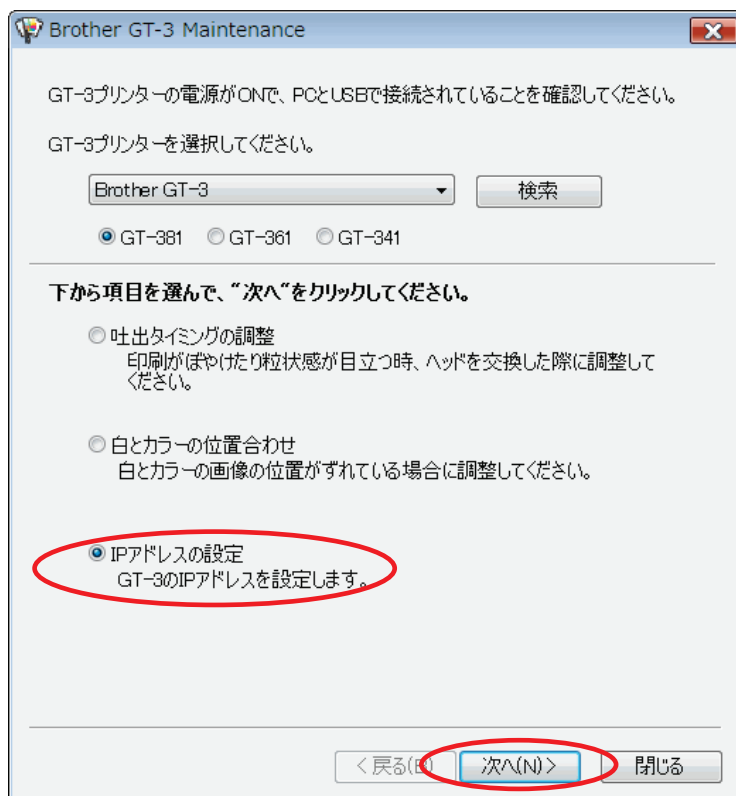
3-3-7-2. GT-3 の IP アドレス設定

PC の IP アドレス設定が完了したら、今度は GT-3 側の IP アドレス設定を行います。

- (1) [ユーザーアカウント制御] が ON に設定されている場合、次のような警告画面が表示されます。
[許可] を押して、続行させてください。



- (2) PC と GT-3 が USB ケーブルで接続された状態で GT-3 の電源を入れ GT-3 メンテナンスツールを起動します。IP アドレスの設定を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- (3) あらかじめ決定しておいたプリンターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。(値は一例)

The screenshot shows a dialog box titled "Brother GT-3 Maintenance". It is at "Step 1: IPアドレスを入力します。" (Step 1: Enter IP address). The instructions say "GT-3に設定するIPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを入力してください。" (Please enter the IP address, subnet mask, and default gateway to be set on GT-3). There are three input fields: "IPアドレス" (192 . 168 . 0 . 2), "サブネット マスク" (255 . 255 . 255 . 0), and "デフォルト ゲートウェイ" (192 . 168 . 0 . 254). A red box highlights these three input fields. At the bottom, there are three buttons: "<戻る(B)", "次へ(N)>", and "キャンセル". The "次へ(N)>" button is circled in red.

- (4) GT-3 に IP アドレスが設定されました。

The screenshot shows the same dialog box, now at "Step 2: IPアドレスを設定しました。" (Step 2: IP address has been set). The instructions say "GT-3にIPアドレスが正しく設定されました。" (The IP address has been correctly set on GT-3). The input fields are no longer present. At the bottom, there are three buttons: "<戻る(B)", "次へ(N)>", and "キャンセル". The "次へ(N)>" button is highlighted in blue.

- (5) 前頁の(2)で入力した IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイにエラーがある場合はその旨が表示されます。エラーのある箇所を訂正して設定し直してください。

3-3-7-3. LAN 接続の GT-3 プリンター設定

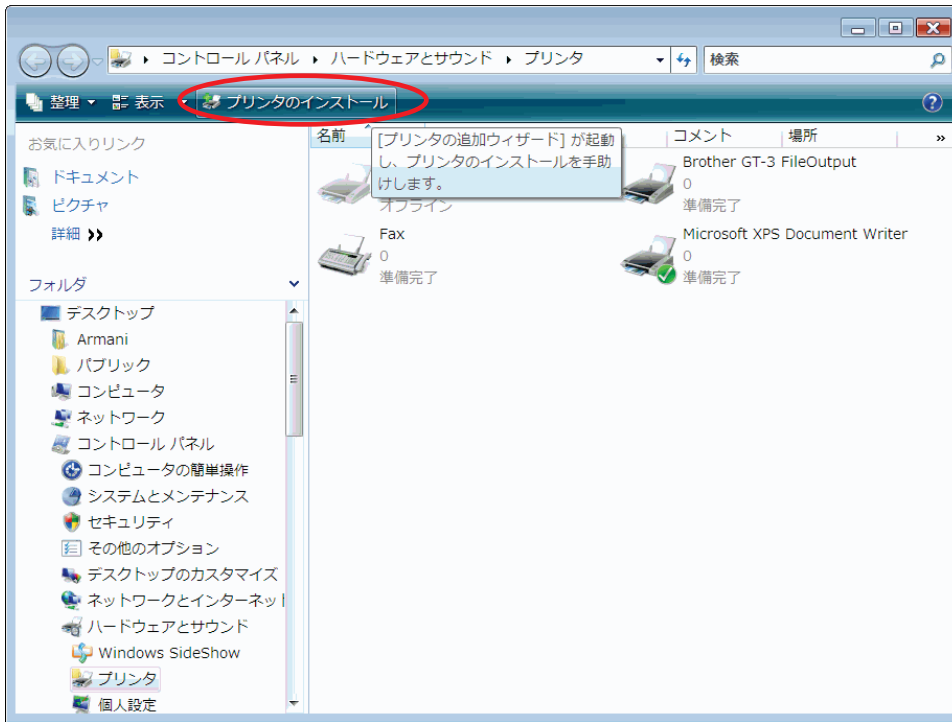
- (1) PC と GT-3 を LAN ケーブルでネットワークに接続し、GT-3 の電源を入れます。

Windows Vista: [コントロールパネル] から [プリンター] を選びます。

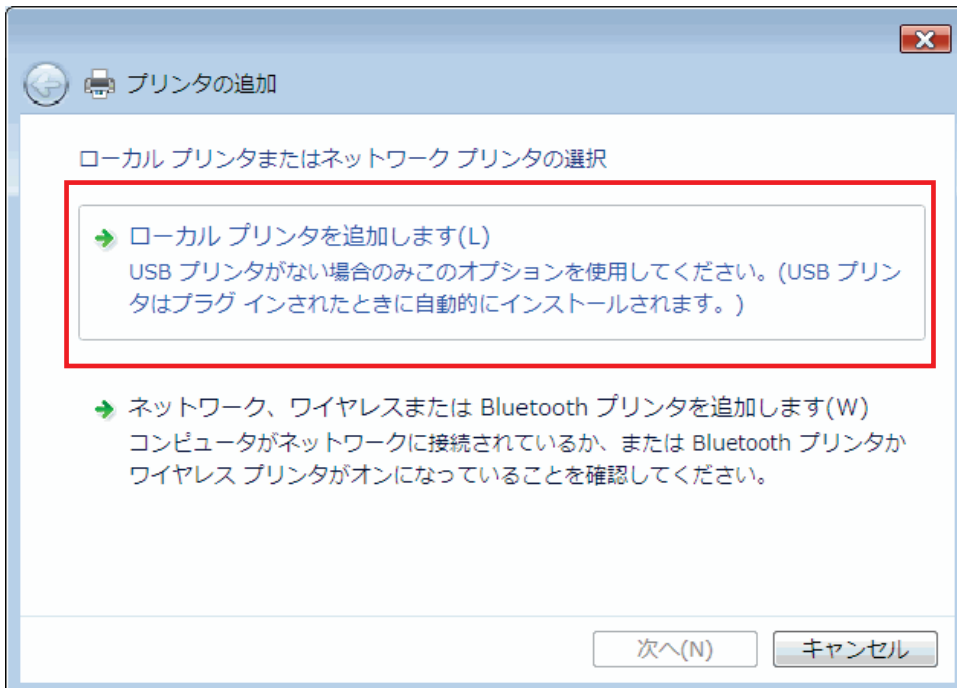
Windows 7: [コントロールパネル] から [デバイスとプリンター] を選びます。

Windows 8: [コントロールパネル] から [デバイスとプリンターの表示] を選びます。

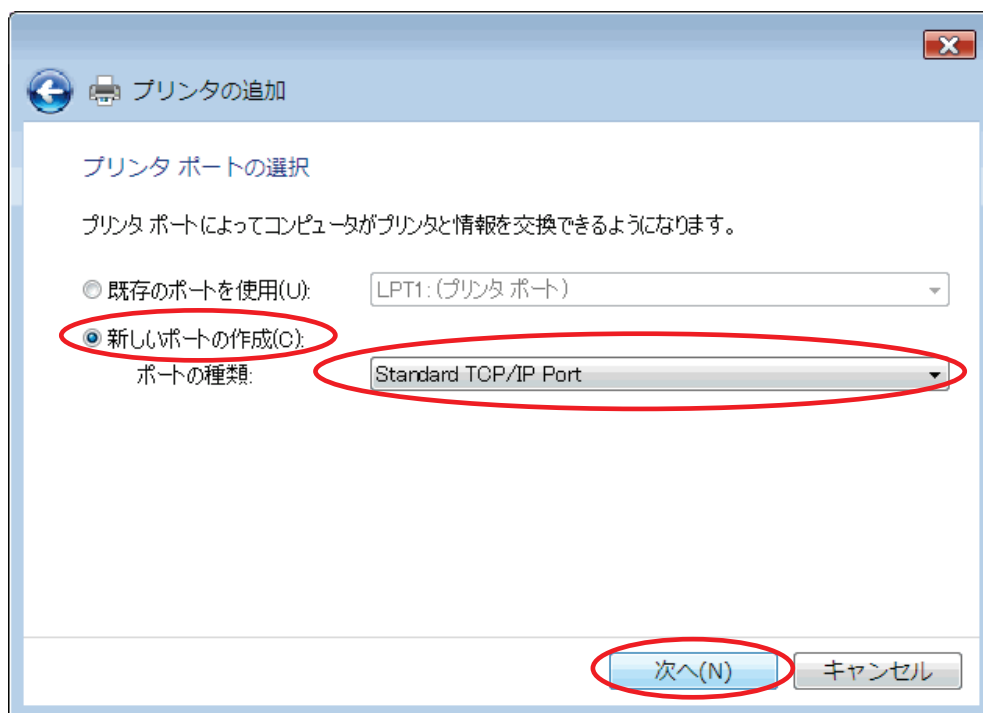
[プリンターのインストール] をクリックします。



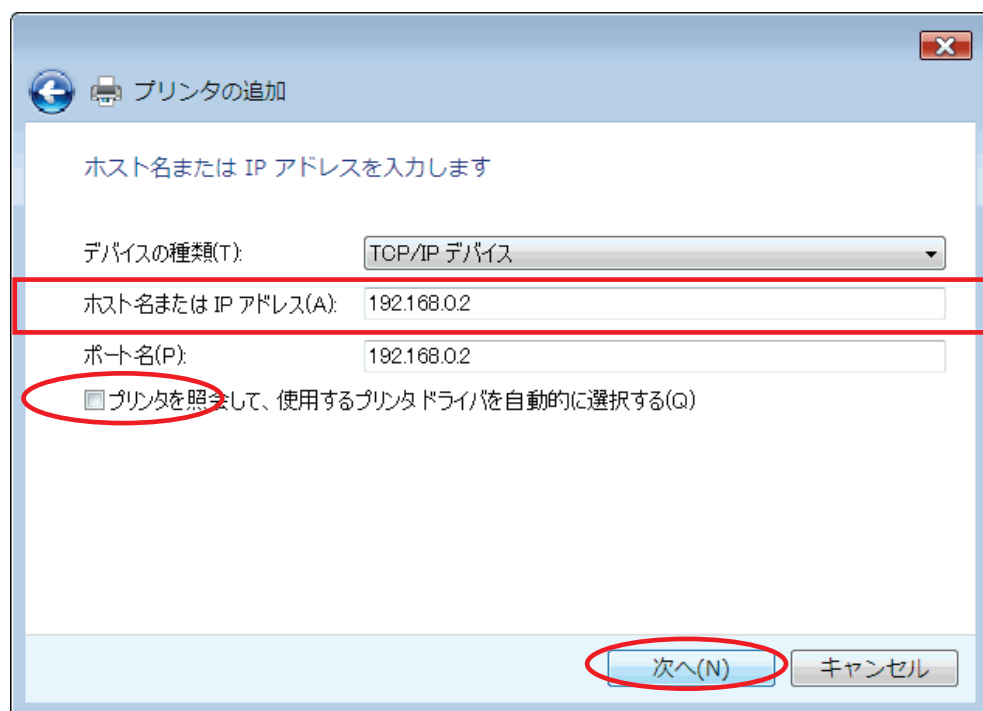
- (2) インストールするプリンターの種類で、[ローカルプリンタを追加します] を選択します。



- (3) プリンターポートの選択で、[新しいポートの作成] を、ポートの種類に [Standard TCP/IP Port] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

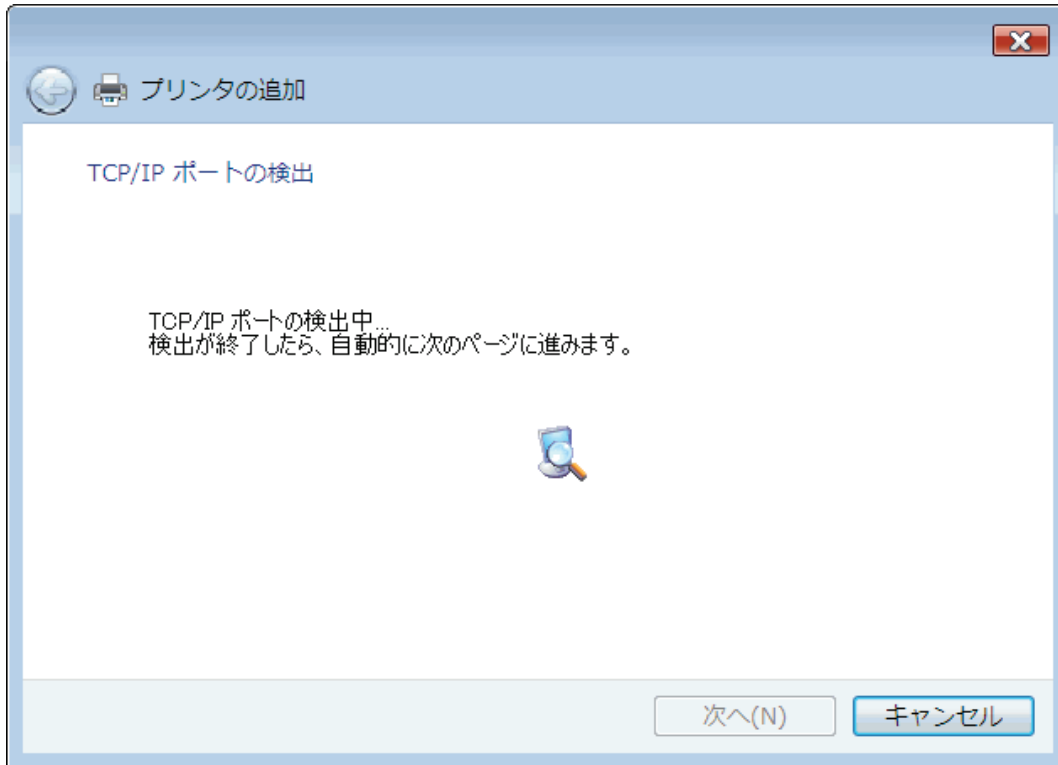


- (4) [ホスト名または IP アドレス] に”3-3-7-2. GT-3 の IP アドレス設定”のステップ(2)で入力した GT-3 の IP アドレスを入力し、[プリンターを照会して、使用するプリンタードライバーを自動的に選択する] のチェックをはずし、[次へ] ボタンをクリックします。

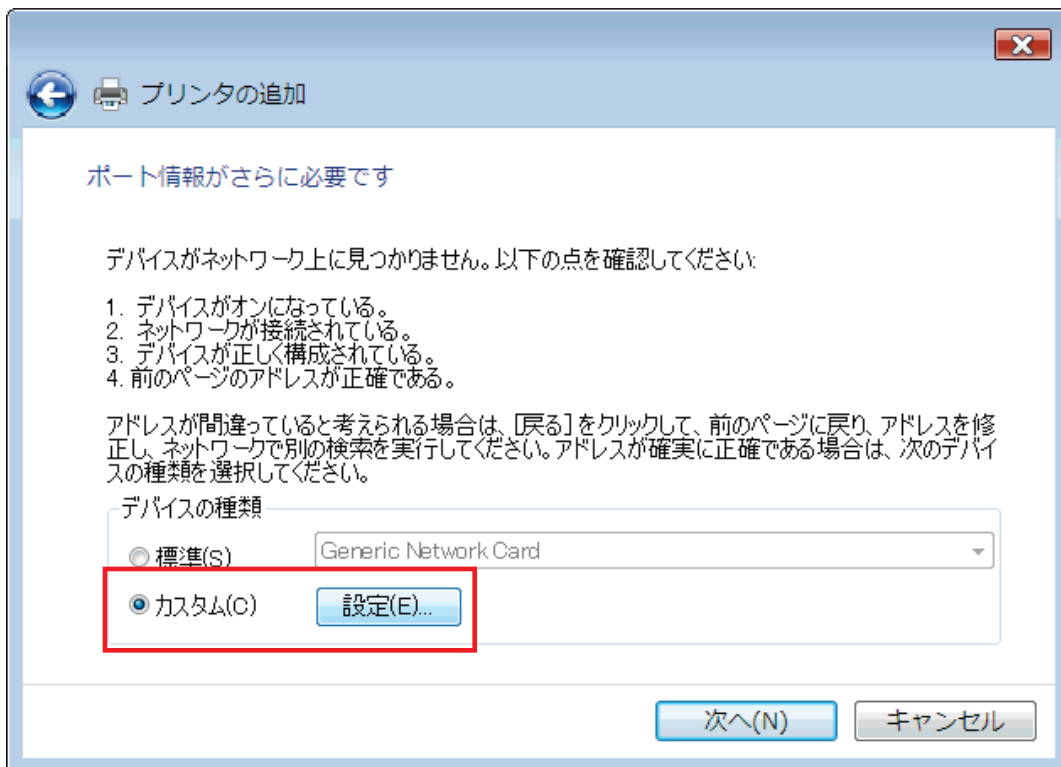


3. 設置と準備

- (5) TCP/IP ポートの検出画面が表示され、自動的に追加のポート情報画面に変わります。



- (6) [デバイスがネットワーク上に見つかりません] メッセージが表示されます。追加のポート情報が表示されるので、デバイスの種類で [カスタム] を選択し、[設定] ボタンをクリックします。



- (7) 下記の画面で、プロトコルの [LPR(L)] を選択し、LPR 設定のキュー名に [BINARY_P1] と入力し、[OK] ボタンをクリックします。

標準 TCP/IP ポート モニタの構成

ポートの設定

ポート名(P): 192.168.0.2

プリンタ名または IP アドレス(A): 192.168.0.2

プロトコル

Raw(R) LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q): BINARY_P1

LPR バイト カウントを有効にする(B)

SNMP ステータスを有効にする(S)

コミュニティ名(C): public

SNMP デバイス インデックス(D): 1

OK キャンセル

- (8) [次へ] ボタンをクリックします。

プリンタの追加

ポート情報がさらに必要です

デバイスがネットワーク上に見つかりません。以下の点を確認してください

1. デバイスがオンになっている。
2. ネットワークが接続されている。
3. デバイスが正しく構成されている。
4. 前のページのアドレスが正確である。

アドレスが間違っていると考えられる場合は、[戻る] をクリックして、前のページに戻り、アドレスを修正し、ネットワークで別の検索を実行してください。アドレスが確実に正確である場合は、次のデバイスの種類を選択してください。

デバイスの種類

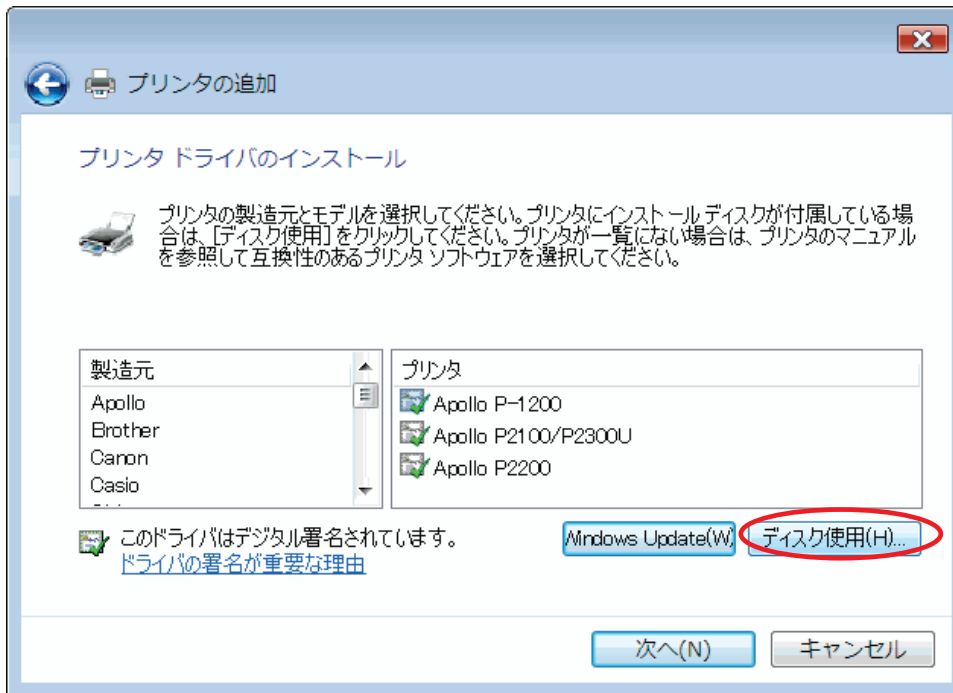
標準(S) Generic Network Card

カスタム(C) 設定(E)...

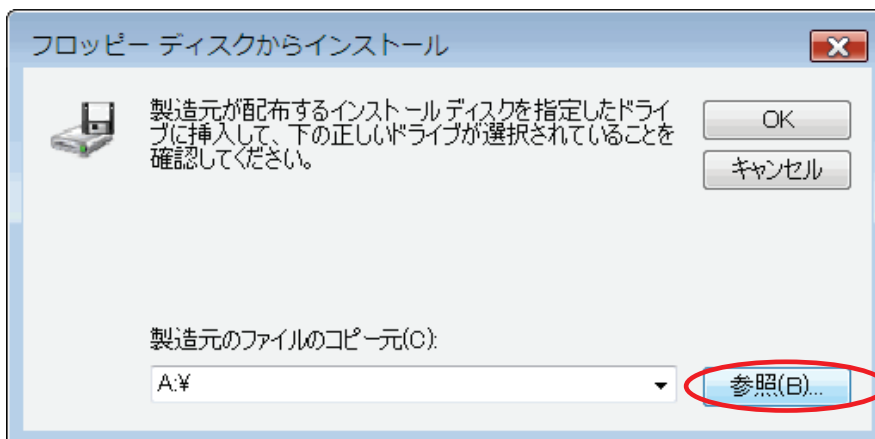
次へ(N) キャンセル

3. 設置と準備

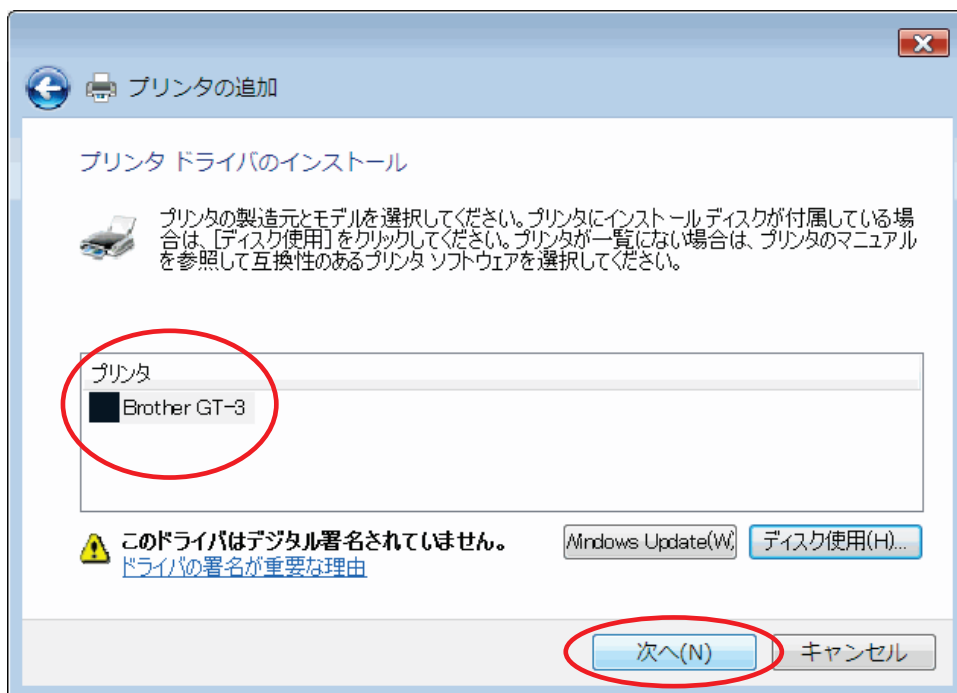
- (9) プリンターの追加ウィザードに戻ります。下記の [ディスク使用] ボタンをクリックします。



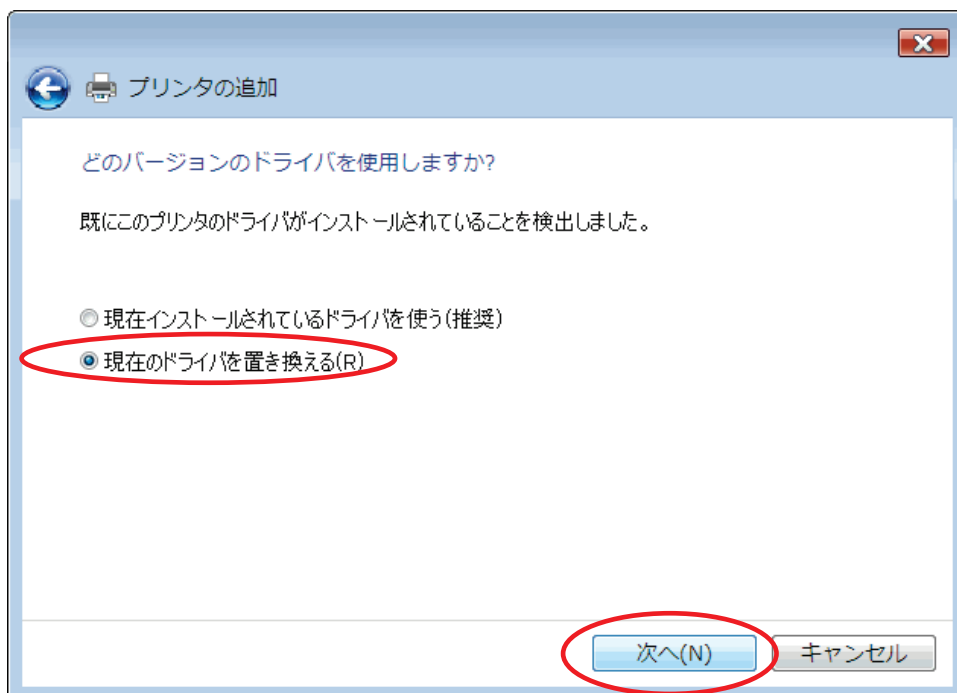
- (10) [参照] ボタンをクリックして、PC の OS (32 ビット版/64 ビット版) に従って、インストーラーの中の [32bit_OS] または [64bit_OS] フォルダを選択します。



- (11) 選択したフォルダーのプリンタードライバーの一覧が表示されます。[次へ] ボタンをクリックします。



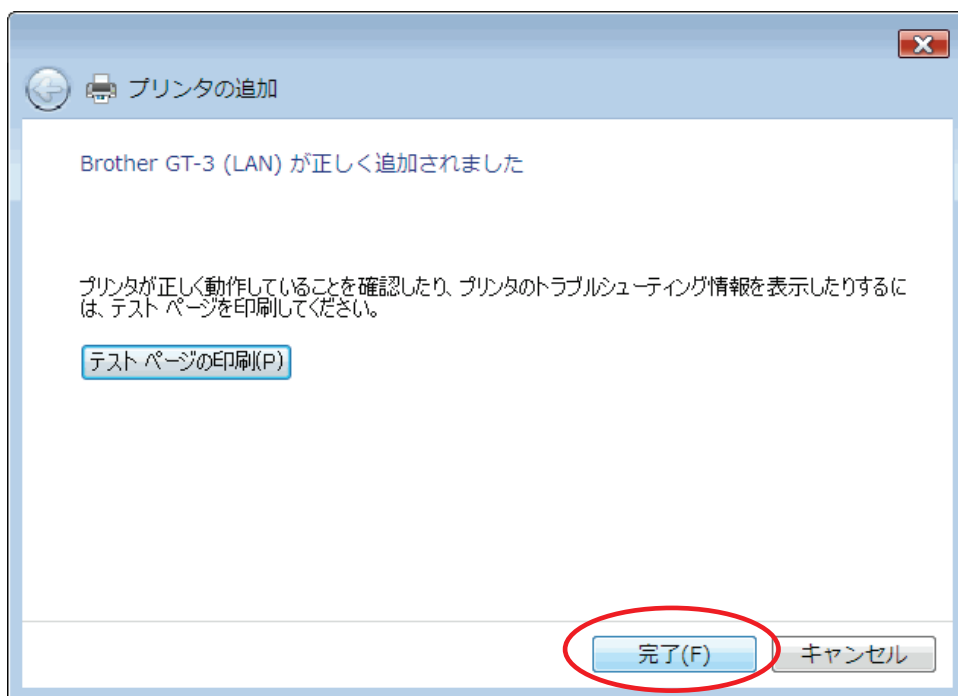
- (12) どのバージョンのドライバーを使用するか聞いてくるので、[現在のドライバーを置き換える]を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- (13) プリンター名、[プリンター共有をしない]、必要に応じて[通常使うプリンターに設定する]を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

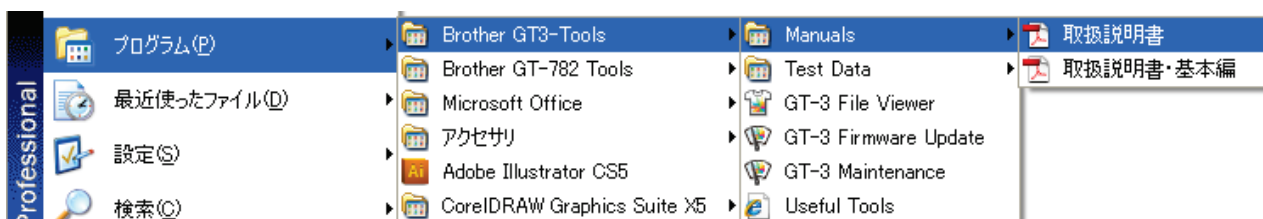
3. 設置と準備

- (14) GT-3 プリンターが正しく追加されたメッセージが表示されました。 [完了] ボタンをクリックして終了します。



3-3-8. マニュアルの開き方

- (1) [スタート] の [すべてのプログラム] を選んでください。
(2) [Brother GT-3 Tools] の下の [Manuals] を選んでください。



- (3) 開きたいマニュアルを選んでください。マニュアルの言語はインストール時に決めた言語です。

<参考>

選択した言語のマニュアルのみ、ここから開くことができます。それ以外の言語（日本語を含む）はインストール CD の [Manual] フォルダー内にあります。別途 PC にコピーしてお使いください。

3-3-9. Useful Tools の開き方

Useful Tools は、お使いの PC の [Brother GT-3 Tools] の下にインストールされます。

Adobe Photoshop、Illustrator、CoreIDRAW 用カラーパレット

Adobe Photoshop 用のカラーパレット“GT_Colors_T.aco”、Illustrator 用のファイル“GT_Colors_T.ai”、そして CoreIDRAW 用のカラーパレット“GT_Colors.cpl”と“GT_Tshirts.cpl”を用意しています。

中身は [すべてのプログラム] にある [Brother GT-3 GTTools] にあるカラーチャート ColorChart_1200.ar3 または ColorChart_600.ar3 と同じ RGB 値になっていますので、プリンタードライバーをデフォルトの設定で用いる場合の色再現の確認、また画像データを作成・編集する際の色見本としてお使いください。(CoreIDRAW は同じ色を同一パレット内に含めることができませんので、ファイルが 2 つに分かれています。)

- (1) [スタート] の [すべてのプログラム] を選んでください。
- (2) [Brother GT-3 Tools] の下の [Useful Tools] を選んでください。



- (3) 必要なファイル名をクリックして、画面の指示に従って操作してください。
- (4) カラーパレットを各アプリケーションで使うには、“4-2. アプリケーションの印刷条件の設定”の各ページをご覧ください。ただ、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

プラテンシートへのグリッド印刷

- (1) PC の [すべてのプログラム] にインストールされた [Brother GT-3 Tools] の下の [Useful Tools] を開きます。
- (2) プラテンのサイズに合ったグリッドサイズの AR3 ファイル (例えば、Grid14x16.ar3) をダブルクリックして開き、プリンターに送信してください。
- (3) T シャツをセットせずに、グリッドを直接プラテンシートに印刷します。印刷後は布や紙で軽く押さえてインクを乾かしてください。

<参考>

プラテンシートを新しいものに交換する場合にお使いください。

Photoshop 用アクションファイル

Photoshop で画像データを編集する際に、RGB=255 白を RGB=254 にする“SolidWhite.atn” (“4-2-3. Adobe Photoshop”参照) と、プリンタードライバーで透明レイヤーの処理の一部を補助する“TransLayer.atn” (“4-3-13. 透明レイヤーを含む画像データの印刷”を参照) があります。作業を効率化する時にご利用ください。詳しい使い方は、Photoshop のヘルプをご覧ください。

色見本ファイル (PDF)

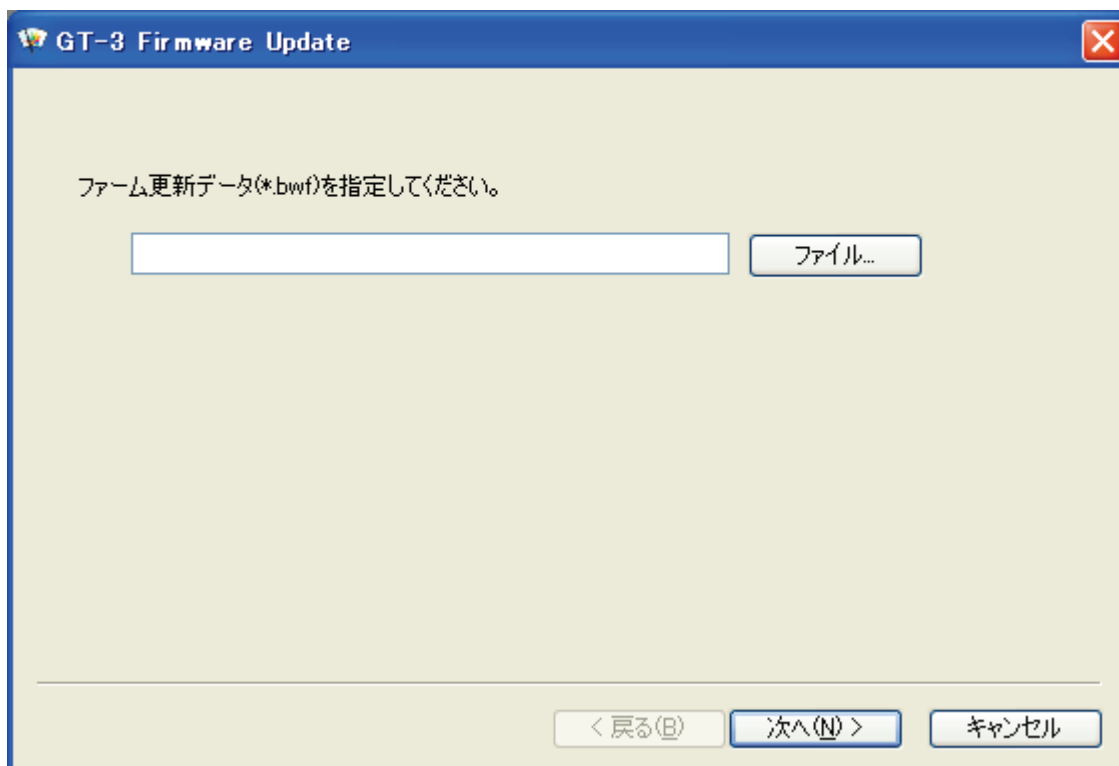
印刷データであるカラーチャート (ColorChart_1200.ar3 および ColorChart_600.ar3) とは別に、画像データ (PDF) で色見本ファイルを作りました。青、緑、オレンジ、赤、そしてカラーチャートと同じ画像データが格納されています。画像データなので、プリンタードライバーの設定による色再現の差を確認することができます。プラテンは 14x16 をお使いください。

- (1) PC の [すべてのプログラム] にインストールされた [Brother GT-3 Tools] の下の [Useful Tools] を開きます。
- (2) 青～紫 (GT_Blues.pdf)、緑～黄緑 (GT_Green.pdf)、オレンジ (GT_Oranges.pdf)、赤～赤紫 (GT Reds.pdf)、カラーチャート (GT_ColorChart.pdf) を開くか、ファイルを PC にコピーしてお使いください。

3-3-10. ファームウェア更新ツールの使い方

新しいファームウェアがリリースされた場合、まずファームウェアの更新データをブラウザの Web ページからダウンロードしてください。[Brother GT-3 Tools] の下にある GT-3 Firmware Update ツールで更新データを読み込んだのちに、プリンター側のファームウェアをアップデートします。

- (1) [スタート] の [すべてのプログラム] を選んでください。
- (2) [Brother GT-3 Tools] の下の [GT-3 Firmware Update] を選んでください。GT-3 ファームウェア更新ツールが起動します。
- (3) ファームウェアの更新プログラム (.bwf) を読み込みます。



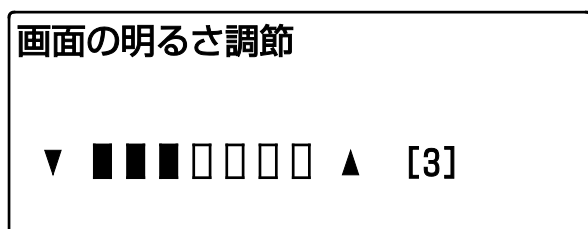
- (4) 画面の手順に従って、PC とプリンターを USB ケーブルで接続し、ファームウェアを更新してください。

3-4. プリンターの設定

ディスプレイのコントラストやスピーカー音量などを調整してください。

3-4-1. 画面の明るさ調節

- (1) プリンターの操作パネル上の [OK ボタン] を押してメニューに入ってください。
- (2) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して、[プリンター設定] > [画面の明るさ調節] を選び、[OK ボタン] を押してください。下記のメニューが表示されます。

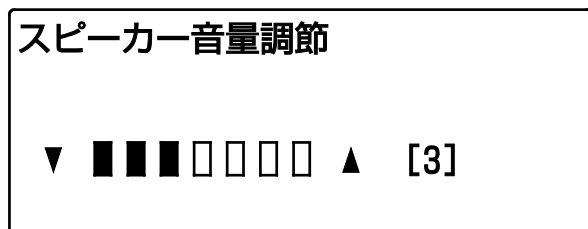


0010Y

- (3) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して文字のコントラストを 0 から 7 の範囲で調整し、[OK ボタン] を押してください。

3-4-2. スピーカー音量の調整

- (1) プリンターの操作パネル上の [OK ボタン] を押してメニューに入ってください。
- (2) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して、[プリンター設定] > [スピーカー音量] を選び、[OK ボタン] を押してください。下記のメニューが表示されます。



0011Y

- (3) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して音量を 0 から 7 の範囲で調整し、[OK ボタン] を押してください。

3-4-3. 温度表示の設定

- (1) プリンターの操作パネル上の [OK ボタン] を押してメニューに入ってください。
- (2) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して、[プリンター設定] > [温度表示設定] を選び、[OK ボタン] を押してください。
- (3) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して温度表示を Fahrenheit (華氏) / Centigrade (摂氏) から選択し、[OK ボタン] を押してください。

3-4-4. 言語設定

- (1) プリンターの操作パネル上の [OK ボタン] を押してメニューに入ってください。
- (2) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して、[言語設定] を選び、[OK ボタン] を押してください。
- (3) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して言語を English (英語) / Español (スペイン語) / Français (フランス語) / Deutsch (ドイツ語) / Italiano (イタリア語) / 日本語 / 中文 (中国語) から選択し、[OK ボタン] を押してください。

4. アプリケーションから直接印刷する

警告



万一異物が本機の内部に入った場合、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買求めの販売店または訓練を受けた技術者にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



本機を液体でぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。万一、プリンター内に液体が入ったときは、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買求めの販売店または訓練を受けた技術者にご連絡ください。



煙が出ている、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。速やかに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買求めの販売店または訓練を受けた技術者にご連絡ください。

注意



本機は、安全に操作するための訓練を受けた人のみが使用してください。



プラテンを手で動かさないでください。本機に深刻な故障を与える原因になります。



本機が故障した場合、お買求めの販売店または訓練を受けた技術者にご連絡ください。

4-1. 基本的な印刷手順

- (1) アプリケーションのカラー設定や印刷条件を適切に設定します。プリンタードライバーはどのアプリケーションからでも印刷することが可能ですが、詳細な印刷結果を得るために、高解像度（200 dpi 以上）の画像を扱うことができる Adobe Photoshop、Illustrator、CorelDRAW、Paint Shop Photo Pro などの画像編集ソフトのご使用をお勧めいたします。各アプリケーションの詳細な設定は、“4-2. アプリケーションの印刷条件の設定”を参照してください。
- (2) 適切な画像編集アプリケーションを用いて、画像データを作成します。この時、真っ白に印刷したい画像は RGB=(254, 254, 254) [以下“RGB=254”と記述]にしてください。RGB=(255, 255, 255) [以下“RGB=255”と記述]白は透明色（印刷しない色）として扱います。
- (3) [ファイル] > [印刷] メニューでプリンタードライバーの設定をしたのち、印刷を実行します。
“4-3. プリンタードライバーの設定”を参照してください。
- (4) プリンターの電源を ON にします。
“3-2-1. プリンターの電源 ON”を参照してください。
- (5) 白インクの白さを保つため、白インクの入替えを行います。“6-1-1. 白インクの入替えおよび吐出の確認（印刷開始前、1日1回）”を参照してください。また、カラー側も含めてテスト印刷を行い、インクの吐出を確認します。“7-2-3. ノズルチェックパターンで印刷品質を確認”を参照してください。
- (6) プリンターに印刷データを送信します。直接印刷用の USB 2.0 用 GT-3 Printer Driver か LAN 用 GT-3 Printer Driver、または印刷ファイル (*.ar3) 出力用の GT-3 FileOutput Printer Driver のいずれかのプリンター（プリンタードライバー）を選択してください。
印刷ファイル (*.ar3) をプリンターに送信するには、“5. AR3 ファイルの印刷”を参照してください。
- (7) ステップ (3) “4-3. プリンタードライバーの設定”で選んだプラテンを本体に取り付けます。
“4-4. プラテンの着脱”を参照してください。
- (8) T シャツ（白インクを使う場合は前処理済みのもの、“4-6-1. 前処理剤の塗布”を参照してください。）をプラテンに装着し、プラテンの高さを調節します。“4-5. T シャツをプラテンに装着”を参照してください。
- (9) 操作パネル上のプリントボタンを押して印刷を開始してください。“4-6-2. 1 枚印刷する”を参照してください。
- (10) 印刷済みの T シャツをプラテンから取り外します。
“4-7. 印刷物のプラテンからの取り外し”を参照してください。
- (11) T シャツのインクを熱定着します。
熱定着にはオープンまたはホットプレスをご利用ください。“4-8. 印刷物のインクを定着”を参照してください。
- (12) 所望の印刷枚数が印刷し終わるまで、(8) から (11) までを繰り返してください。
- (13) プリンターに必要な定期メンテナンス、および長期（2週間以上）放置時のプリンターの保存方法は、“6. メンテナンス”の各項目を参照してください。
- (14) プリンターの電源を OFF します。“3-2-2. プリンターの電源 OFF”を参照してください。

4-2. アプリケーションの印刷条件の設定

この章ではアプリケーションの適切な印刷条件について説明します。

4-2-1. すべてのアプリケーションへの共通項目

カラーモード（カラースペース）：

GT-3 プリンターは RGB (Red Green Blue) プリンターです。Adobe や Corel のアプリケーションをお使いになる場合、CMYK (Cyan Magenta Yellow Black) モードの画像は期待通りの色再現ができないことがあります（特に黄・紫・黒色域）。画像データは必ず RGB モードで作成し、その際に使用するカラースペース（インプット）は必ず sRGB “sRGB IEC61966-2.1” にしてください。RGB モードでも Adobe RGB 等の他カラースペースは同様のカラーマッピングの不具合が発生します（色が淡くなる傾向あり）。

4. アプリケーションから直接印刷する

印刷レイアウト：

プリンターの印刷範囲（プラテンサイズ 14x16）は A3 より幅広の 355.6 mm x 406.4 mm です。どのアプリケーションも A4 またはレターの印刷範囲を想定し、それぞれの特徴に応じた入力データを貼り付ける決まりを持っています。例えば、Microsoft Internet Explore は入力データをセンタートップに配置し、同じく Microsoft Power Point はセンターミドルに配置します。一方、GT-3 プリンターは印刷範囲が A4 やレターではありませんので、これらのアプリケーションの印刷メニューから印刷された場合、思いがけない位置に配置されてしまうことがあります。この問題を避けるためには、[印刷] メニューの中の [用紙サイズ] 指定をプラテンサイズ（プラテンサイズ 14×16、355.6mm×406.4mm）にしてレイアウトを確認しながら印刷作業を進め、ファイル出力用の“GT-3 FileOutput” プリンタードライバースタイルを利用して、印刷プレビューを確認してください。

印刷範囲の問題を避けるためにも、GT-3 プリンターを PC の [通常使うプリンターに設定] にしていただくことをお勧めします。“3-3-3. USB 2.0 ケーブルの接続：Windows XP 用” または “3-3-6. USB 2.0 ケーブルの接続：Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 用” の最後をご覧ください。

白データの作り方：

プリンタードライバースタイルで、白インクのみでの印刷データまたはカラー+白インクの印刷データを作ることができます。カラー画像を白インクのみで印刷すると、モノクロ画像になります。真っ白に印刷したい部分は RGB=254 白で塗りつぶしてください。RGB=255 白は透明色（印刷しない色）として扱います。写真データのように、画像中のどこかに RGB=255 白が含まれている可能性がある場合、印刷データに穴があく（印刷されない部分が発生する）ことがありますので、印刷ファイル（AR3 ファイル）で確認することをお勧めします。また、各アプリケーションで色域指定をしたり、明度調整をする方法は、次項あるいはそれぞれのヘルプ・マニュアルをご覧ください。マスク白やハイライト白のインク量はプリンタードライバースタイルで調整することができます。

印刷のキャンセル：

プリントボタンが押されるまで印刷は開始されません。プリンター内蔵のメモリーは 1 枚分のデータのみを保持し、印刷データは実際に印刷実行されたかどうかにかかわらず、次のデータが送信されれば上書きされます。

<重要>

印刷不要の印刷データを送信してしまった場合、印刷ジョブのキャンセルをコントロールパネルの [プリンターと FAX (Windows XP)] や [プリンター (Windows Vista)]、[デバイスとプリンター (Windows 7)]、[デバイスとプリンターの表示 (Windows 8)] からキャンセルしないでください。通信の問題でプリンターを再起動する必要が発生することがあります。

AR3 ファイルの印刷：

ファイル出力用の“GT-3 FileOutput” プリンタードライバースタイルを用いると AR3 形式で印刷データを保存すると、印刷データの情報やインク使用量を確認することができます。“5. AR3 ファイルの印刷” を参照してください。

<重要>

各アプリケーションが用意している“ファイルへ出力” コマンドはファイル出力先や拡張子が指定できないことがあるので、使わないでください。

<ご注意>

- GT-541/GT-782 の印刷データ（AR3 ファイル）は GT-3 で印刷できません。
- アプリケーションにより異なりますが、プリンタードライバースタイルの設定は 1 枚の印刷処理のみに有効です。
- PC のコントロールパネルからのプリンタードライバースタイルの設定は、各アプリケーションで有効にならないことがあります。印刷前にプリンタードライバースタイルの設定を確認してください。

4-2-2. CorelDRAW

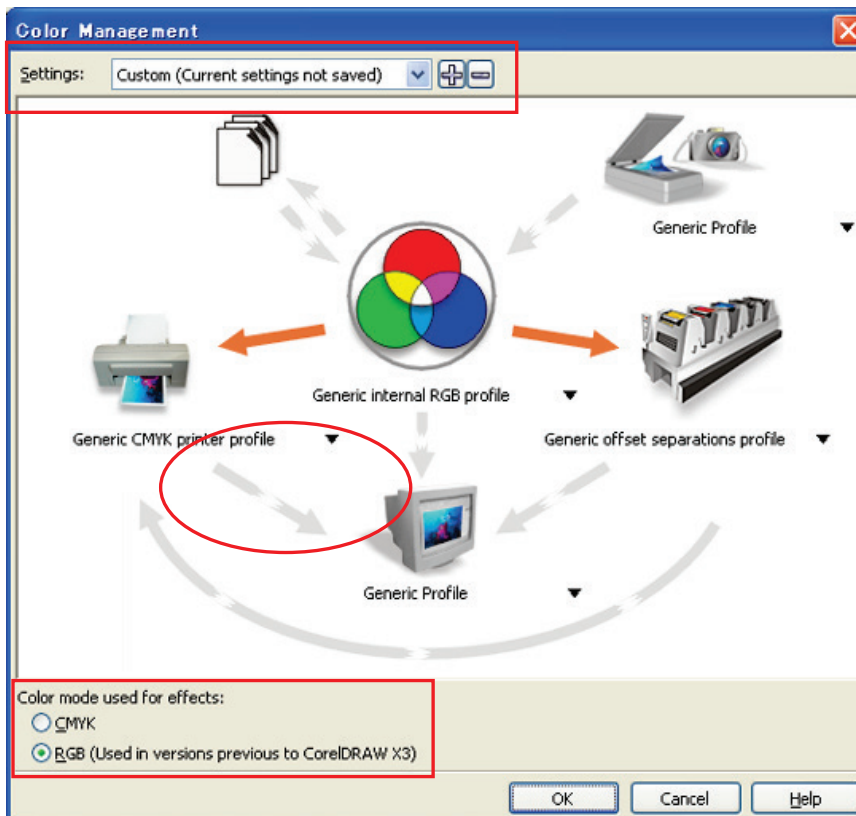
カラー設定 :

- (1) [ツール] > [カラーマネージメント] を選択してください。
- (2) CorelDRAW 10/11/12: スタイル : [カラーマネージメントオフ] を選択してください。



CorelDRAW 10/11/12

CorelDRAW X3/X4: 下の RGB ラジオボタンを選択し、その後左上のメニューが [デフォルト設定] から [カスタム] になるのを確認してください。また、左下のオレンジ色矢印 (一般 CMYK プリンタープロファイル から一般プロフィール) をクリックして OFF (グレー) にしてください。



CorelDRAW X3/X4 (英語版)

4. アプリケーションから直接印刷する

CorelDRAW X5: 下記のように設定し、[OK] をクリックして下さい。

デフォルトのカラー設定

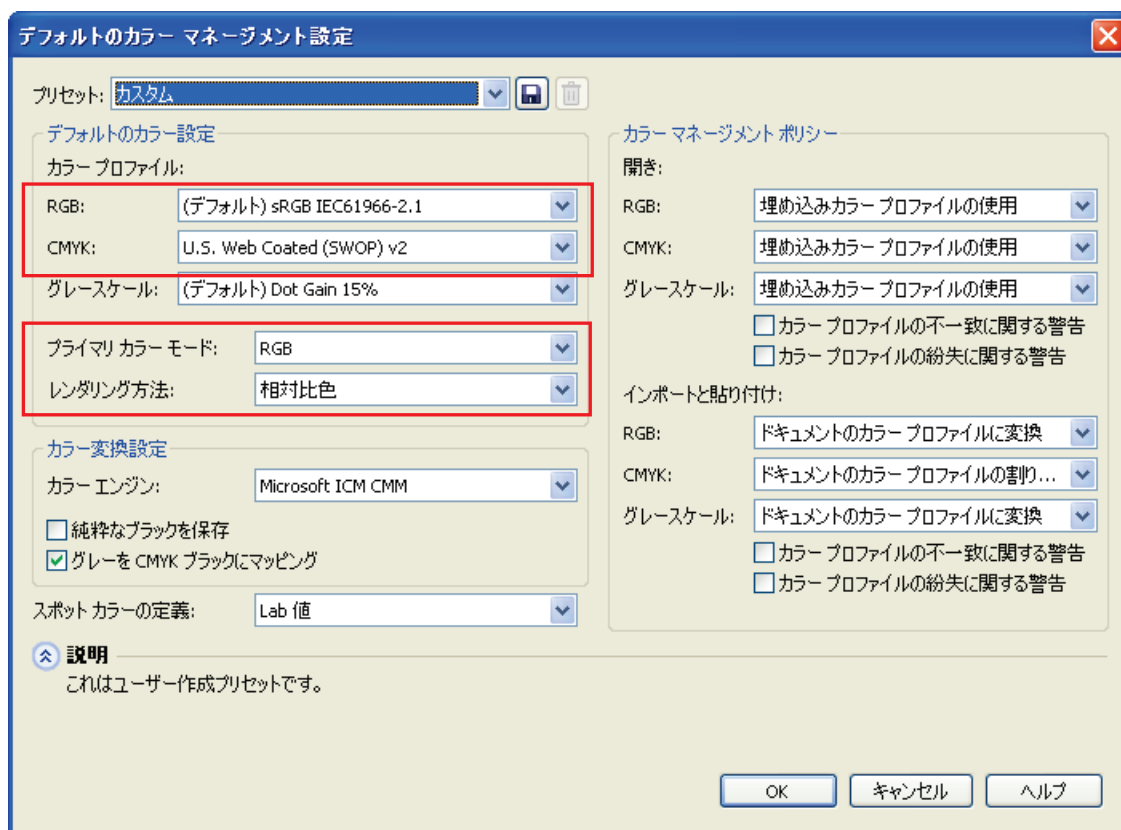
カラープロファイル

RGB: sRGB IEC61966-2.1

CMYK: U.S. Web Coated (SWOP) v2

プライマリ カラーモード: RGB

レンダリング方法: 相対比色

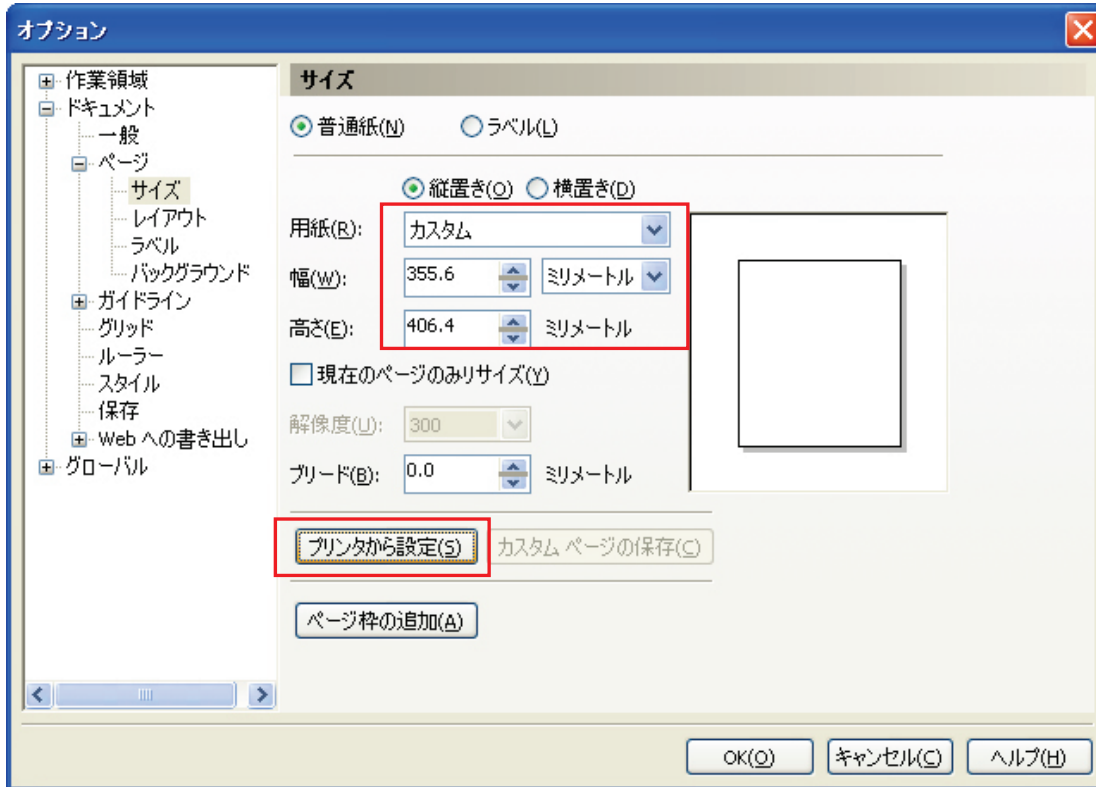


CorelDRAW X5

印刷するサイズを決める：

CorelDRAW 10/11/12/X3/X4

- (1) [ファイル] > [印刷の設定] を選択してください。
- (2) USB 2.0 用の“Brother GT-3”、LAN 用の“Brother GT-3”またはファイル出力用“Brother GT-3 FileOutput”のいずれかをプリンターとして選んでください。よくお使いになるほうを通常使うプリンターに指定しておくことをお勧めします。
- (3) [レイアウト] > [ページ レイアウトの設定] を選択してください。
 <参考> 既存のファイルに対しても、レイアウトを変更することができます。
 [プリンターから設定] をクリックし、用紙が [カスタム] に、幅 355.6 mm 高さ 406.4 mm であることを確認してください。



CorelDRAW X5

X4 以下と同様、上記の設定に従ってください。

Useful Toolsにあるカラーパレットを使う：

- (1) “3-3-9. Useful Tools の開き方”に従って CorelDRAW 用のカラーパレットファイル (GT_Colors.cpl と GT_Tshirts.cpl) をダウンロードします。
- (2) [ウィンドウ] > [カラーパレット] > [パレットを開く] を選択してください。
- (3) ファイル名 “GT_Colors.cpl” と “GT_Tshirts.cpl” を選びます。プリンタードライバのカラーチャートの印刷結果と合わせてお使いください。詳細は “4-3-15. カラーチャートの印刷” を参照してください。

<重要>

HKS, Pantone などの色見本パレットから色を使うのはお避けください。アプリケーション側の特別処理があり、画面で見た色が GT-3 の印刷で再現されにくい傾向があります。

4. アプリケーションから直接印刷する

印刷：

- (1) [ファイル] > [印刷] を選択してください。
プリンター名の横の [プロパティ] クリックし、プリンタードライバの設定を行ないます。

CorelDRAW X5 の場合以下の設定を行ってください。

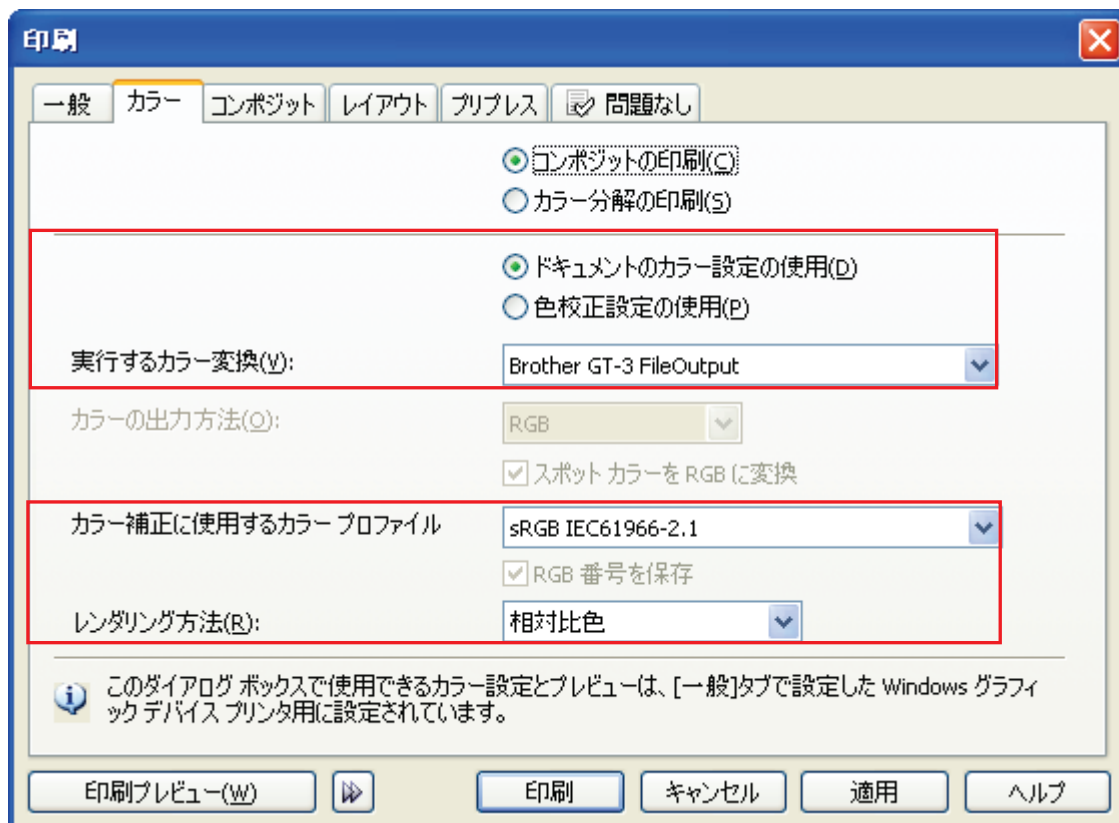
「カラー」タブを開き、以下のように設定を行ってください。

「ドキュメントのカラー設定の使用」のラジオボタンにチェック

実行するカラー変換：Brother GT-3 (FileOutput)

カラー補正に使用するカラープロファイル：sRGB IEC61966-2.1

レンダリング方法：相対比色

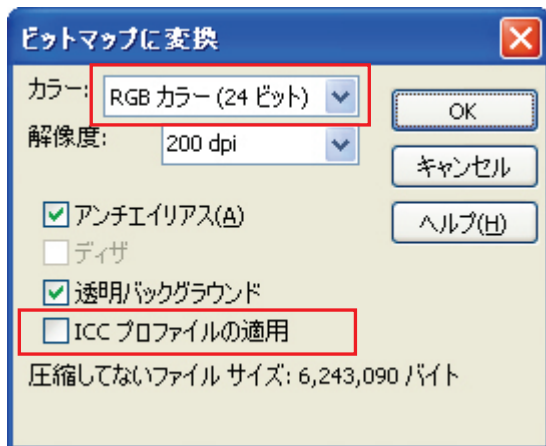


<重要>

ファイルに出力する時は、[ファイルに出力] ではなくファイル出力用のプリンタードライバー “GT-3 FileOutput” をお使いください。

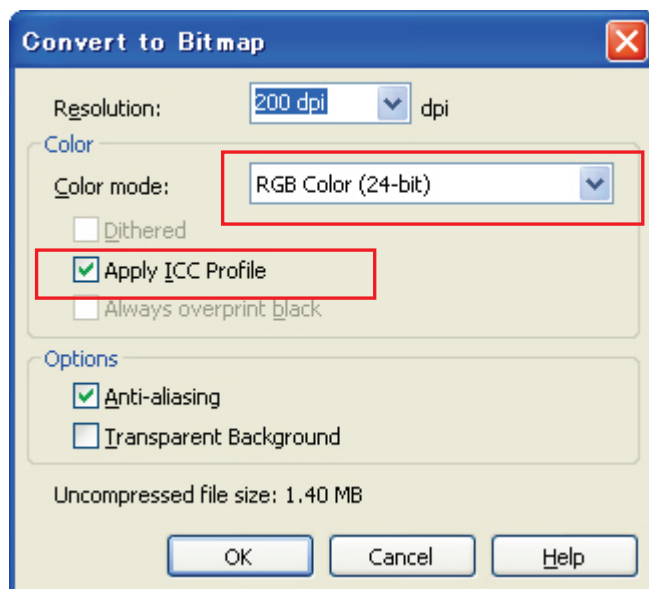
ビットマップに変換:

- (1) [ビットマップ] > [ビットマップに変換] を選択してください。
- (2) CorelDRAW 10/11/12: カラーを RGB にし、必ず [ICC プロファイルの適用] を OFF にしてください。解像度は 200dpi~400dpi が最適です。



CorelDRAW 10/11/12

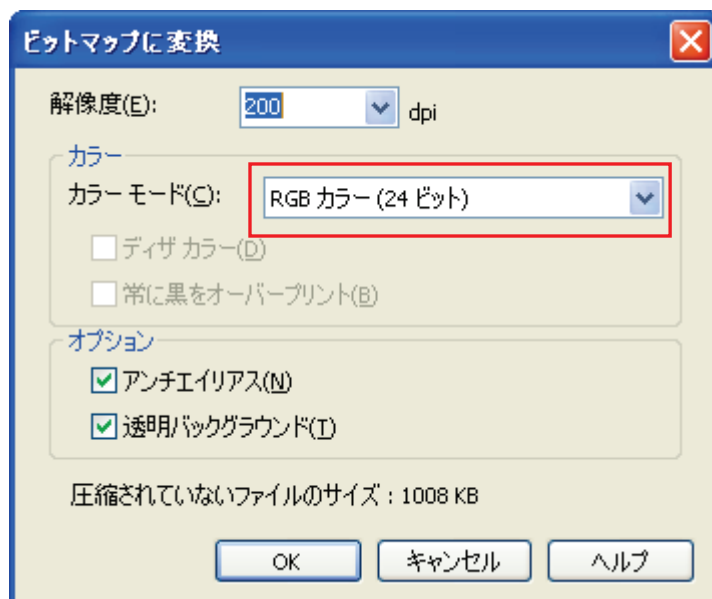
CorelDRAW X3/X4: カラーモードを RGB にし、必ず [ICC プロファイルの適用] を ON にしてください。



CorelDRAW X3/X4 (英語版)

白インクを使って印刷する際にはアンチエイリアスのチェックを OFF にしてください。

CorelDRAW X5: カラーモードを RGB にしてください。



CorelDRAW X5

白インクを使って印刷する際にはアンチエイリアスのチェックを OFF にしてください。

4. アプリケーションから直接印刷する

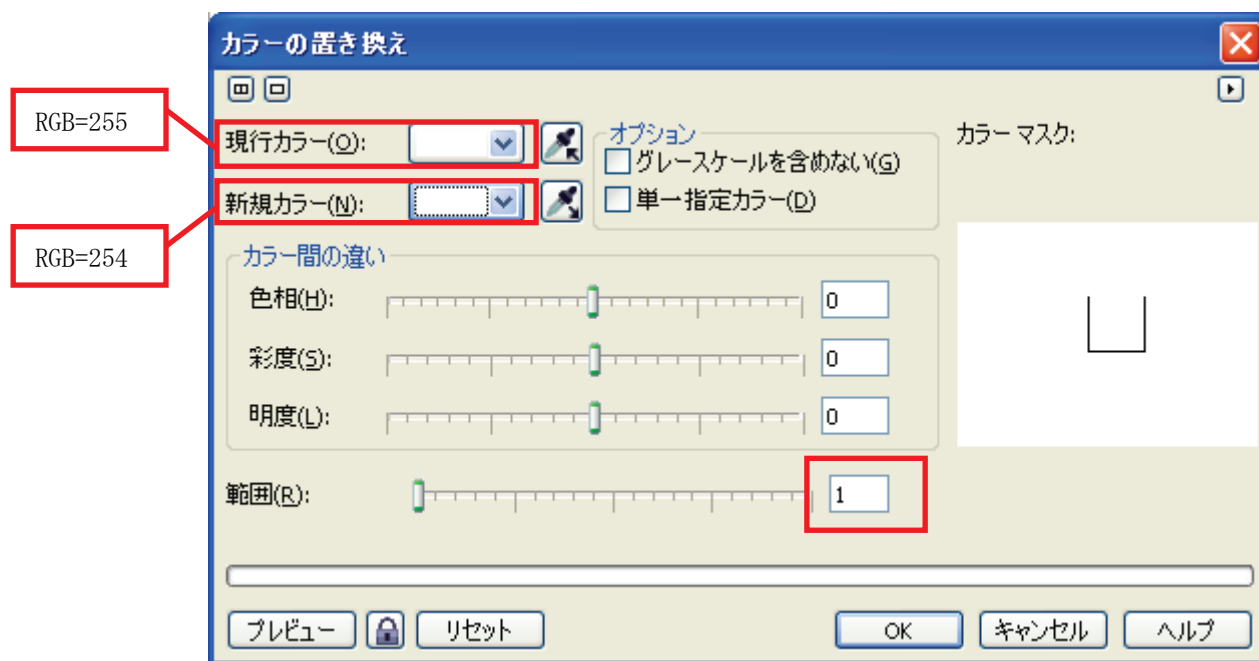
<重要>

- 先にプリンタードライバーからユースプラテン PLTN 10x12 を選択していても、[ページレイアウトの設定] で [プリンターから設定] に変わってしまうことがあります。[ページレイアウトの設定] では必ず幅を 254 mm、高さを 304.8 mm に直してください。
- [印刷] 中の [プロパティ] でアプリケーションの [ファイルに印刷] を使った場合は、ファイル名の拡張子が自動で “.prn” になります。GT-3 File Viewer で扱えるように、手動で拡張子を “.ar3” に変更してください。
- CorelDRAW 11/12 でアウトラインに曲線を多用した場合（エンベロープなど）、印刷が欠けてしまうことがあります。[印刷] メニューの [その他] タグをクリックし、左下にある [ページ全体をビットマップ化 (DPI)] をチェックしてください。画像の種類、ファイルサイズなどを考慮して出力してください。

ビットマップの中にある RGB=255 を白 (RGB=254) にする :

RGB=255 白は必ず透明色です。写真のように様々な色が含まれている画像を印刷する場合に、もしも RGB=255 白が含まれていると、そこだけ「穴」があいてしまいます。RGB=255 白の領域を選択して RGB=254 白に置き換える場合は、以下の方法をご利用ください。

- (1) メニューバーで [エフェクト (12 以下では [イメージ]、X5 では [効果])] > [調整] > [カラーの置き換え...] を選択してください。
- (2) 現行カラーに RGB=255 白を、新規カラーに RGB=254 白を選択し、[範囲] は [1] にして、[OK] ボタンをクリックします。



CorelDRAW X5

- (3) 画像中の RGB=255 白が RGB=254 白に置き換わりました。

<ご注意>

ベクトルデータの場合は、塗りつぶす色を RGB=254 白に変更してください。

4-2-3. Adobe Photoshop

カラー設定 :

- (1) [編集] > [カラー設定] を選択してください。
- (2) 下記のように設定し、[OK] をクリックして下さい。

詳細オプション

作業用スペース

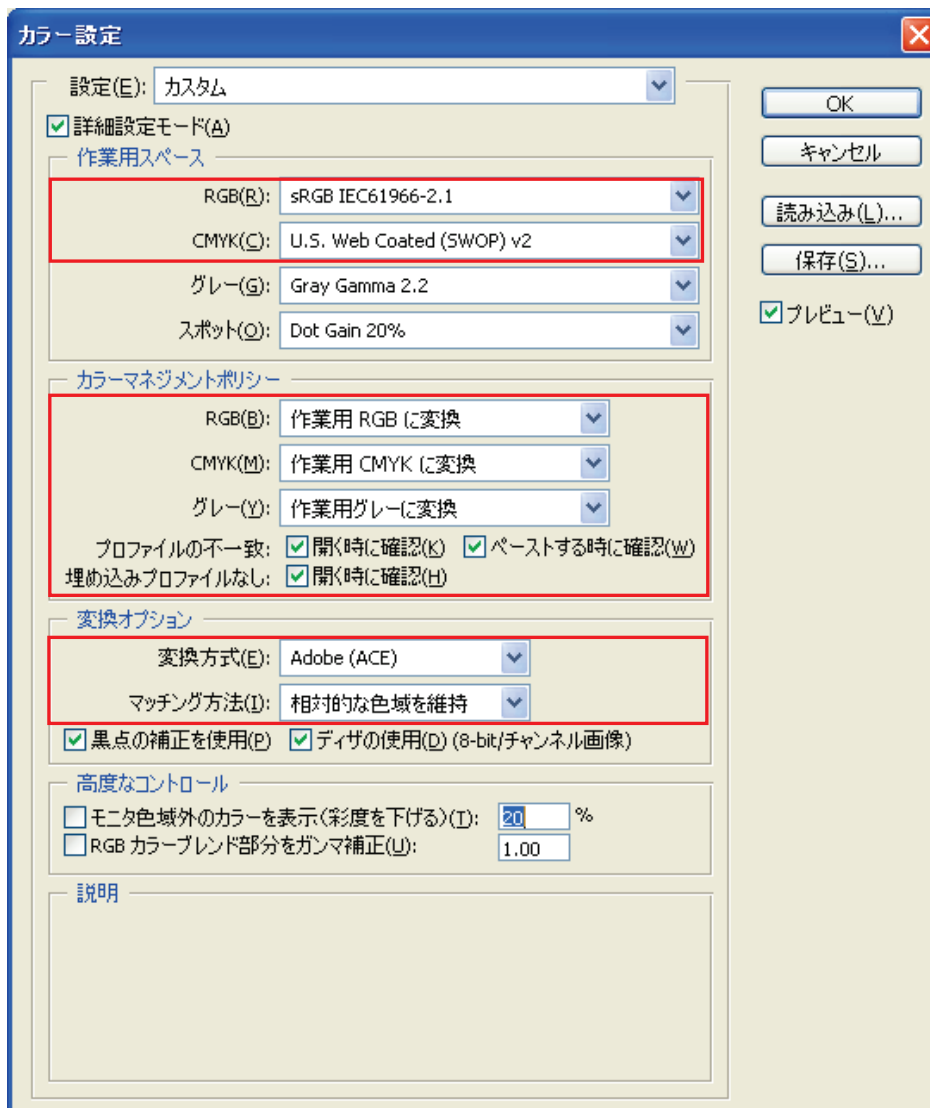
RGB : sRGB IEC61966-2.1

CMYK : U. S. Web Coated (SWOP) v2

マッチング方法 : 相対的な色域を維持

<重要>

GT-3 は RGB プリンターですので、画像は RGB モードで作成してください。CMYK モードで作成された画像は、アプリケーション内で CMYK から RGB へのカラーマッチングが行なわれるため、期待通りの色再現ができないことがあります（特に黄・紫・黒色域）。元画像が CMYK の場合は、[イメージ] > [モード] で RGB モード（sRGB）に変換してください。画像の編集は「イメージ」> [色調補正] 内のメニューで行なうか、プリンタードライバーの画質改善（“4-3-12. 画質改善”を参照）で行なってください。



Photoshop CS、CS2/CS3/CS4/CS5 は画面が異なるが設定内容は同じ

4. アプリケーションから直接印刷する

印刷：

- (1) [ファイル] > [プリントプレビュー Alt + Ctrl + P] を選択してください。バージョンにより若干異なります。PC の通常使うプリンターが “Brother GT-3” か “Brother GT-3 FileOutput” の場合は、レイアウトがプラテンサイズになります。
- (2) Photoshop CS2 とそれ以前で表現が若干異なります。

Photoshop 6/7/CS：

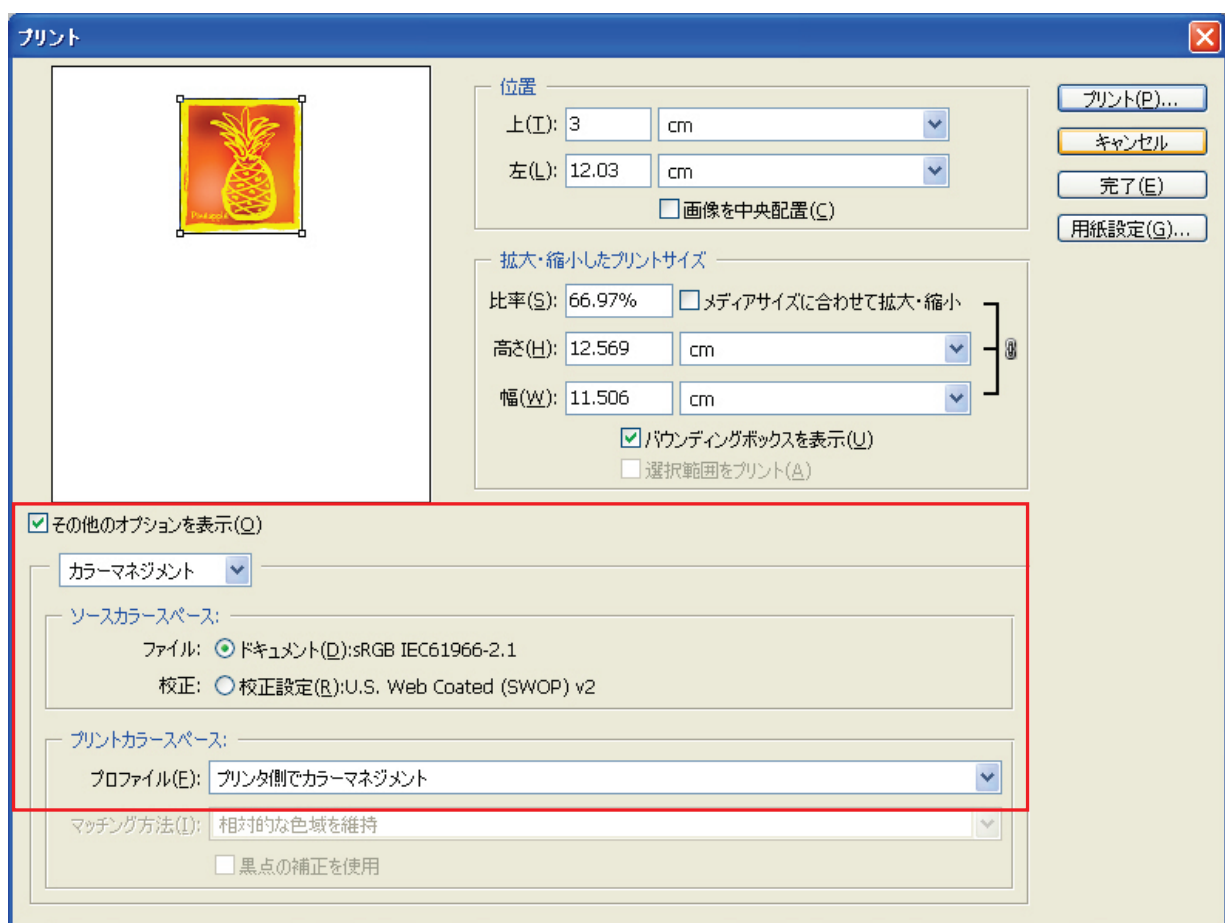
下記の設定を確認し、[用紙設定...] > [プリンターの設定] でプリンタードライバーの設定を行なったら、[プリント] で印刷を実行してください。

その他のオプションを表示

プルダウンメニュー：カラーマネジメント

ソースカラースペース：ファイル： sRGB IEC61966-2.1 or Untagged RGB

プリントカラースペース：プリンター側でカラーマネジメント または プリンターカラー
マネジメント（バージョンによる）



Photoshop CS

(次ページへ続く)

Photoshop CS2/CS3 :

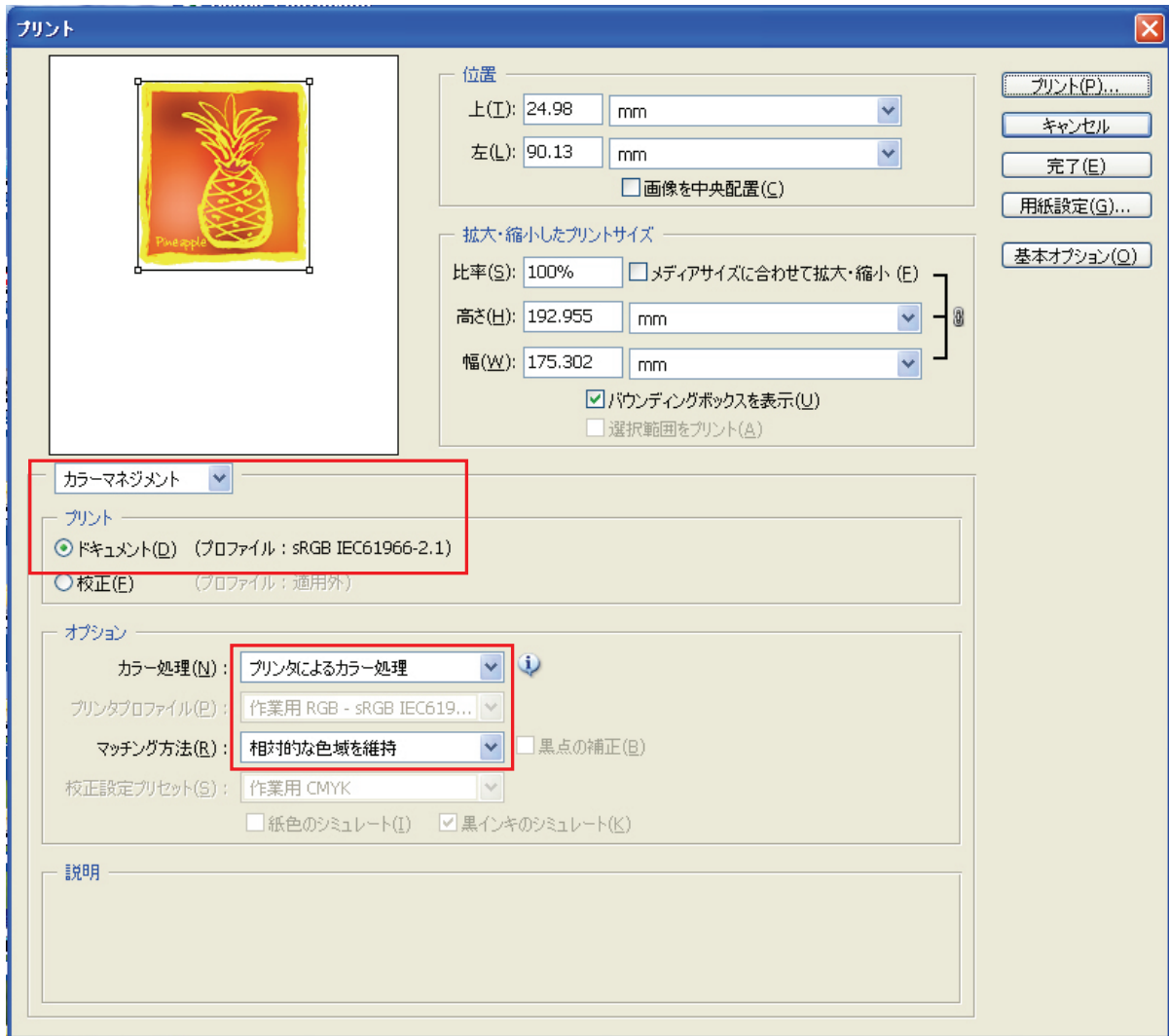
下記の設定を確認し、[用紙設定...] > [プリンターの設定] でプリンタードライバーの設定を行なったら、[プリント] で印刷を実行してください。

詳細オプション :

プルダウンメニュー : カラーマネジメント

プリント : ドキュメント : (プロファイル : sRGB IEC 61966-2.1 または タグのない RGB

オプション : カラー処理 : プリンターによるカラー処理



Photoshop CS2

(次ページへ続く)

4. アプリケーションから直接印刷する

Photoshop CS4/CS5 :

下記の設定を確認し、[用紙設定...] > [プリンターの設定] でプリンタードライバーの設定を行なったら、[プリント] で印刷を実行してください。



Photoshop CS4/CS5

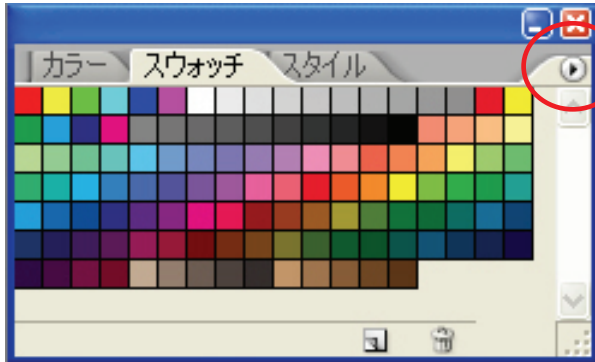
(3) 印刷 (バージョンによってはプリント) のダイアログに進んで、[OK] をクリックしてください。

<ご注意>

- ファイルに出力する時は、[ファイルに出力] ではなくファイル出力用のプリンタードライバー “GT-3 FileOutput” をお使いください。
- Photoshop CS2 ならびに CS3 はアプリケーション実行中のメモリー使用量が多く、印刷データを作る時間 (リサンプリング) が以前のバージョンより長いようです。お使いの PC のスペックをご確認ください。

Useful Toolsにあるカラーパレットを使う：

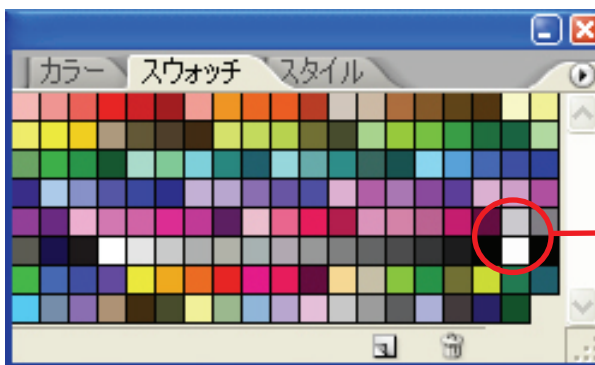
- (1) “3-3-9. Useful Tools の開き方” に従って Photoshop 用のカラーパレットファイル (GT_Colors_T.aco) をダウンロードします。
- (2) Photoshop CS 以上は [ウィンドウ] > [スウォッチ] を選択します。Photoshop 6/7 は [ウィンドウ] > [色見本を表示] を選択します。 小さい三角マークをクリックし、サブメニューを開きます。



← Photoshop 6/7 は [色見本]

Photoshop CS2

- (3) [スウォッチ (色見本) の置き換え] でファイル名 “GT_Colors_T.aco” を選びます。プリンタードライバのカラーチャートの印刷結果と合わせてお使いください。詳細は “4-3-15. カラーチャートの印刷” を参照してください。



RGB=254 白

<重要>

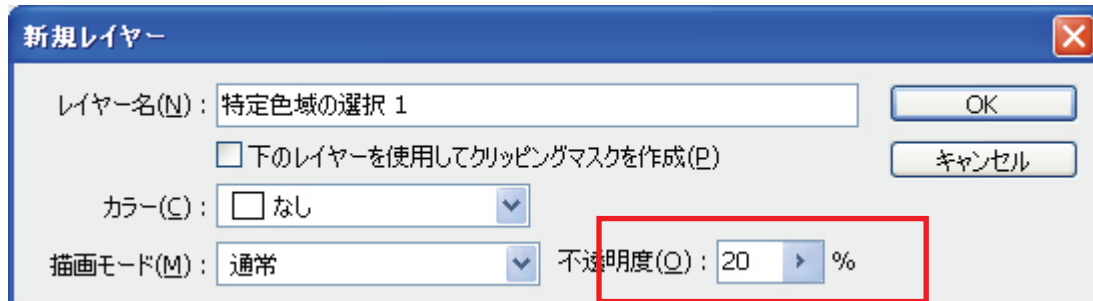
HKS, Pantone などの色見本パレットから色を使うのはお避けください。アプリケーション側の特別処理があり、画面で見た色が GT-3 の印刷で再現されにくい傾向があります。

4. アプリケーションから直接印刷する

写真の中にある RGB=255 を白 (RGB=254) にする :

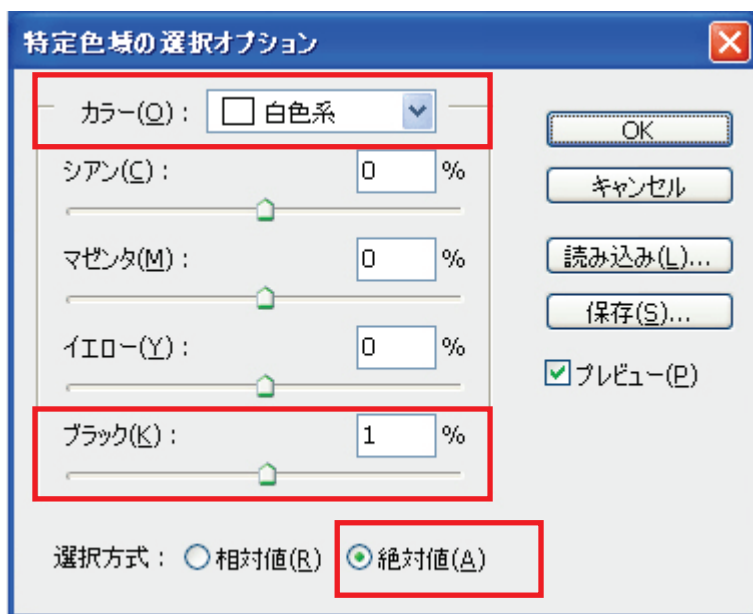
RGB=255 白は必ず透明色です。写真のように様々な色が含まれている画像を印刷する場合に、もしも RGB=255 白が含まれていると、そこだけ「穴」があいてしまいます。RGB=255 白の領域を直接選択して RGB=254 白に置き換えることが困難な場合、以下の方法をご利用ください。

- (1) メニューバーの [レイヤー] > [新規調整レイヤー] > [特定色域の選択] で新規レイヤーを作成します。この時、このレイヤーの不透明度は 20% にして [OK] をクリックします。



Photoshop CS3

- (2) 次に表示される [特定色域の選択オプション] ダイアログで、[カラー] を [白色系] に、一番下の [ブラック(K)] のスライダーを [1%] に、[選択方式] を [絶対値] にして [OK] をクリックしてください。



< 参考 >

Photoshop で RGB=255 を RGB=254 にするアクションファイル “SolidWhite.atn” が Useful Tools にあります。 (“3-3-9. Useful Tools の開き方” を参照) 使い方は、Photoshop のヘルプを参照してください。

4-2-4. Adobe Illustrator

<重要>

- 起動前に PC の通常使うプリンターに USB 2.0 用の “Brother GT-3”、LAN 用の “Brother GT-3” またはファイル出力用 “Brother GT-3 FileOutput” のいずれかを指定してください。印刷範囲内に印刷データが入らなかったり、印刷データが欠けたりといったトラブルの回避策になります。“GT-3 FileOutput” プリンタードライバーでファイル出力しプレビューで確認してください。
- GT-3 は RGB プリンターですので、画像は RGB モードで作成してください。CMYK モードで作成された画像は、アプリケーション内で CMYK から RGB へのカラーマッチングが行なわれるため、期待通りの色再現ができないことがあります（特に黄・紫・黒色域）。元画像が CMYK の場合は、[イメージ] > [モード] で RGB モード (sRGB) に変換してください。画像の編集は Photoshop に読み込んでビットマップデータで行なうか、プリンタードライバーの画質改善（“4-3-12. 画質改善” を参照）で行なってください。

カラー設定：

- (1) [編集] > [カラー設定] を選択してください。
- (2) 下記のように設定し、[OK] をクリックしてください。

詳細オプション

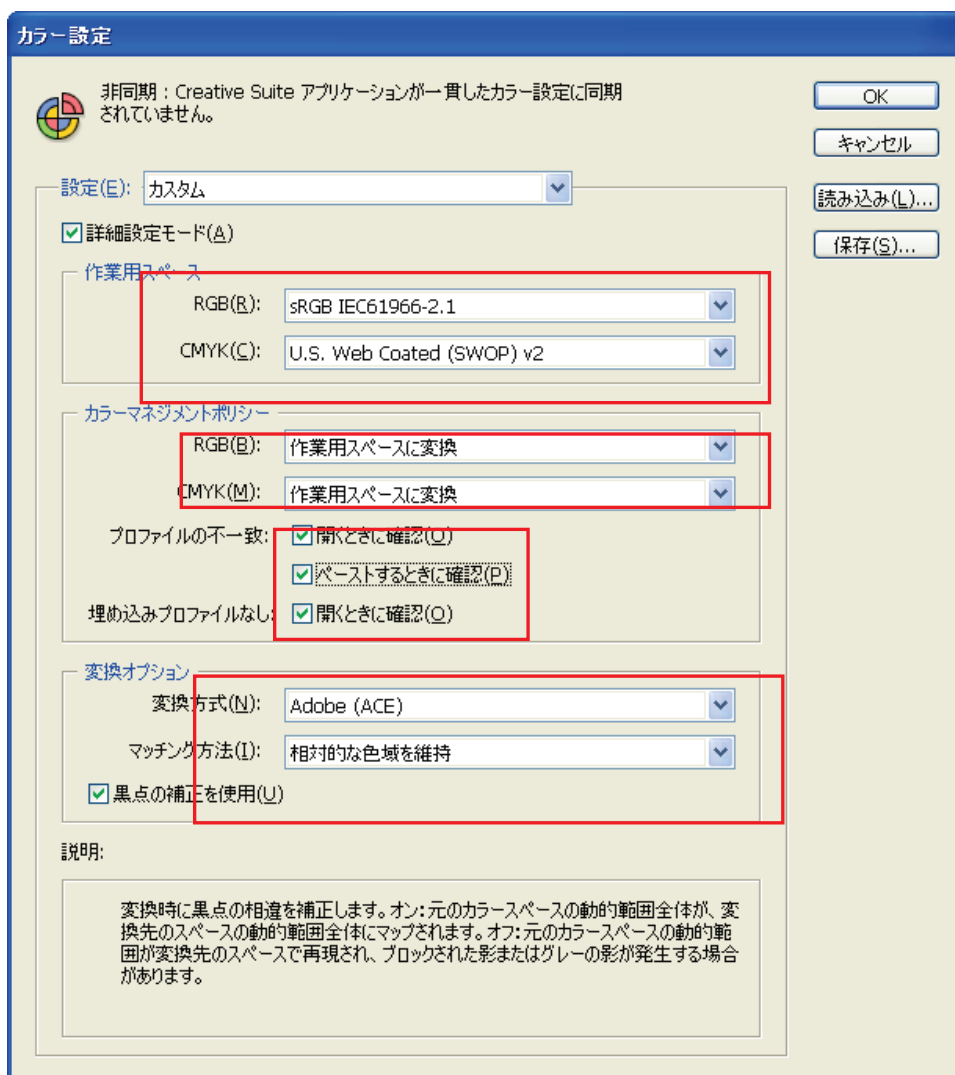
設定：カスタム

作業用スペース

RGB： sRGB IEC61966-2.1

CMYK： U. S. Web Coated (SWOP) v2

マッチング方法：相対的な色域を維持（CS4/CS5 は設定項目なし）



4. アプリケーションから直接印刷する

新しいファイルを開く：

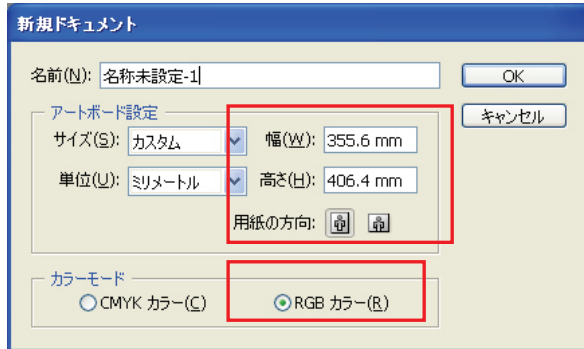
新規ドキュメントの設定をご確認ください。

幅： 355.6 mm

高さ： 406.4 mm

用紙の方向： 縦

カラーモード： RGB カラー



Illustrator CS2

印刷：

- (1) [ファイル] > [プリント] を選択してください。
- (2) **Illustrator 10**： 下記の設定を確認してください。

書類のカラースペース： sRGB IEC61966-2.1 または タグなし RGB

プリントスペース：プロファイル：カラースペースを変換しない

[ビットマッププリント]：ON

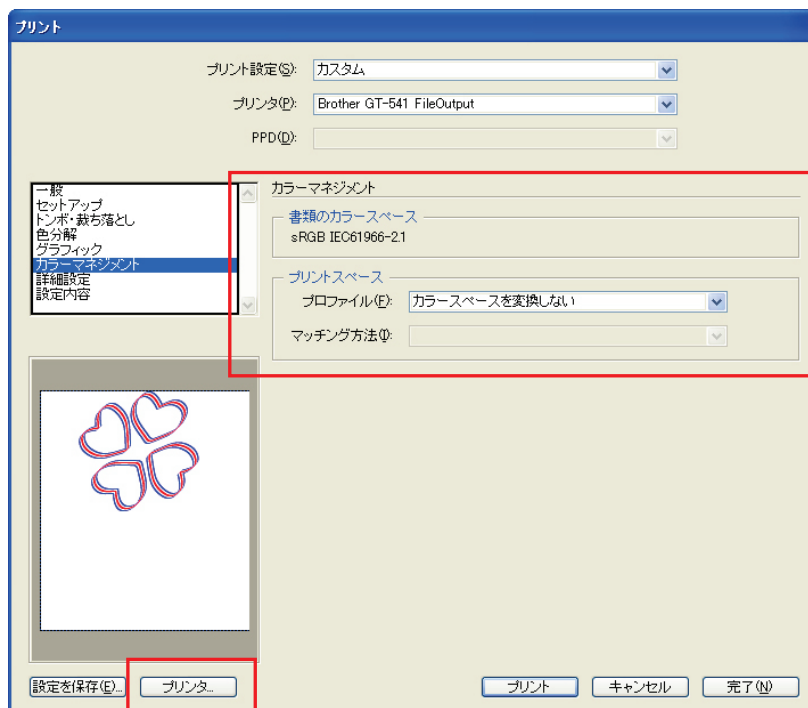
[プロパティ] > [詳細設定] でプリンタードライバーの設定を行なってください。

Illustrator 10/CS： 下記の設定を確認してください。

書類のカラースペース： sRGB IEC61966-2.1 または タグのない RGB

プリントスペース：プロファイル：カラースペースを変換しない

Illustrator 10 では [プロパティ] を、**Illustrator CS** では [プリンター] を選択しその後 [詳細設定] でプリンタードライバーの設定を行なってください。



Illustrator CS

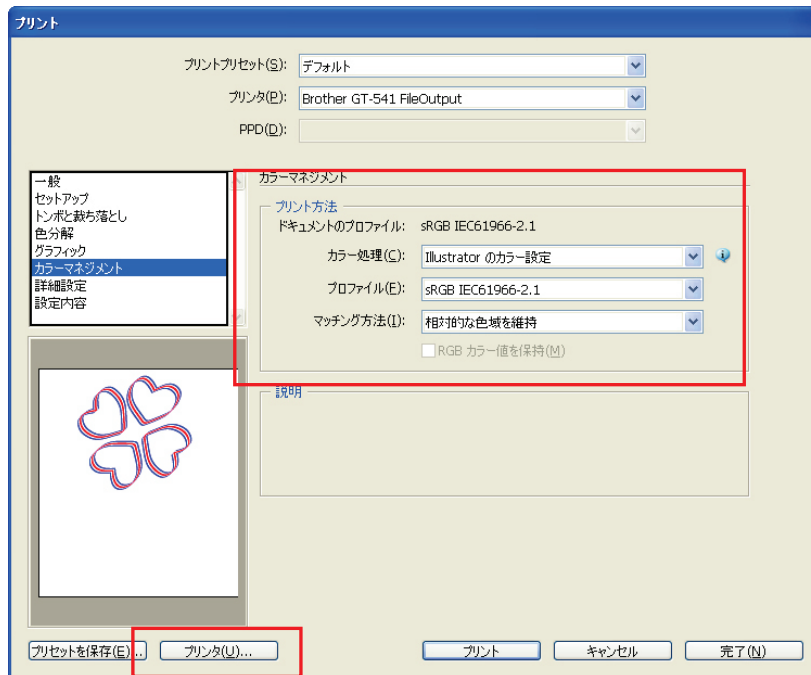
Illustrator CS2/CS3/CS4/CS5: 下記の設定を確認してください。

プリント方法: ドキュメントのプロファイル: sRGB IEC61966-2.1 または タグのない RGB

カラー処理: Illustrator のカラー設定

マッチング方法: 相対的な色域を維持

[プリンター] を選択し、[詳細設定] でプリンタードライバーの設定を行なってください。



Illustrator CS2/CS3/CS4/CS5

4. アプリケーションから直接印刷する

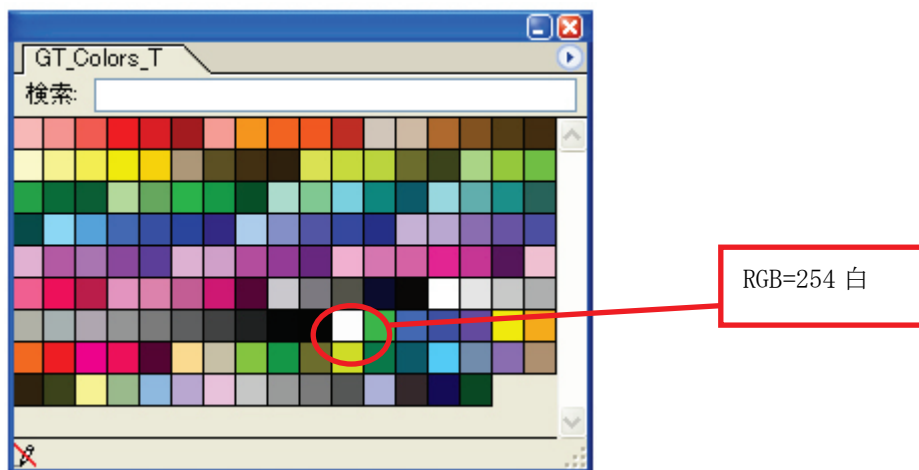
Useful Toolsにあるカラーパレットを使う：

- (1) “3-3-9. Useful Tools の開き方” に従って Illustrator 用のカラーパレットファイル (GT_Colors_T.ai) をダウンロードします。
- (2) [ウィンドウ] > [スウォッチ] を選択します。小さい三角マークをクリックし、サブメニューの [スウォッチライブラリを開く] を選択し、さらに [その他のライブラリ] を選択します。



Illustrator

- (3) [ライブラリの選択] 画面でファイル名 “GT_Colors_T.ai” を選びます。プリンタードライバーのカラーチャートの印刷結果と合わせてお使いください。詳細は “4-3-15. カラーチャートの印刷” を参照してください。このスウォッチは Photoshop や CorelDRAW と異なり、ファイルを開くたびに選択する必要があります。



<重要>

- Illustrator 10 では、[書類設定] で [アートボード] を [用紙設定を使用] にして画面 [1 ページのみ] (デフォルト) にすると、画像データがないところが 1 ページ目として扱われるため、印刷データを作成することができません。どうしてもこの方法で印刷する必要がある場合は、画面を [用紙サイズで区別する] や [印刷可能範囲で区別する] にして [OK] をクリックした後、再度 [用紙設定を使用] を選択しなおしてください。
- タイルプリントは使えません。最後に送信された画像のみが印刷できます。
- 小さい画像を印刷する際に (355.6 mm×406.4 mm より小さい場合)、プラテンサイズが勝手に PLTN 10×12 に変わってしまうことがあります。印刷する前にプラテンサイズをご確認ください。
- ファイルに出力する時は、[ファイルに出力] ではなくファイル出力用のプリンタードライバー “GT-3 FileOutput” をお使いください。

(次ページに続く)

- **Illustrator 10 で 355.6mm×406.4mm より小さい画像（例えばレターサイズ）を印刷する際に、正しい位置に印刷されなかったりエラーになったりすることがあります。そのような場合は、下記の手順で問題を回避してください。**
 - (1) [ファイル] > [書類設定] を開きます。
 - (2) 書類設定ダイアログで [アートボード] を選びます。
 - (3) [用紙設定を使用] をチェックし、[用紙設定] をクリックします。
印刷設定ダイアログが開きます。
もし [サイズ] で [PLTN 14x16] が選択されていたら、一時的に [PLTN 10x12] に変更して [OK] をクリックしてください。
逆に、[PLTN10x12] が選択されていたら、一時的に [PLTN 14x16] に変更して [OK] をクリックして下さい。
 - (4) 書類設定ダイアログの [OK] をクリックし、ダイアログを閉じます。
 - (5) 再び書類設定ダイアログを開き、[アートボード] を選びます。
 - (6) [用紙設定] をクリックし、印刷設定画面を開きます。
 - (7) [サイズ] を元の値に戻し、[OK] をクリックしてください。
 - (8) 書類設定ダイアログの [OK] をクリックし、ダイアログを閉じます。

- **横置き書類は正しく印刷されないことがあります。[プリント] 画面にあるプレビューを確認して、問題があれば下記の手順で問題を回避してください。**
 - (1) プリント画面の設定（Illustrator CS の場合はプルダウンメニューの [一般]）でサイズが [プリンタードライバで定義] になっていることを確認してください。
 - (2) 用紙の方向を縦にしてください。
プラテンサイズを変える場合は下記へ、変えない場合は(5)へ飛んでください。
 - (3) [プリンター] をクリックし、[詳細設定] をクリックしてください。
 - (4) プリンタードライバのメニューでプラテンサイズを変更し、[OK] をクリックしてください。
 - (5) プリント画面でプレビューを確認してください。

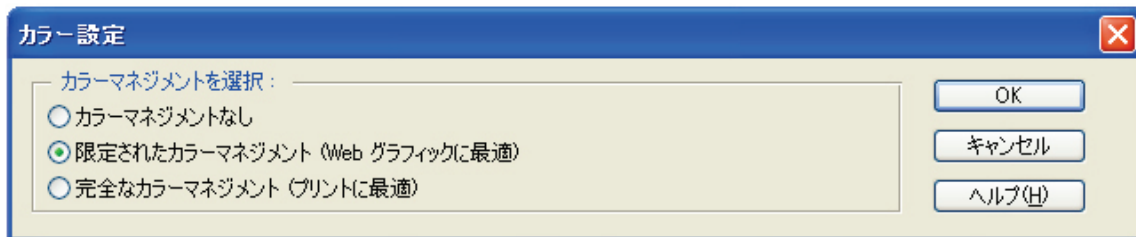
4. アプリケーションから直接印刷する

4-2-5. Adobe Photoshop Elements

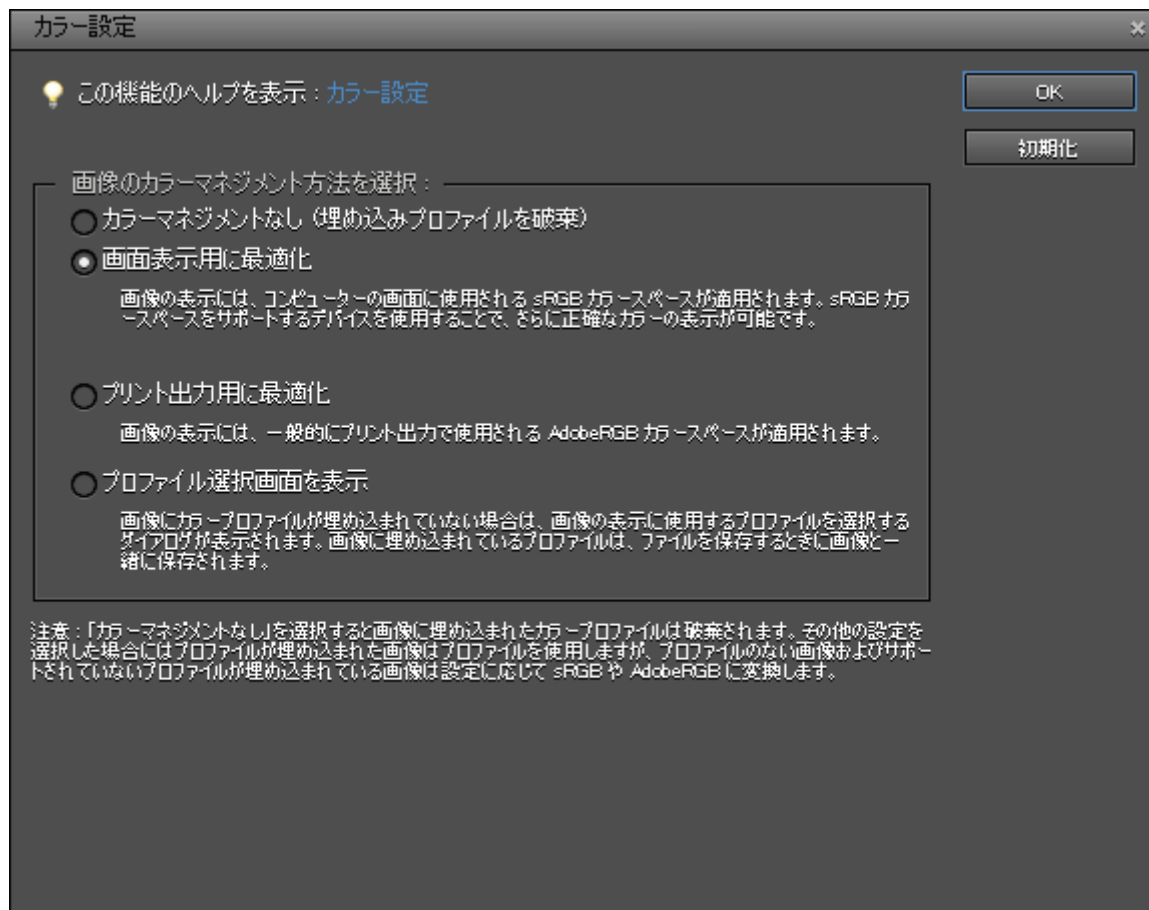
カラーマネジメントの設定があります。プリンタードライバーをインストールした後、画像データを編集する前にカラー設定を行なってください。

カラー設定：

- (1) [編集] > [カラー設定] を選択します。
- (2) カラー設定画面が開きます。内容はバージョンにより異なりますが、いずれも [限定されたカラーマネジメント] または [画面表示用に最適化] を選択し [OK] をクリックしてください。



Photoshop Elements 2



Photoshop Elements 9

印刷：

Photoshop の設定 “4-2-3. Adobe Photoshop” を参照してください。

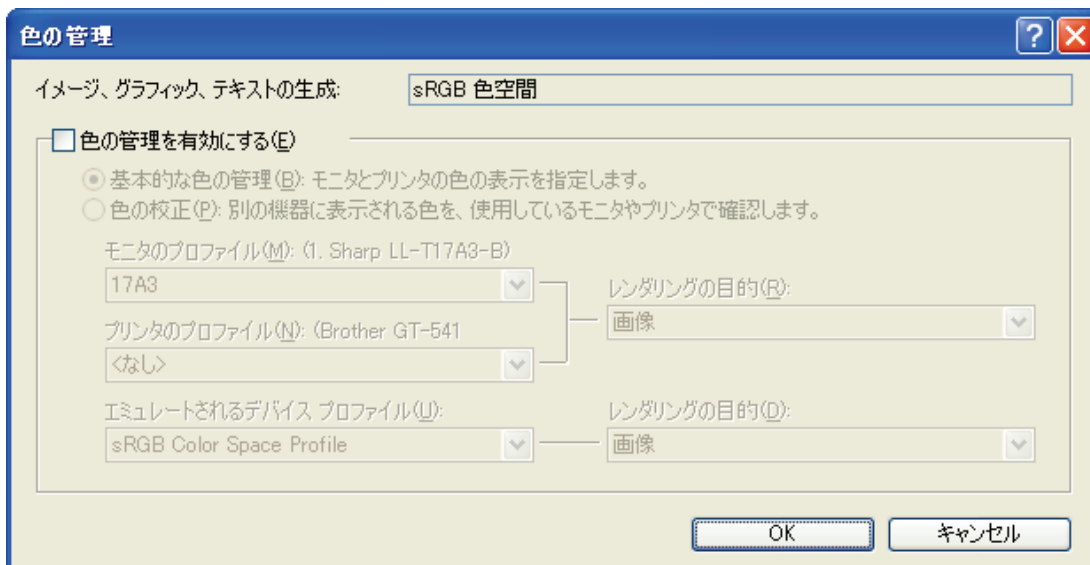
- (1) [ファイル] > [プリントプレビュー] を選択します。
- (2) 下記の設定を確認してください。
その他のオプションを表示：カラーマネジメント
プリントカラースペース：プロファイル：プリンターカラーマネジメント
- (3) [用紙設定...] でプリンタードライバーの設定を行なってください。

インストール CD 内の Useful Tools にあるカラーパレットを使う：

Photoshop 用のカラースウォッチ GT_Colors_T.aco は Photoshop Element でも使うことができます。詳細は “4-2-3. Adobe Photoshop” をご覧ください。

4-2-6. Paint Shop Photo Pro

- (1) [ファイル] > [環境設定] > [色の管理] (バージョンによっては [編集] > [色の管理]) を選択してください。
- (2) [色の管理を有効にする] のチェックを外し、[OK] をクリックしてください。



Paint Shop Pro 9

印刷：

[ファイル] > [印刷] を選択して、プリンタードライバーの設定は [プロパティ] から実行してください。

<重要>

- Paint Shop Pro はプリンタードライバーのジョブコメントに何も書かないと、Job Name (操作パネルに実際に表示される名前) を “PSP PRINT” またはブランクにしてしまいます。操作パネルで識別できなくなりますので、必要に応じてジョブコメントを入力してください。
- ファイルに出力する時は、[ファイルに出力] ではなくファイル出力用のプリンタードライバー “GT-3 FileOutput” をお使いください。

4-2-7. 他のアプリケーションからの印刷

アプリケーションにカラー設定のメニューがないものは、カラースペースは Windows 標準の sRGB です。[ファイル] > [印刷] を選択し、印刷してください。

<重要>

用紙設定をプラテンサイズに合わせてから、画像のレイアウトを決めてください。

4-3. プリンタードライバーの設定

この章ではアプリケーションの適切な印刷条件について説明します。

<重要>

プリンタードライバーは「紙の色」である白 (RGB=255) を「透明色」として扱い、インクを吐出しません。白インクで真っ白に印刷したい画像は、RGB=254 に塗りつぶしてください。色の置き換え方法は、「4-2. アプリケーションの印刷条件の設定」以下の、各アプリケーションのページまたはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

- (1) [ファイル] > [印刷] メニュー (アプリケーションによる) を選択してください。
プリンター名で “Brother GT-3” または “Brother GT-3 FileOutput” を選び、[プロパティ] または [詳細設定] をクリックしてください。
プリンタードライバーのダイアログが表示されます。必要な設定を行ない、[OK] をクリックしてください。



設定できる項目の説明は下記の通りです。

“ロールオーバーヘルプ” がダイアログの下の四角に表示されます。マウスのポインターを動かしてヘルプをご覧ください。ここで設定した値は、GT-3 File Viewer で AR3 ファイルを開くことで参照できます。各項目については次項をご覧ください。

- (2) [詳細設定] ボタンをクリックすると、下記のメニューが表示されます。
 [白インクの設定]、[画質設定]、[透明レイヤーの設定]、[片方向印刷]の設定を行うことができます。詳細は次項をご覧ください。



4-3-1. 機種モードの選択

GT-3 のプリンタードライバーは GT-381 (白ヘッド 4 個) GT-361 (白ヘッド 2 個) GT-341 (白ヘッドなし) すべてで共通です。印刷するプリンターの機種を選択してください。デフォルトは GT-381 です。

<ご注意>

- GT-381 に GT-361 の印刷データを送信すると、白ヘッド 2 個分を使って印刷します。
- GT-361 に白インクデータを持つ GT-381 の印刷データを送信したり、GT-341 に白インクデータを持つ GT-381、GT-361 の印刷データを送信すると、プリンター側で PC Data Error になります。カラーインクのみ印刷データはどの機種でも印刷できます。

<ご注意>

- GT-341/GT-361 をご使用の方は、以下の手順で機種モードのデフォルト設定を GT-341 または GT-361 にすることをお勧めします。お使いのアプリケーションを一旦終了し、コントロールパネルの [プリンタと FAX] (Windows Vista : [プリンタ]、Windows 7 : [デバイスとプリンター]、Windows 8 : [デバイスとプリンターの表示]) で設定したいプリンターを右クリックして、[プロパティ] を選択、プリンタードライバーの印刷設定で機種モードを GT-341 または GT-361 に変更して [OK] ボタンを押します。その後、アプリケーションを再起動してご利用ください。この変更はアプリケーションを次回起動した時点から有効です。

4. アプリケーションから直接印刷する

4-3-2. ジョブコメントの入力

プリンターの操作パネル上にコメント（最大半角 30 文字）を表示させることができます。操作者への覚書にご利用ください。

4-3-3. プラテンサイズを選択

プルダウンメニューでプラテンサイズ（「用紙サイズ」に相当）を選択します。印刷範囲は、標準プラテン（14×16）で 355.6mm×406.4mm、ユースプラテン（10×12）で 254mm×304.8mm、ベビープラテン（7×8）で 177.8mm×203.2mm です。

4-3-4. インクを選択

印刷に使用するインクの組み合わせ（カラーインクと白インク）を選択します。

［カラー+白インク］はマスク白の上にカラーインクを印刷します。白インクの量を指定することができます。［白インクのみ］は、カラーインクを使わずに印刷します。GT-341 およびカラーインクのみ印刷は［カラーインクのみ］を選択してください。

また、黒い T シャツに印刷する場合、ブラックインクを使わず（RGB=0 を透明色とする）、代わりに下地の黒色を生かして印刷することができます。右側の［ブラックインクを使用する］のチェックボックスを OFF にしてください。

<ご注意>

- ブラックインクを使用しない（チェックボックス OFF）の時に、R=G=B のグレーを白インクのみで印刷するかどうかを［CMY グレー］チェックボックスで設定することができます。詳細は後述をご覧ください。
- GT-361 に白インクデータを持つ GT-381 の印刷データを送信したり、GT-341 に白インクデータを持つ GT-381、GT-361 の印刷データを送信すると、プリンター側で PC Data Error になります。カラーインクのみ印刷データはどの機種でも印刷できます。

4-3-5. 解像度

印刷の解像度を選択します。1200dpi×1200dpi と 600dpi×600dpi から選択してください。

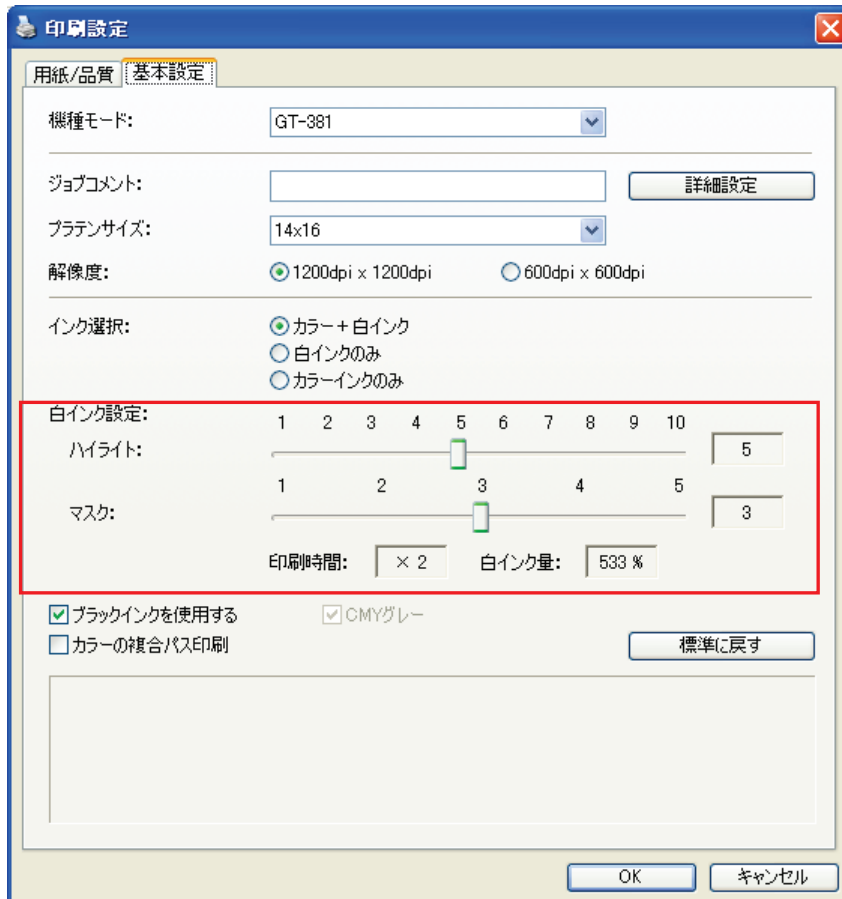
<参考>

- ・ 白インク量は設定によります。印刷時間は 1200dpi×1200dpi が 600dpi×600dpi の倍です。

4-3-6. 白インク設定

[インクの選択] で [カラー+白インク] または [白インクのみ] を選択した時に、以下のように白インク設定 ([ハイライト]および[マスク]) の設定項目が表示されます。

白インクの量をハイライト(目に見える白色のインク量)とマスク (下地の色をカバーするための白インク量) とに分けて調整します。



ハイライト

目に見える白色部分 (RGB=254 白) の白インク量を調整します。白インクの量が一度で印刷できる量を超える場合は、重ね印刷を行います。印刷時間と白インク消費量 (%) とを参考に、T シャツや素材の差による微調節を行うことができます。白インクの重ね印刷を行うときは、自動的にカラーの複合パス印刷が ON になります。

マスク

下地の色をカバーし、カラーインクの下地となる白インク量を調整します。

最も階調がなめらかなのが [3] です。真紅や鮮やかなグリーンなど、彩度の高い T シャツに印刷する場合は、白インクのマスク量を増やす必要がありますので [4] か [5] を選択してください。また、淡色やパステルカラーの T シャツに薄くマスク白を印刷する場合は、[1] か [2] を選択してください。また [ブラックインクを使用する] が OFF の時、より正確な色再現をさせたい時は [3] を、もっと鮮やかで明るい色再現をさせたい時は [4] か [5] を選択してください。

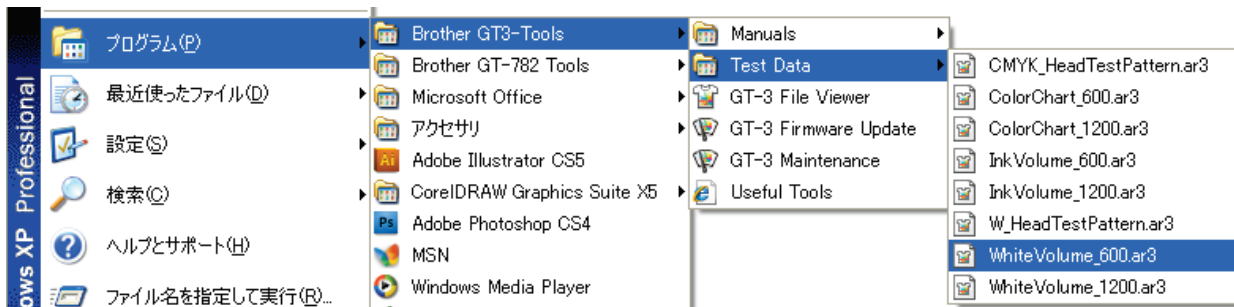
<参考>

- [印刷時間][インク量] の表示について
[機種モード][ハイライト][カラーの複合パス印刷] を変更しますと、その設定における [印刷時間] と [インク量] を表示します。
[印刷時間] は、600dpi x 600 dpi の重ね印刷を行わない時を “x1” とし、この時間の何倍の時間が掛かるかを “xN” と表示します。“x4” であれば、600dpi x 600dpi の重ね印刷を行わない時に比べて 4 倍の時間がかかります。[インク量] は、600dpi x 600 dpi の重ね印刷を行わない時の白ヘッド 1 個当たりのインク量を 100% として表示します。

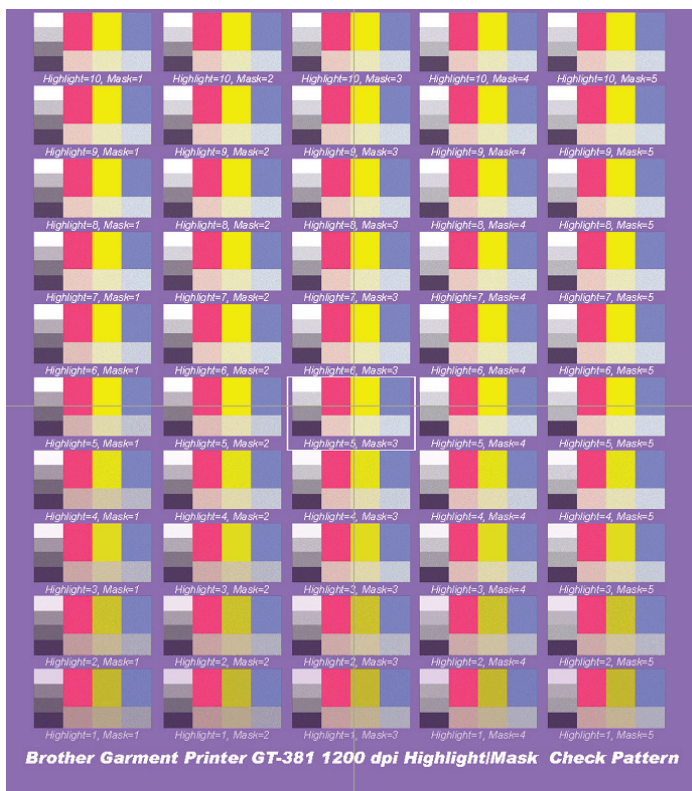
(次ページへ続く)

4. アプリケーションから直接印刷する

- “WhiteVolume_1200.ar3” / “WhiteVolume_600.ar3”（白インク量チェックパターン）を印刷して、必要なマスク量・ハイライト量を確認してください。[すべてのプログラム]の[Brother GT-3 Tools]にある[Test Data]にあります。



WhiteVolume_1200.ar3、WhiteVolume_600.ar3 の開き方



WhiteVolume_1200.ar3 を Lavender (R=174, G=111, B=255) の T シャツに印刷したイメージ

4-3-7. ブラックインクを使用する

黒い T シャツに印刷する場合、ブラックインクを使わず (RGB=0 を透明色とする)、代わりに下地の黒色を生かして印刷することができます。[ブラックインクを使用する] のチェックボックスを OFF にしてください。

4-3-8. CMY グレー

「ブラックインクを使用する」を OFF にすると有効になります。この項目を OFF にすると、グレーを白インクのみを使って印刷します。ON の場合は、白インクの上に CMY インクを使ってグレーを印刷します。

OFF にするとグレー付近の色が鮮やかな発色となりますので、色再現性を重視する場合は ON にしてください。

4-3-9. カラーの複合パス印刷

ヘッドの不吐出がないにもかかわらず、細かい横筋が目立つ場合は、カラーの複合パス印刷を ON にすると、印刷時間が倍になりますが、横筋が軽減されます。

白インクの重ね印刷を行う時は、カラーの複合パス印刷が自動で ON になり、チェックボックスはチェックが入った状態でグレーアウトします。

<参考>

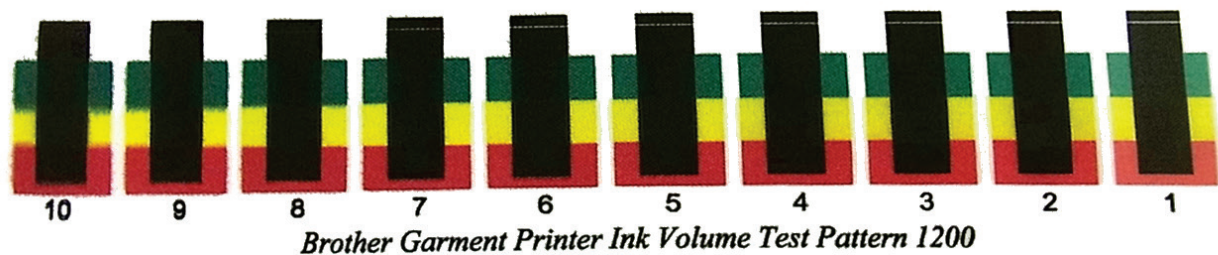
白が重ね印刷を行っている時、カラーは複合パス印刷を行っても行わなくても印刷時間が変わりません。よってこの時、カラーは自動的に複合パス印刷を行っています。

4-3-10. カラーインク量の調整

「インクの選択」で [カラーインクのみ] を選択した時に、[カラーインク設定] (インク量) の設定項目が表示されます。内容は、GT-541 や GT-782 と同じです。

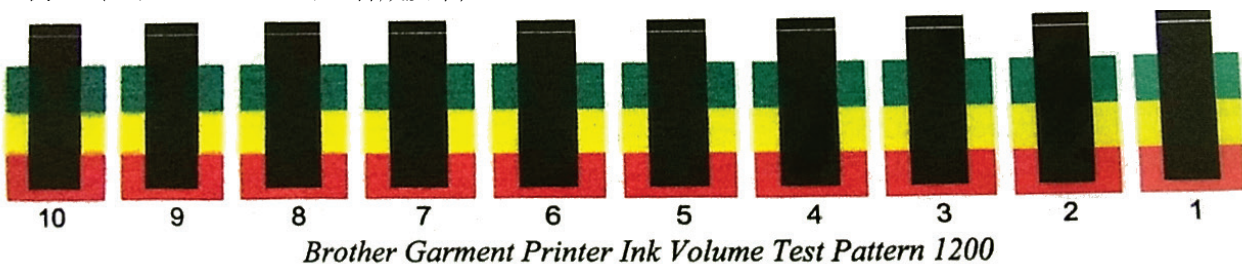
インク量

にじみを防ぎ、最善の印刷結果を得るために、インク量を調整する必要がある場合があります。厚手の T シャツ以外の衣類に印刷する場合などには、事前に解像度に合わせて InkVolume_1200.ar3 および InkVolume_600.ar3 を所望の生地に印刷し、実際ににじみを確認した後で、“インク量”の値を調整してください。[すべてのプログラム] の [Brother GT-3 Tools] にある [Test Data] の中にあります。



InkVolume_600.ar3 の印刷結果より、インク量は 7 が適量

例 2 (ポリエステル 100%の合成皮革)



InkVolume_600.ar3 の印刷結果より、インク量は 3 が適量

<参考>

GT-3 ではヘッドの改良により、ダブルプリントの設定およびイエロー/ブラックプリントの機能はなくなりました。

次頁以下、[詳細設定]の項目です。画面は“4-3-13. 透明レイヤーを含む画像データの印刷”の Step 3 (4)を参照ください。

4-3-11. 白インクの設定

白インクを使う場合（インク選択：“カラー＋白インク”と“白インクのみ”）にのみ有効なメニューです。常に透明色として扱われるのは白紙の色である RGB=255 の白です。また、RGB=0 の黒は“ブラックインクを使用する”にチェックが入っていない場合（透明色）、画像の中の黒色はブラックインクを使うのではなく T シャツの地色を生かすことができます。

透明色

黒色と同じように、特定の RGB 値を透明色として指定します。例えば、赤い T シャツに印刷する場合、画像の中の赤色（R=255、GB=0）は白インクの上にマゼンタインクとイエローインクで印刷するのではなく、T シャツの地の色を用いることができます。

- (1) “透明色”のチェックボックスにチェックを入れてください。右側のプルダウンメニューが有効になります。
- (2) プルダウンメニューから T シャツの下地となる色を選択するか、あるいは、右側の [カスタム指定色] ボタンをクリックして、RGB 値を指定します。

<ご注意>

このカスタム指定色は直前に指定された 1 つのみ有効です。リストに追加することはできません。

適応範囲

特定の RGB 値である透明色から、少しずつ下地をなじませる範囲（RGB 値の差）を指定します。値が大きくなると、マスク白がない状態からマスク白を生成するグラデーション領域が広がります。

<ご注意>

きれいなグラデーションになるかどうかは、画像データに依存します。事前に試し印刷することをお勧めします。

白インクの削り幅

T シャツの生地や湿度などにより、どうしてもマスク白がはみ出してしまうことがあります。その場合は、外周（アウトライン）を 600dpi×600dpi の 1 ドット分の単位で削ることができます。数値を選択してください。（1200dpi×1200dpi を選択している時は、白インクの削り幅で選択した値の倍のドット数を削ります。）

<ご注意>

値が大きくなると細かい線（文字や写真など）が消えてしまうことがあります。事前にためし印刷することをお勧めします。

4-3-12. 画質改善

色の強さ（彩度）と画像のメリハリ（コントラスト）とを別々に調整できます。アプリケーションの機能を使わずに画像の鮮やかさ、メリハリを強める場合、この機能をお使いください。コントラストが強い画像は [彩度] を多めに調整、弱い画像は [コントラスト] を多めに調整します。

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| “0” | ・・・鮮やかさ調整なし |
| “10” 前後 | ・・・トーンの変更はなく、若干鮮やかさを強化、写真にお勧め |
| “20” 前後 | ・・・鮮やかさ強化、写真や RGB の画像に |
| “30” 前後 | ・・・比較的明るい CMYK モードのイラスト |
| “40” | ・・・最大レベル、画質をかなり改善したい CMYK モードのイラスト用 |

数字が大きくなるにつれて、変化量が増えます。画像データが CMYK モードで作られている場合、鮮やかさを得るために [彩度] と [コントラスト] を “30” 前後に調整することをお勧めします。また、コントラストを大きくすると細かい線がなくなってしまうことがあります。大きな値を選択する際は、事前に試し印刷することをお勧めします。

<参考>

このメニューは GT-782 のものと同じです。GT-541 の Vivid Processing と GT-3 の [コントラスト] は同じ機能を持ち、かつ、より細かく（0-40）調整できます。Vivid Processing の “1” が [コントラスト] の “10” に該当します。

4-3-13. 透明レイヤーを含む画像データの印刷

GT-782 では困難であった「透明レイヤー付の画像データ」への対応を行います。

TIFF や PNG や Photoshop 形式の psd 等の画像データには、RGB 情報以外に透明情報が付けることができます。この透明情報に従った透明処理を行うことが GT-782 では不可能でしたが、GT-3 では実現可能になりました。この機能は、Photoshop と Windows に付属する「マイクロソフト ペイント (以下、ペイント)」の2つの画像編集ソフトを使い分けます。以下に処理の流れを示します。

- Step1: 透明情報を含んだ画像データを PNG 形式で保存します。
- Step2: 透明情報を含んだ PNG データをペイント (Windows XP, Vista) で開いて RGB 情報 PNG ファイルを保存し、Photoshop で透明情報だけの情報を取り出し、それぞれを別々の PNG データで保存します。
- Step3: ファイル出力用のプリンタードライバー Brother GT-3 FileOutput の[透明レイヤー]>[ARTR ファイルの作成]に透明情報 PNG ファイルを読み込み、ARTR ファイルを作成します。
- Step4: RGB 情報 PNG ファイルを印刷する際に、ファイル出力用のプリンタードライバー Brother GT-3 FileOutput の[透明レイヤー]>[ARTR ファイルの読み込み]で ARTR ファイルを読み込み、RGB 情報と透明情報を合わせた印刷データ AR3 ファイルを作成します。

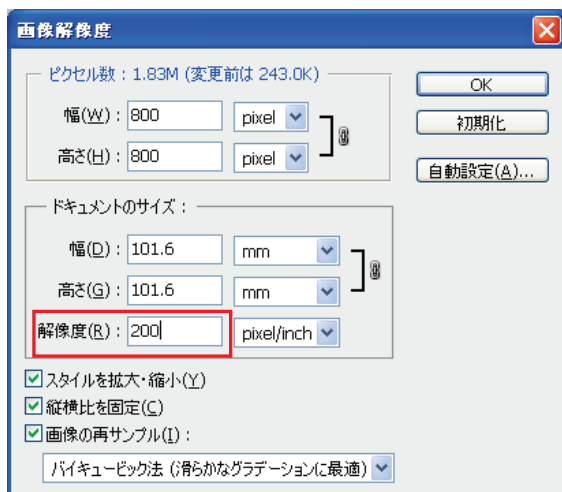
以下、各 Step の詳細を説明します。

Step 1: PNG 形式で保存

- (1) 透明情報を含んだ画像データを Photoshop で開き、事前にファイルの解像度をメモしておきます。

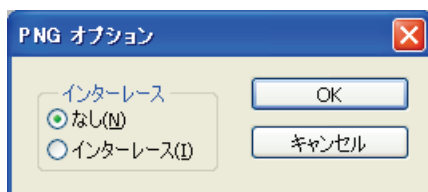


透明情報付の画像データ、白のみおよびカラーのグラデーションを印刷する。ファイル名を“test.PNG”として、以下を説明する。



Photoshop の[イメージ] > [画像解像度]を行い、解像度をメモしてください。
(左図の場合は、200)

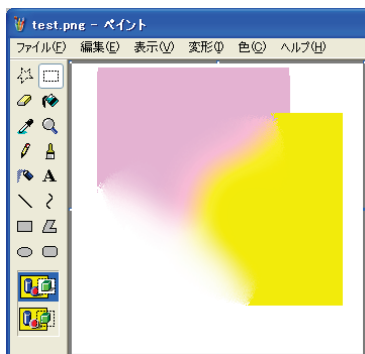
- (2) [ファイル] > [別名で保存]で PNG 形式で保存します。この時、PNG オプションが表示されます、インターレース：なし を選択します。



4. アプリケーションから直接印刷する

Step 2: RGB と透明の情報を分解して保存

- (1) ペイントで上記 Step 1 で作成した PNG ファイルを開くと、透明情報が破棄されて RGB 情報のみを取り出すことができます。[ファイル] > [名前を付けて保存] で、別名で保存してください。(Windows XP、Vista)



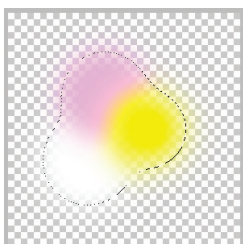
ペイントで test.PNG を開いた状態。透明の情報が破棄されるため、元画像とは異なって見える。
“test_RGB.PNG” で保存する。

<ご注意>

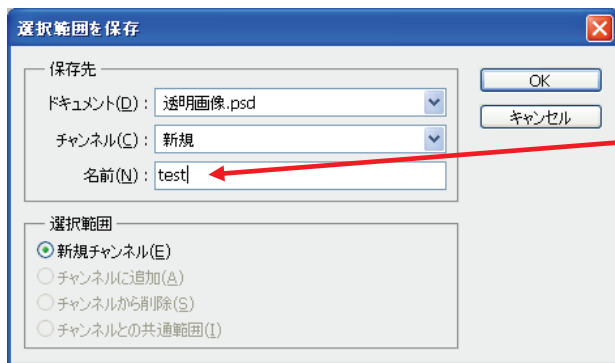
Photoshop を用いると、RGB 情報と透明情報を分離することができません。必ずペイントで作業してください。(Windows XP、Vista のみ)

- Windows 7 のペイントは PNG の透明情報が扱えるようになったため、この機能が使えません。類似の機能を持つ他のアプリケーションをご利用ください。

- (2) Photoshop で再度 “test.PNG” を開き、[選択範囲] > [選択範囲を読み込む] を実行します。画像が選択されます (点線で囲まれる)。

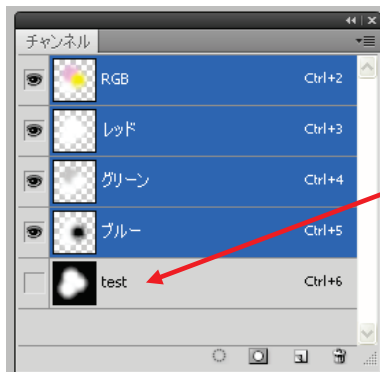


- (3) 次に、[選択範囲] > [選択範囲を保存] を行います。



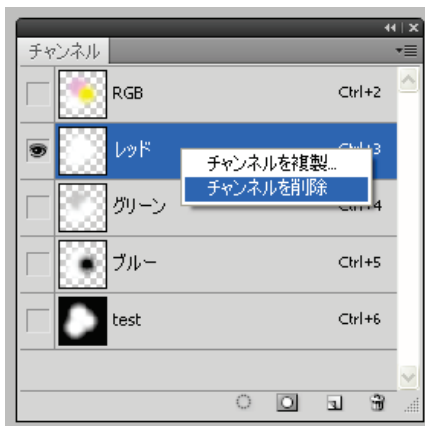
保存先の名前を “test” にする。

- (4) [ウィンドウ] > [チャンネル] でチャンネルウィンドウを開きます。上記(2)と(3)で作成した test というチャンネルが出来ています



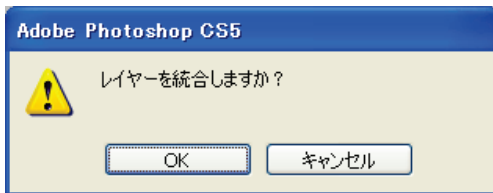
チャンネルウィンドウ

- (5) チャンネルウィンドウで、レッド、グリーン、ブルーのチャンネルを削除します。削除するチャンネルを右クリックし、[チャンネルを削除]を選んでください。

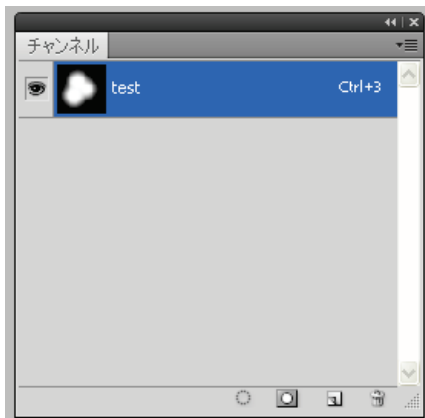


レッドのチャンネルをクリックして選択し、右クリックで [チャンネルを削除] を選ぶ。

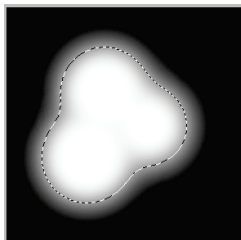
- (6) レイヤーを統合しますか?と聞かれますので OK を押してください。



- (7) レッド、グリーン、ブルーのチャンネルを削除すると、以下のように test のチャンネルだけが残ります。



- (8) ツールバーの [イメージ] > [モード] > [グレースケール] で、グレースケールにします。
 (9) 引き続き、[イメージ] > [モード] > [RGB カラー] で、透明情報のみからなる RGB 情報にします。画像は透明=黒、不透明=白で表されます。



<参考>

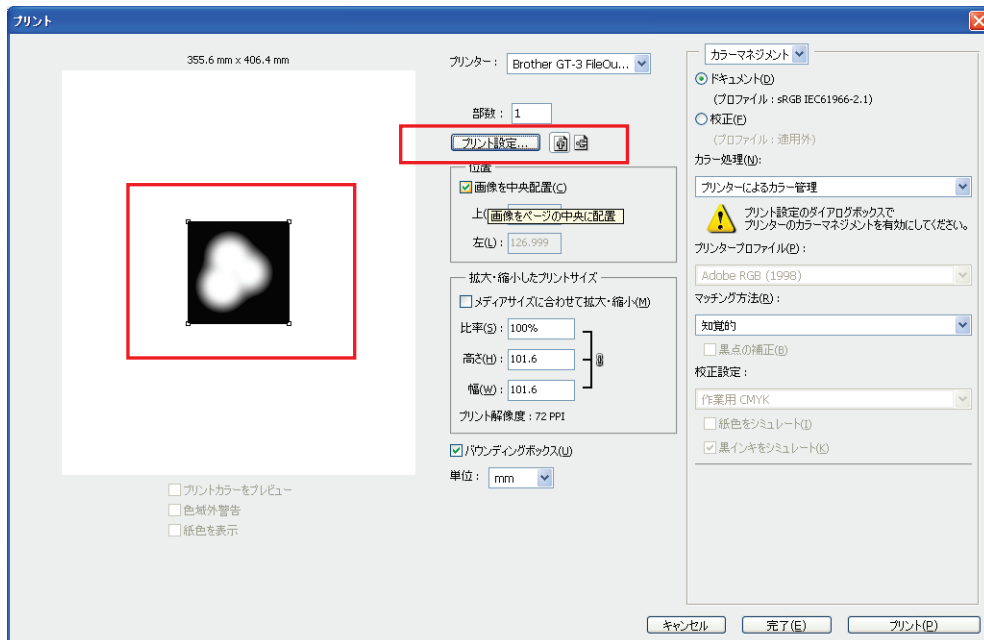
Step2 の(2)から(9)アクションファイル “TransLayer.atn” が Useful Tools の中にあります。(“3-3-9. Useful Tools の開き方”を参照) 使い方は Photoshop のヘルプをご覧ください。

- (10) 出来上がった GB 情報を破棄した透明情報のみの PNG ファイルを、[ファイル] > [別名で保存] で PNG 形式で保存します。“test_TR.PNG” とします。

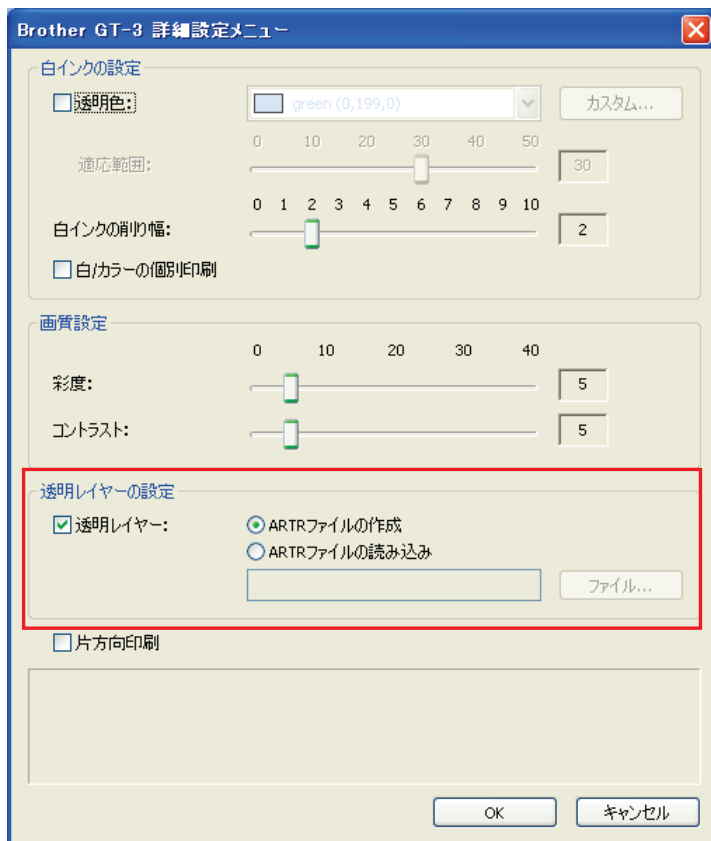
4. アプリケーションから直接印刷する

Step 3: 透明情報 PNG ファイルをプリンタードライバーに読み込み、ARTR ファイルを作成

- (1) “test_TR.PNG” ファイルを Photoshop で開きます。(上記 Step 2 の(10)より連続作業可)
- (2) [ファイル] > [プリント] を選び、ファイル出力用のプリンタードライバー Brother GT-3 FileOutput で印刷を行います。印刷位置やサイズを設定して、[プリント設定 (バージョンによってはプロパティ)] でプリンタードライバーの設定画面を表示してください。



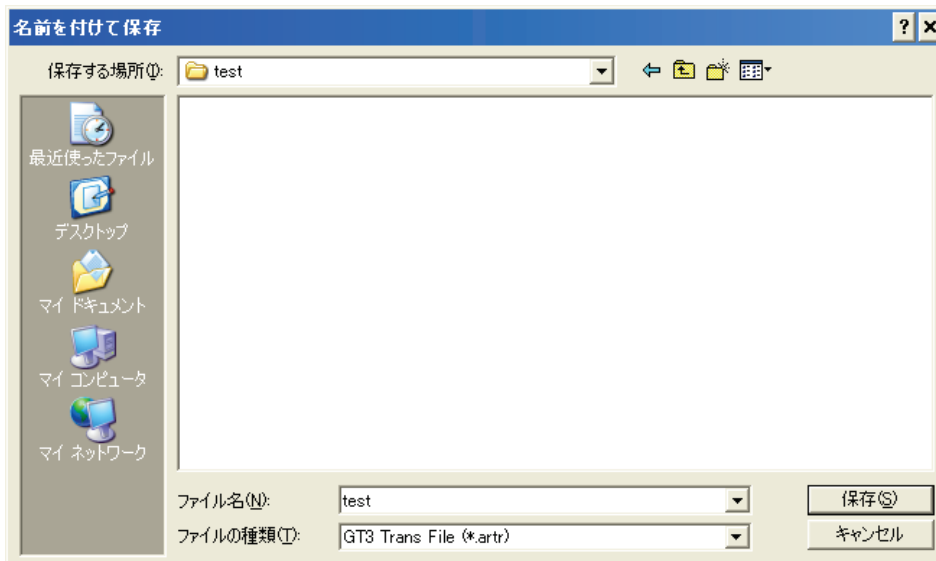
- (3) プリンタードライバーの基本設定画面で、[詳細設定] ボタンを押してください。
- (4) 詳細設定メニューで、透明レイヤーにチェックし、[ARTR の作成] のラジオボタンを選択してください。



- (5) OK ボタンを押し、基本設定画面でも OK ボタンを押して、印刷してください。

(次ページへ続く)

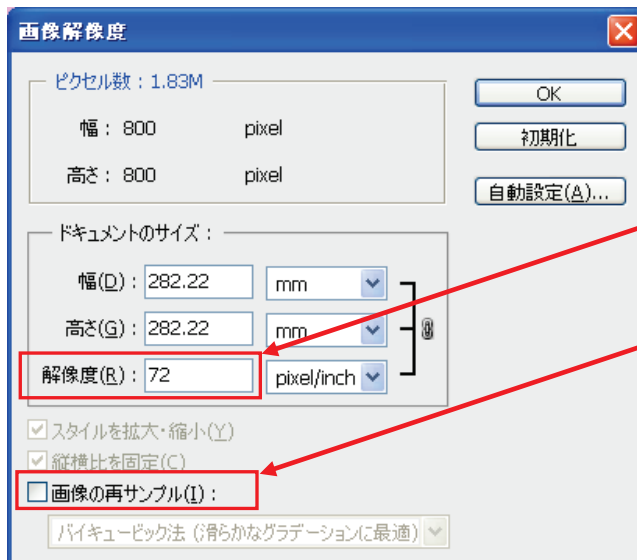
- (6) 以下のような ARTR ファイル保存画面（拡張子: ARTR）が表示されます。ファイル名を指定して保存してください。



“test.artr”として保存

Step 4: RGB 情報 PNG ファイルを印刷する時に、透明情報 ARTR ファイルを適応

- (1) Step1 の(1)で作成した “test_RGB.PNG” を Photoshop で開きます。
- (2) この “test_RGB.PNG” ペイントで保存した時に、画像解像度が自動的に 72dpi になっています。この解像度を元に戻します。[イメージ] > [画像解像度] を選択し、[画像の再サンプル] のチェックを外して、解像度に Step1-2 でメモした解像度を指定し（今回の例では 200）、OK を押してください。



2. 元の解像度を入れる

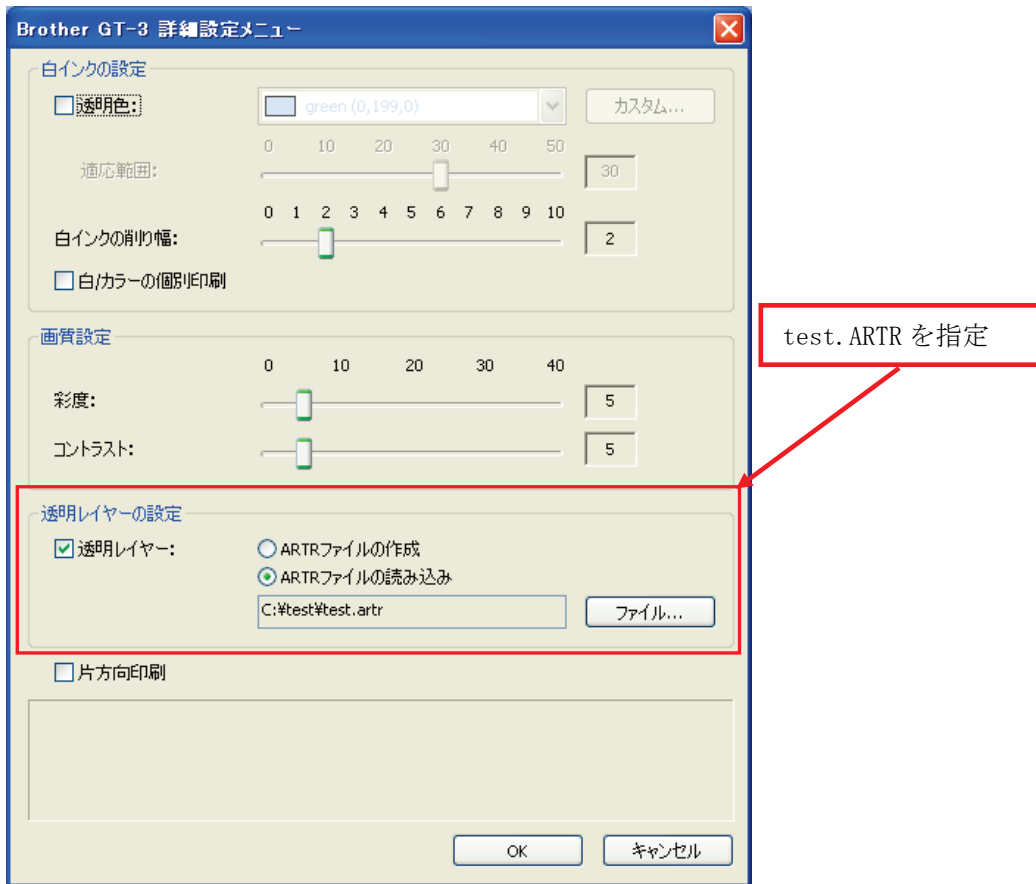
1. チェックを外す

- (3) [ファイル] > [プリント] を選び、ファイル出力用のプリンタードライバー Brother GT-3 FileOutput で “test_RGB.PNG” の印刷を行います。印刷位置は、ARTR ファイルを作成した時とまったく同じにします。[プリント設定 (バージョンによってはプロパティ)] でプリンタードライバーの設定画面を表示してください。

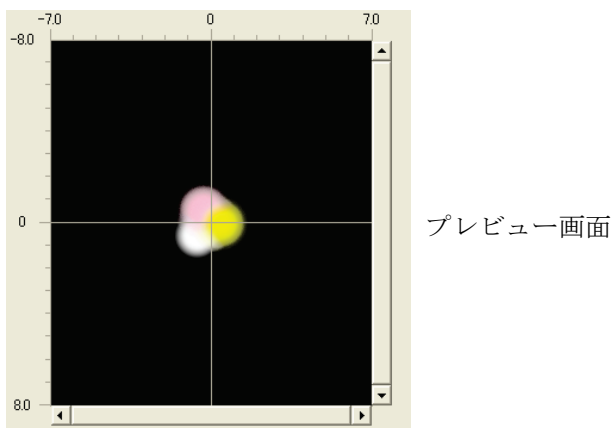
(次ページに続く)

4. アプリケーションから直接印刷する

- (4) [詳細設定] 画面で透明レイヤーにチェックし、[ARTR の読み込み] のラジオボタンを選択し、Step 3 (6) で作成した透明情報の “test.ARTR” を指定します。



- (5) OK ボタンを押し、基本設定画面でも OK ボタンを押し、印刷を開始してください。RGB 情報と透明情報が合わさった印刷データ AR3 が作成されます。



4-3-14. 片方向印刷の指定

プリンターのメニュー [印刷方向設定] が [自動] である場合、プリンタードライバーで片方向印刷の指定が有効です。予めプラテン高さを下げて厚物に印刷することが分かっている場合など、印刷データ単位で片方向指定して印刷ミスを減らすことができます。チェックボックスにチェックを入れてください。

<ご注意>

プリンタードライバーで片方向印刷を指定しても、プリンターの設定が [常に双方向] であれば双方向で印刷されます。

4-3-15. カラーチャートの印刷

GT-3 の色域を理解していただくために、専用のカラーチャートが用意されています。インクメーカーが提示している色見本のようにお使いください。“ColorChart_1200.ar3” および “ColorChart_600.ar3” は [すべてのプログラム] の [Brother GT-3 Tools] にある [Test Data] の中にあります。

このカラーチャート上の色は、Useful Tools に格納されている Photoshop、Illustrator、CorelDRAW 用のカラーパレット（スウォッチ）と対応しています。“3-3-9. Useful Tools の開き方” をご覧ください。



<参考>

このカラーチャートの画像データ（PDF）が Useful Tools にあります。プリンタードライバーの設定を変更して印刷したい場合にご利用ください。“3-3-9. Useful Tools の開き方” をご覧ください。

4.4. プラテンの着脱

プラテンを印刷メディアに合わせて交換します。ユースプラテン (PLTN 10x12) など、他のサイズのプラテンを使う時は、プリンタードライバーのメニューで“プラテンサイズ”が正しく選ばれていることを確認してください。

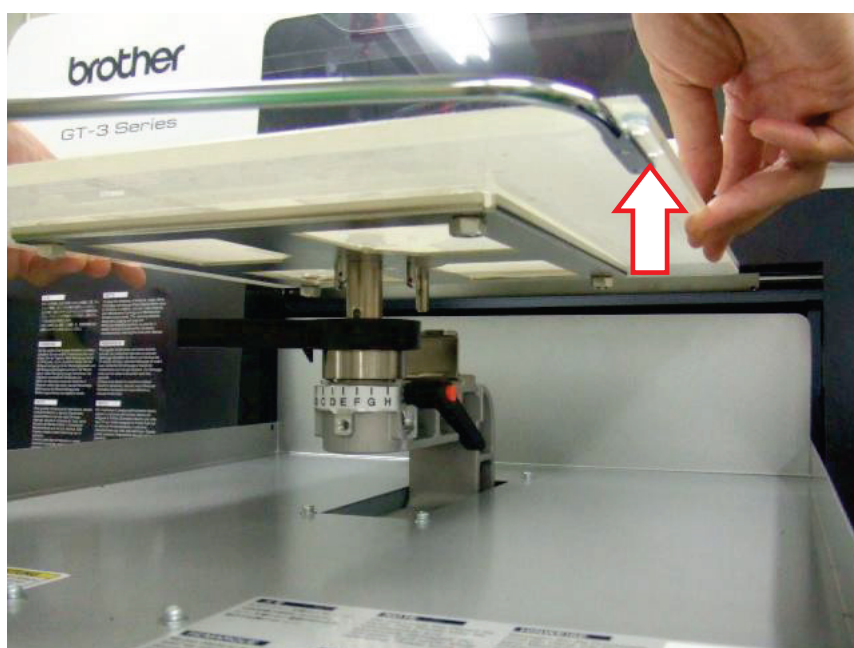
(“4-3-3. プラテンサイズを選択”を参照してください。)

4.4.1. プラテンの取り外し

- (1) 操作パネルのプラテンボタンを押し、プラテンを手前に排出してください。
- (2) プラテン高さ調節レバーを“A”の位置にしてください。
- (3) プラテンの下にあるプラテン固定レバーを1~1.5回転ゆるめてください。

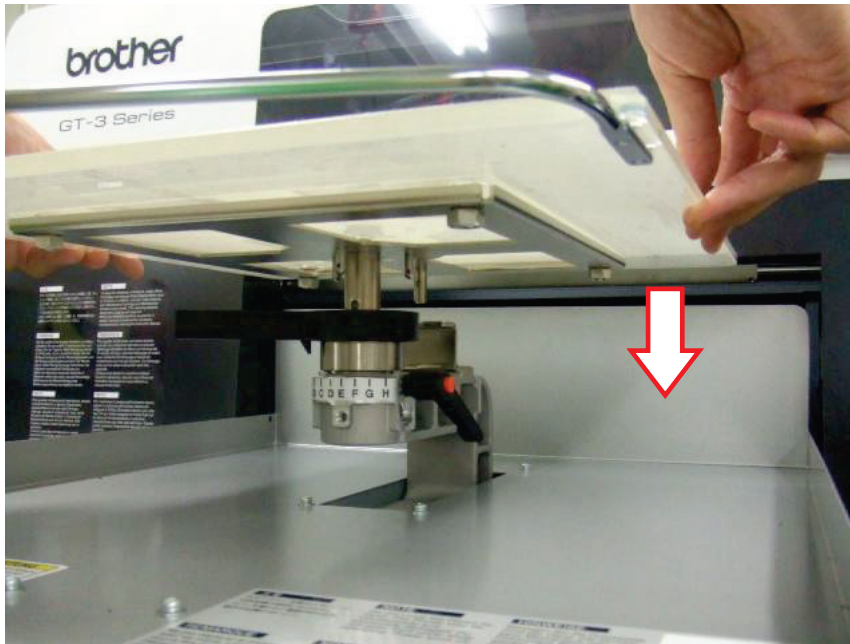


- (4) 真上に持ち上げて、プラテンを取り外します。



4-4-2. プラテンの取り付け

- (1) プラテンを真上から挿入します。



- (2) プラテン固定レバーをしっかりと締めプラテンの高さを調整してください。
（“4-5. T シャツをプラテンに装着” を参照してください。）



4. アプリケーションから直接印刷する

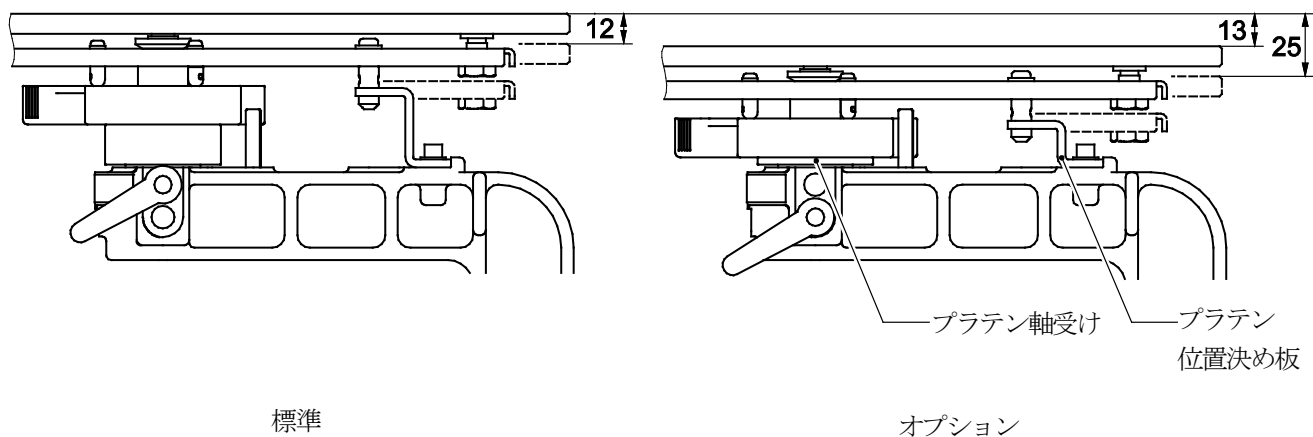
4-4-3. プラテン低下セットの取付け

常に厚物に印刷する場合は、プラテン軸受けとプラテン位置決め板をプラテン低下セット(オプション部品)と交換することでプラテン高さを 13 mm 下げることができます。六角レンチ(呼び3 mm)をご用意ください。

プラテンの高さ調節代 (標準部品で高さ調節レバーを 0 とする A の位置)

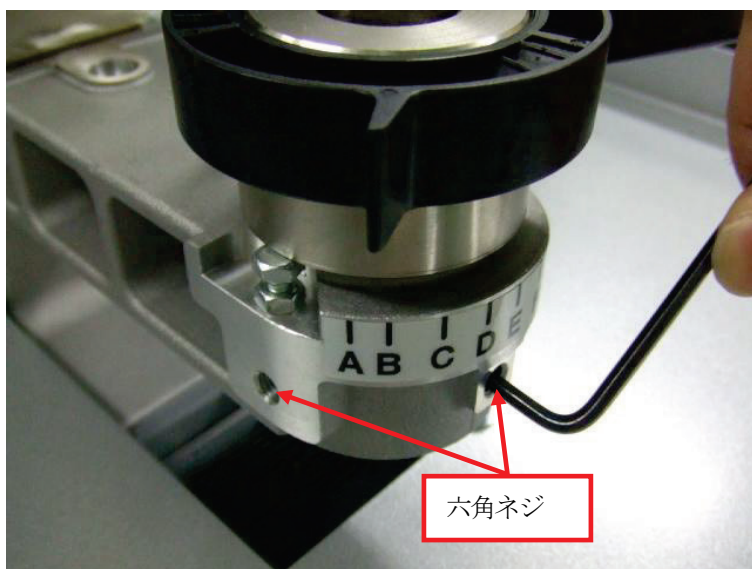
標準部品 : 0 - 12 mm

オプション部品 : 13 - 25 mm

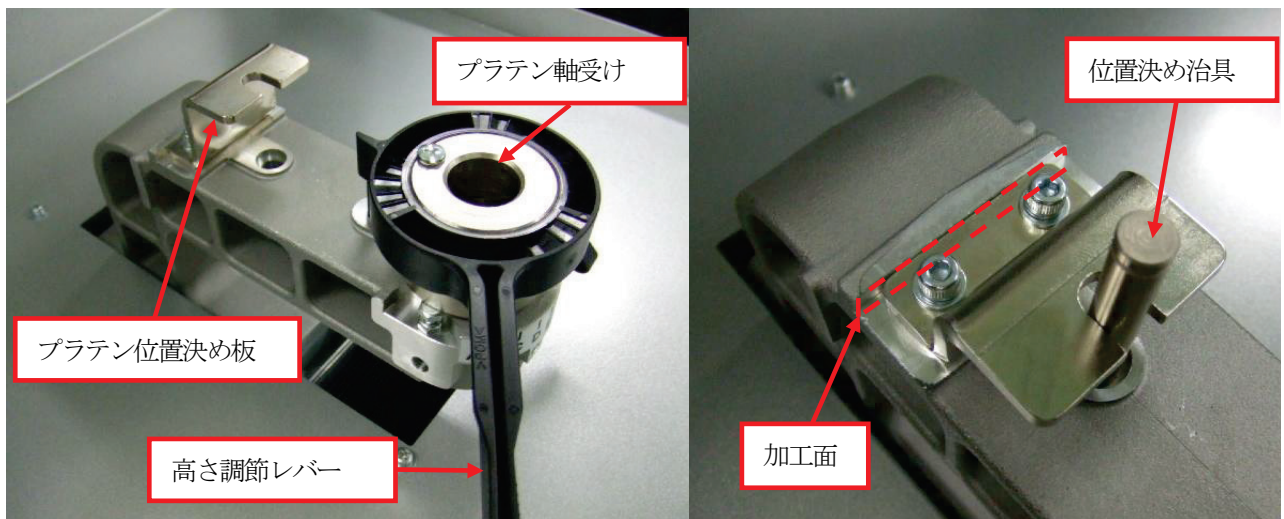


0053Y

- (1) プラテンの下にあるプラテン固定レバーを外してから、プラテンを真上に動かして外します。
- (2) プラテン軸受けを固定している、2本の六角ネジを緩めます。



- (3) 高さ調節レバー付きプラテン軸受けとプラテン位置決め板を、プラテン低下セット (オプション部品) と交換します。



<ご注意>

プラテン位置決め板は、プラテンアームに位置決め治具を差し込んだ状態で、後の加工面に押し付けた状態で取り付けてください。

- (4) プラテンを元通りセットし、固定します。この時、プラテン固定レバーは、下側の穴に差し込んで固定してください。



4-5. T シャツをプラテンに装着

⚠ 注意



本機の前には十分な空間を取り、物を置かないでください。プラテンがぶつかって破損したり、プラテンと物の間に手をはさみ、けがの原因となります。



動作中はプラテンから手を離してください。プラテンやT シャツトレイと各カバーとの間に手をはさみ、けがの原因となります。



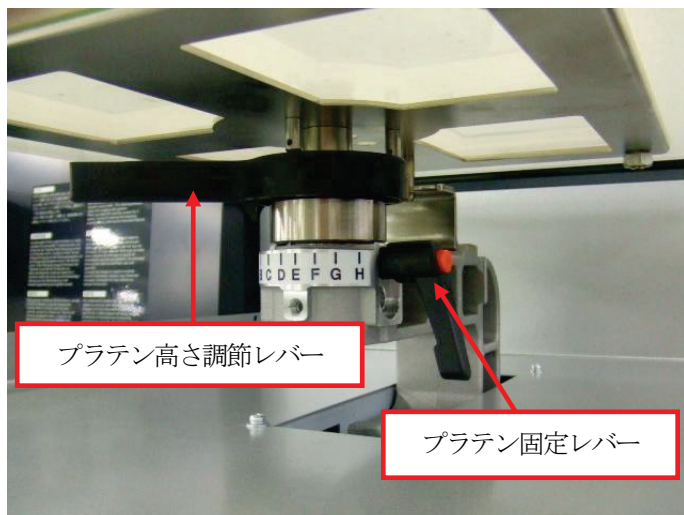
プラテンを手で動かさないでください。本機に深刻な故障を与える原因となります。

最適な印刷画質を得るためには、T シャツその他の印刷メディアの厚みに応じてプラテンの高さを調整する必要があります。

<ご注意>

- 障害物センサーと印刷面のギャップは2 mm 程度でお使いください。ギャップが広い状態で使用すると、インクミストがプリンター内部に飛散し、印刷面を汚したり、センサー等の故障原因となります。2 mm 以上で使うことが多い場合は、定期的にプリンター内部を確認し、“6-2. 清掃と消耗品の交換”にある定期交換部品を交換し、“6-2-2. プリンター内部の掃除”および“6-1-7. エンコーダストリップの掃除”に従って掃除を行ってください。
- プラテンの高さが低すぎると、画質が悪化します（例えば、一本の直線が二本線に、粒状感が目立つ、文字がボケる等）操作パネルのプラテンボタンを押して高さを確認してください。ヘム（縁）や縫い目を避けるためにプラテンを低めにしなければならない場合は、片方向印刷をお使いください。（“7-2-4. 印刷方向の変更”を参照してください。）また、印刷データ単位での片方向印刷は、プリンタードライバーからも指定できます。“4-3-14. 片方向印刷の指定”を参照してください。
- 常に厚物に印刷する場合は、高さ調節レバー付きプラテン軸受けとプラテン位置決め板をプラテン低下セット（オプション部品）と交換することでプラテン高さを13 mm 下げることができます。詳細は、“4-4-3. プラテン低下セットの取付”を参照してください。

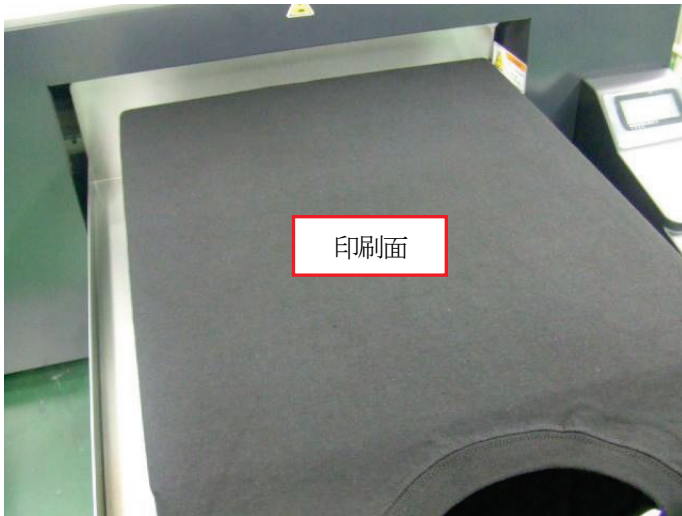
- (1) プラテンが手前に排出されていない場合は、プラテンボタンを押してください。
- (2) プラテン固定レバーを緩めます。T シャツの場合はプラテン高さ調節レバーを“A”（最左）にしてください。トレーナーのような厚手のものは“C”程度に下げてください。ギャップが広すぎると画質が悪くなります。プラテンロード時の印刷面と障害物センサー下面とのギャップが2 mm 程度のギャップになるように、必ず最適な高さにしてください。



<ご注意> 各レバーは無理やり動かさないでください。

- (3) プラテン固定レバーを締めてください。

- (4) Tシャツを印刷面を上にしてプラテンに着せるように装着します。濃色Tシャツに白インクで印刷する場合は、予め前処理剤の塗布と定着をしてください。（“4-6-1. 前処理剤の塗布”を参照してください。）

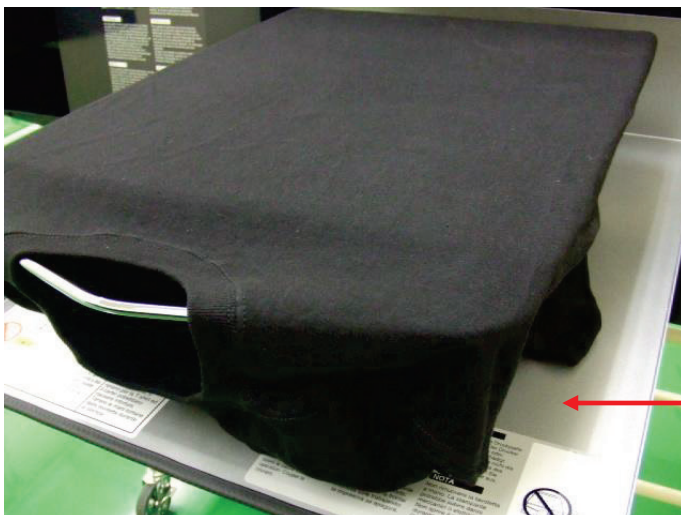


<ご注意>

- ヘム（縁）や首、アームホール、タック、裾などの縫い目に注意してください。プリントヘッドに当たるとインクで汚れてしまいます。
両端の部分はしっかり平らにしないと印刷中に盛り上がりやすく、プリントヘッドに当たって汚れてしまうことがあります。Tシャツの表面が平らになっていることを確認してください。
 - 白または淡色のTシャツの位置合わせ用に、プラテンシートに印刷するグリッドが [すべてのプログラム] の [Brother GT-3 Tools] の中の [Useful Tools] にあります。（“3-3-9. Useful Tools の開き方”を参照してください。）
- (5) しわを手で伸ばし、糸くずや埃は取り去ってください。真ん中から外側へ、引っ張るのではなくプラテン布と馴染ませるように平らに均してください。

<ご注意>

- Tシャツの表面が平らでない場合、障害物センサーにぶつかります。
 - Tシャツを引っ張ってセットすると、印刷時にインクの水分でTシャツの繊維が伸び縮みすることで、白インクとカラーインクの吐出位置がずれて白インクがはみ出してしまうことがあります。特に薄い生地のもは引っ張らないようにご注意ください。
 - トレーナーのような厚手のものに印刷する場合は、予めプラテンの高さを“C”程度に下げ、特に表面を平らにするようにしてください。
- (6) 袖や裾の溢れた部分はTシャツトレイに載せてください。



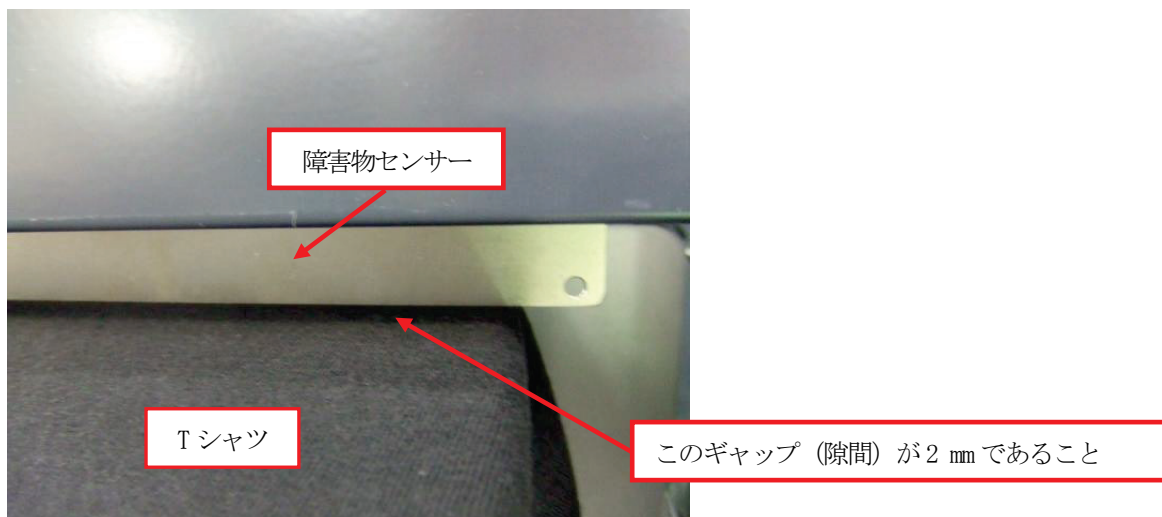
4. アプリケーションから直接印刷する

- (7) プラテンをロードするためにプラテンボタンを押してください。T シャツ表面と障害物センサーとのギャップを確認してください。高さが適切であれば、ギャップは2 mm（表面のケバを擦らない）程度です。これより広すぎる場合はプラテン高さ調節レバーで調整してください。

<ご注意>

- プラテンを実際に動かして、印刷面全体を確認してください。
- 障害物センサーがインクで汚れていると、プラテンの高さ調節をしている間に印刷メディアを汚してしまいます。やわらかい布などでやさしく水拭きしてください。（“6-2-1. ワイパークリーナーの交換とキャップ&ワイパーの掃除”を参照してください。）






プラテンの高さが高すぎると、印刷中にプリントヘッドに当たり、汚れや故障の原因になります。



- (8) プラテンボタンを押してプラテンを排出します。適切な高さになるまで下の(9)から(12)のプロセスを繰り返してください。高さが決まりましたら、印刷を開始します。“4-6. 印刷”を参照してください。
- (9) プラテン固定レバーを緩めます。
- (10) プラテン高さ調節レバーを動かして、プラテンの高さを調節してください。目盛りのアルファベットは目安です。
- (11) プラテン固定レバーをしっかりと締めます。
- (12) プラテンボタンを押して実際にプラテンを動かし、高さを確認します。プラテンの高さが決まるまで、実行してください。

4-6. 印刷

⚠ 注意

- 
 本機の前には十分な空間を取り、物を置かないでください。プラテンがぶつかって破損したり、プラテンと物の間に手をはさみ、けがの原因となります。
- 
 動作中はプラテンから手を離してください。プラテンやTシャツトレイと各カバーとの間に手をはさみ、けがの原因となります。
- 
 プラテンを手で動かさないでください。本機に深刻な故障を与える原因となります。
- 
 通電中は各カバー内に手を入れないでください。可動部に手がふれてけがの原因となります。
- 
 インク・充填剤・ウォッシュ液・前処理剤・廃液などの液体類を飲まないでください。下痢・おう吐する可能性があります。またインク・充填剤・ウォッシュ液・前処理剤・廃液などの液体類が目や皮膚に付かないようにしてください。炎症を起こす可能性があります。目に入ったときはこすらずに、すぐに水で洗い流してください。子供の手の届かないところに置いてください。

4-6-1. 前処理剤の塗布

白インクをTシャツ生地の上に留めるために、事前に前処理剤を塗布する必要があります。前処理剤を塗布する場合は、ビニール手袋を装着して直接皮膚に付かないように保護してください。

<ご注意>

- 前処理剤の定着にはホットプレスと表面が滑らかで薄いガラスクロスシートやフッ素樹脂シート（テフロンシート）をご利用ください。表面を平らにして圧力をかける必要がありますので、オープンによる定着では表面が平らにならず、十分な白さが得られません。
- ホットプレスにTシャツをセットする際には、Tシャツの表面が平らになるように、プレスエリア全体にガラスクロスシートやフッ素樹脂シート（テフロンシート）を置いてプレスしてください。
- 前処理剤を塗布して定着させた面に水分がつくと、前処理成分が溶け出してしまうと白く印刷できずにしみになります。塗布面を濡らさないようにしてください。また、定着後に多湿の場所に放置しないでください。
- 定着時には、ホットプレスの温度をご確認ください。水分量が多いため、連続して定着すると温度が急激に下がりますが、低いと前処理剤が正しく定着せず、白インクがTシャツ生地にしみこんでしまうため、白さが再現できません。
- Tシャツから水分が効率よく蒸発するように、下に気泡マットを敷くことをお勧めします。
- 前処理剤を塗布したTシャツにカラーインクのみで印刷すると、洗濯に弱くなる傾向があります。白インクを使わない場合は、前処理剤の塗布をお避けください。
- Tシャツによっては、前処理剤の跡残りが発生することがあります。水で洗い流してください。また、Tシャツの染料によっては、前処理剤で脱色してしまうことがあります。初めて印刷する場合は、目立たないところで試してください。
- 前処理剤をスプレーや前処理剤塗布装置で塗布すると、ミスト状となって飛散することがあります。作業時の換気には、十分ご注意ください。また、必要に応じてマスクやゴーグルを着用してください。

4. アプリケーションから直接印刷する

前処理剤の希釈

前処理剤の希釈率には幅があります。用途に合わせて希釈してください。

標準： 前処理剤1リットルに対して、純水2リットル（体積比1:2）

薄め： 前処理剤1キログラムに対して、純水2キログラム（重量比1:2）

濃いめ： 前処理剤1リットルに対して、純水1リットル（体積比1:1）

<ご注意>

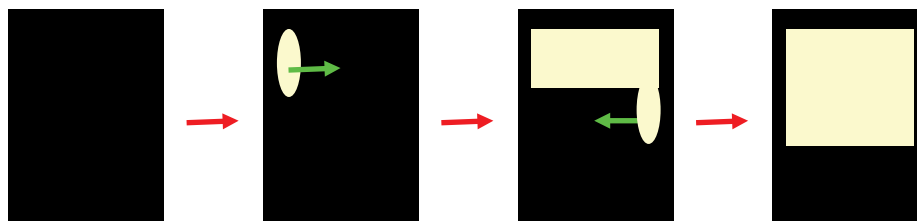
前処理剤の希釈が濃いと、白さはありますが前処理剤の跡が目立ったり、洗濯堅牢度が悪くなったり、洗濯後表面にヒビが入ったりしやすくなります。逆に前処理剤の希釈が薄いと、定着後の跡残りが目立ちにくくなりますが、表面に白インクを留められずに白さが不十分だったり、希釈後の前処理剤保存性が悪くなります。

前処理剤塗布量の目安（厚手の黒Tシャツの場合）

プラテンサイズ	前処理剤塗布量
14x16	30g
10x12	16g
7x8	8g
レター/A4	15g
ポケットサイズ(10 x 10cm)	3g

スプレー利用の場合

- (1) 前処理剤をスプレーに充填します。スプレーはミストが細かいものをお使いください。
- (2) Tシャツを平らに置か立てかけて、スプレーで均一に塗布します。この時、Tシャツに中敷を入れると、背面に前処理剤がつきません。慣れないうちは、秤で塗布量を計りながら行ってください。



塗布の流れ

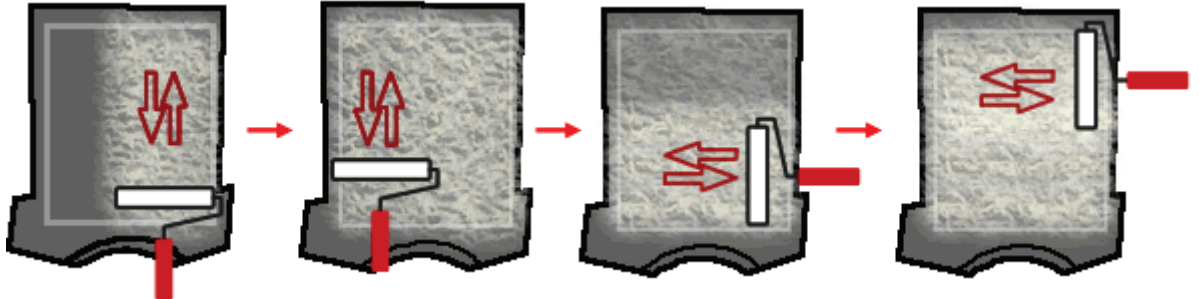
<ご注意>

- 前処理剤をスプレーや前処理剤塗布装置で塗布すると、ミスト状となって飛散することがあります。作業時の換気には、十分ご注意ください。また、必要に応じてマスクやゴーグルを着用してください。
- (3) 表面をローラーで押さえて、前処理剤をTシャツ生地に均等に染み込ませます。こうすることでムラを防ぐことができます。
 - (4) ホットプレスにTシャツをセットします。Tシャツの表面が平らになるように、ガラスクロスシートやフッ素樹脂シート（テフロンシート）を置いて高めの圧力でプレスします。定着条件はインクと同じ摂氏180度（華氏356度）35秒です。
 - (5) Tシャツをホットプレスから取り外し、粗熱を取ります。

前処理ローラー利用の場合（オプション*）

（*部品コードは“1-3-5. 必要な消耗品およびオプション部品”を参照）

- (1) トレイに前処理剤を入れて、前処理ローラーに前処理剤を十分染みこませます。前処理ローラーは弊社指定のものをお勧めします。
- (2) 前処理ローラーを前後、左右に動かして、むらなく塗布します。慣れないうちは、秤で塗布量を計りながら行ってください。



- (3) ホットプレスにTシャツをセットします。Tシャツの表面が平らになるように、ガラスクロスシートやフッ素樹脂シート（テフロンシート）を置いて高めの圧力でプレスします。定着条件はインクと同じ摂氏 180 度（華氏 356 度）35 秒です。
- (4) Tシャツをホットプレスから取り外し、粗熱を取ります。

4. アプリケーションから直接印刷する

4-6-2. 1 枚印刷する

GT-3 は、印刷中に次の印刷データを PC から受信することができます。印刷を開始する時には、操作パネルのディスプレイに表示されたファイル名（ジョブ名）およびプリント枚数のカウンターを確認してください。

- (1) プリントボタンが点灯して、印刷データが受信されていることを確認してください。
- (2) 印刷データに指定されたプラテンサイズのプラテンに、印刷メディアが正しく装着されて一番手前に排出されていることを確認してください。そうでない場合は、プラテンボタンを押してプラテンを移動します。
- (3) プラテンの高さが適切（障害物センサーと印刷メディアとのギャップが 2 mm 程度）であることを確認してください。厚物を印刷する場合は、プラテンボタンを押して確認してください。前回の印刷でプラテンの高さを下げた場合は元に戻してください。
- (4) 受信データが印刷したいデータであることをディスプレイで確認してください。印刷枚数のカウンターが 000 であることを確認すると便利です。
- (5) プリントボタンを押して印刷を開始してください。
印刷が完了すると、プラテンが排出され「ポーン」音が鳴ります。
印刷を中断したい場合は、ストップボタンを押してください。その場で印刷が中断されます。その後、プラテンボタンでプラテンを排出してください。

<ご注意>

- プリントボタンを押すと、自動ヘッドクリーニングが始まる場合があります。これは、24 枚ごと（デフォルト、メニューで間隔を短くすることが可能です。“7-2-5. オートクリーニング設定の変更”を参照してください。）または、2 時間以上印刷していなかった場合に、次の印刷開始時に行なわれます。その後、印刷は自動的に始まります。
- 動いているプラテンに手を触れないでください。
- プリントボタンが押された時にプラテンが印刷開始位置（最手前）にない場合は、印刷開始位置に自動的に移動します。その場合は、再度プリントボタンを押してください。
- 前面カバーを印刷中に開けないでください。安全のため、電源が自動的に OFF されます。

4-6-3. 同じ印刷データを複数枚印刷する

“4-6-2. 1 枚印刷する”手順に従って印刷した後、そのまま同じデータの印刷を続けることができます。

- (1) プラテンの高さや印刷方向を確認してください。
- (2) プリントボタンを押して印刷を開始してください。ディスプレイに表示されるカウンターで印刷枚数を確認できます。

4-7. 印刷物のプラテンからの取り外し

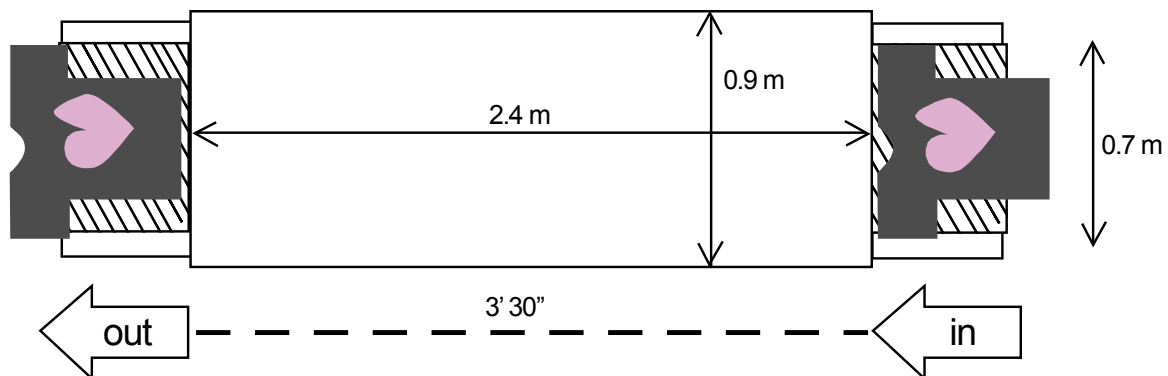
- (1) 袖や裾（トレーナーなど）の引っかかりがある場合は、インクに触らないように外します。
- (2) 肩を持ち、少し上方向に印刷媒体を引き抜きます。印刷面が手前に来るように取り出すと、定着時に未定着のインクでよごれにくくなります。

<ご注意>

インクは濡れていますので、手や印刷メディアが触らないようにしてください。手にインクがついた場合は、石鹸をつけて水洗いしてください。布についてしまったインクはきれいに取れませんので、取り扱いには十分ご注意ください。

4-8. 印刷物のインクを定着

インクを定着させるためには、温度と時間の管理上、ホットプレスの使用が便利です。インク定着の目安は、180°C (356°F) 35秒です。白インクを含む印刷物を定着する場合は、表面が滑らかで薄いガラスクロスシートやフッ素樹脂シート（テフロン(R)シート）の使用をお勧めします。またコンベア式オープンを利用させていただくと、1枚当たりの定着時間はホットプレスよりも時間がかかりますが、印刷枚数が多い場合には作業効率が改善されます（洗濯堅牢度も多少改善）。定着時間の目安は、下記のコンベアの長さが2.4mの場合で「表面温度=160°C (320°F)、時間=3分30秒」です。お手持ちのホットプレスならびにコンベア式オープンの取扱説明書をよく参照してください。また、コンベア式オープンは庫内温度、および実際のインク定着結果をご確認ください。



0018N

<ご注意>

- 適切な定着時間はホットプレスやコンベア式オープン毎に異なる可能性があります。必ず事前に温度やインク定着結果をご確認ください。
- 定着が不十分だと、洗濯や摩擦による色落ちの可能性がありま。
- 十分に換気できる環境でホットプレスやオープンをお使いください。白インクを用いた場合には、インクの使用量が多いためオープンの使用をお勧めします。オープン定着の表面は自然に、ホットプレス定着の表面はつるつるに仕上がります。
- 定着させた後、印刷の表面が確実に乾いていることを手で触ってご確認ください。
- ホットプレスやガラスクロスシートやフッ素樹脂シート（テフロン(R)シート）の定着面はきれいにしておいてください。よごれが印刷面についてしまうことがあります。
- 印刷メディアによっては焦げやすいものもありますので、表面の状態をよくご確認ください。特に前処理剤を塗布したものは焦げやすくなります。
- 印刷物は、白色や淡色の塩化ビニール系の合成皮革上でこすると色移りを起こすことがあります。また、カラーインクのみ印刷面と白インクのみ印刷面を強くこすると、同様に色移りを起こすことがあります。このような場合、家庭用洗剤やアルコールをやわらかい布か歯ブラシにつけて汚れを落としてください。

5. AR3 ファイルの印刷

印刷データを AR3 フォーマットのファイルに保存すると、印刷時に以下の 2 つの手順を選ぶことができます。

- GT-3 File Viewer から AR3 ファイルを印刷します。プリンターに AR3 ファイルを送信する前に、詳細な印刷条件やインク使用量を確認することができます。
- GT-3 は USB メモリーから AR3 ファイルを読み出すことができます。PC を使わずにプリンターをスタンドアロンとして動かすことができますし、プリンターを PC から離れて置くことができます。

AR3 ファイルを印刷する手順：

- (1) 画像データが完成したら、ファイル出力用プリンタードライバー Brother GT-3 FileOutput を用いて、印刷データを AR3 ファイル形式で保存します。
“5-1. 印刷データを AR3 フォーマットにする” を参照してください。
- (2) AR3 ファイルを GT-3 File Viewer かまたは USB メモリーを使って送信します。
“5-2. USB メモリーに保存された AR3 ファイルの読み出し” または “5-3. GT-3 File Viewer でプリンターに AR3 ファイルを送信” を参照してください。
- (3) T シャツをプラテンの上に置き、プラテンの高さを調節したのち、印刷します。
“4-5. T シャツをプラテンに装着”、“4-6. 印刷”、“4-7. 印刷物のプラテンからの取り外し”、“4-8. 印刷物のインクを定着” を参照してください。

5-1. 印刷データを AR3 フォーマットにする

GT-3 は GT-541 および GT-782 のプリンタードライバーの印刷データ (*.arp) を印刷することはできません。

<ご注意>

AR3 ファイルは編集できません。元の画像データも保存しておいてください。

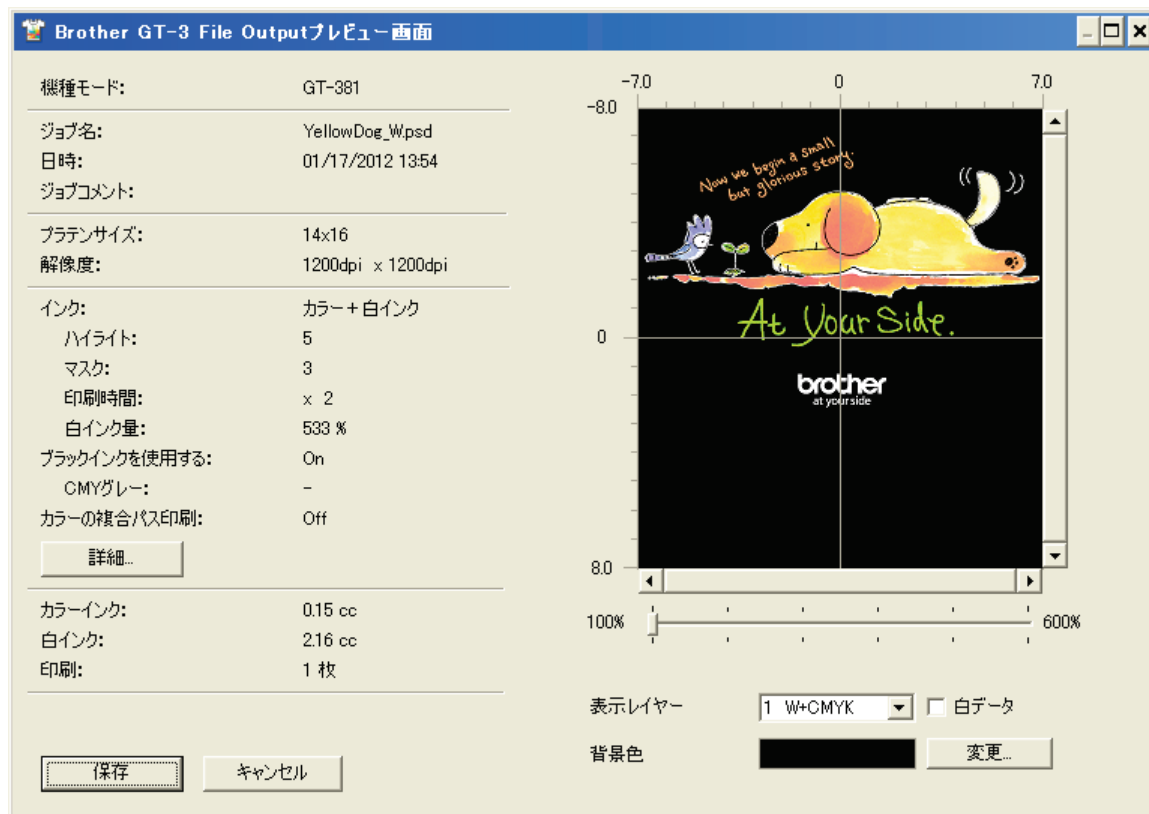
- (1) 画像編集アプリケーションを用いてアートワーク（画像データ）を作成します。“4-2. アプリケーションの印刷条件の設定” に従い、適正な設定を行なってください。
- (2) [ファイル] メニューにある [印刷] のメニューを選択してください。
プリンターを選択するダイアログボックスが表示されます。
- (3) ファイル出力用のプリンタードライバー “Brother GT-3 FileOutput” を選びます。プリンタードライバーの設定を編集する場合は、[プロパティ] をクリックしてください。プリンタードライバーの基本設定および詳細設定については、“4-3. プリンタードライバーの設定” を参照してください。



- (4) しばらくして、下記のダイアログボックスが表示されます。[保存] をクリックしてください。

<重要>

アプリケーションや画像サイズ、印刷解像度、PC の状態により、数分かかることがあります。



白インクのデータがある場合

- (5) [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。ファイルを保存する場所を選択し、ファイル名を入れて AR3 ファイル形式で [保存] をクリックして下さい。AR3 ファイルが保存されます。

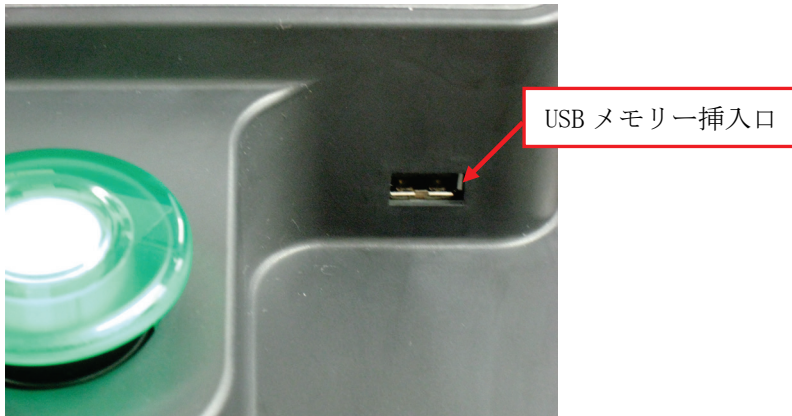
5-2. USB メモリーに保存された AR3 ファイルの読み出し

<ご注意>

- 32GB 以下で、FAT32 でフォーマットされた USB メモリーを使用してください。
 - USB メモリーから読み込めるのは AR3 ファイルのみです。
- (1) 操作パネル手前の USB メモリー挿入口に、USB メモリーを挿入します。

<ご注意>

無理やり USB メモリーを挿入しないでください。破損してデータが読み出せない恐れがあります。



- (2) メニューから [印刷データ読み込み] を選択し、OK ボタンを押します。ファイル情報（ジョブネームまたはジョブコメント、インク使用量、プラテンサイズ）がディスプレイに表示されます。USB メモリー内のフォルダは [] つきでフォルダ名が表示されます。
- (3) 選択するファイル名を選択し、OK ボタンを押します。
データの読み込みが始まります。プリントボタンの点滅が点灯になり、チャイム音が鳴ったら読み込み完了です。

<ご注意>

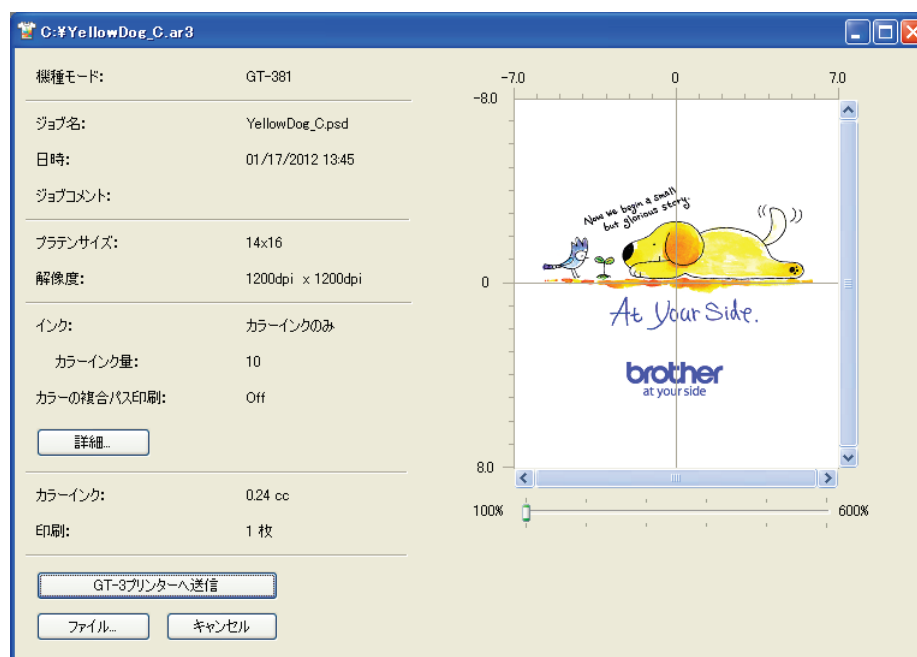
- ・ USB メモリー内のファイル名が読めない場合、“7-1. こんなときは”を参照してください。
 - ・ プリントボタンが点滅中（データ読み込み中）は USB メモリーに触らないでください。保存データが壊れることがあります。
 - ・ データサイズによっては、読み込みに最大数分程度かかることがあります。
- (4) 印刷終了後は、USB メモリーを USB メモリー挿入口から抜きます。

5-3. GT-3 File Viewer でプリンターに AR3 ファイルを送信

- (1) AR3 ファイルをダブルクリックして開くか、PC の [すべてのプログラム] > [Brother GT-3 Tools] から GT-3 File Viewer を選択し、起動後 [ファイル] をクリックし、AR3 ファイルを選択して開きます。
- (2) プリンタードライバーの設定に従って、ファイルの印刷条件やプレビュー（レイアウト）が下記のように表示されます。プリンタードライバーの詳細設定画面で設定した項目は、詳細ボタンを押すと表示されず。AR3 ファイルに白インクのデータがある場合（“カラー+白インク”または“白インクのみ”の場合）、背景が黒または詳細設定で指定した“透明色”で表示されます。白インクのデータがない場合（“カラーインクのみ”の場合）、背景が白く表示されます。



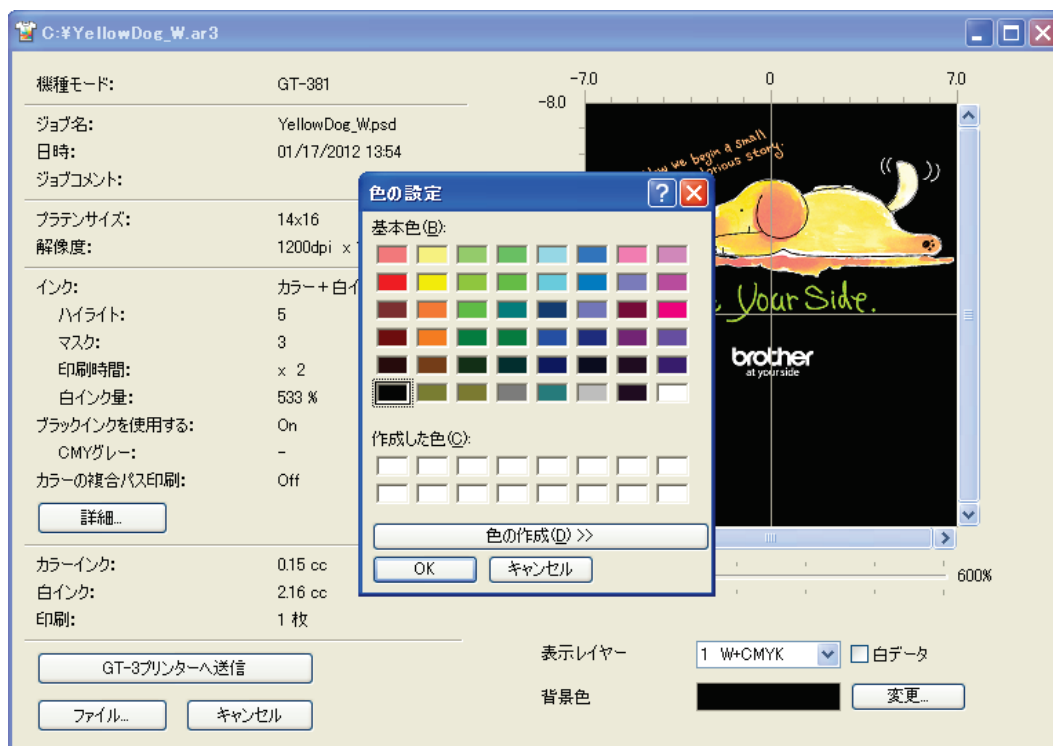
白インクを使う場合



カラーインクのみの場合

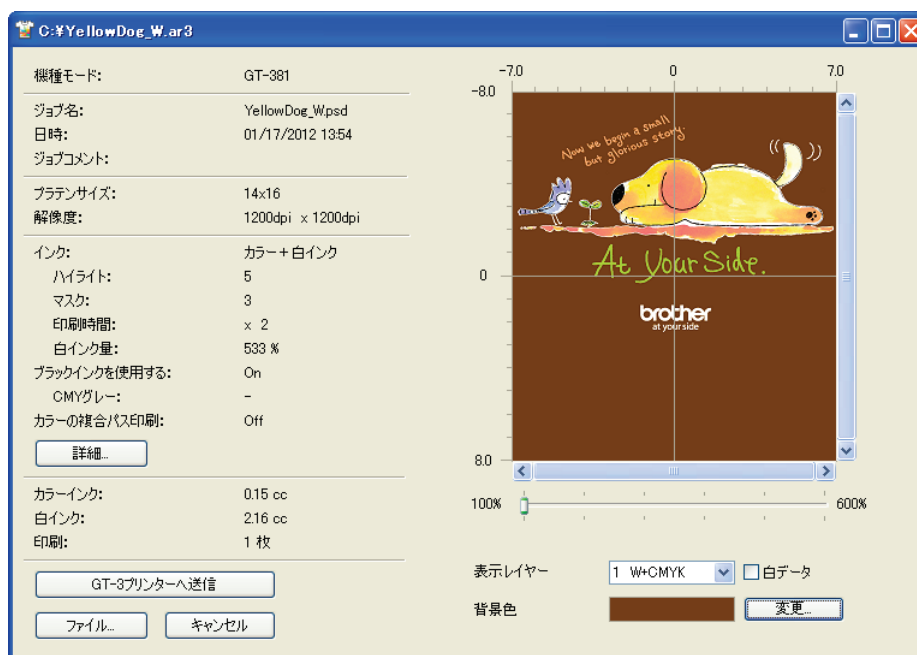
5. AR3 ファイルの印刷

- (3) 白インクデータがある場合は、背景の色を他の色に変更して見え方のシミュレーションを行なうことができます。左下の [変更] ボタンをクリックしてください。[色の設定] ダイアログボックスが表示されます。[色の作成] ボタンをクリックして、任意の RGB 値を入力することができます。また [白データ] にチェックを入れると、白データのみが表示されます。



RGB 値を直接入力できます。

(次ページに続く)



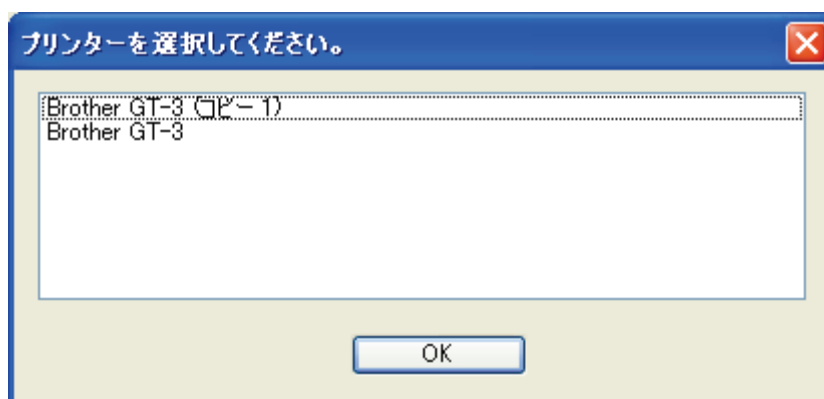
茶色 (R=128, G=64, B=64) の T シャツに印刷した場合のシミュレーション

- (4) 印刷が複数回のプラテンのロード／アンロードで行われる印刷データの場合、表示レイヤーを選ぶことによって個別の印刷データを確認することができます。「表示レイヤー」のコンボボックスで、表示したいレイヤーを選択してください。「トータル」と表示されたレイヤーは、全てのレイヤーを合成した最終印刷結果のプレビューを表示します。またその時も [白データ] にチェックを入れると、白データのみが表示されます。
- (5) 印刷条件やレイアウトを確認し、[GT プリンターへ送信] をクリックします。この時、PC とプリンターが USB 2.0 ケーブルまたは LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。AR3 ファイルがプリンターに送信されます。

<ご注意>

1 台以上の GT-3 のプリンタードライバーが PC にインストールされている場合、下記のようなプリンター選択ダイアログが表示されます。

データを送信する 1 台を選択し、[OK] をクリックしてください。PC からデータが送信されます。



6. メンテナンス

最適な状態で使用していただくために、定期的なメンテナンスを実行してください。

危険



右側面カバーを開ける時は必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、その後5分間待ってから右側面カバーを開けてください。コントロールボックスの高電圧部分にふれると、大けがをすることがあります。

注意



前面カバーを開けるときは必ず電源スイッチを切り、その後1分間待ってからカバーを開けてください。ヘッド上部のヒートシンクにふれると、やけどをすることがあります。



前面カバーを閉めるときは指をはさまないように注意してください。指をはさむとけがをする恐れがあります。



プラテンを手で動かさないでください。本機に深刻な故障を与える原因になります。



インクカートリッジを分解しないでください。



インク・充填剤・ウォッシュ液・前処理剤・廃液などの液体類を飲まないでください。

下痢・おう吐する可能性があります。

またインク・充填剤・ウォッシュ液・前処理剤・廃液などの液体類が目や皮膚に付かないようにしてください。

炎症を起こす可能性があります。目に入ったときはこすらずに、すぐに水で洗い流してください。

子供の手の届かないところに置いてください。



グリースを扱うときは、保護めがねや保護手袋等を使用し、目や皮膚に付かないようにしてください。

炎症を起こす原因となります。またグリースを食べないでください。

下痢・おう吐することがあります。

子供の手の届かないところに置いてください。



部品交換、オプション部品装着の際は、当社純正部品を使用してください。

非純正部品を使用して生じた事故・故障に対しては、当社は責任を負いません。

6-1. 定期メンテナンス

この章では、プリンターの維持に必要な日常の作業、消耗品の交換方法とプリンターのメンテナンス方法を説明します。

白インクはプリンターに入れたままにしないでください。顔料が沈降して白さのムラが発生したり、プリンターに深刻なトラブルを引き起こす危険があります。下記のメンテナンスを定期的に行ってください。メンテナンスのタイミング、内容は以下のとおりです。

メニュー	実施時期	内容
白インクの入替え	印刷開始前 (1日1回)	顔料が沈降し、白さが不均一になった白インクを廃棄する
ノズルチェックパターンを印刷	印刷開始前 (1日1回)	印刷品質確認
白チューブクリーニング	週1回	沈降した顔料でチューブが詰まるのを防ぐ

<ご注意>

上記メニューを実行する際には、廃インクタンク内の廃液量を確認してください。

6-1-1. 白インクの入替えおよび吐出の確認（印刷開始前、1日1回）

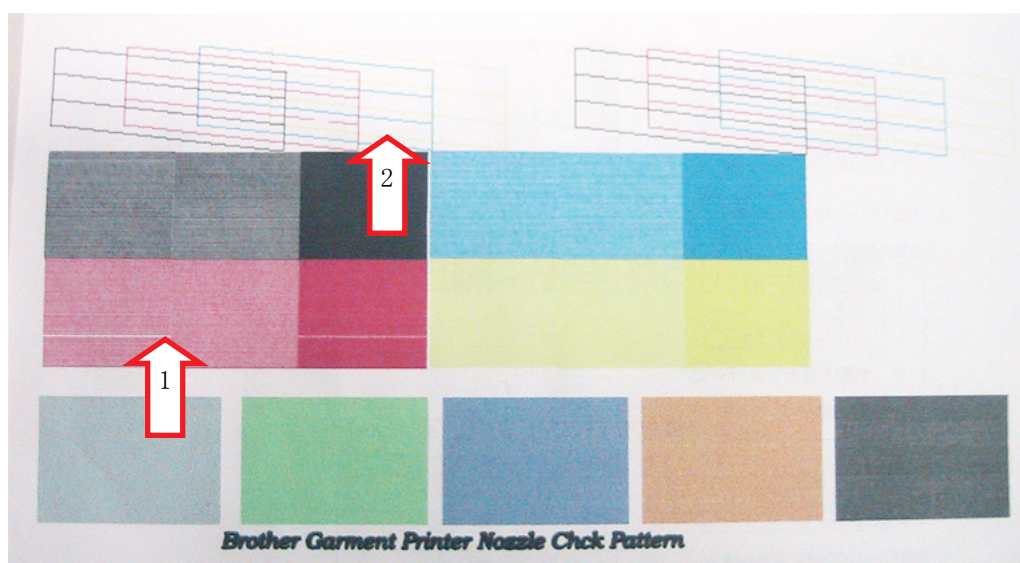
- 白インクのカートリッジを1本ずつ攪拌して、内部の白インク顔料を均一にします。カートリッジを手前に引き抜き、上下をひっくり返して長手方向の両端を両手にしっかり持ち、内部のインクが十分攪拌されるように左右に30秒～1分振ってください。（“6-2-6. インクカートリッジの交換”を参照してください。）
- メニューで [白インクの入替え] を選び、OK ボタンを押します。入れ替える白インクを選択します（通常は [すべての白]、1本ずつ行う時は W1～W4 を選択）。白インクが順次導入されます。
- ノズルチェックパターンを印刷して印刷品質を確認してください。また、前処理済みの布帛に白さチェックパターンを印刷して、白インクの入替えで十分な白さが確保されたかどうかを確認してください。

<ご注意>

- 不吐出の状態が続くと、ヘッドノズル内でインクが固化して、プリントヘッド交換が必要となります。

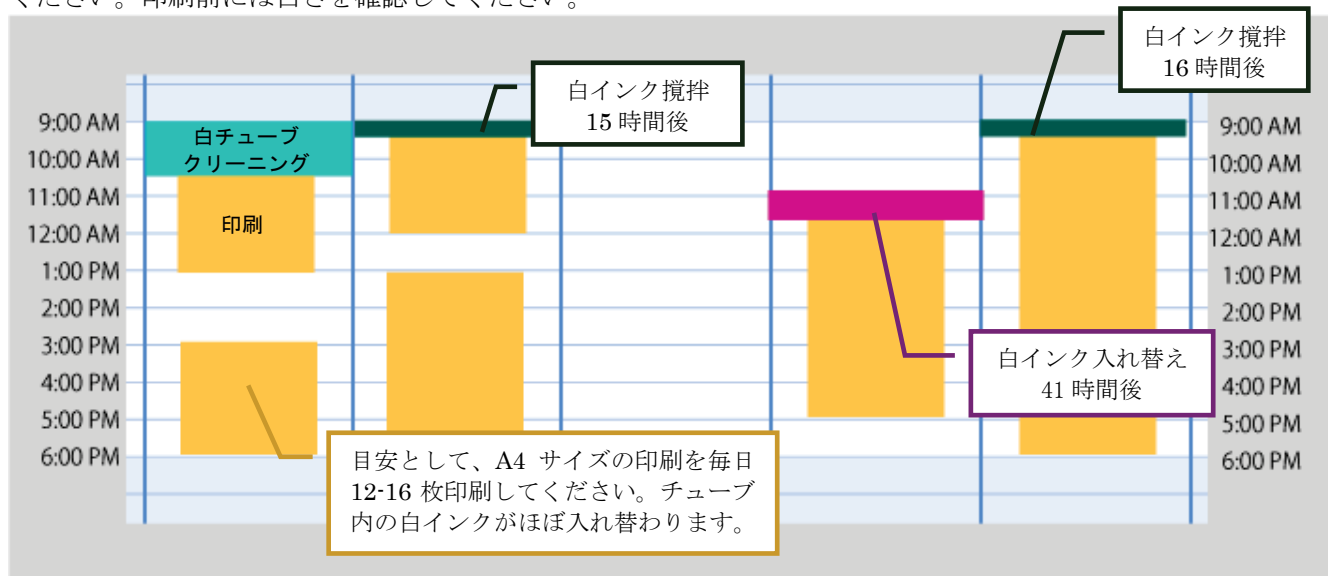
(例)カラー側：

もし白い筋が見えたり（矢印1）線が途切れていたら（矢印2）その色のプリントヘッド（下記写真の場合はマゼンタ）に不吐出の問題があります。該当するプリントヘッドの問題を解決してください。（“7-2-2. ヘッドクリーニング”を参照）



6-1-2. 白インク攪拌（ファームウェア ver. 3.00 以上）

毎日定期的に印刷し、かつプリンターを使わない時間が 18 時間未満である場合、白インクを廃棄することなく白さを保つことができます。キャリッジを動かしてチューブ内の白インクを攪拌するメニュー [白インク攪拌] を実行してください。以下の表で [白インクの入れ替え] でチューブ内のインクを廃棄すべきかどうかを確認してください。印刷前には白さを確認してください。



- (1) 白インクのカートリッジを 1 本ずつ攪拌して、内部の白インク顔料を均一にします。上記“6-1-1. 白インクの入れ替えおよび吐出の確認（印刷開始前、1 日 1 回）”の(1)または“6-2-6. インクカートリッジの交換”を参照してください。
- (2) メニューで [白インク攪拌] を選び、OK ボタンを押します。キャリッジが約 5 分動きます。これは 1200dpi の 14x16 プラテン全面でカラーのみのデータを印刷するよりやや長い程度の時間です。
- (3) 実行後ノズルチェックパターンを印刷して印刷品質を確認してください。また、前処理済みの布帛に白さチェックパターンを印刷して、白インクの入れ替えで十分な白さが確保されたかどうかを確認してください。

6-1-3. 白チューブクリーニング：（週 1 回）

チューブ内およびヘッド内に沈降した白インク顔料を洗い流します。GT-381 は 4 ヘッド同時、GT-361 は 2 ヘッド同時の時、チューブ内の白インクをインクカートリッジに回収してから洗浄します。時間はかかりますが廃棄コストを抑えることができます。1 本ずつ行う場合は、インク回収を行うことができません。ディスプレイの指示に従ってメンテナンスカートリッジを挿入してください。

<ご注意>

GT-3 を 2 週間以上使わない場合、長期保管のために白チューブクリーニングを実行してください。この場合は、チューブクリーニング後に白インクカートリッジではなく、キャッピングカートリッジ（オプション）を挿入してください。“6-1-5. 長期保管時に必要なメンテナンス”を参照してください。

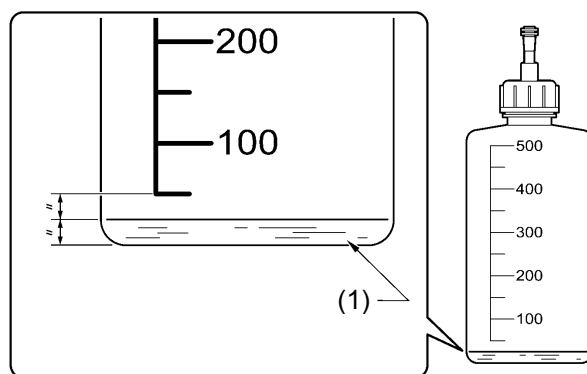
<ご注意>

ファームウェアのバージョンが 2.10 以上であることを確認してください。

白/カラーチューブクリーニング時には、プリントヘッド内部の目詰まりリスクを回避するため、清潔なボトルと新しい充填剤をご使用ください。以下にボトル内の洗浄方法を記載します。定期的に行ってください。

- 古い充填剤(1)がボトル内に残っている場合は、中身を廃棄します。

- ボトル内に新しい充填剤をおよそ 25ml 注入します(一番下の目盛の半分を目安に)。

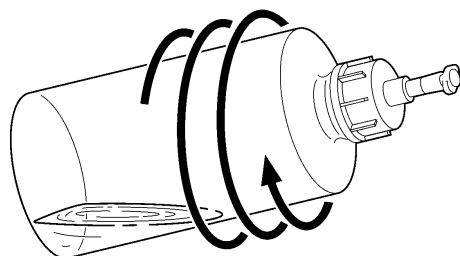


4725M

- ボトルを図のように傾けて 3 回ほど回転させ、底面、側面の内側を充填剤が流れるように洗浄します。

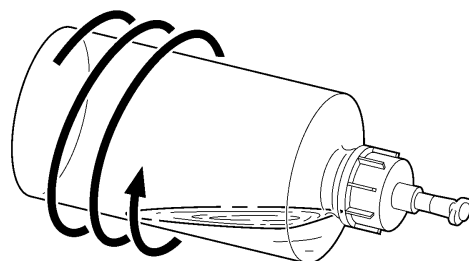
<ご注意>

ボトルを振ると充填剤が泡立って、きれいに流すことができません。ゆっくりボトルの壁面を充填剤がなでるようにすすいでください。



4726M

- ボトルの上部も図のように傾け、前記 3 と同様に 3 回ほど回転させて、上面と側面の内側を洗浄します。



4727M

- ボトル内の充填剤を廃棄します。
- ボトル内に白/カラーチューブクリーニングで使用するための充填剤を注入します。このとき、埃やゴミが入らないように手早く作業してください。

<ご注意>

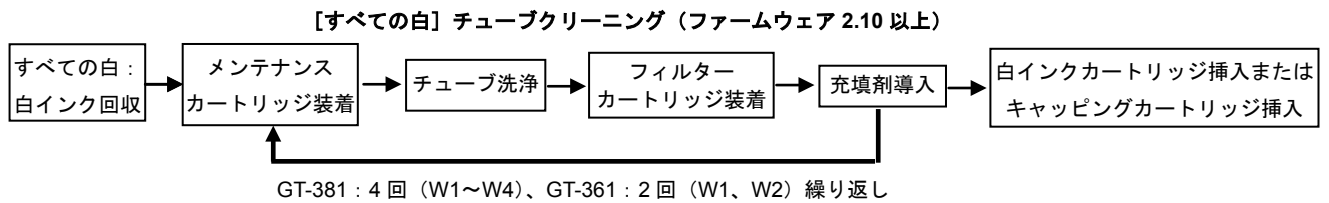
- 1 つのプリントヘッドの洗浄につき、およそ 250ml の充填剤が必要です。
- ボトルのキャップは軽く締めてください。

- 下記の手順に従って、白/カラーチューブクリーニングを実行します。
- 白/カラーチューブクリーニング後は、埃やゴミが入りにくいように上から清潔な袋 (ポリエチレン製) を被せておくことをお勧めします。

6. メンテナンス

すべての白を同時に実行

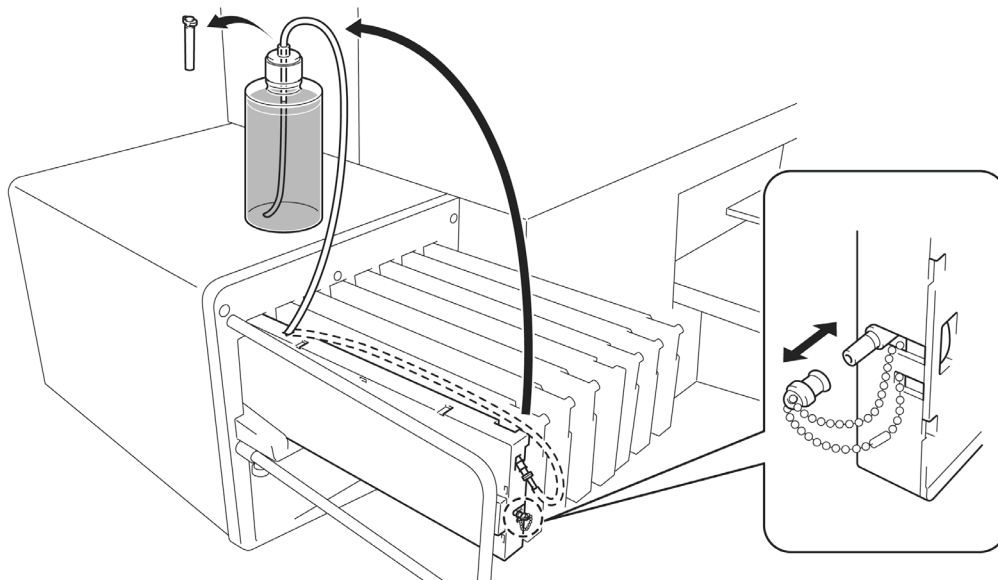
主な流れは以下の通りです。



<ご注意>

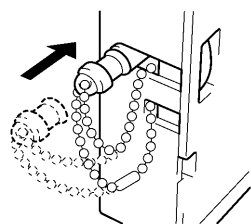
- 個別にチューブクリーニングを実行する場合は、最初の白インク回収が行われません。
 - 2週間以上の長期保管の場合は、白インクカートリッジを挿入する代わりにキャッピングカートリッジを挿入してください。
- (1) ボトルに充填剤を入れてください。1ヘッド洗浄につき、ボトルに少なくとも 250 ml 以上の充填剤が入っていることを確認してください。
 - (2) 廃インクタンク内の廃液量を確認してください。(廃インクタンクの廃液量が半分以下)
 - (3) プリンターが [スタンバイ] か [印刷できます] であることを確認してください。
 - (4) メニューから [メンテナンス] > [白チューブクリーニング] を選択して OK ボタンを押します。
 - (5) [すべての白] を選択すると、白インク回収が始まり、カウントダウンが表示されます。しばらくそのままお待ちください (所要時間：4分)。
 - (6) インク回収が終了すると、ディスプレイに [メンテナンスカートリッジをセットしてください] が表示されます。W1 の白インクカートリッジを抜き、イラストのように、W1 にメンテナンスカートリッジを白インクカートリッジの代わりに挿入して OK ボタンを押します。この時、ボトルの底までチューブを挿入してください。

<ご注意>この時、ボトルの底までチューブを挿入してください。



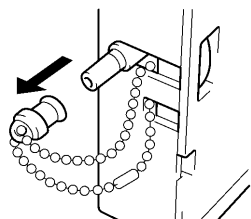
0192Y

- (7) 次に [エア導入キャップを閉めます] が表示されます。エア導入キャップが閉じていることを確認して OK ボタンを押してください。ポンプが回り始め、充填剤が導入されます。



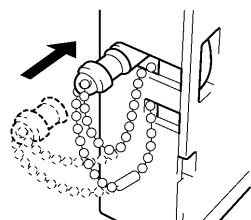
0193Y

- (8) 約 30 秒後にピピッ、ピピッと音がしたら、ディスプレイに [エア導入キャップを開けます] が表示されます。エア導入キャップを開けて OK ボタンを押してください。エア（泡）がチューブ内に入って、残った白インクを洗い流します。1 ヘッドを洗浄するのに約 10 分かかります。



0194Y

- ピピッ、ピピッと音がして、ディスプレイに [フィルターカートリッジを入れて OK を押してください] が表示されます。W1 のメンテナンスカートリッジを抜き、W1 に白用フィルターカートリッジを挿入して、OK ボタンを押してください。エアがチューブ内に入って、残った泡を排出します。
- ピピッ、ピピッと音がして、ディスプレイに [メンテナンスカートリッジをセットしてください] が表示されます。W1 のフィルターカートリッジを抜き、メンテナンスカートリッジを挿入して OK ボタンを押します。この時、ボトルの底までチューブを挿入してください。
- ディスプレーに [エア導入キャップを閉じます] が表示されます。エア導入キャップを閉じて、OK ボタンを押してください。充填剤が再度導入されます。



0193Y

- 終了すると、ディスプレイに W2 の操作指示が表示されます。W1 のメンテナンスカートリッジを抜いて、次の白ヘッド W2 にメンテナンスカートリッジをセットし、W1 には十分攪拌した白インクをセットして OK ボタンを押してください。W1 のチューブクリーニングはこれで完了です。上記のステップを繰り返して他の白チューブクリーニングを実行します。

<ご注意>

2 週間以上の長期保管の時は、白インクカートリッジの代わりにキャッピングカートリッジ W (オプション*) を挿入してください。（“6-1-5.長期保管時に必要なメンテナンス”を参照）（部品コードは“1-3-5.必要な消耗品とオプション部品”を参照）

洗浄後の白インク導入

- (1) 上記(9)の充填剤が導入されている状態から続けて、白インクを導入します。白インクカートリッジが挿入されている状態で、メニューから [メンテナンス] > [洗浄後白インク導入] を選択してください。
- (2) [すべての白] またはヘッドを個別に選択して OK ボタンを押します。白インクが順次導入されます。

<ご注意>

白のインシヤルクリーニングは、充填剤の導入から実行します。白チューブクリーニング後はチューブ内に充填剤が導入されていますので、インシヤルクリーニングではなく上記のメニューを実行してください。

6. メンテナンス

白チューブクリーニングを個別に実行

- (1) ボトルに充填剤を入れてください。1 ヘッド洗浄につき、ボトルに少なくとも 250 ml 以上の充填剤が入っていることを確認して下さい。
- (2) 廃インクタンク内の廃液量を確認してください。(廃インクタンクの廃液量が半分以下)
- (3) プリンターが [スタンバイ] か [印刷できます] であることを確認してください。
- (4) メニューから [メンテナンス] > [白チューブクリーニング] を選択して OK ボタンを押します。
- (5) [白 1 (あるいは白 2~白 4)] を選択すると、画面に [メンテナンスカートリッジをセットしてください]、[エア導入キャップを閉めます] が表示されます。白インクカートリッジを抜き、前ページを参照して、メンテナンスカートリッジを挿入してください。この時、ボトルの底までチューブを挿入してください。エア導入キャップが閉じていることを確認してください。

<ご注意>

白インク回収はすべての白の時のみ実行されます。

- (6) [すべての白を選択した場合] の(7)~(11)に従って、白 1 のチューブを洗浄し、充填剤を導入してください。
- (7) 終了すると、ヘッドの選択画面に戻ります。前頁の“洗浄後の白インク導入”の手順に従って、十分攪拌した白インクを導入してください。他のチューブを洗浄する場合は、上記(5)から(7)までを繰り返し実行します。

6-1-4. 廃インクの処理

追加で使用するタンクは市販のポリエチレン製のものをお使いください。特にイニシャルクリーニングや白インクのチューブクリーニング等のメンテナンスを実行する際には、必ず事前に廃インクタンクの余裕を確認してください。また、大きいタンクは非常に重くなります。取扱いにご注意ください。

- (1) 新しい廃インクタンクを用意します。
- (2) 廃インクがこぼれないように廃インクチューブを抜き、新しい廃インクタンクに差し込みます。

<ご注意>

廃液の流路が確保されていること、またチューブが折れていないことを確認してください。

- (3) いっぱいになった廃インクタンクを取り出して、フタを閉めます。
- (4) 新しい廃インクタンクを所定の位置に設置します。

<ご注意>

残余廃棄物ならびに廃インクは、水系廃液として法令に従い適正に処理してください。不明な場合は、購入先にご相談のうえ処理してください。

6-1-5. 長期保管時に必要なメンテナンス

「A.白のデータを印刷せずカラー専用で使用する場合」と「B.プリンターを使わない場合」で必要なメンテナンスが異なります。

プリンターを使わない場合は下記の手順に従って保管前の準備をして、必ず2週間毎の定期メンテナンスを行ってください。再び稼働させるときは、「C. 保管後の再起動」の手順に従ってください。

	保管前の準備	日々のメンテナンス	定期メンテナンス
A. 白のデータを印刷しないで、カラー専用で使う場合	カラー側：無 白側：無	カラー側：無 白側：ノズルチェックパターンを印刷	カラー側：無 白側：週1回の白チューブクリーニング
B. プリンターを使わない場合	カラー側：キャップやワイパーを掃除して、メンテナンスユニットにウォッシュ液を封入 白側：チューブ洗浄を行い、チューブ内に充填剤が封入された状態でキャッピングカートリッジ※1を挿入		カラー側：2週間毎に再度、ヘッドキャップを掃除して、メンテナンスユニットにウォッシュ液を封入 白側：2週間毎に各チューブに充填剤を再充填して、チューブ内に充填剤が封入された状態でキャッピングカートリッジ※1を挿入

<ご注意>

- ・[GT-341 モード] は白プリントヘッドが装着されていない場合のモードです。プリントヘッドが装着されている状態で[GT-341 モード]にすると、プリントヘッドを保護する為の動作が無くなり、プリントヘッドのノズル詰まりなどの故障の原因となります。
- ・白用キャッピングカートリッジ（※1 オプション、GT-381 で4個、GT-361 で2個）挿入時は、プリンターを動作させないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- ・A、B、どちらの場合でも、白インクのトラブルを防ぐために2週間毎のメンテナンスを行ってください。
- ・ウォッシュ液はインク汚れの掃除に必要不可欠です。常に手元にあるようにしてください。

A. 白のデータを印刷しないで、カラー専用で使う場合

日々のメンテナンス

白側のノズルチェックパターンを印刷してください。

定期メンテナンス

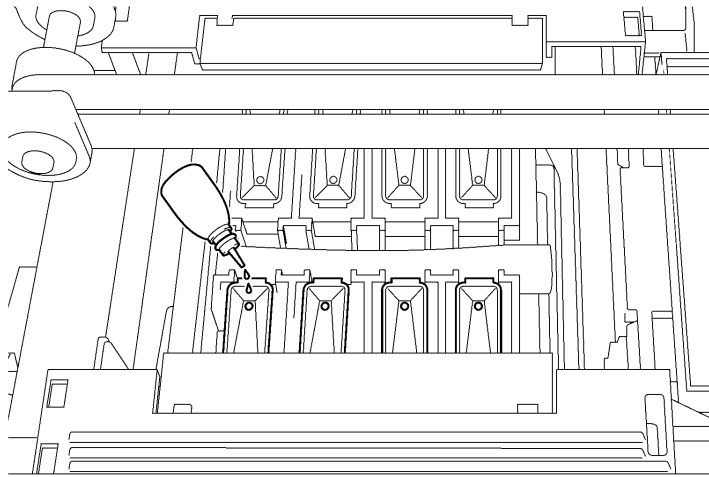
週1回 白チューブクリーニング を実施してください。

B. プリンターを使わない場合

保管前の準備

1. まず、白側のチューブクリーニングを実行します。[すべての白]を選択してください。詳細な手順は、“6-1-3. 白チューブクリーニング：(週 1 回)”をご覧ください。チューブクリーニング終了後、チューブ内に充填剤が封入された状態で、キャッピングカートリッジ (オプション) を挿入しておきます。
2. 次に、メンテナンス周りの掃除を行います。メニューから [メンテナンス] > [ノズル掃除] を選択して OK ボタンを押します。プラテンが動いて、キャップが下がります。ディスプレイの指示に従って、電源を OFF し、前面カバーを持ち上げて、ストッパーでロックされるまでカバーを上押ししてください。
3. “6-2-1. ワイパークリーナーの交換とキャップ&ワイパーの掃除”を参照し、白およびカラーのプリントヘッド周りをきれいにしてください。ワイパークリーナーが汚れている場合は新しいものに交換してください。
4. 次に、メンテナンスユニット内部のインクが固まるのを防ぐために、カラー側のキャップの中にウォッシュ液を 7~8 滴垂らしておきます。

<ご注意> キャップの周りにウォッシュ液をこぼさないようにしてください。



0080Y

5. ストップレバーを押してロックを外し、両手を使って前面カバーを閉じて、電源を入れます。
6. 初期化が完了したら、電源を OFF にしてプリンターを保管します。

2 週間毎の定期メンテナンス

必ず 2 週間毎に以下の定期メンテナンスを行い、白側のチューブに常に新鮮な充填剤が封入された状態にしてください。

白側：

1. ボトルに充填剤を入れ、廃インクタンク内の廃液量を確認してください。
2. メンテナンスカートリッジを挿入して、エア導入キャップを閉じた状態で、メニューから [メンテナンス] > [洗浄後白インク導入] で、白インクの代わりに充填剤の導入を行います。
3. 導入が終わったら、再びキャッピングカートリッジを挿入します。
すべての白プリントヘッドおよびチューブ内に常に新鮮な充填剤が封入された状態にしてください。

<ご注意> 白インクチューブが白濁している場合はチューブ洗浄をやり直してください。

カラー側：

保管前の準備 4~6 に従って、キャップの中にインク凝集防止にウォッシュ液を垂らしてください。

再度白のデータを印刷する場合

再度白のデータを印刷する場合は、後述の“C. 保管後の再起動”を参考に、白インクを導入してください。

C. 保管後の再起動

- (1) 白インク側のキャッピングカートリッジあるいは充填剤と混合してしまった白インクカートリッジから、通常の白インクカートリッジに入れ換えて、プリンターを起動します。充填剤が十分チューブ内に封入されている場合は、キャッピングカートリッジを白インクカートリッジに交換して“6-1-3. 白チューブクリーニング：(週 1 回)”の手順に従って、白インクを導入してください。チューブ内に空気が入ってしまっている場合は、キャッピングカートリッジを白インクカートリッジに交換して [メンテナンス] > [イニシャルクリーニング] でまず充填剤を導入してから白インクを導入します。どちらの場合も、ディスプレイの指示に従ってください。
- (2) 白インクが導入されたら、白・カラー側共ノズルチェックパターンを印刷してください。もし印刷品質が悪い場合（特にカラー側）は、“7-2-6. ヘッドノズルの掃除”に従いノズル面（プリントヘッドの表面）を掃除してください。

<参考>

2週間以上使わなかったあとのカラー側のオートクリーニングはパワフルクリーニングと同等です。

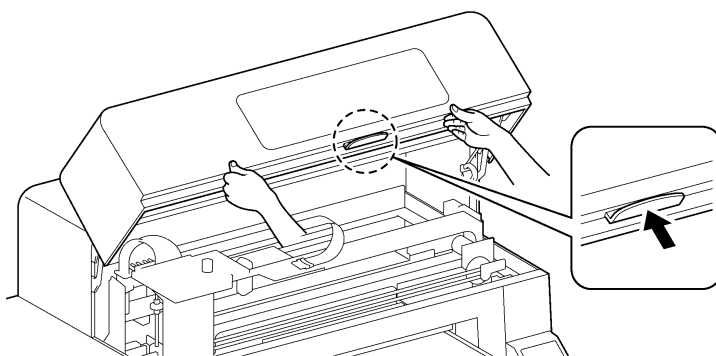
6-2. 清掃と消耗品の交換

部品、場所	内容	実施時期	
ヘッドキャップ ワイパーブレード プリンター内部	清掃	毎週およびワイパークリーナー交換時	
ワイパークリーナー フラッシングスポンジ	交換	ワイパークリーナー交換メッセージが出たとき。 フラッシングスポンジ交換メッセージが出たとき。	
フラッシング受け	溜まったインクは 廃棄	同上	
ローラーフェルト ファンフィルター	交換	プラテン A～B	ローラーフェルト交換メッ セージが出たとき。
		プラテン C 以下	ワイパークリーナー交換の メッセージが出たとき。
フラッシング受けフェルト		全体に廃液が染みわたって吸収力がない場合	

6-2-1. ワイパークリーナーの交換とキャップ&ワイパーの掃除

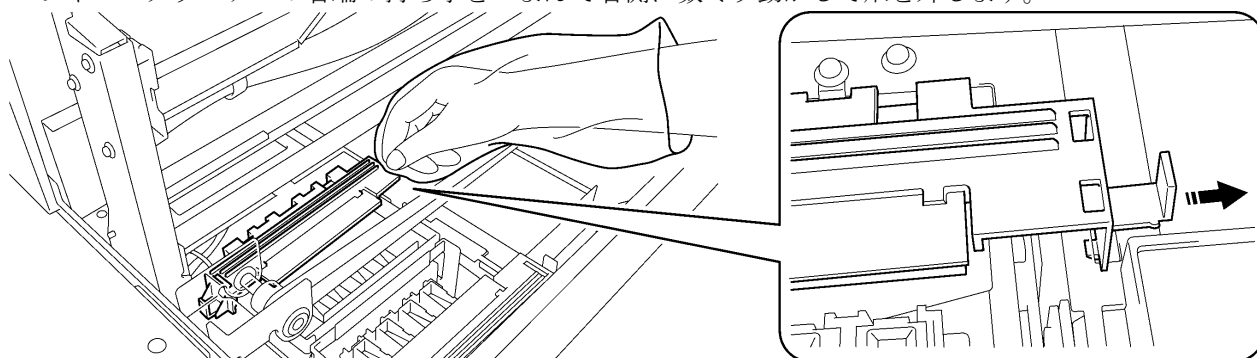
印刷品質を保つために、毎週ヘッドキャップとワイパーブレードを掃除し、定期的にワイパークリーナーを交換してください。メンテナンスが不十分な場合、印刷中に廃インクで印刷物が汚れたり不吐出により画質が悪化することがあります。

- (1) メニューから上ボタン、下ボタンを操作して [メンテナンス] を選び、OK ボタンを押してください。
- (2) [メンテ部品の交換] を選び、OK ボタンを押してください。プラテンが奥に収納され、ワイパーブレードが移動します。画面の指示に従って電源を OFF してください。
- (3) 前面カバーを持ち上げて、ストッパーでロックされるまでカバーを上押ししてください。



0046Y

- (4) 汚れたワイパークリーナーを廃棄できるように、予めポリ袋をひっくり返して右手にかぶせます。右手でワイパークリーナーの右端の持ち手をつまんで右側に数ミリ動かして爪を外します。

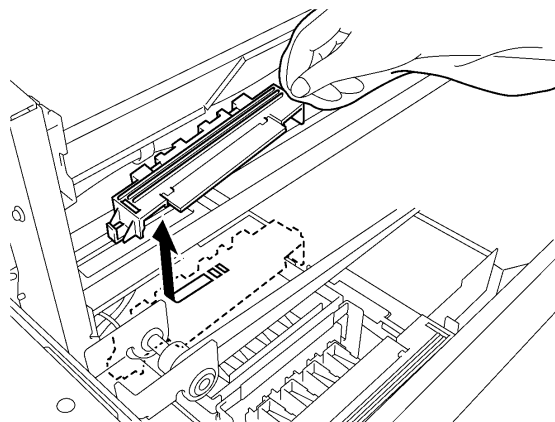


0058Y

- (5) 次にワイパークリーナーの左側の爪の引っかかりが外れるように、ワイパークリーナーを左側に数ミリ動かします。この時、ワイパークリーナーからインクが垂れやすいので、なるべく水平を保ち、ゆっくり行ってください。

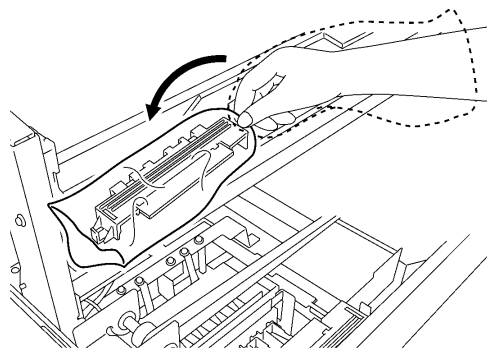
<ご注意>

ワイパークリーナーを傾けないでください。廃インクがあふれて手や服につく恐れがあります。



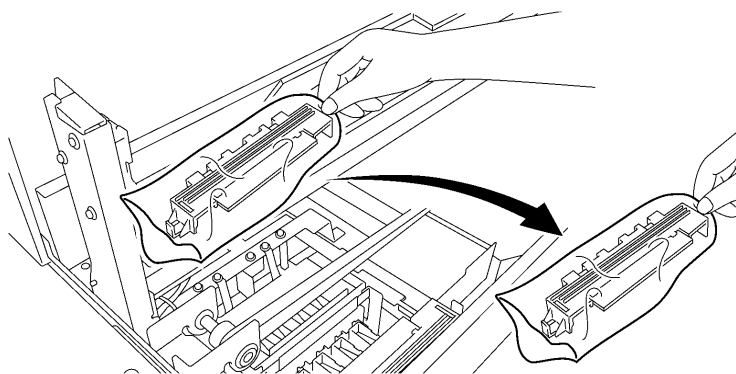
0059Y

- (6) 左手で、右手にかぶせたポリ袋をワイパークリーナーに素早くかぶせます。



0060Y

- (7) ポリ袋からインクが垂れないよう注意しながら、プリンターからワイパークリーナーを取り出し、地域の条例に従って正しく廃却してください。



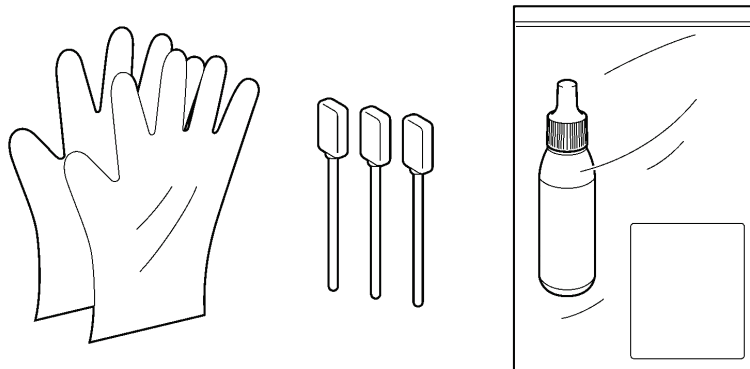
0061Y

<ご注意>

タイミングベルト等をインクで汚さないように、十分気をつけてください。

6. メンテナンス

- (8) 交換するワイパークリーナーを用意します。クリーンスティック、ウォッシュ液、手袋（フルメンテナンスキット*）をご用意ください。（* …コード No.は、“1-3-5. 必要な消耗品とオプション部品”を参照してください。）

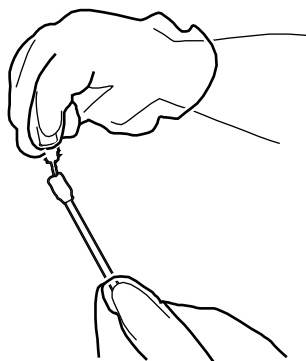


0062Y_re-Br2

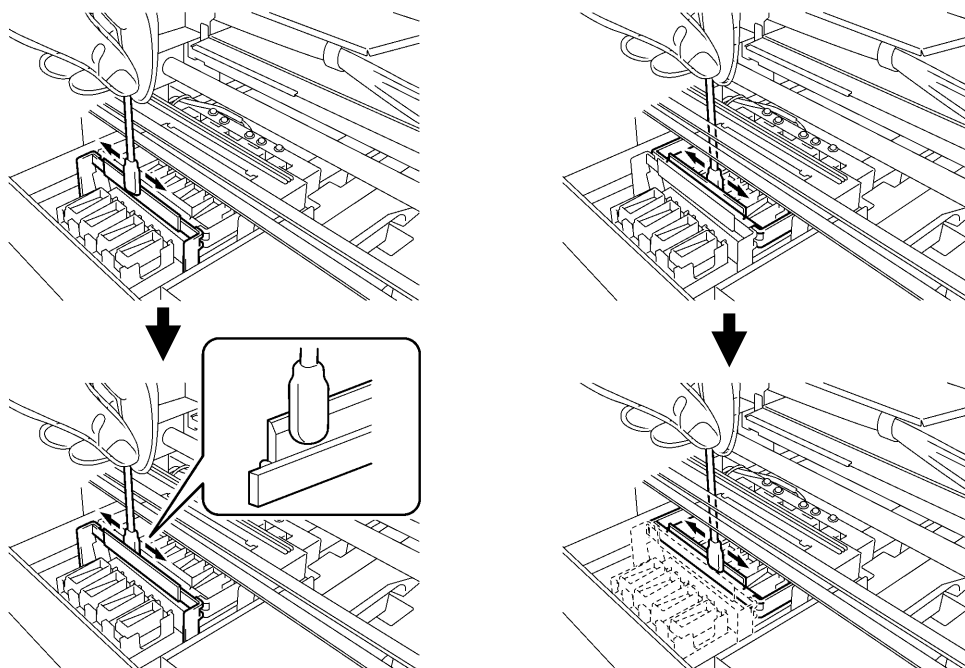
- (9) 手袋をはめて、クリーンスティック（緑色の平柄のもの）の両面をウォッシュ液で湿らせます。

<ご注意>

掃除するにはウォッシュ液のみをクリーンスティックにつけてください。他の液体（水など）はプリントヘッドを損傷する恐れがありますので使わないでください。



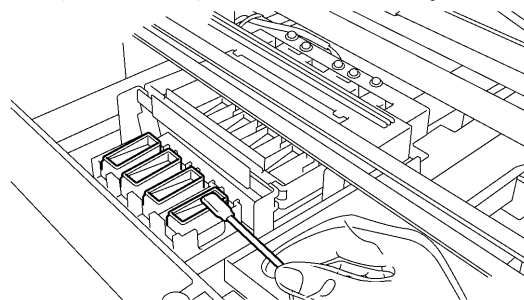
- (10) クリーンスティックの片面でワイパーブレードの前面を掃除してください。
- (11) クリーンスティックのもう一方の面で、ワイパーブレードの裏側も掃除してください。
カラーと白は一緒に使わないでください。



- (12) 他のキャップ用のクリーンスティックもウォッシュ液をつけ、ヘッドキャップまわりと外側のインクや埃を掃除してください。クリーンスティックのきれいな1面をヘッドキャップ1色の掃除にお使いください。

<ご注意>

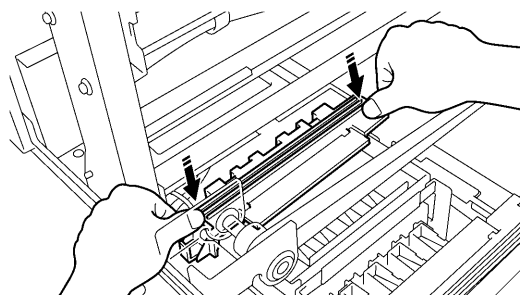
乾いたクリーンスティックで掃除しないでください。インクや埃をきれいに掃除することが出来ませんし、プリントヘッドを損傷する恐れがあります。クリーンスティックの汚れがひどい場合は、一旦汚れをやわらかい布でふき取り、新たにウォッシュ液をつけてください。



- (13) 上記(4)から(6)の逆の手順で、プリンターにワイパークリーナーを装着してください。

<ご注意>

- ワイパークリーナー装着時に、タイミングベルトに大きな力が加わらないように気をつけてください。
- 電源を再投入した時にエラーが起こらなければ、ワイパークリーナーの交換は成功です。ワイパーがスムーズに動かず異音が生じたり、[ワイパークリーナーなし (白/カラー)] などのエラーが表示されたときは、ワイパークリーナー正しくセットされていません。電源を OFF して挿入し直して、正しくセットされているかどうか確認してください。



6-2-2. プリンター内部の掃除

- (1) 消耗品交換、清掃した際、プリンター内部の汚れ状態を確認してください。障害物センサーのフラップの前後の汚れ、プラテン周辺などの埃や汚れをやわらかい布で水拭きしてください。インクがこびりついて取れにくい場合は、ウォッシュ液をお使いください。

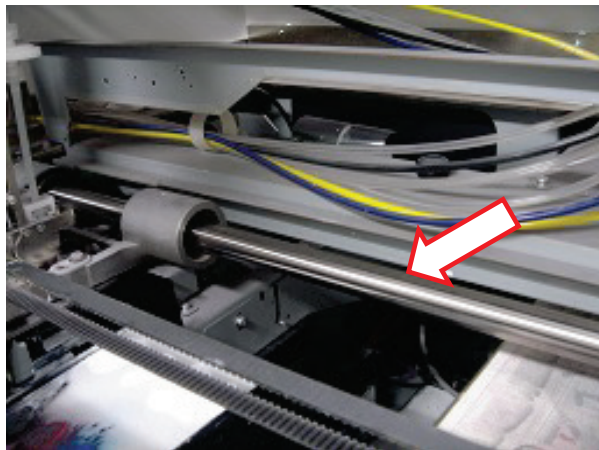
<ご注意>

障害物センサーのフラップの前後が汚れているとTシャツのロード時に表面を汚す恐れがあります。

- (2) Tシャツトレイの埃を水拭きしてください。
- (3) インクミストで稼動部分(キャリッジローラーが動く面など)が汚れている場合は、やわらかくて清潔な、ケバのない布に少量のアルコールをつけて、汚れを拭いてください。



- (4) キャリッジガイドシャフトが汚れていたら、やわらかくて清潔な、ケバのない布に少量のアルコールをつけて、キャリッジガイドシャフトの汚れを拭いてください。きれいになったら、布にブラザー指定のグリスをつけてキャリッジガイドシャフトの表面にグリスがまんべんなく行き渡るようにします。その後CRスピードの調節を行います。詳細な手順は“7-2-9. CRスピードの調節”をご覧ください。



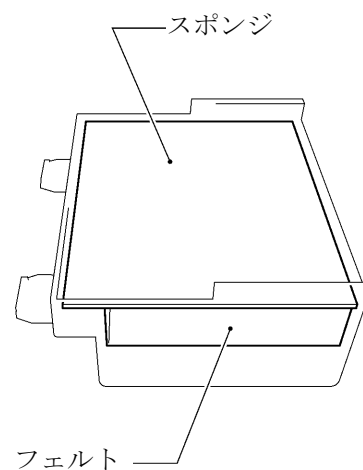
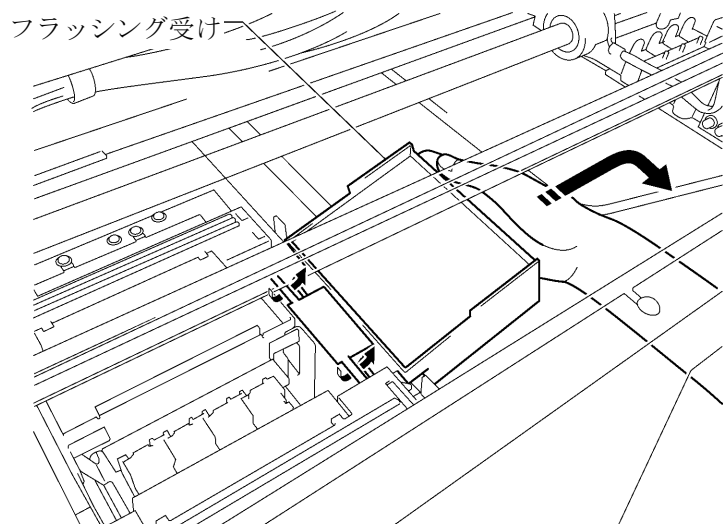
- (5) 前面カバーのストップレバーを押してロックを外し、両手を使って前面カバーを閉じて、電源を入れてください。
- (6) 電源が入ったら、ノーマルクリーニングを実施して、ノズルチェックパターンで吐出を確認します。

6-2-3. フラッシング受けスポンジとフラッシング受けフェルトの交換

- (1) まずフラッシング受けをプリンターから取り外します。右側を少し持ち上げ、右上へ引き抜きます。
- (2) フラッシング受け内のフラッシング受けスポンジを取り出し、フラッシング受け内部に溜まっているインクを捨ててください。新しいフラッシング受けスポンジ（上）をセットし、フラッシング受けを元通りにプリンターに装着します。フラッシング受けフェルトは汚れがひどい場合は交換してください。

<ご注意>

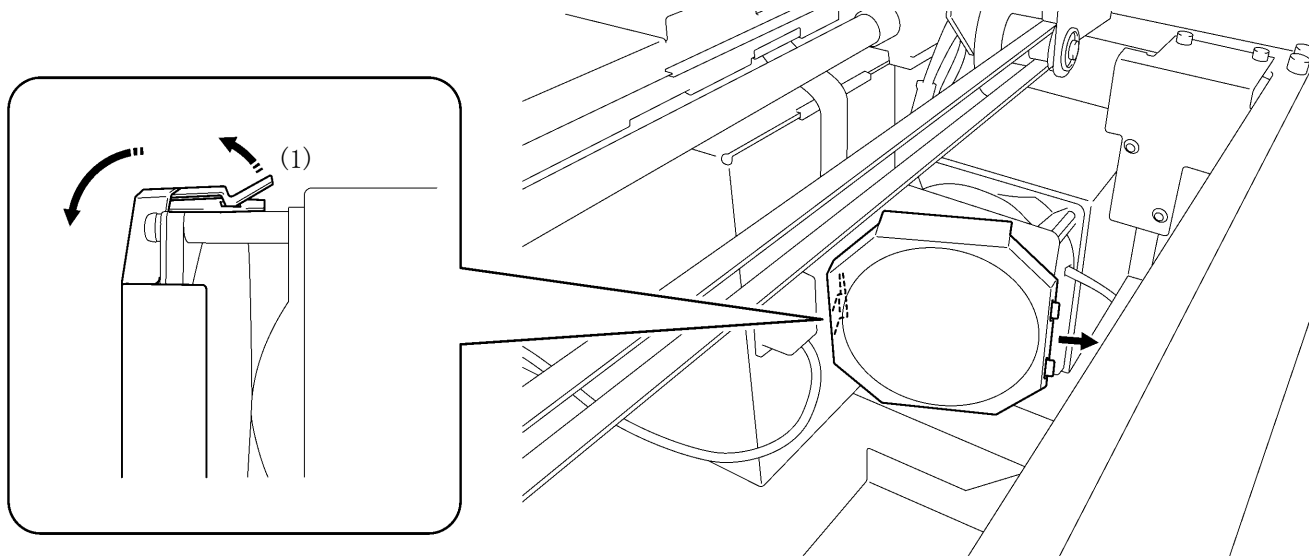
- フラッシング受けの縁にインクや埃が溜まっていると、印刷中にプリントヘッドがその表面を触ることによって吐出不良が起こる恐れがあります。
- 廃棄物は地域の条例に従って正しく廃却してください。



0067Y

6-2-4. ファンフィルターの交換

- (1) 両手に手袋をはめて、タイミングベルトの手前より左手をいれ、フィルターカバーに手を掛けてください。
- (2) 左手でフィルターカバーのロック (1) を持ち上げ、フィルターカバーをファンと反対方向に回転させ手前にひきながらガイド穴を突起より外し、フィルターカバーを取り出してください。

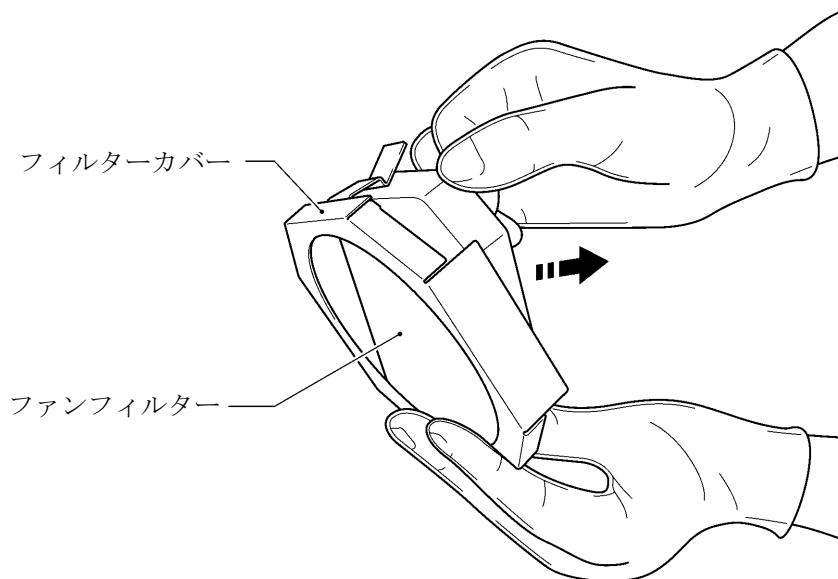


0068Y

<ご注意>

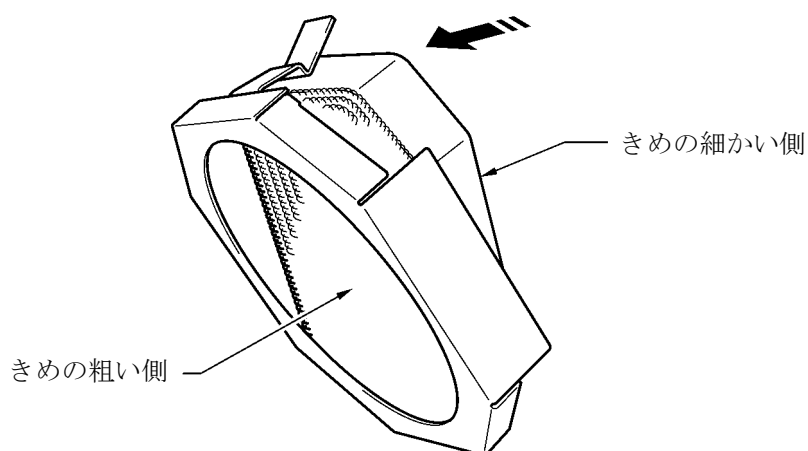
フィルターカバーをタイミングベルトに引っかけないよう注意してください。

- (3) フィルターカバーにはめ込まれているファンフィルターの端を掴み、フィルターカバーよりファンフィルターを取り外してください。
取り外したファンフィルターはポリ袋に入れて廃棄してください。



0069Y

- (4) 交換するファンフィルターをフィルターカバーの形状に合わせ、きめの粗い方を外側に、目の細かい方をファンに向くようにはめ込んでください。その後ファンフィルターのまわりを少し手で押し込んでください。



0070Y

<ご注意>

ファンフィルターにはきめの粗い面と細かい面とがあります。粗い面がプラテン側、細かい面がファン側です。確認してください。

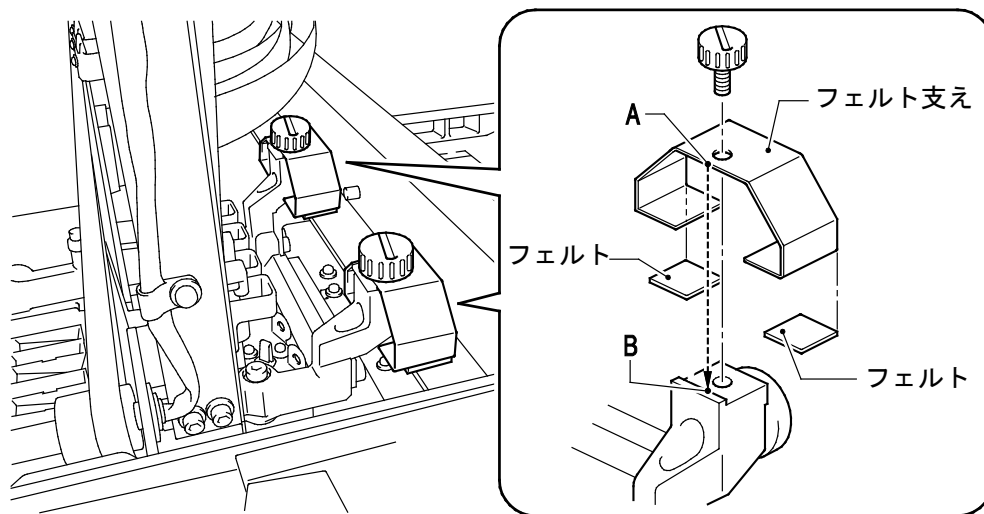
- (5) タイミングベルトの手前よりフィルターカバーを入れ、突起にフィルターカバーのガイド穴を入れファン側に回転させロックが掛かるまでフィルターカバーをファン側に押し込んでください。

<ご注意>

フィルターカバーをプラテン方向にひっぱり、外れない事を確認してください。

6-2-5. ローラーフェルトの交換

- (1) 締めねじを2ヶ所とも外し、フェルト支えを外します。



- (2) 古いフェルトを引き剥がします。
- (3) 新しいフェルトを取付面に擦り付けます。フェルト支えが変形しないように注意してください。
- (4) フェルト支えの端面 A をキャリッジ端面 B に当てて位置決めし、締めねじを締め付けます。ねじが緩まないようコイン等を使用して確実に締め付けてください。フェルト支えが傾いていないことを確認してください。

<ご注意>

キャリッジローラーが動く面がインクミストで汚れている場合は、やわらかくて清潔な、ケバのない布に少量のアルコールをつけて、汚れを拭いてください。

0071Y

6-2-6. インクカートリッジの交換

インクの残量が少なくなるとディスプレイのインク残量の表示が点滅を始めます。新しいインクカートリッジ(オプション*)を用意し、[インク切れ **** (色)]が表示されたら交換します。(***コードNo.は“1-3-5. 必要な消耗品とオプション部品”を参照してください。)

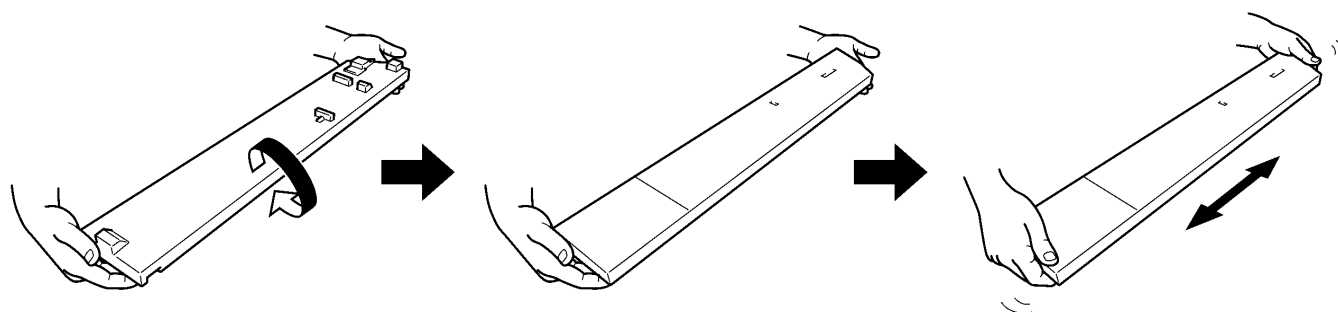
<ご注意>

- インクカートリッジは“1-3-5. 必要な消耗品とオプション部品”にある正規品を使ってください。
- 手や印刷メディアがインクに触れないようにしてください。手にインクがついた場合は、石鹸をつけて水洗いしてください。布についてしまったインクはきれいに取れませんので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 印刷中やヘッドクリーニング中などの動作中にインクカートリッジを交換しないでください。プリンターの故障の原因になります。
- インクカートリッジを分解しないでください。
- 印刷品質を保つために、毎週およびワイパークリーナー交換時にヘッドキャップとワイパーブレードを掃除し、ワイパークリーナー、ファンフィルター、ローラーフェルト (4個)、フラッシング受けスポンジ (上) およびフラッシング受けフェルト (下) を合わせて交換します。もし、ディスプレイに警告が表示された場合は、手持ちの交換部品で新しいものに交換してください。メンテナンスが不十分な場合、印刷物が汚れたり不吐出による画質の悪化が発生します。詳細な交換手順は、“6-2-1. ワイパークリーナーの交換とキャップ&ワイパーの掃除”、“6-2-3. フラッシング受けスポンジとフラッシング受けフェルトの交換”、“6-2-4. ファンフィルターの交換”、“6-2-5. ローラーフェルトの交換”、“6-2-7. エンコーダーストリップの掃除”をご覧ください。
- 印刷品質を保つために、インクカートリッジには少量のインクが残ります。これは、プリンターの保護ならびに印刷品質を保つために必要です。ご了承ください。

(1) 新しいインクカートリッジを開封してください。

<ご注意>

白インクの成分(顔料)は沈殿します。新品の白インクを開封した時は、カートリッジの上下をひっくり返して両端を両手でしっかり持ち、内部のインクが十分攪拌されるように左右に1~2分振ってください。必ず一本ずつ行ってください。



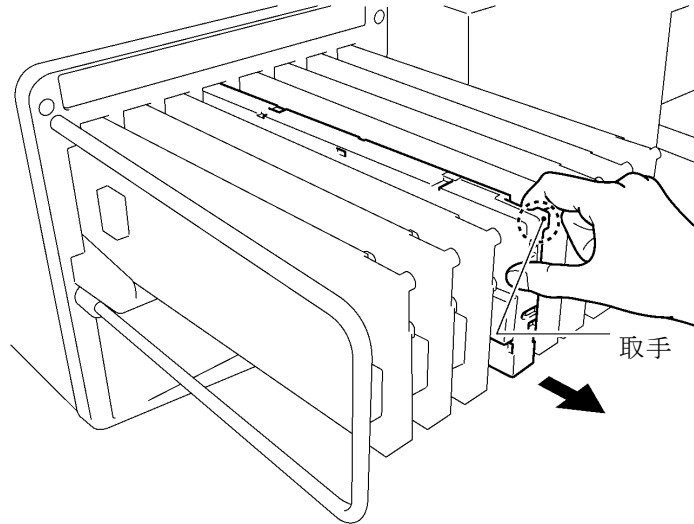
0054Y

6. メンテナンス

- (2) 使い切ったインクカートリッジをプリンターから抜きます。取手に指をかけて、カートリッジを手前に引き抜いてください。

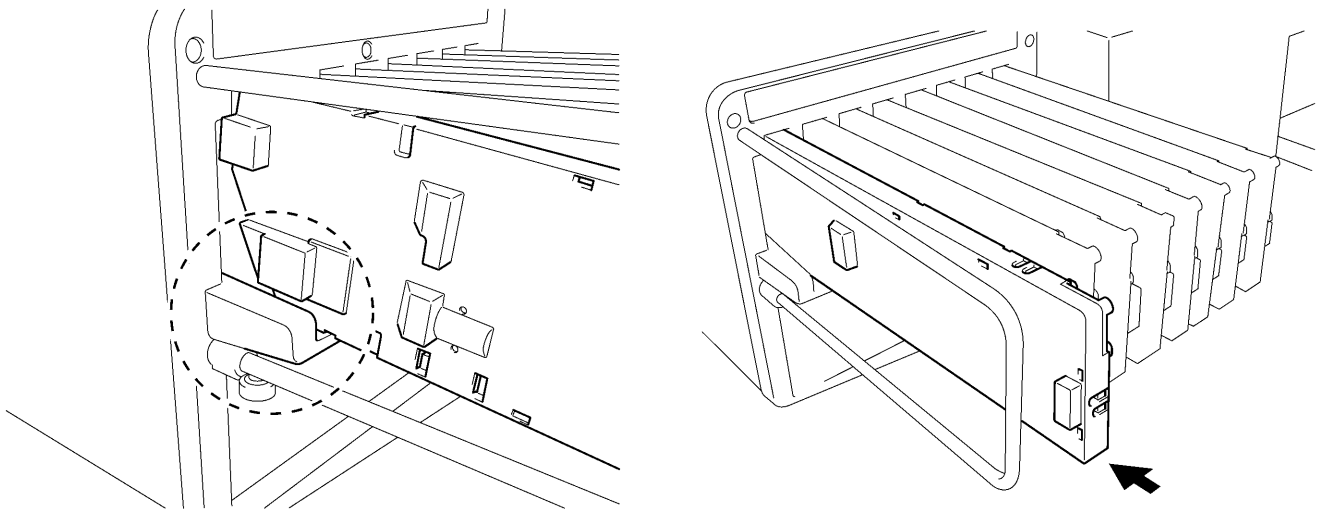
<ご注意>

使い終わったインクカートリッジは新品に交換する直前まで挿入しておいてください。インクカートリッジなしでプリンターを放置するとインク漏れやその他故障の原因になります。



0055Y

- (3) 新しいインクカートリッジの方向、インクの色を確認し、左図のようにカートリッジの下面角を台に乗せ、水平に奥まで挿入してください。



0056Y.0057Y

<ご注意>

インクカートリッジの色を確認してください。間違った色を挿入してしまうと、画質が悪化し、プリントヘッドへの悪影響の恐れがあります。万一、間違った色のインクカートリッジを挿入してしまった場合、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- (4) 交換したインクが白インク、シアンインク、マゼンタインクの場合、キャップやワイパーを掃除し、カートンに同梱されているワイパークリーナーを合わせて交換してください。詳細は、6-2-1. 以下をご覧ください。この定期メンテナンスはプリンターの調子を保つ上で大変重要です。

<ご注意>

- 必要以上にインクカートリッジを抜き差ししないでください。
- インクカートリッジは地域の条例に従って正しく廃却してください。

6-2-7. エンコーダーストリップの掃除

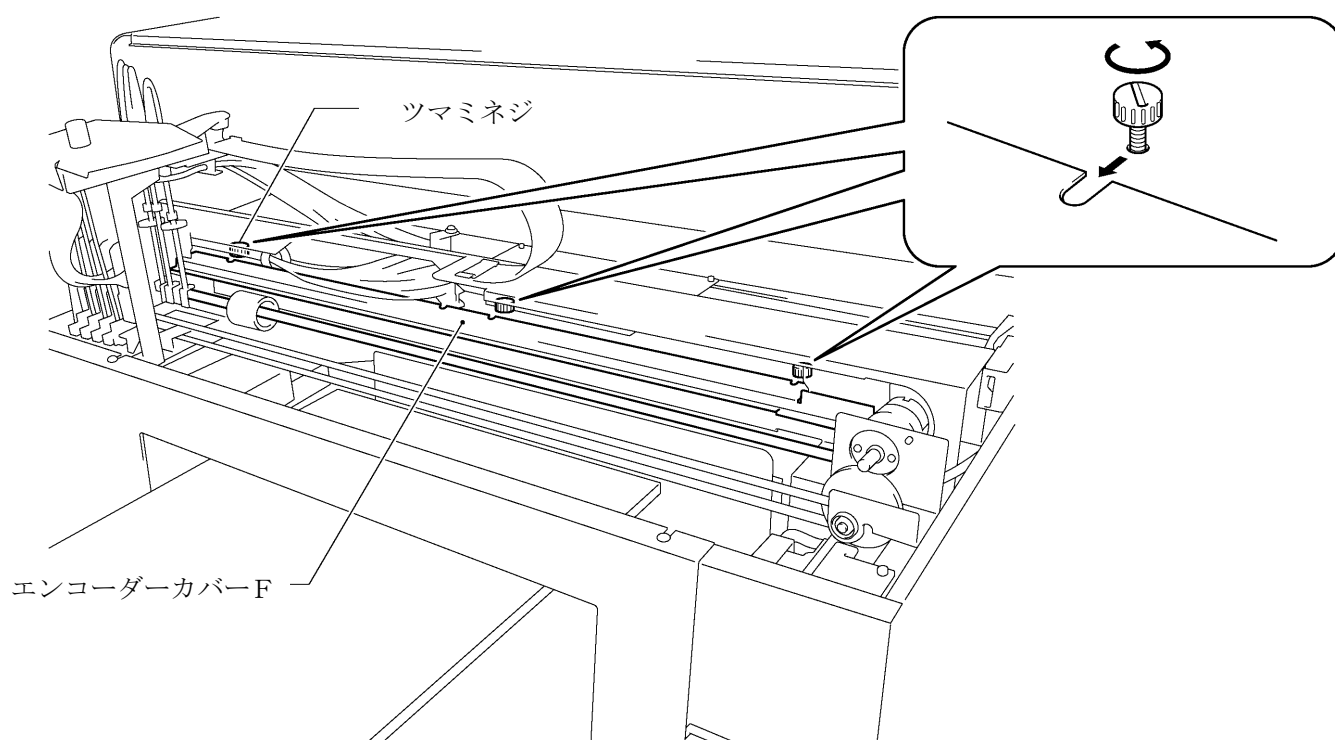
印刷中にエンコーダーストリップの読み取りエラーが発生したら、エンコーダーストリップにミストや埃がついて読み取りに失敗しています。エンコーダーストリップを掃除してください。

- (1) 同梱のエンコーダークリーナーと純度 95% 以上のエタノールを用意します。
- (2) メニューから上ボタンまたは下ボタンを操作して [メンテナンス] を選び、OK ボタンを押してください。
- (3) 上ボタンまたは下ボタンを操作して [エンコーダーストリップの掃除] を選んで、OK ボタンを押してください。プラテンが奥へ移動し、ヘッドのキャップが下がります。画面の指示に従って電源を OFF してください。
- (4) 両手を使って、前面カバーを持ち上げて、ストッパーでロックされるまでカバーを上押ししてください。
- (5) 手でキャリッジを右端までゆっくり移動させてください。

<ご注意>

プリントヘッドのノズル面やキャリッジ下面に付着したインクがプラテン等に垂れる場合があります。

- (6) 下図にある 3ヶ所のツマミネジをコインなどで緩めてください。



0937D

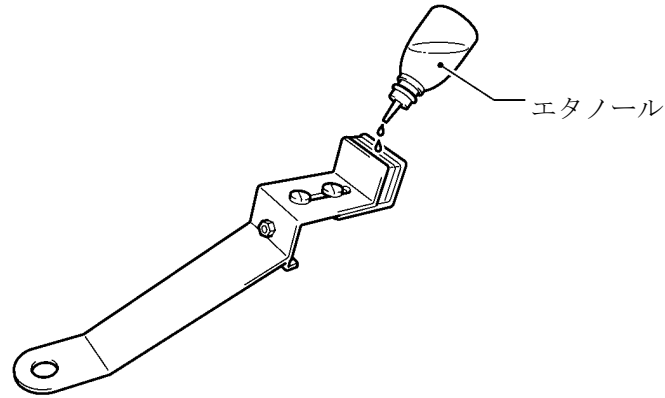
- (7) 両手でエンコーダーカバーFを持ち、手前に引きながら斜め上方に持ち上げ、エンコーダーカバーFを本体より外してください。

<ご注意>

キャリッジガイドシャフトに傷をつけないよう、またチューブ、ソレノイドのハーネス、キャリッジモーターのハーネスに引っ掛けないよう十分注意してください。また外したエンコーダーカバーFは水平な場所に仮置きしてください。

6. メンテナンス

- (8) エンコーダークリーナーのフェルトにエタノールを染みこませます。エタノールが全体に行き渡るように 2ml 程度浸み込ませてください。

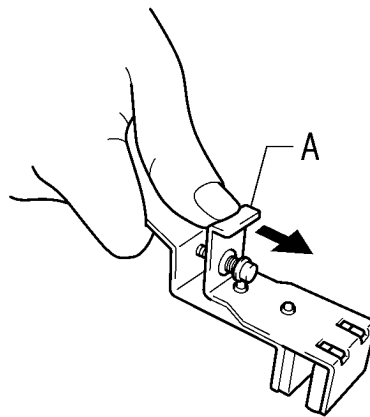


0073Y

<ご注意>

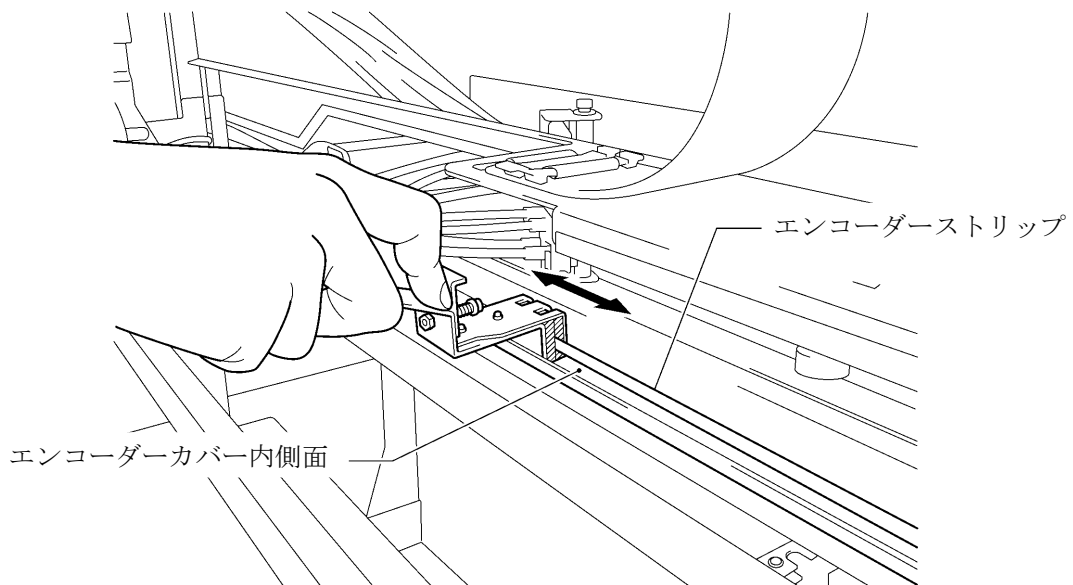
必ず純度 95%以上のエタノールを使用してください。

- (9) エンコーダークリーナーの図 A 部を指で押し、フェルトとフェルトの間に隙間を設けてください。



0074Y

- (10) フェルトとフェルトの間の隙間にエンコーダーストリップを平行になるように、またエンコーダーカバーの内側にフェルト下部が接触するようにエンコーダークリーナーをセットしてください。指を離すとフェルトがエンコーダーストリップに密着します。



0075Y

- (11) エンコーダーストリップの左端より右側に掃除可能な範囲までエンコーダークリーナーを 2~3 往復させて掃除を行なってください。再びエンコーダークリーナーの図 A 部を指で押し、エンコーダークリーナーをエンコーダーストリップより一旦取り外してください。

<ご注意>

エンコーダークリーナーはできるだけ水平に保って往復させてください。

- (12) 手でキャリッジを左端までゆっくり移動させてください。

<ご注意>

プリントヘッドのノズル面やキャリッジ下面に付着したインクがプラテン等に垂れる場合があります。ご注意ください。

- (13) 手順(10), (11)に従い、エンコーダーストリップの右端より左側に手順(12)で掃除ができなかった部分までエンコーダークリーナーを2~3往復させて手順(12)に従って掃除を行なってください。
- (14) 掃除が完了したら、再びエンコーダークリーナーの図①部を指で押し、エンコーダークリーナーをエンコーダーストリップより取り外してください
- (15) 再度、手でキャリッジを右端までゆっくり移動させてください。

<ご注意>

プリントヘッドのノズル面やキャリッジ下面に付着したインクがプラテン等に垂れる場合があります。ご注意ください。

- (16) 両手でエンコーダーカバーFを持ち、手順(7)と逆の手順でエンコーダーカバーFを斜め上方よりチューブに注意して、本体切り欠き穴に差込ながら、ツマミネジのネジ部にエンコーダーカバーFのU溝(3ヶ所)を合わせ、エンコーダーカバーFを水平に戻しながら奥まで押し込んでください。また本体の突起がエンコーダーカバーFの穴および長穴と嵌合していることを確認してください。
- (17) 3ヶ所のツマミネジをしっかり締めてください。

<ご注意>

エンコーダーカバーFを手前に少し引っ張り手前に外れてこない事を確認してください。

- (18) 前面カバーのストップレバーを押してロックを外し、両手を使って前面カバーを閉じてください。指を挟まないようにご注意ください。前面カバーを閉じたら、電源を入れてください。電源を再投入した時にエラーが起これなければ、エンコーダーストリップの掃除は成功です。

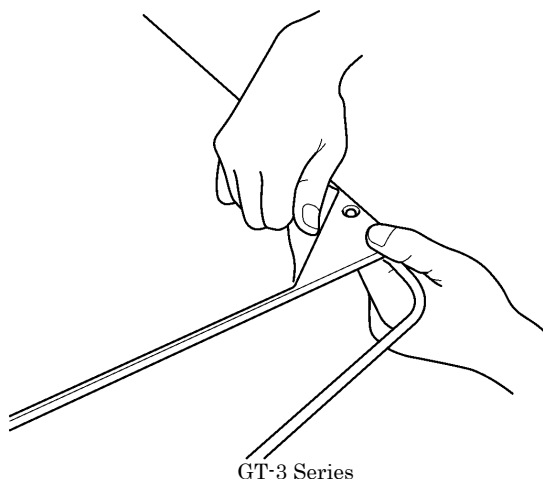
6-2-8. プラテンシートの交換

プラテンシートは使っているうちに汚れます。T シャツを汚さないように、適宜新しいプラテンシートに交換してください。

<参考>

PCの[すべてのプログラム]にある[Brother GT-3 Tools]の[Useful Tools]に、グリッドの印刷データがあります。必要に応じてプラテンサイズにあったグリッドを印刷してください。(“3-3-9. Useful Tools の開き方”を参照してください。)

- (1) プラテンを排出するために、プラテンボタンを押してください。
- (2) プラテンシートと両面テープをプラテンからゆっくりと剥がしてください。もしプラテンシートが固着している場合は、プラテンをプリンターから取り外してから作業してください。

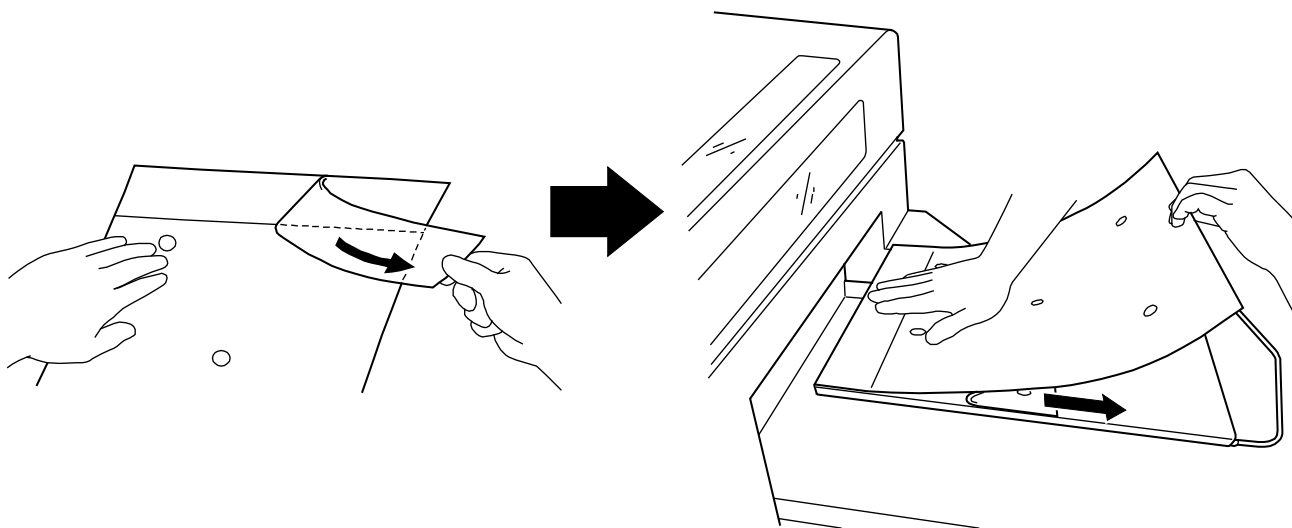


6. メンテナンス

- (3) プラテンの表面を薄めた洗剤に浸した柔らかい布などで掃除してください。その後、乾いたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、プラテンをプリンターから取り外してから掃除してください。
- (4) プラテンの表面が完全に乾いてから、プラテンの上に新しいプラテンシートを貼り付けます。プラテンシート裏側の剥離紙にスリットがありますので、小さい方の剥離紙の一部を剥がします。接着面がプラテンに付かないように気をつけながら、プラテンシートの位置決めをして、プラテンの奥側へ貼り付けます。その後、残りの剥離紙を少しずつ剥がしながら貼ってください。

<ご注意>

- ・プラテンシートはまっすぐ、しわを作らないようにプラテンに貼り付けてください。



0078Y

7. トラブルシューティング

注意



本機の前には十分な空間を取り、物を置かないでください。プラテンがぶつかって破損したり、プラテンと物の間に手をはさみ、けがの原因となります。



動作中はプラテンから手を離してください。プラテンや T シャツトレイと各カバーとの間に手をはさみ、けがの原因となります。



プラテンを手で動かさないでください。本機に深刻な故障を与える原因となります。



通電中は各カバー内に手を入れないでください。可動部に手がふれてけがの原因となります。



前面カバーを開けるときは必ず電源スイッチを切り、その後 1 分間待ってからカバーを開けてください。ヘッド上部のヒートシンクにふれると、やけどをすることがあります。



前面カバーを閉めるときは指をはさまないように注意してください。指をはさむとけがをする恐れがあります。



インクカートリッジを分解しないでください。



インク・充填剤・ウォッシュ液・前処理剤・廃液などの液体類を飲まないでください。

下痢・おう吐する可能性があります。

またインク・充填剤・ウォッシュ液・前処理剤・廃液などの液体類が目や皮膚に付かないようにしてください。

炎症を起こす可能性があります。目に入ったときはこすらずに、すぐに水で洗い流してください。

子供の手の届かないところに置いてください。

7-1. こんなときは

下記のテーブルを参照してトラブルを解決してください。

現象	原因	解決策
PC から印刷データが送信できない	異なるプリンターを選んでいる	印刷メニューでプリンター名を確認してください。
	USB が接続されていない	USB 2.0 ケーブルを接続してください。
	PC や OS が仕様外	“1-3-3. ソフトウェア環境” で PC 動作環境を確認してください。
	仕様外の USB 2.0 ケーブルを使っている	仕様に合う USB 2.0 ケーブルを使用してください。“1-3-4. その他の必要条件” を参照してください。
	GT-3 と PC の間にノイズが発生している	USB 2.0 ケーブルを一旦抜き、5 秒後に再度接続してください。もし問題が解決されなければ、GT-3 を一旦電源 OFF にし、5 秒後に再起動してください。
	PC が正常に動作しない	PC を再起動してください。他の USB ポート口に接続してください。
	他の USB デバイスが PC につながっている	他の USB デバイスを取り外し、PC を再起動したのち、GT-3 の動作確認をしてください。
USB ケーブルが不調	別の、あるいは短い USB ケーブルをご使用ください。	
プリントボタンを押しても印刷が開始されない	エラーが表示されている	エラーの原因を取り除き、再度行なってください。
	[印刷できます] 状態でない、あるいはメニューに入っている	処理が終了するまでお待ちください。
	自動ヘッドクリーニング中	ヘッドクリーニングが終わるまでお待ちください。
	室温が使用条件に合っていない	室温を調整してください。“1-3-1. 動作環境” を参照してください。
	プリンターがデータを受信していない、または受信（プリントボタンが点灯状態ではない）	印刷データの受信が完了するまで印刷できません。しばらくお待ちください。
	プリントヘッドが高温になりメッセージ “*ヘッド温度上昇” が表示される	FFC が正しく装着されず、プリントヘッド温度が上昇している可能性があります。電源 OFF し、FFC 接続を確認し、温度が下がるまでお待ちください。
GT-3 の電源が入らない	電源がつながっていない	電源コードの接続を確認してください。
	前面カバーが開いているまたはしっかり閉じていない	前面カバーを正しく閉じてください。
GT-3 起動直後にエラーが発生	エラーが発生している	“7-4. エラーメッセージ” でエラー内容を確認し、GT-3 を再起動してください。エラーが解消されない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

現象	原因	解決策
GT-3 起動直後にエラーが発生 USB メモリー内の印刷データ (AR3 ファイル) が読めない	USB メモリーが挿入されていない か、正しく挿入されていない	USB メモリーを確実に挿入してく ださい。
	ARP ファイルである	GT-3 は GT-541/GT-782 の印刷デー タを印刷できません。印刷データ を作り直してください。
	USB メモリーの条件に合わない	32GB 以下で、FAT32 でフォーマット されたものをご使用ください
	USB メモリーの不良	PC 等で動作を確認してください。
片方向印刷・双方向印刷できない	プリンタードライバーの設定とプリ ンターの設定が合わない	プリンターの設定が優先されます。 プリンタードライバーの値が有効 なのは、プリンターの設定が [Auto] の場合のみです。

7-2. 印刷品質問題を解決する

下記のテーブルを参照してトラブルを解決してください。

現象	原因	解決策
印刷が薄い	画像編集アプリケーションの設定が不適切、画像が CMYK モードである	“4-2. アプリケーションの印刷条件の設定”をご覧いただき、画像を編集してください。
	印刷条件が不適切、画像データが薄い（彩度不足）	“4-3. プリンタードライバーの設定”をご覧いただき、“画質改善”で適切な彩度やコントラストを調整してください。解像度を 1200 x 1200 dpi で印刷して使用するインク量を増やしてください。
	インクカートリッジ内のインクがない	“6-2-6. インクカートリッジの交換”を参照してください。
印刷物に横筋（隙間）が見える	ノズルに不吐出がある ノズルチェックパターン（Nozzle Check Pattern、“7-2-3. ノズルチェックパターンで印刷品質を確認”）で不吐出を確認する 直らなければ、プリントヘッドの掃除	ヘッドクリーニングボタンを押すかメニューの“Head Cleaning”を実行してください。（“7-2-1. 印刷品質問題を解決するための手順”を参照して下さい。）改善しない場合は、“7-2-2. ヘッドクリーニング”を行なってください。
	目立ちやすい色である	複合パス印刷にしてください。 “4-3-9. カラーの複合パス印刷”を参照してください。
	吸水性の高い印刷メディアへ印刷している	片方向印刷にしてください。 “7-2-4. 印刷方向の変更”を参照してください。上記複合パス印刷も組み合わせてください。
	プラテンの高さが低すぎる	高さセンサーと印刷面とのギャップは 2 mm になるようにプラテンの高さを調節します。“4-5. T シャツをプラテンに装着”を参照してください。プラテン低下セットをお使いの場合は、元に戻すか、底上げしてください。
	吐出タイミングが合っていない	吐出タイミング調節をやり直してください。ヘッドを交換したり、プラテンを交換したりして、設定値が合っていない可能性があります。 “7-2-8. プリントヘッド交換後の調整”を参照してください。
にじみがある	インク量が多すぎる 綿 100%でない、または薄手の印刷メディアに印刷	インク量を調整してください。 “4-3-10. カラーインク量の調整”を参照してください。
印刷データがないところにインクがつく（インク染み、横筋など）	ワイパークリーナーやヘッドキャップからあふれた廃インクでプリントヘッド周りが汚れている ノズル面に糸くずがついている	ヘッド回りを掃除しワイパークリーナーを交換してください。 “6-2-1. ワイパークリーナーの交換とキャップ&ワイパーの掃除”を参照してください。

現象	原因	解決策
画像の端がぼやけていたり、文字や直線が二重になったり、粒状感がひどい。	プラテンの高さが低すぎる	高さセンサーと印刷面とのギャップは2 mmになるようにプラテンの高さを調節します。“4-5. Tシャツをプラテンに装着”を参照してください。プラテン低下セットをお使いの場合は、元に戻すか、底上げしてください。
Tシャツがインクで汚れてしまった	プリントヘッドがTシャツに擦っている	表面を平らにし、必要ならプラテンの高さを調節します。“4-5. Tシャツをプラテンに装着”を参照してください。
	フラッシング受けスポンジが汚れている	新しいものに交換してください。 “6-2-3. フラッシング受けスポンジとフラッシング受けフェルトの交換”を参照してください。
	障害物センサーが汚れている	障害物センサーの両面をきれいにしてください。“6-2-2. プリンター内部の掃除”を参照してください。
	プラテン布が汚れている	“6-2-8. プラテンシートの交換”を参照してください。
薄い色がだんだん印刷できなくなった	比較的高温で非常に乾燥しており、ノズル面が乾燥しがち	“7-2-10. フラッシング頻度の設定”および“7-2-11. フラッシング吐出量の調節”を参照してください。
白がムラになる	前処理剤の塗布にムラがある	均一に塗布してください。“4-6-1. 前処理剤の塗布”を参照してください。
	前処理剤の定着後に水分が付着	前処理剤を定着した後に水分がつかないようにしてください。 “4-6-1. 前処理剤の塗布”を参照してください。
白さが足りない	前処理剤の塗布量が不十分	“4-6-1. 前処理剤の塗布”を参照してください。
	前処理剤の定着が不十分、ホットプレスの温度が低い、圧力が低い	ホットプレスの実温度を確認してください。定着時の圧力を上げてください。“4-6-1. 前処理剤の塗布”を参照してください。
	ノズルに不吐出がある ノズルチェックパターン (Nozzle Check Pattern、“7-2-3. ノズルチェックパターンで印刷品質を確認”) で不吐出を確認する 直らなければ、プリントヘッドの掃除	ヘッドクリーニングボタンを押すかメニューの“Head Cleaning”を実行してください。(“7-2-1. 印刷品質問題を解決するための手順”を参照して下さい。) 改善しない場合は、“7-2-2. ヘッドクリーニング”を行なってください。
	白インクの入れ替えをしていない 白インクの攪拌が不十分	“6-1-1. 白インクの入れ替えおよび吐出の確認 (印刷開始前、1日1回)”を参照してください。

7-2-1. 印刷品質問題を解決するための手順

以下のステップに従って（ステップ1から6）問題を解決してください。

以下の説明はカラーインク側のプリントヘッドを用いて行いますが、白インク側の場合も同様です。

ステップ1：インクカートリッジの残量を確認し、ノーマルクリーニングを実行

通常はヘッドクリーニングで印刷品質問題は解決します。テストパターンの中のノズルチェックパターン（“7-2-3. ノズルチェックパターンで印刷品質を確認”参照）でどの色に不吐出があるか確認し、1色であればその色だけ、2色以上であればヘッドクリーニングボタンで4色（“7-2-2. ヘッドクリーニング”参照）のヘッドクリーニングを行い、再度ノズルチェックパターンで改善されたかどうか確認します。これを数回繰り返します。解決しない場合は次のステップへ。

<ご注意>

- 本機の動作環境を守ってください。湿度が低い場合は加湿器を用いてください。湿度45%を下回らないようにすると、インクの乾燥を防ぐことができます。
- プリンターは24枚印刷するごとに自動的にヘッドクリーニングを行います。しかし、環境によってはさらに頻繁にヘッドクリーニングを行ったほうがよい場合もあります。“7-2-5. オートクリーニング設定の変更”を参照してください。

ステップ2：ワイパークリーナーの交換、ヘッド周りの掃除

ワイパークリーナーはワイパーブレードに付着した廃インクを吸い取ります。ワイパークリーナーの吸引力が落ちると、汚れたワイパーブレードがプリントヘッドの表面（ノズル）を汚し、これが不吐出やプリントヘッドの故障を招いてしまいますので、毎週定期的にヘッドキャップとワイパーブレードを掃除し、定期的にワイパークリーナーを交換してください。ヘッドクリーニングを何度も行うと、ワイパークリーナーの消耗が激しくなります。ヘッドクリーニングを行っても不吐出が改善しない場合は、新しいものに交換してください。

確認方法：

- (1) “6-2-1. ワイパークリーナーの交換とキャップ&ワイパーの掃除”に従って、メニュー内の[メンテナンス] > [メンテ部品の交換]を選択します。
- (2) ワイパークリーナーと同時にキャップやワイパーなどの汚れを掃除します。同時にフラッシング受けスポンジやフラッシング受けフェルトの汚れが激しい場合、不吐出に影響している可能性がありますので交換してください。詳細は“6-2-3. フラッシング受けスポンジとフラッシング受けフェルトの交換”を参照してください。
- (3) プリンター内部の汚れも確認し、必要に応じて掃除してください。詳細は“6-2-2. プリンター内部の掃除”を参照してください。

<ご注意>

ワイパークリーナーを傾けないでください。中の廃インクが手や衣類についてしまう恐れがあります。

- (4) ワイパークリーナーを確認し、廃インクでいっぱいでしたら新しいものと交換してください。もしワイパークリーナーが新しければ、次のステップへ。

ステップ3： インクチューブ内の「空気の切れ目」を確認し、パワフルクリーニングを実行

前面カバーを持ち上げて、ストッパーでロックされるまでカバーを上押し上げて前面カバーを開け、インクチューブの中に「空気の切れ目」が長さ 5 mm 以上あるかどうか確認してください。その時は、ストップレバーを押してロックを外し、両手を使って前面カバーを閉じてから電源を入れてパワフルクリーニングを実行し、インクの切れ目をなくします。電源を OFF し、再度前面カバーを開けて、空気の切れ目がなくなっているかどうか確認してください。ひどい場合はインシャルクリーニングを行ってインクを入れ換えてください。

<ご注意>

白側に充填剤を導入する必要はありません。メンテナンスカートリッジを挿入する代わりに、白インクカートリッジのままにインシャルクリーニングを行い、約 10 秒後にストップボタンを押して処理を中断してください。

ステップ4： 不吐出の状況を確認する

- (1) ノズルチェックパターンで吐出を確認します。（“7-2-3. ノズルチェックパターンで印刷品質を確認”を参照）
- (2) 不吐出がいつも同じノズル位置の場合、ステップ 5 へ進んでください。不吐出位置が移動する場合は、ノズル内部に空気の気泡が入っている可能性があります。パワフルクリーニングを実行し、改善をノズルチェックパターンで確認してください（“7-2-2. ヘッドクリーニング”を参照）。

<参考>

時間に余裕がある場合は、気泡を落ち着かせるためにプリンターを 15-20 分程度放置すると改善することがあります。

一方、ノーマルクリーニング後にノズルチェックパターンを印刷すると不吐出がないのに、大きい印刷データを印刷すると不吐出が増加する場合は、ステップ 6 へ進んでください。

ステップ5： プリントヘッドのノズルを掃除

- (1) プリントヘッドの表面のノズルをノズルクリーニングキットで掃除します。（“7-2-6. ヘッドノズルの掃除”を参照）クリーンアプリークレーターは新しいものをお使いください。
- (2) ノズルを掃除した後は、空気を巻き込んでいますので、パワフルクリーニングを行ってください。その後ノズルチェックパターンで吐出を確認します。

<ご注意>

ノズルを掃除した後は、ノーマルクリーニングではノズル内の空気を流すことができません。必ずパワフルクリーニングを行ってください。

それでも問題が解決しない場合は、ステップ 6 へ移ります。

ステップ6： お買い上げの販売店へご連絡ください

不吐出が発生した時の状況をお伝えください。お客様ご自身がプリントヘッド交換をする場合は、“7-2-7. プリントヘッドの交換”を参照してください。

7-2-2. ヘッドクリーニング

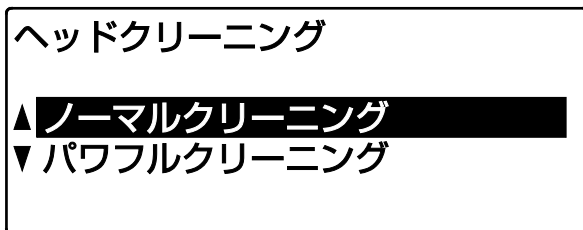
プリンターは 24 枚印刷するごとに、あるいは 2 時間以上の放置後の印刷開始時に、オートクリーニングを行います。(頻度を上げるには、“7-2-5. オートクリーニング設定の変更”を参照。) オートクリーニングでは不十分で、印刷品質が保てない場合(不吐出、バンディングなど)は、手動に必要なヘッドクリーニングを行ってください。

ヘッドクリーニングボタンを押す

- (1) プリンターが [スタンバイ] か [印刷できます] モードであることを確認してください。
- (2) ヘッドクリーニングボタンを押してください。
- (3) [上ボタン]または[下ボタン]で、“すべてのカラー”、“すべての白”、“すべてのヘッド” 1 のいずれかを選んで OK ボタンを押してください。メッセージ [ヘッドクリーニング中です] が表示され、選択したプリントヘッドのノーマルヘッドクリーニングが実行されます。中断するにはキャンセルボタンを押してください。
終了すると、再度 [スタンバイ] か [印刷できます] がディスプレイに表示されます。

ノーマル (Normal) / パワフル (Powerful) クリーニング

- (1) プリンターが [スタンバイ] か [印刷できます] モードであることを確認してください。
- (2) メニューから [ヘッドクリーニング] を選択し、OK ボタンを押します。
- (3) 通常の不吐出の場合、[上ボタン]または[下ボタン]で、[ノーマルクリーニング] か [パワフルクリーニング] を選んで OK ボタンを押します。これらの種類は“7-2-1. 印刷品質問題を解決するための手順”の各ステップで使い分けてください。長期間放置後や、白チューブクリーニング後、あるいはチューブの中に空気がたくさん入ってしまった場合は、チューブ内のインクを入れ替えるために [メンテナンス] の中にあるイニシャルクリーニング (初期導入) が必要です。[メンテナンス] > [イニシャルクリーニング] を実行してください。



0012Y

- (4) [上ボタン]または[下ボタン]で該当するヘッドを選び、OK ボタンを押してください。2 色以上の不吐出があった場合は、カラー側あるいは白側を同時にヘッドクリーニングすることをお勧めします。メッセージ [ヘッドクリーニング中です] が表示され、ヘッドクリーニングが実行されます。終了するとヘッド選択メニューに戻ります。終了する時は、ストップボタンを押してください。

<ご注意>

イニシャルクリーニングを実行する際には、必ず事前に廃インクタンクの余裕を確認してください。廃インクの取扱については、“6-1-4. 廃インクの処理”を参照してください。

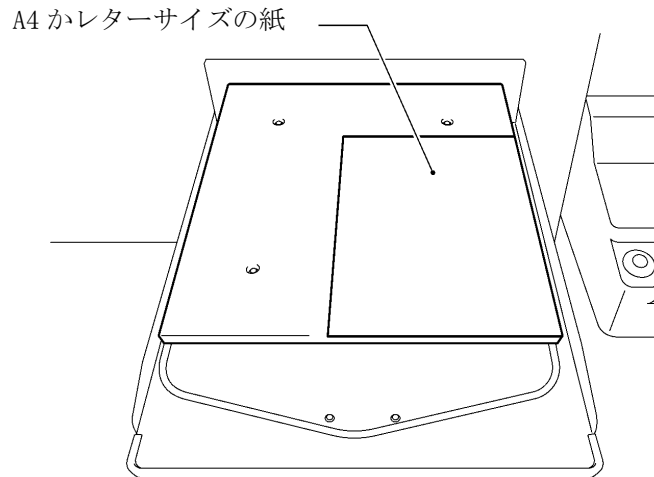
7-2-3. ノズルチェックパターンで印刷品質を確認

ノズルチェックパターンを印刷するとどのプリントヘッド、どの色で問題が発生しているかがわかります。印刷に白い横筋が見える場合、色が薄い場合 (特に白) に実行してください。

<ご注意>

- プラテン軸受けとプラテン位置決め板をプラテン低下セットに交換している場合は、かさ上げするか、片方向印刷するか、または標準のものに戻してください。
 - 白側の吐出を確認するには、黒い紙または透明な板などに印刷してください。
- (1) プラテン 14x16 を取り付けてください。(“4-4. プラテンの着脱”参照)
 - (2) プラテンの高さを “A” の位置にしてください。(“4-5. T シャツをプラテンに装着”参照)

- (3) A4 かレターサイズの紙をプラテンの右端の角に合わせて (A4 だとプラテンシートあたりを端に合わせて) 写真のように置いてください。紙が浮き上がりそうな時は、テープで隅を固定してください。また、紙でなくても、Tシャツでもできます。



0081Y

- (4) メニューから[上ボタン]または[下ボタン]で [テスト印刷] を選択し、OK ボタンを押してください。
 (5) 上ボタンまたは下ボタンを操作して、[ノズルチェック カラー] または [ノズルチェック 白] を選び、OK ボタンを押してください。

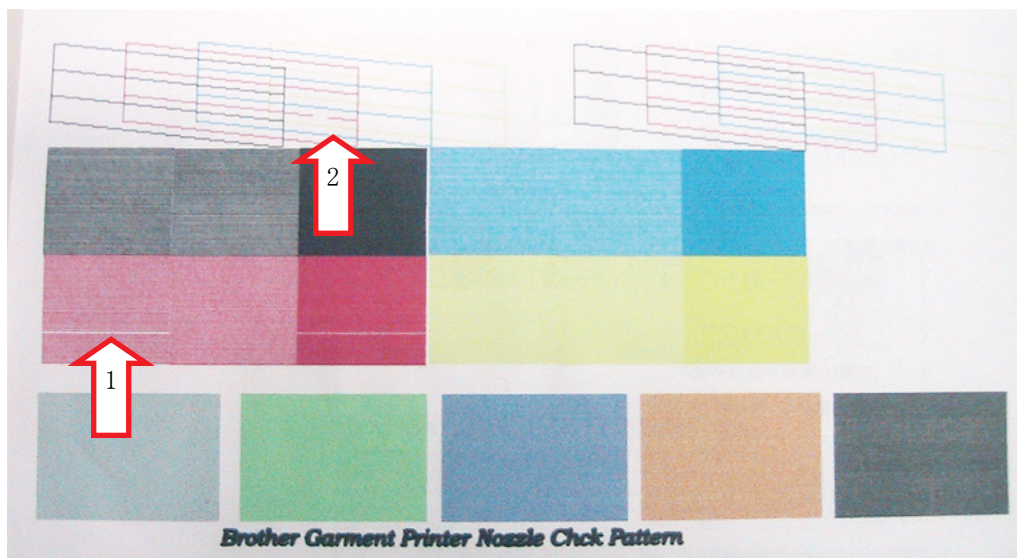
テスト印刷
ノズルチェック カラー
OKで開始します

0013Y

- (6) OK ボタンを押してノズルチェックパターンを印刷します。
 (7) 印刷された結果を見て、問題を判定します。

カラー側：

もし白い筋が見えたり (矢印1) 線が途切れていたら (矢印2) その色のプリントヘッド (下記写真の場合はマゼンタ) に不吐出の問題があります。該当するプリントヘッドの問題を解決してください。(“7-2-2. ヘッドクリーニング” を参照)

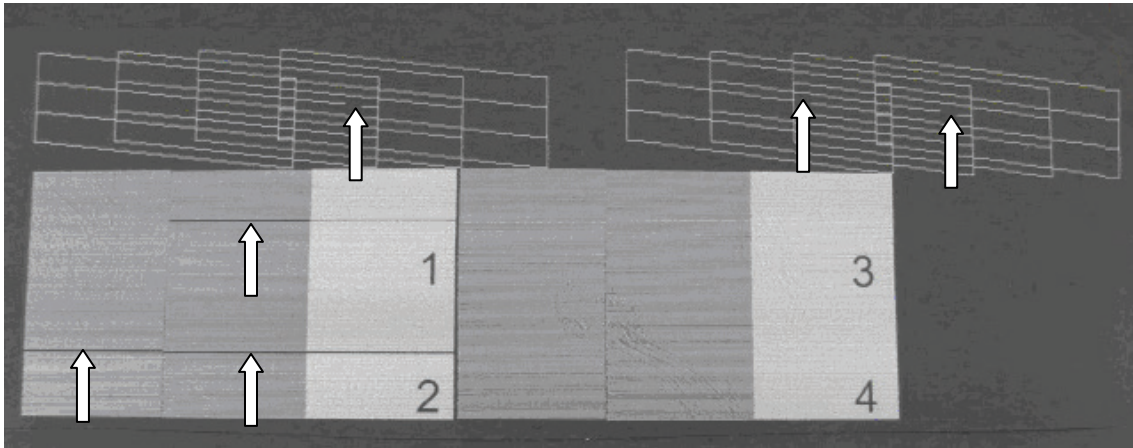


(次ページに続く)

7. トラブルシューティング

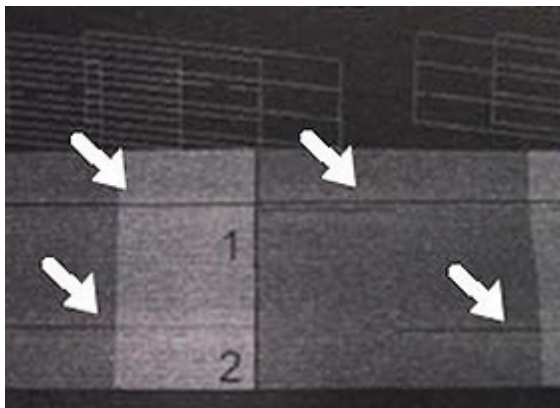
白側：

カラー同様、下記写真の矢印部分（W1で1ヶ所、W2で2ヶ所）で不吐出が発生しています。該当するプリントヘッドの問題を解決してください。（“7-2-2. ヘッドクリーニング”を参照）

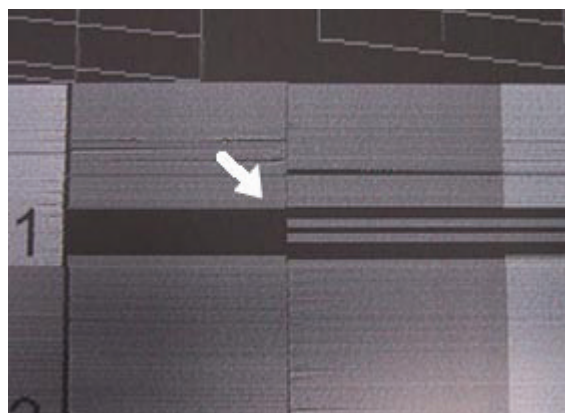


<参考>

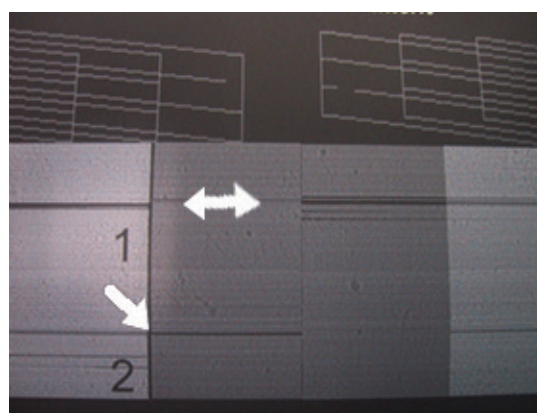
白インクは複数あるのでインク量が多く、カラーインクほど1ヘッドあたりの不吐出の悪影響が大きくありません。下記の左（紙）のような不吐出がある状態でも、右（前処理塗布済みの布帛）のように、問題なく印刷できます。



各ヘッドに1-2ヶ所の不吐出がある（左）が、実際の印刷（右）では目立ちにくい
以下のような場合には必ずヘッドクリーニングを実行してください。



上下に連続して不吐出があり、
帯状に「抜け」がある場合



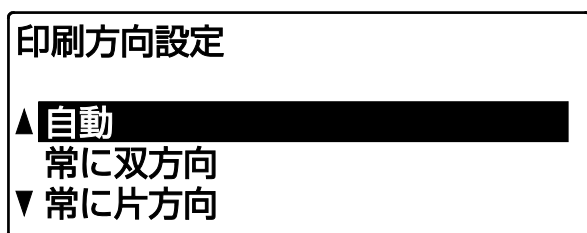
隣同士のヘッドが同じノズル位置で
不吐出がある場合

7-2-4. 印刷方向の変更

袖や縁を避けるためにプリントヘッドと印刷メディアのギャップを広めに開けなければならない場合、印刷結果がぼやけたり粒状感が出てしまいます。また吸水性の高いものに印刷する場合、細かい白筋が発生してしまいます。このような場合は、片方向印刷を選んでください。印刷時間はかかりますが、画質はある程度保つことができます。印刷メディアの一番高い位置と障害物センサーとのギャップ（隙間）が2 mm 程度になるようにプラテンの高さを調整してください。

また、印刷データを作る時に片方向印刷することが分かっている場合はプリンタードライバーの詳細設定メニューから指定することができます。プリンターの設定が[自動]である時に有効です。詳細は“4-3. プリンタードライバーの設定”および“4-3-14. 片方向印刷の指定”を参照してください。

- (1) メニューから[上ボタン]または[下ボタン]で [印刷方向設定] を選択し、OK ボタンを押してください。
- (2) [上ボタン]または[下ボタン]で常に片方向印刷にしたい場合 [常に片方向] を、常に双方向印刷にしたい場合は [常に双方向] 選択します。次に設定を修正するまで、この値が保持されます。



0014Y

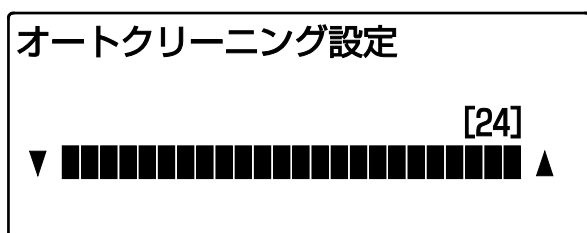
<参考>

- 片方向印刷の場合は、アイコンが表示されます。
- 印刷方向のデフォルト値は [自動] で、プリンタードライバーの指定が有効です。
- 設定はプリンター側が優先されます。プリンタードライバーで片方向印刷が指定されていても、プリンター側の設定が [常に双方向] であれば、双方向印刷です。

7-2-5. オートクリーニング設定の変更

GT-3 は 24 枚の印刷ごとに自動的にヘッドクリーニングを行います。しかし、環境によっては、さらに頻繁に自動ヘッドクリーニングを行う必要があることもあります。このような状況では、自動ヘッドクリーニングの頻度を上げるように設定を変更してください。

- (1) メニューから[上ボタン]または[下ボタン]で [プリンター設定] を選択し、OK ボタンを押してください。
- (2) [上ボタン]または[下ボタン]で [オートクリーニング設定] を選択し、OK ボタンを押してください。以下のように表示されます。



0015Y

- (3) [上ボタン]または[下ボタン]で、頻度を 1 から 24 の間で変更し、OK ボタンを押してください。オートクリーニングの頻度が上記で設定された値に変わります。

<ご注意>

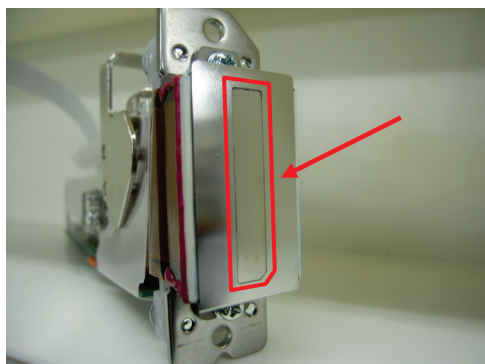
ヘッドクリーニングの回数が増えると、ワイパークリーナーの交換時期も早まります。

7-2-6. ヘッドノズルの掃除

ノズルクリーニングキットを用いてプリントヘッドのノズル（インク吐出部分、写真の赤枠内に示す）を掃除してください。

<ご注意>

プリントヘッドのノズルは繊細でかつ高価です、掃除の際には、取り扱いに十分ご注意ください。ノズルの掃除は、“7-2-1. 印刷品質問題を解決するための手順”のステップで必要なときのみ行なってください。



- (1) プリンターが [スタンバイ] か [印刷できます] モードであることを確認してください。
- (2) メニューから [メンテナンス] を選択し、OK ボタンを押します。
- (3) [上ボタン]または[下ボタン]で [ノズル掃除] を選択し、OK ボタンを押してください。
プラテン、キャリッジとワイパーブレードが移動します。ディスプレイに以下のように表示されます。

ノズル掃除

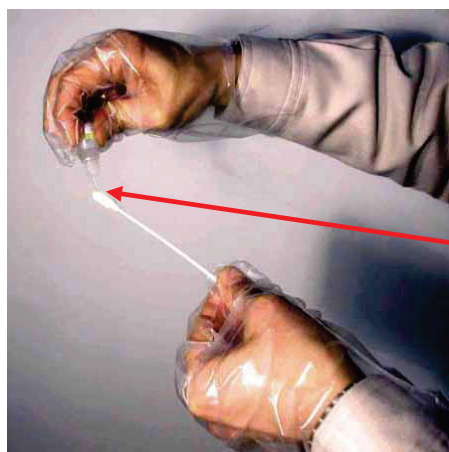
電源をOFFして
ノズルを掃除してください

0016Y

- (4) プリンターの電源を OFF してください。
- (5) 前面カバーを持ち上げて、ストッパーでロックされるまでカバーを上押ししてください。
- (6) ノズルクリーニングキットを開けてください。手袋をはめ、クリーンアプリーター（丸型）にたっぷりウォッシュ液をつけてください。

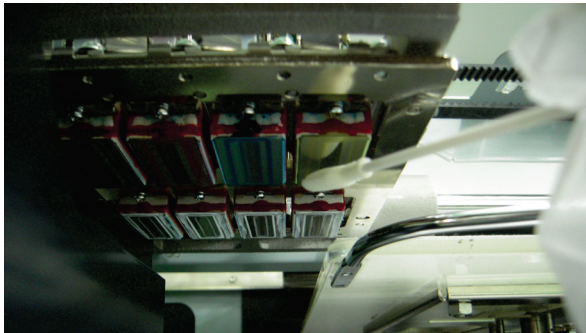
<ご注意>

- ノズルクリーニングキットは白・カラー共通です。
- メンテクリーニングキットのクリーンスティック（緑色の柄の平型）ではなく、ノズルクリーニングキット同梱のもの（丸型）をお使いください。
- 掃除する際にはウォッシュ液のみをクリーンアプリーターにつけてください。他の液体（水など）はプリントヘッドを損傷する恐れがありますので使わないでください。



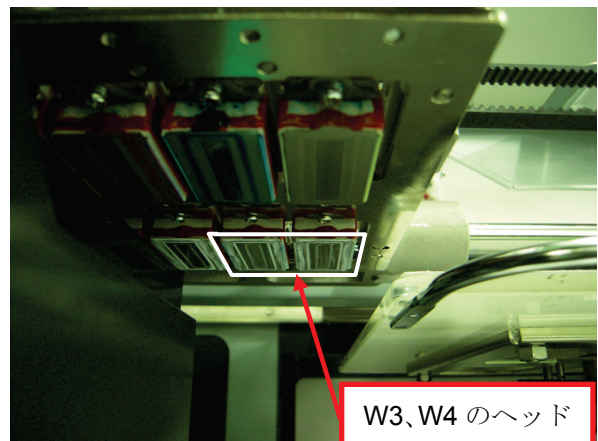
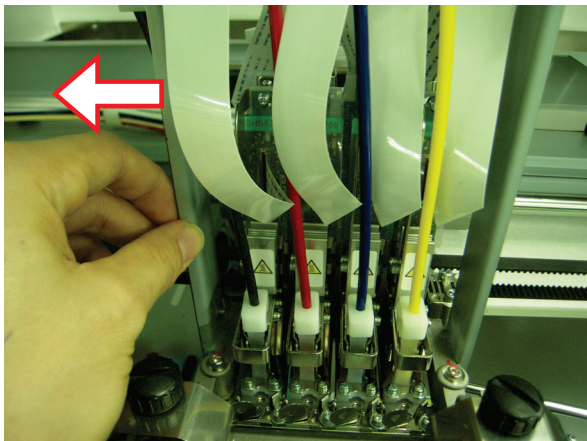
たっぷり含ませる

- (7) ノズルプレートを、ウォッシュ液をつけたクリーンアプリーターでクリーニングします。ノズルプレートの表面についているインクや固まりが取り除かれ、ノズルプレートがきれいになるまで優しく表面をなでるように掃除してください。途中、やわらかくて清潔なケバのない布でクリーンアプリーターについた汚れをぬぐいとり、またウォッシュ液をつけて掃除します。1色のヘッドに1本のクリーンアプリーターをお使いください。



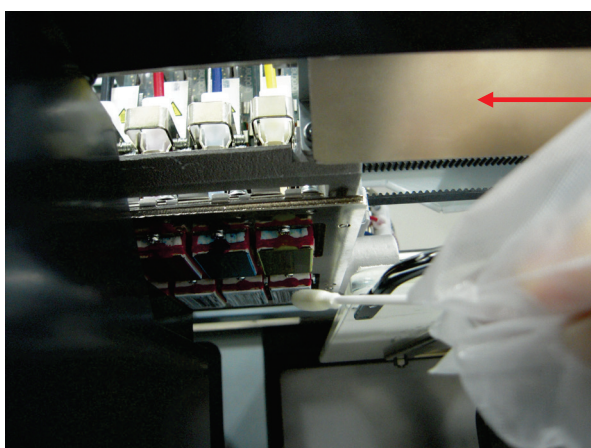
<ご注意>

GT-381のW3およびW4のノズルは、プラテンで隠れて見えにくい状態です。キャリッジを手で押してノズルが見える位置までキャリッジを左に移動させてから掃除してください。



<ご注意>

作業中に、障害物センサーに触らないように気をつけてください。



障害物センサー

- (8) キャップの周囲など、プリントヘッド周りが汚れていたら、掃除をしてください。通常のクリーンスティック（緑色の柄の平型）のものでも、今使った丸型のクリーンアプリーターでも構いません。（“6-2-1. ワイパークリーナーの交換とキャップ&ワイパーの掃除”を参照）。また、フラッシング受けの縁や障害物センサーのフラップの前後がインクや埃で汚れていたら、やわらかい布で水拭きしてください
- (9) ストップレバーを押してロックを外し、両手を使って前面カバーを閉じてください。
- (10) 電源を入れてください。初期化でキャリッジがメンテナンスユニット上に移動します。

7. トラブルシューティング

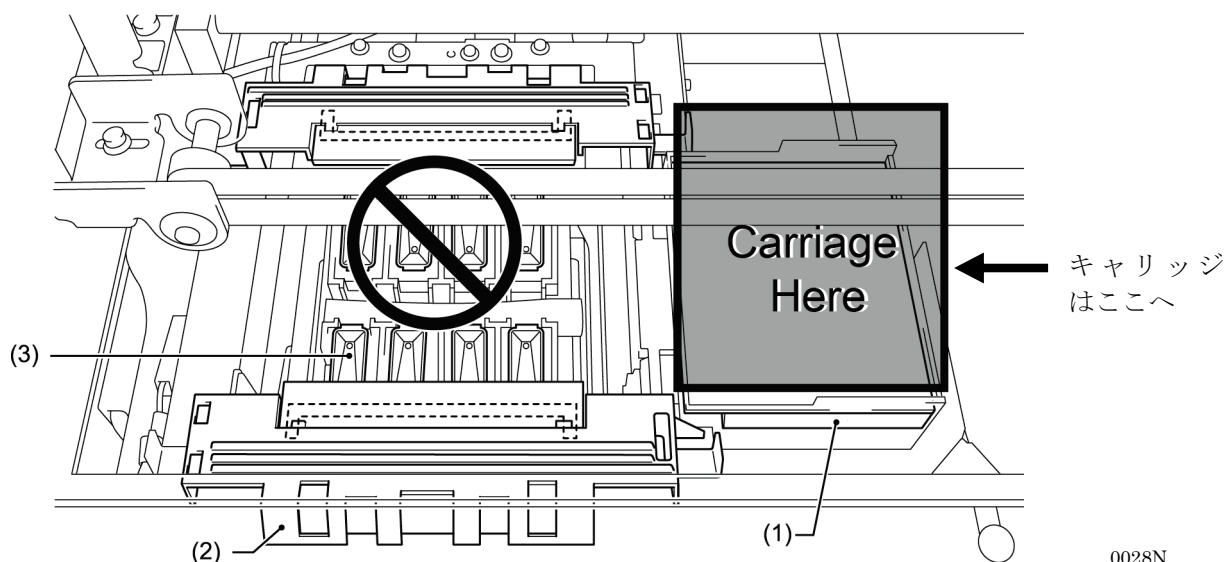
- (11) すべてのヘッドのパワフルクリーニングを行って、気泡やウォッシュ液を洗い流します。その後ノズルチェックパターンを印刷して不吐出を確認してください（“7-2-3. ノズルチェックパターンで印刷品質を確認”を参照）。その後は必要なノズルクリーニングを行い、印刷品質を回復してください

7-2-7. プリントヘッドの交換

下記の手順でヘッドを交換します。詳細はお買い上げの販売店にご連絡ください。

<重要>

- ・プリントヘッドは大変壊れやすいです。取扱に十分ご注意ください。
 - ・メンテナンスユニット上でプリントヘッドを着脱しないでください。
ワイパークリーナー(2)とプリントヘッドが干渉し、プリントヘッドが破損する恐れがあります。
メニュー操作に従うか、またはキャリッジをフラッシング受け(1)の上に手で移動させてから着脱してください。
- * メンテナンスユニット上で作業しなければならない場合は、必ず先にワイパークリーナー(2)を外し、キャップ(3)が一番下にある状態で行なってください。



0028N

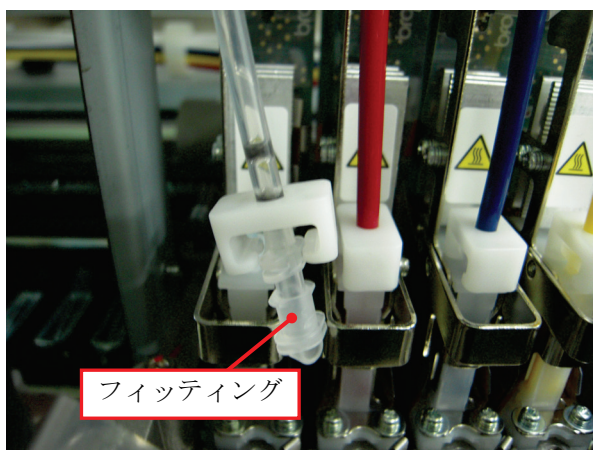
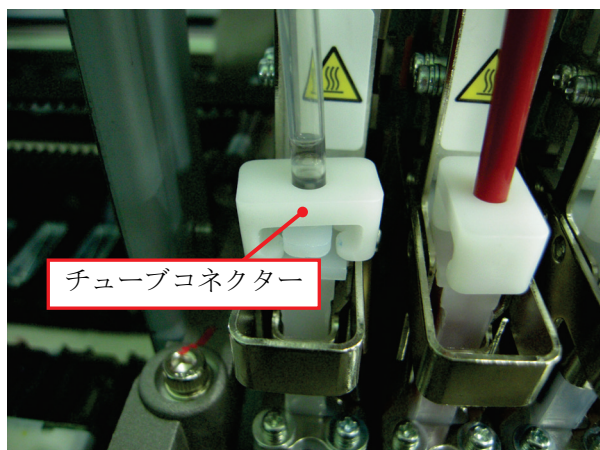
以下の手順でプリントヘッドを交換します。

カラー側の交換

- (1) 電源をOFFし、前面カバーを持ち上げてストッパーでロックされるまでカバーを上押ししてください。
- (2) 新しいヘッドを箱から取り出します。基板類に触らないように同梱の手袋をはめてフィッティングやカバーを外してください。ヘッド上のチューブについているフィッティングは交換作業中に使用します。



- (3) チューブコネクター(1) (ヘッド上部の白い部品) を 90 度回転させ (左図)、垂直に引き上げてチューブをヘッドから外し (右図)、(2) で外したフィッティング(2) をチューブにはめてください。チューブを抜く時に無理やり引っ張るとチューブとヘッドとの接合部が折れる可能性があります。少しずつ回転させるように、真上に引き抜いてください。

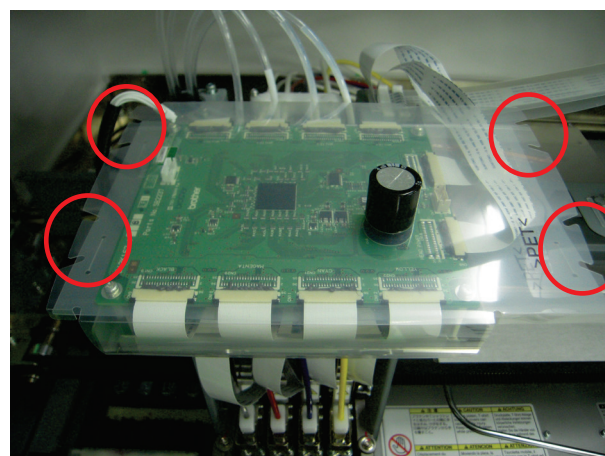
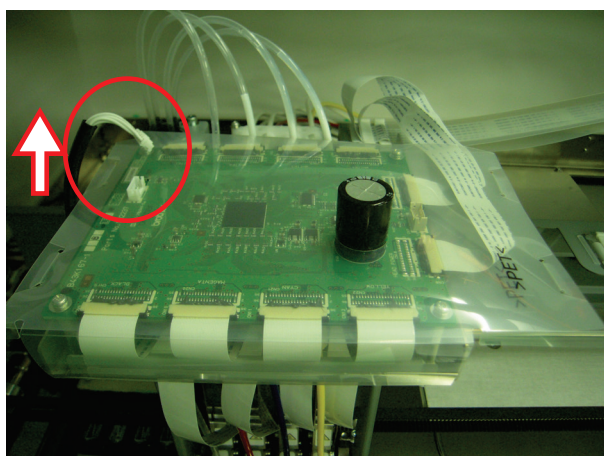


- (4) ストップレバーを押してロックを外し、両手を使って前面カバーを閉じてください。
 (5) プリンターの電源を入れます。
 (6) メニューの [ヘッドクリーニング] から [パワフルクリーニング] を選び、交換するプリントヘッド内のインクを排出します。
 3 回繰り返して実行します。

<ご注意>

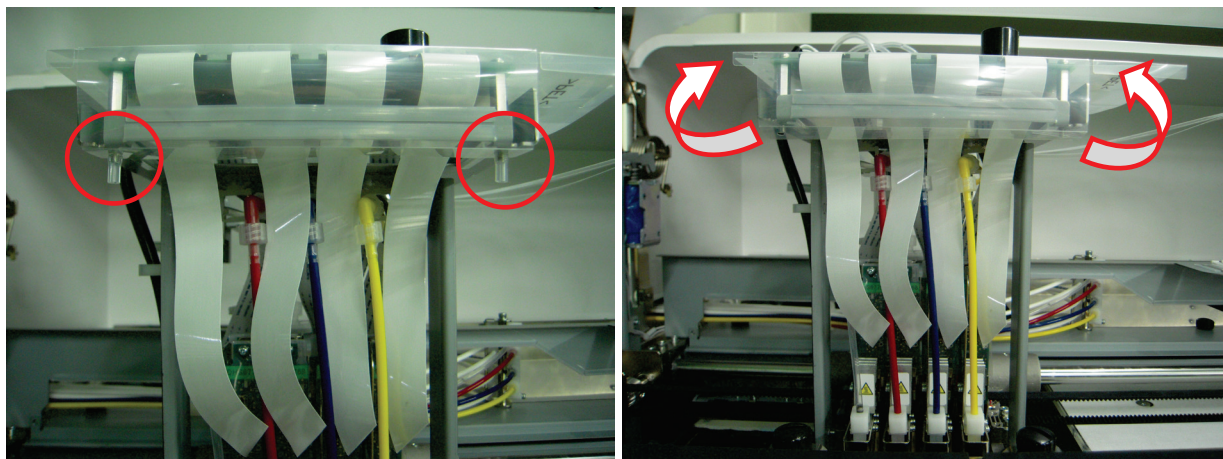
外したヘッドを輸送する場合は、ヘッド内のインクが漏れて周りを汚さないように梱包してください。

- (7) メニューの [メンテナンス] から [ヘッド交換] を選択し、OK ボタンを押します。
 (8) キャリッジがフラッシング受けの上に移動します。ディスプレイの表示に従って、電源を OFF してください。
 (9) 前面カバーを持ち上げて、ストッパーでロックされるまでカバーを上押ししてください。
 (10) 手袋を外し、本体の金属部分 (本体カバーなど) に触れて静電気を逃してください。静電気防止用のリストストラップがあれば装着してください。
 (11) キャリッジ基板の上にある樹脂カバーを外します。白いケーブルのハーネスを抜いて (左図)、左右端にある爪 [4 個] を外してください (右図)。

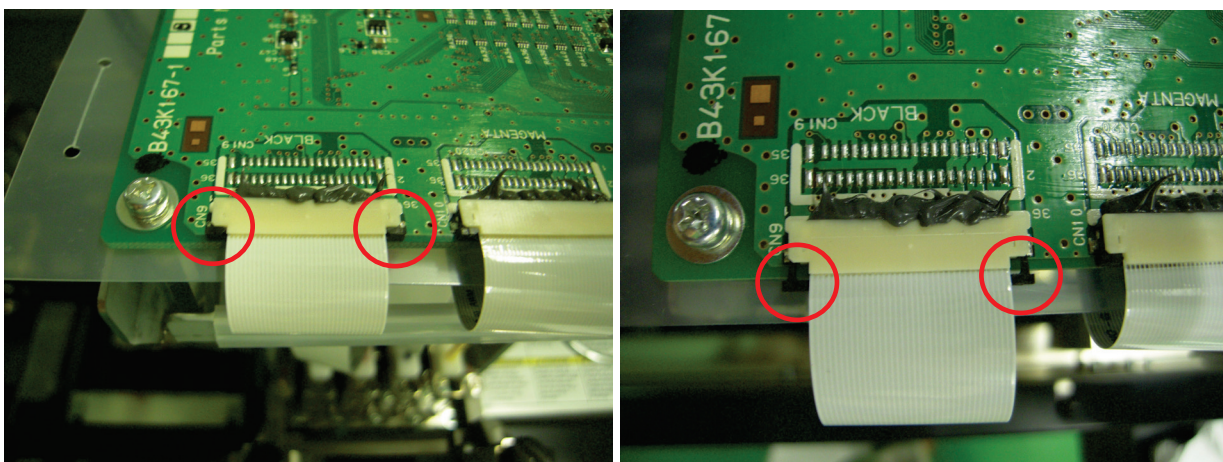


7. トラブルシューティング

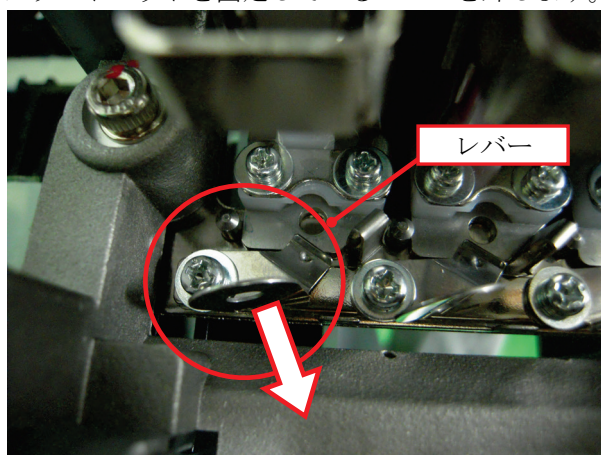
(12) キャリッジ基板下側の、ねじについているシリコンチューブを外し (左図)、カバーの穴をねじから外して (右図)、樹脂カバーを外してください。



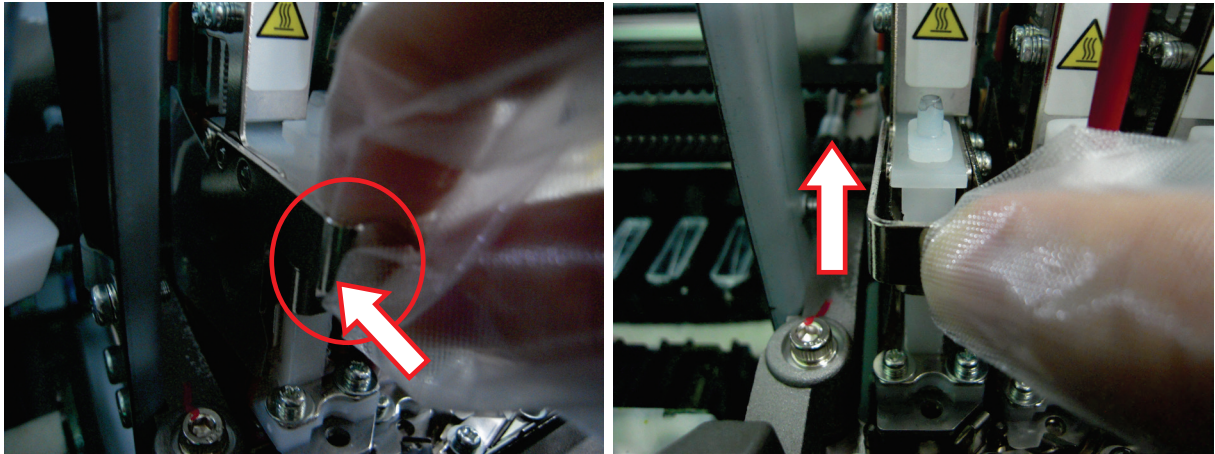
(13) 交換するプリントヘッドのフラットケーブルの両端にある黒いコネクタタブを手前にずらし、フラットケーブルを取り外してください。(以下例：ブラック)



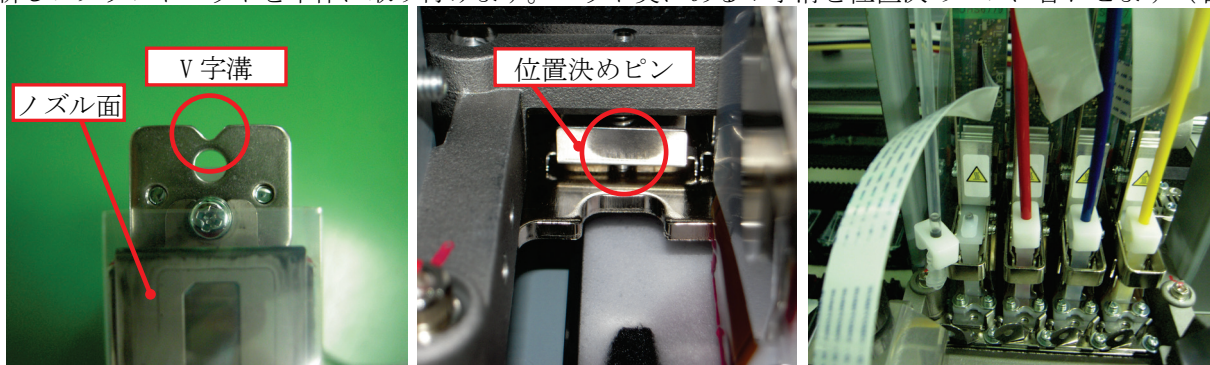
(14) プリントヘッドを固定しているレバーを外します。手前に動かしてください。



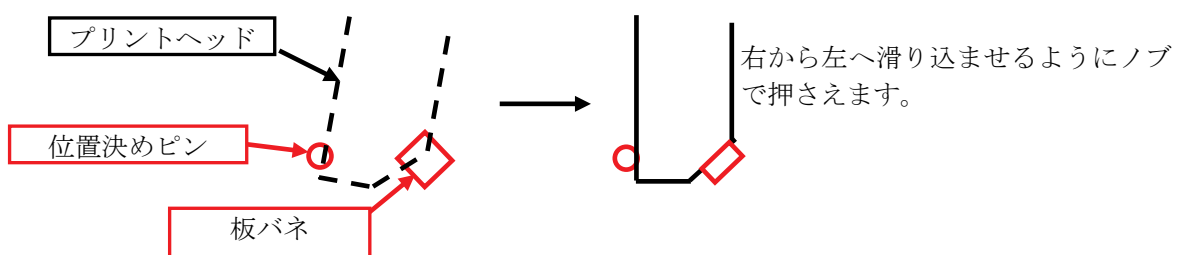
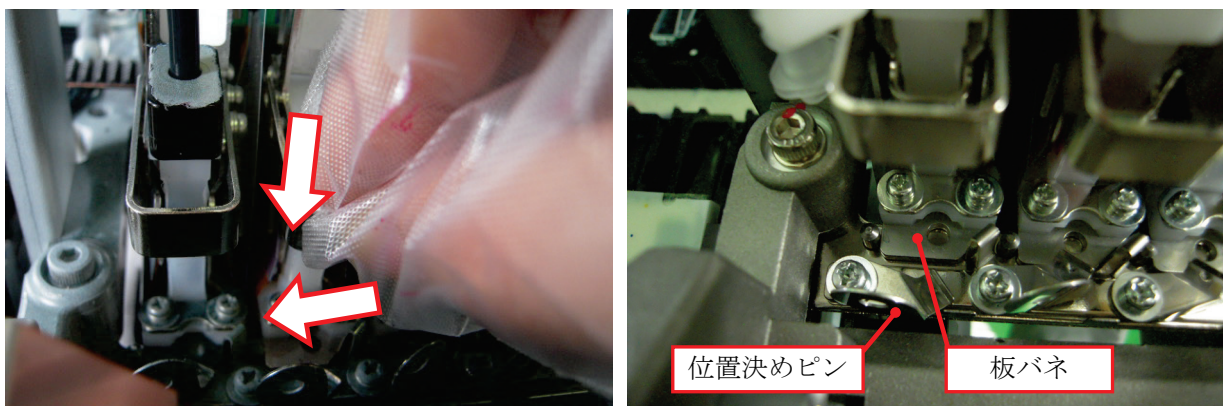
- (15) プリントヘッドのノブをキャリッジ内側へ押し (左図)、ノブをつまんで、全体を上方に引き上げるようにして本体から取り外します (右図)。この時、ノズルが破損する可能性がありますので、プリントヘッド下面が他の部品に接触しないようご注意ください。



- (16) 新しいプリントヘッドを本体に取り付けます。ヘッド奥にあるV字溝を位置決めピンに合わせます (右図)。



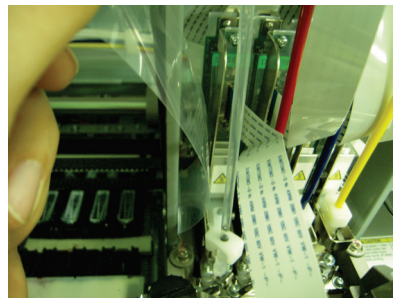
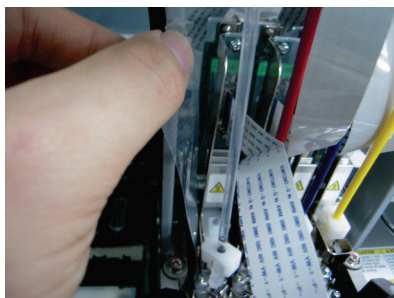
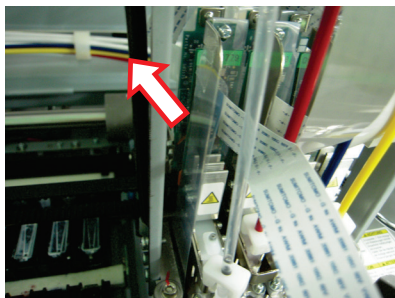
- (17) プリントヘッド(6)のノブをつまんで (左図)、手前左側の位置決めピン(5)の内側に当たるように下へ押し、カチッと板ばね(7)で固定されるように上から押します。(右図)



7. トラブルシューティング

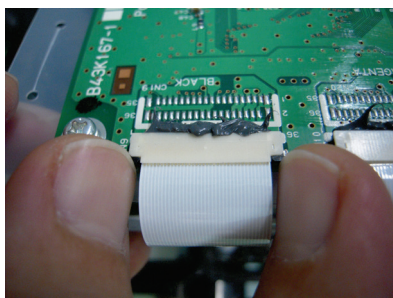
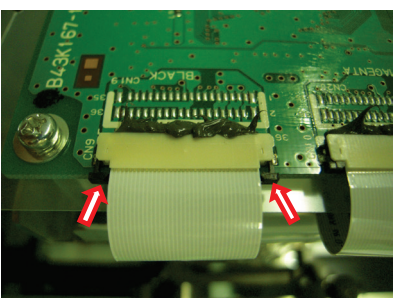
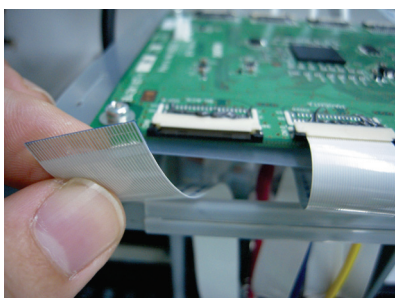
(18)レバーを回転させてプリントヘッドを固定します。

(19)保護フィルムを外します。



(20)3.でチューブにつけたフィッティングを外し、チューブとプリントヘッドを接続してチューブコネクタを90度回転させて固定します。

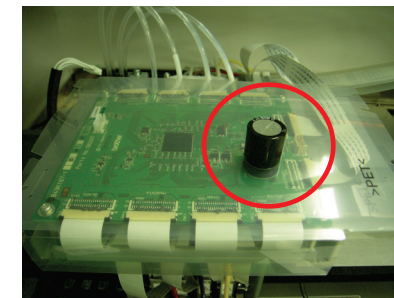
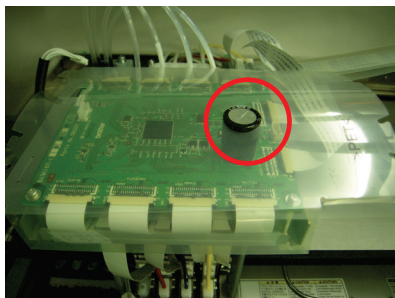
(21)手袋を外し、フラットケーブルをキャリッジ基板に接続します。端子面（銀色の側）が上向きになるように手で持ち（左図）、まっすぐコネクタに挿入して左右のタブ部分を押し込んで（右図）固定します。



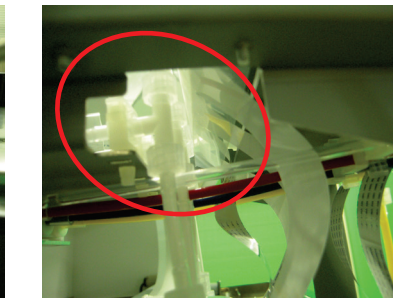
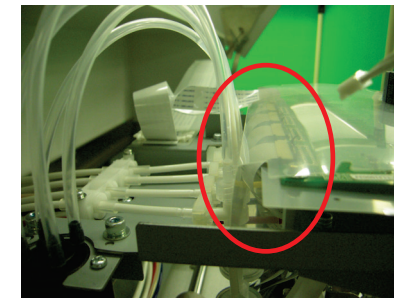
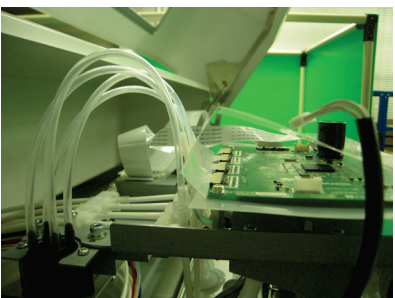
<重要>

フラットケーブルが斜めにならないように注意してください。プリントヘッドへの電流が不安定になり、ヘッド高温のエラーが発生したり、不吐出の発生、または破損することがあります。また、何度もやり直すと金属部分が破損することがあります。

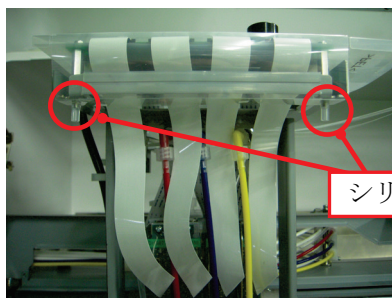
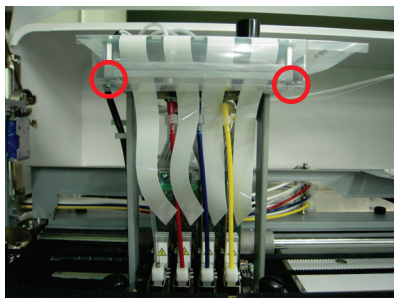
(22)キャリッジ基板に樹脂カバーを取り付けます。内側にカールするようにキャリッジ基板に乗せて（左図）、基板右手前にあるコンデンサー（黒い大きな部品）を樹脂カバーの穴に通します（右図）。



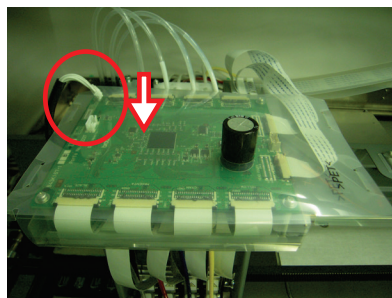
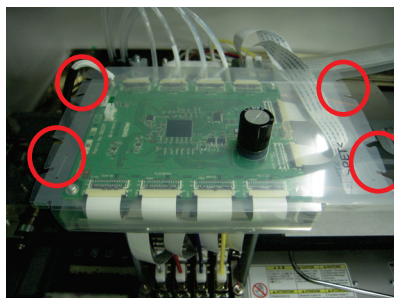
(23)樹脂カバーの奥側の折り目がキャリッジ基板下の金属板をつつみ込むようにセットしてください。



(24) 樹脂カバーの前側左右の穴にねじを通して (左図)、(12)で外したシリコンチューブをはめてください。



(25) 12.で外した 4 つの爪をはめて (左図)、最後にハーネスを接続してください。



(26) ストップレバーを押してロックを外し、両手を使って前面カバーを閉じてください。

(27) プリンターの電源を入れます。

(28) メニューから [メンテナンス] > [イニシャルクリーニング] を選び、インクを導入します。

(29) 作業中に他のプリントヘッドの表面が乾燥していますので、すべてのヘッドのノーマルクリーニングを実行します。

(30) ノズルチェックパターンを印刷して、交換したプリントヘッドが正常に動いたかどうか確認してください。
(“7-2-3. ノズルチェックパターンで印刷品質を確認”を参照)

(31) 確実に吐出することを確認したら、今度はスタンダードチェックパターン (Standard Check Pattern) を印刷し、プリントヘッドのアライメント (位置) を確認します。

<ご注意>

プリントヘッドのアライメントが正確でないと、プリンターは「版ずれ」を起こし、正しく印刷することができません。

下記の例は、シアンのプリントヘッドが手前にずれている例です。16.の手順 (確実にプリントヘッドを奥の位置決めピンに当てているか) を確認してください。

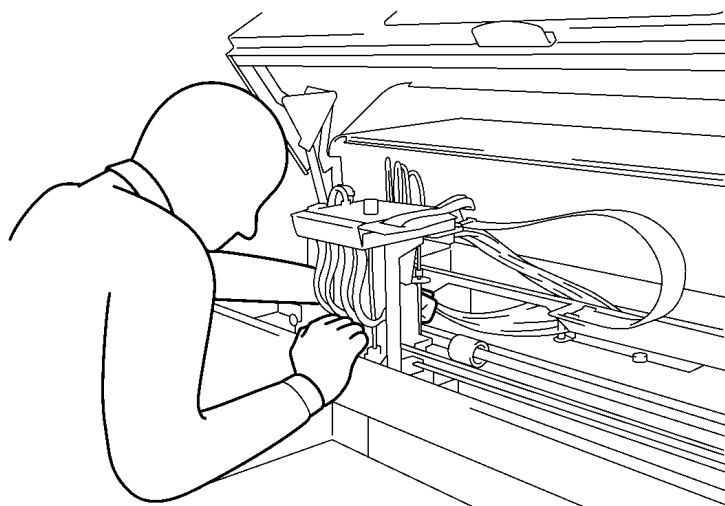
シアンが上にあるため、マゼンタとイエローが下がっているように見える。



VXYZ0123456789
VXYZ0123456789
VXYZ0123456789
VXYZ0123456789

(32) 印刷品質が確認できれば、次の手順、“7-2-8. プリントヘッド交換後の調整”へ進み、ヘッド交換を完了させます。印刷品質に問題がある場合は、トラブルシューティングを行ってください。

白側の交換



<重要>

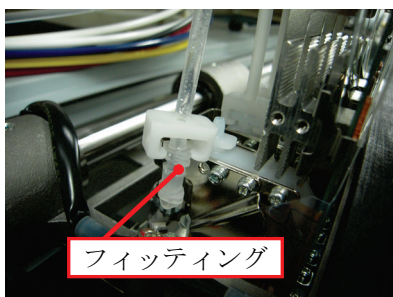
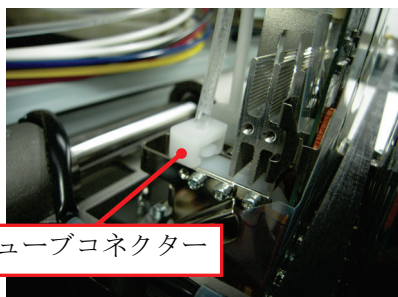
白側のプリントヘッドはキャリッジの後ろ側にあります。左図のように、キャリッジの左側面から確認しながら作業してください。プリントヘッドの取り外しおよび装着時にはノズル面が何かにつぶつあって破損しないよう、十分ご注意ください。

0083Y

- (1) 電源を OFF し、前面カバーを持ち上げて、ストッパーでロックされるまでカバーを上押ししてください。
- (2) 新しいヘッドを箱から取り出します。基板類に触らないように同梱の手袋をはめてフィッティングやカバーを外してください。ヘッド上のチューブについているフィッティング(A)は交換作業中に使用します。



- (3) チューブコネクター（ヘッド上部の白い部品）を 90 度回転させ（左図）、垂直に引き上げてチューブをヘッドから外し（右図）、(2)で外したフィッティングをチューブにはめてください。チューブを抜く時に無理やり引っ張るとチューブとヘッドとの接合部が折れる可能性があります。少しずつ回転させるように、真上に引き抜いてください。

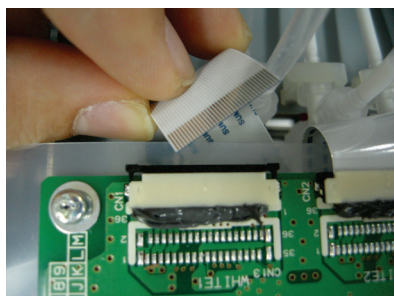
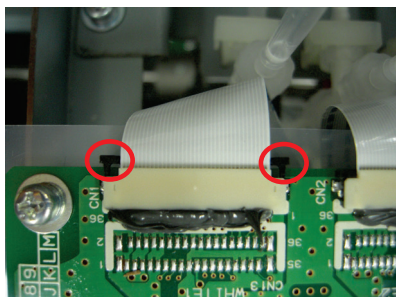


- (4) ストップレバーを押してロックを外し、両手を使って前面カバーを閉じてください。
- (5) プリンターの電源を入れます。
- (6) メニューの [ヘッドクリーニング] から [パワフルクリーニング] を選び、交換するプリントヘッド内のインクを排出します。
3回繰り返して実行します。

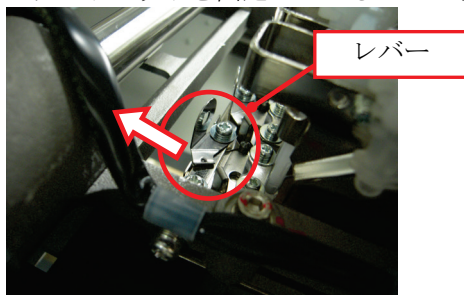
<ご注意>

外したヘッドを輸送する場合は、ヘッド内のインクが漏れて周りを汚さないように梱包してください。

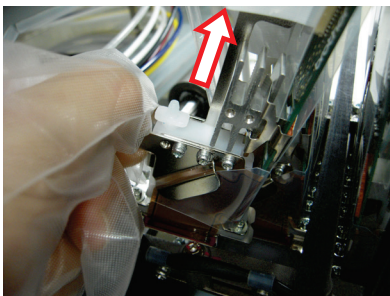
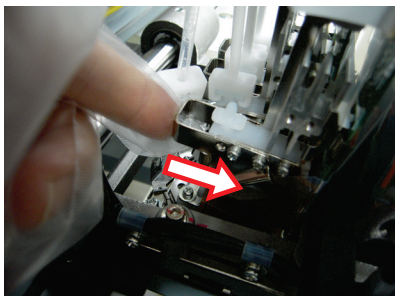
- (7) メニューの [メンテナンス] から [ヘッド交換] を選択し、OK ボタンを押します。
- (8) キャリッジがフラッシング受けの上に移動します。ディスプレイの表示に従って電源を OFF してください。
- (9) 前面カバーを持ち上げて、ストッパーでロックされるまでカバーを上押ししてください。
- (10) 手袋を外し、本体の金属部分（本体カバーなど）に触れて静電気を逃してください。静電気防止用のリストストラップがあれば装着してください。
- (11) カラー側の交換の 11. から 12. までは参考に、樹脂カバーを取り外してください。
- (12) 交換するプリントヘッドのフラットケーブルの両端にある黒いタブ部分を手前（本体奥側）に引っ張って外し、フラットケーブルを取り外してください。（以下例：W2）



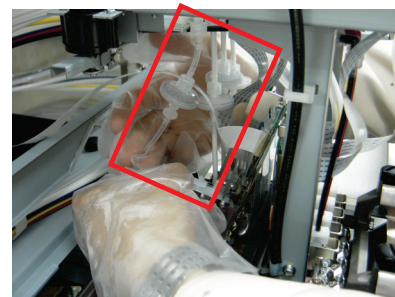
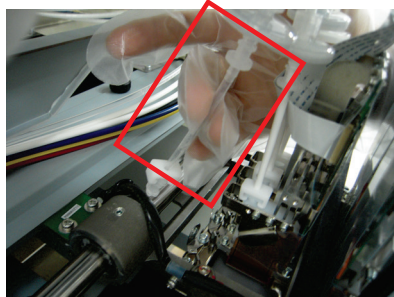
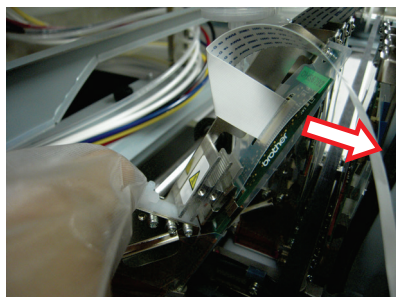
- (13) プリントヘッドを固定しているレバー(3)を外します。矢印の方向（本体奥側）に動かしてください。



- (14) プリントヘッドのノブをキャリッジ内側へ押し（左図）、ノブをつまんで、全体を上方に引き上げるようにして本体から取り外します（右図）。この時、ノズルが破損する可能性がありますので、プリントヘッド下面が他の部品に接触しないようにご注意ください。



- (15) 新しいプリントヘッドを本体に取り付けます。片手で新しいプリントヘッドを持ち（左図）、もう片方の手でチューブを押さえながら（中図）、プリントヘッドを固定する位置に移動させます（右図）。プリントヘッドの固定方法は、カラー側の 16.17.18. を参考にしてください。

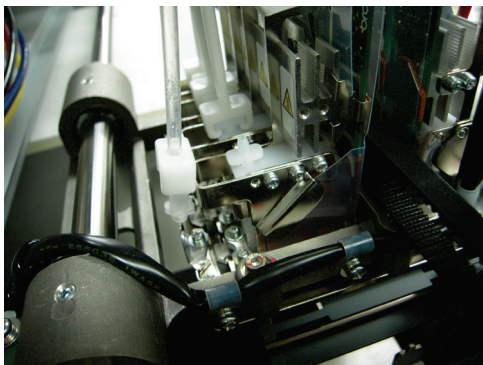


<ご注意>

上図のように、プリントヘッドの上部からチューブをくぐらせるように移動させてください。左斜め前からヘッドを後ろ向きに傾斜させて移動すると、キャリッジに固定しやすくなります。ノズル面の破損にご注意ください。チューブを折らないように注意してください。

7. トラブルシューティング

(16) 下図のようにヘッドが固定できたら、レバーを回転させてプリントヘッドを固定します。



(17) カラー側の交換 19.から 25.までを参照し、保護フィルムを外し、フラットケーブルを接続してキャリッジ基板の樹脂カバーをセットします。

<重要>

フラットケーブルが斜めにならないように注意してください。プリントヘッドへの電流が不安定になり、ヘッド高温のエラーが発生したり、不吐出の発生、または破損することがあります。また、何度もやり直すと金属部分が破損することがあります。

(18) ストップレバーを押してロックを外し、両手を使って前面カバーを閉じてください。

(19) プリンターの電源を入れます。

(20) メニューから [メンテナンス] > [洗浄後白インク導入] を選び、インクを導入します。

(21) 作業中に他のプリントヘッドの表面が乾燥していますので、すべてのヘッドのノーマルクリーニングを実行します。

(22) ノズルチェックパターンを印刷して、交換したプリントヘッドが正常に動いたかどうか確認してください。
(詳細は“7-2-3. ノズルチェックパターンで印刷品質を確認”を参照)

(23) 確実に吐出することを確認したら、今度はスタンダードチェックパターンを印刷し、プリントヘッドのアライメント (位置) を確認します。プリントヘッドの位置がずれていると、カラー印刷の下に白インクがはみ出してしまいます。確実に 4 個 (GT-381)あるいは 2 個 (GT-361)の位置が揃っていることを確認してください。カラー側の確認の仕方を参照し、どこか画像が太く印刷されているところがないか、確認してください。

白ヘッドの場合、位置がずれると右の文字が太くなる。(サンプルはカラー)

XYZ0123456789
XYZ0123456789
XYZ0123456789
XYZ0123456789



(24) 印刷品質が確認できれば、次の手順、“7-2-8. プリントヘッド交換後の調整”へ進み、ヘッド交換を完了させます。印刷品質に問題がある場合は、トラブルシューティングを行ってください。

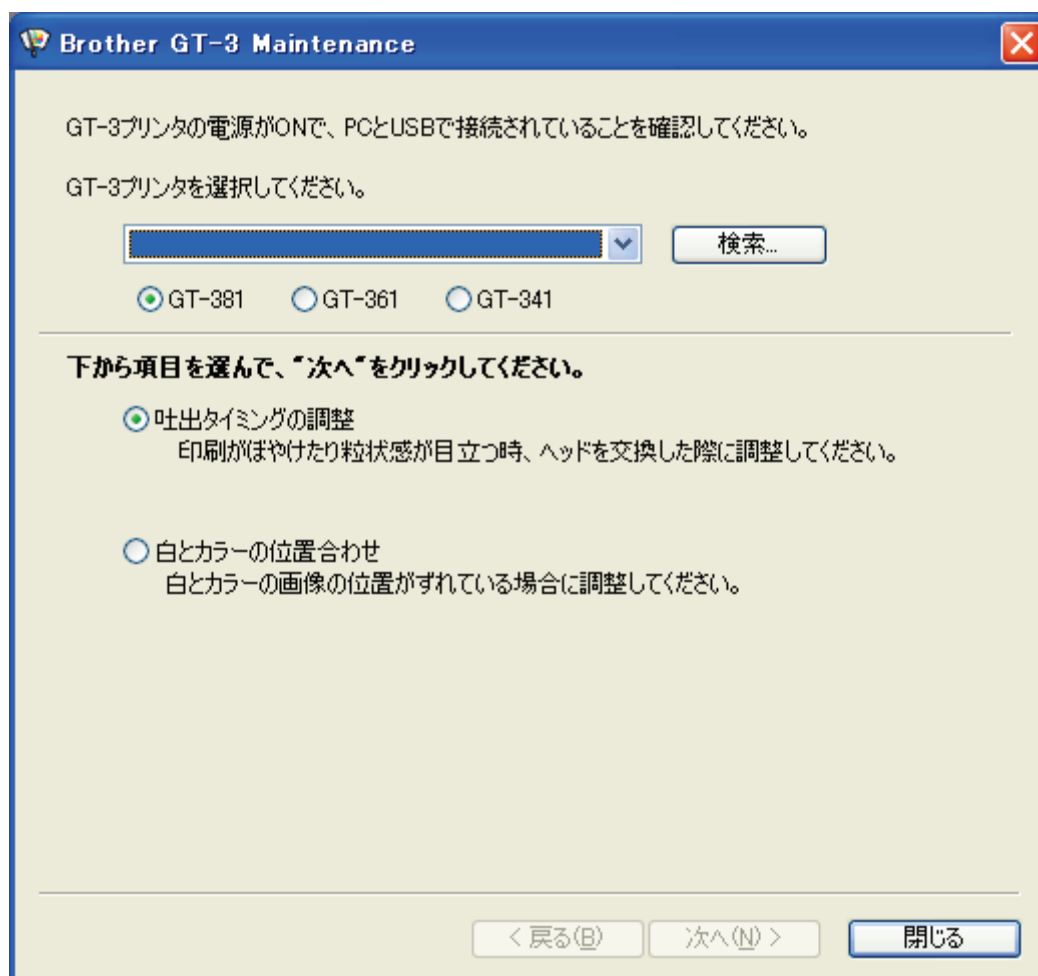
7-2-8. プリントヘッド交換後の調整

プリントヘッドの吐出タイミングを調整します。プリントヘッド交換後だけでなく、プラテンシートを交換したり、プラテンを交換した時に画像がはっきりしない（二重写り、粒状感）場合などに調整してください。

- (1) プリンターがPCにUSB 2.0 ケーブルで接続されていることを確認してください。
- (2) A4 またはレターサイズの紙を数枚（黒紙あるいは透明な板と白い紙）と、紙を固定するテープと濃色の T シャツをご用意ください。
- (3) [Brother GT-3 Tools] の中のメンテナンスツール [GT-3 Maintenance] を選択してください。



- (4) メンテナンスのメイン画面で [吐出タイミングの調整] を選択後、[次へ] をクリックして画面のダイアログの指示に従って実行してください。終了後、今度は [白とカラーの位置合わせ] を同様に選択して実行してください。



- (5) 調整が完了すると、上記メンテナンスのメイン画面に戻ります。[閉じる] ボタンで終了してください。

7-2-9. CR スピードの調節

プリンター内部のキャリッジシャフトを掃除した場合、またはサービス担当より求められた場合に、実行してください。掃除の仕方については、“6-2-2. プリンター内部の掃除”を参照してください。

- (1) プリンターの操作パネル上の [OK ボタン] を押してメニューに入ってください。
- (2) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して、[プリンター設定] > [CR スピード調節] を選び、[OK ボタン] を押してください。下記のメニューが表示されます。

CRスピード調整

OKで開始します

0025Y

- (3) キャリッジの動作が終了して、ポーン音がするまでお待ちください。

7-2-10. フラッシング頻度の設定

フラッシングは印刷品質を保つために必要です。初期設定は湿度 45%環境を基準としています。湿度が 45%未満の環境で印刷する場合、乾燥により印刷品質が乱れることがあります。加湿器で周辺の湿度を上げることをお勧めしますが、印刷中のフラッシング頻度（フラッシングから次のフラッシングまでの間隔）を増やすことで、印刷品質を向上できることがあります。逆に湿度の高い場所ではフラッシング頻度を減らすことができます。ただし、印刷による確認が必要です。

- (1) プリンターの操作パネル上の [OK ボタン] を押してメニューに入ってください。
- (2) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して、[プリンター設定] > [フラッシング間隔の設定] を選び、[OK ボタン] を押してください。

プリンター設定

▲ CRスピード調整

フラッシング間隔の設定

フラッシング量の設定

▼ 白インク入れ替え設定

0018Y

- (3) 通常は [40 スキャン毎 (標準)] です。湿度が低いときは [20 スキャン毎]、湿度が高いときは [52 スキャン毎] を [上ボタン] または [下ボタン] を操作して選択します。変更後、テスト印刷をして問題のないことを確認してください。

フラッシング間隔の設定

▲ 52スキャン毎

40スキャン毎 (標準)

▼ 20スキャン毎

0019Y

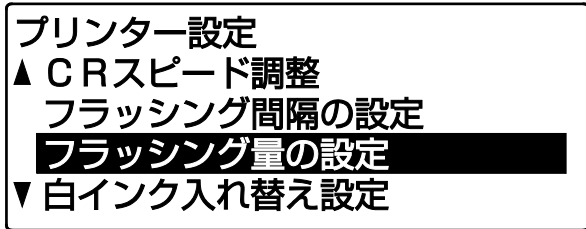
<ご注意>

印刷開始時に印刷が乱れるときは、フラッシング吐出量の調節で、フラッシングを増やしてください。
印刷途中で印刷が乱れるときは、フラッシング頻度を増やしてください。

7-2-11. フラッシング吐出量の調節

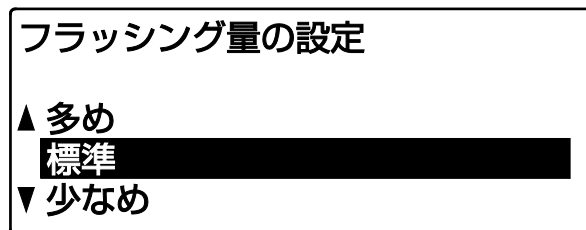
フラッシングは印刷品質を保つために必要です。初期設定は湿度 45% 環境を基準としています。湿度が 45% 未満の環境で印刷する場合、乾燥により印刷品質が乱れることがあります。加湿器で周辺の湿度を上げることをお勧めしますが、印刷前のフラッシング吐出量を増やすことで、印刷品質を向上できることがあります。逆に湿度の高い場所ではフラッシング吐出量を減らすことができます。ただし、印刷による確認が必要です。

- (1) プリンターの操作パネル上の [OK ボタン] を押してメニューに入ってください。
- (2) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して、[プリンター設定] > [フラッシング量の設定] を選び、[OK ボタン] を押してください。



0020Y

- (3) 通常は [標準] です。[上ボタン] または [下ボタン] を操作して湿度が低いときは [多め]、湿度が高いときは [少なめ] を選択し、[OK ボタン] を押してください。変更後はテスト印刷をして問題のないことを確認してください。



0021Y

<ご注意>

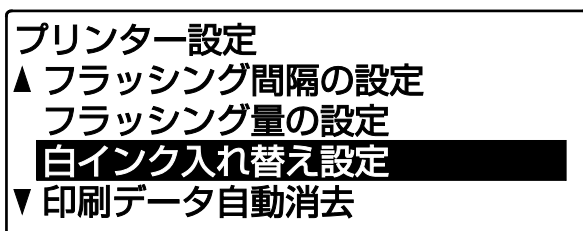
印刷開始時に印刷が乱れるときは、フラッシング吐出量の調節で、フラッシングを増やしてください。
 印刷途中で印刷が乱れるときは、フラッシング頻度を増やしてください。

7-2-12. 白インク入れ替え設定

〔白インクの入れ替え〕は白インクの白さを保つために必要です。その際に必要な白インクの廃棄量は、プリンターの使用状況によって変わります。

目安として、GT-3 を毎日ご使用いただくことでチューブ内の白インクが常時入れ替わっており通常の〔白インクの入れ替え〕後の印刷で白さが十分に出ている場合、廃棄量を標準値 100%よりも減らすことができます。逆に、〔白インクの入れ替え〕後に白さが不十分な場合、その後ヘッドクリーニングを繰り返すよりも 1 回の入れ替え量（廃棄量）を増加させたほうがトータルコストを減らすことができます。

- (1) プリンターの左側の操作パネル上の〔OK ボタン〕を押してメニューに入ってください。
- (2) 〔上ボタン〕または〔下ボタン〕を操作して、〔プリンター設定〕 > 〔白インク入れ替え設定〕を選び、〔OK ボタン〕を押してください。



0022Y

- (3) 標準は 100%です。50%～120%の間で設定できます。〔上ボタン〕または〔下ボタン〕を操作して量を調整し、〔OK ボタン〕を押してください。変更後は数日間プリンターを運用して問題のないことを確認してください。



0023Y

<ご注意>

プリンターの状況が変わった場合、2-3 日（週末）放置後は設定を 100%またはそれ以上に戻してください。

7-2-13. ログファイルの取得

プリンターに不具合があった場合、サービス担当からログファイルの取得を求められることがあります。USB メモリーを使って、プリンターのログデータをファイルに保存してください。プリンターを自動的に識別するファイル名（拡張子.zlgまたは.log）ができます。

- (1) USB メモリーを USB メモリー挿入口に差し込んでください。
- (2) プリンターの左側の操作パネル上の [OK ボタン] を押してメニューに入ってください。
- (3) [上ボタン] または [下ボタン] を操作して、[メンテナンス] > [ログファイル取得] を選び、[OK ボタン] を押してください。

ログファイル取得

USBメモリーをセットしてください

OKで開始します

0024Y

- (4) プリントボタンが点滅している間、ログデータを書き込んでいます。プリントボタンの点滅が終了し、終了のブザー音が鳴るまでしばらくお待ちください。
- (5) USB メモリーに保存されたログファイルを取り出し、サービスに送付してください。

<ご注意>

プリントボタンが点滅している間は、絶対に USB メモリーをプリンターから抜かないでください。USB メモリーが破損し、内部のデータが読めなくなる可能性があります。

7-3. アプリケーショントラブルの解決

“4. アプリケーションから直接印刷する”の各アプリケーションのページもご覧ください。

現象	原因	解決策
Adobe Illustrator 10 で印刷データが 90 度回転してしまった	プリントセットアップまたはドキュメントセットアップが不適切	Adobe Illustrator 10 の場合、下記の手順に従って印刷データを作り直してください： (1) [ファイル] > [プリントセットアップ] を開きます。 (2) GT-3 を選び、[OK] を押します。 (3) [ファイル] > [ドキュメントセットアップ] を開きます。 (4) [プリントのセットアップを使う] をクリックします。 (5) “用紙の方向”，“幅”と“高さ”を確認し、正しくなければプラテンサイズに調節して [OK] を押します。 印刷データが確認できるようにファイル出力用のプリンタードライバーをお勧めします。
Adobe Illustrator CS で印刷データが 90 度回転してしまった	プリントセットアップまたはドキュメントセットアップが不適切	Adobe Illustrator CS の場合、用紙が横置きで作った画像が正しく印刷されないことがあります。下記の手順に従って、印刷データを作り直してください： (1) [ファイル] > [プリント] を開きます。 (2) 用紙サイズが“プリンタードライバーで定義”であることを確認します。 (3) 用紙の方向を縦にします。 (4) プラテンサイズを変更しない場合は(8)へ、変更する場合は“プリンター...”をクリックし、警告画面で“続行”をクリックすると印刷画面が表示されます。 (5) “詳細設定”をクリックします。 (6) プラテンサイズをプリンタードライバー画面から変更し [OK] をクリックします。 (7) プリント画面の [プリント] をクリックします。 (8) 印刷データ確認のためファイル出力用のプリンタードライバーでプレビューを確認し、印刷を実行します。
プラテンサイズが 10×12 になってしまうことがある（印刷データが小さいとき）	—	プラテンサイズを確認してから印刷データをプリンターに送ってください。ファイル出力用のプリンタードライバーがお勧めです。
Adobe Illustrator で思った位置に印刷されない、またはデータがエラーになる	—	“4-2-4. Adobe Illustrator”を参照してください。
Photoshop にはいくつかの設定画面があるが、事前に Windows の印刷設定（コントロールパネル）で設定した値がアプリケーションの値と合わないことがある	—	アプリケーションの印刷ダイアログで設定した値が有効です。
できあがった印刷データ (.ar3) がとても大きい	—	1200dpi×1200dpi の画像になると、600dpi×600dpi よりも印刷データは 4 倍になります。印刷サイズをご確認ください。
CorelDRAW 11 や 12 で、歪曲したアウトラインを多用した画像の印刷が欠けてしまう	—	CorelDRAW を X3(13)以上にアップグレードしてください。

7-4. エラーメッセージ

GT-3 のエラーメッセージ一覧です。解決策が「*」マークのものは、エラーコードとメッセージを控えてお買い上げの販売店へご連絡ください。

エラーコード	メッセージ	説明	解決策
1000	(アイコン点滅 K)	ブラックインクの残り少	新しいブラックインクを用意してください。
1001	(アイコン点滅 M)	マゼンタインクの残り少	新しいマゼンタインクを用意してください。
1002	(アイコン点滅 C)	シアンインクの残り少	新しいシアンインクを用意してください。
1003	(アイコン点滅 Y)	イエローインクの残り少	新しいイエローインクを用意してください。
1004	(アイコン点滅 W1)	白 W1 インクの残り少	新しい白インクを用意してください。
1005	(アイコン点滅 W1)	白 W2 インクの残り少	
1006	(アイコン点滅 W3)	白 W3 インクの残り少	
1007	(アイコン点滅 W4)	白 W4 インクの残り少	
1030	K ヘッド温度上昇	ブラックヘッド注意温度	温度が下がるまでお待ちください。プリントヘッドのフラットケーブルが正しく接続（挿入）されているか確認してください。問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
1031	M ヘッド温度上昇	マゼンタヘッド注意温度	
1032	C ヘッド温度上昇	シアンヘッド注意温度	
1033	Y ヘッド温度上昇	イエローヘッド注意温度	
1034	W1 ヘッド温度上昇	W1 ヘッド注意温度	
1035	W2 ヘッド温度上昇	W2 ヘッド注意温度	
1036	W3 ヘッド温度上昇	W3 ヘッド注意温度	
1037	W4 ヘッド温度上昇	W4 ヘッド注意温度	
1051	CR モーターの交換時期	キャリッジモーターの交換時期	*
1060	気温が低すぎます	気温が印刷保証範囲よりも低い	部屋の温度を上げてください。
1061	気温が高すぎます	気温が印刷保証範囲よりも高い	部屋の温度を下げてください。
1070	バッテリーの交換時期	メイン基板上のバッテリーの交換時期	*
1080	RTC がセットされていません	内部時計が未設定	*
1100	ポンプチューブの交換時期	ポンプチューブの交換時期	*
1111	チューブ洗浄してください W1	W1 のチューブクリーニングが必要な状態	W1 のチューブクリーニングを実行してください。
1112	チューブ洗浄してください W2	W2 のチューブクリーニングが必要な状態	W2 のチューブクリーニングを実行してください。
1113	チューブ洗浄してください W3	W3 のチューブクリーニングが必要な状態	W3 のチューブクリーニングを実行してください。
1114	チューブ洗浄してください W4	W4 のチューブクリーニングが必要な状態	W4 のチューブクリーニングを実行してください。

7. トラブルシューティング

エラーコード	メッセージ	説明	解決策
1200	メンテ部品を交換してください	メンテ部品の交換・掃除が必要	“6-2. 清掃と消耗品の交換”を参照して、メンテ部品の交換・掃除をしてください。
1201	メンテ部品を交換してください		
1210	ファンが故障しました	排気ファンの異常	*
2000	カートリッジなしブラック	ブラックインクがない	ブラックインクカートリッジを挿入してください。
2001	カートリッジなしマゼンタ	マゼンタインクがない	マゼンタインクカートリッジを挿入してください。
2002	カートリッジなしシアン	シアンインクがない	シアンインクカートリッジを挿入してください。
2003	カートリッジなしイエロー	イエローインクがない	イエローインクカートリッジを挿入してください。
2004	カートリッジなし白 1	白 W1 インクがない	白インクカートリッジを挿入してください。
2005	カートリッジなし白 2	白 W2 インクがない	
2006	カートリッジなし白 2	白 W3 インクがない	
2007	カートリッジなし白 4	白 W4 インクがない	
2020	インク切れブラック	ブラックインクが空	新しいブラックインクに交換してください。
2021	インク切れマゼンタ	マゼンタインクが空	新しいマゼンタインクに交換してください。
2022	インク切れシアン	シアンインクが空	新しいシアンインクに交換してください。
2023	インク切れイエロー	イエローインクが空	新しいイエローインクに交換してください。
2024	インク切れ白 1	白 W1 インクが空	新しい白インクに交換してください。
2025	インク切れ白 2	白 W2 インクが空	
2026	インク切れ白 3	白 W3 インクが空	
2027	インク切れ白 4	白 W4 インクが空	
2041	ワイパークリーナーなし (カラー)	カラー側ワイパークリーナーがない	カラー側ワイパークリーナーを正しく挿入してください。
2042	ワイパークリーナーなし (白)	白側ワイパークリーナーがない	白側ワイパークリーナーを正しく挿入してください。
2050	気温が低すぎます	気温が動作保証範囲よりも低い	部屋の温度を上げてください。
2051	気温が高すぎます	気温が動作保証範囲よりも高い	部屋の温度を下げてください。
2070	プラテン上に障害物あり	プラテン高さセンサーがプラテン、印刷メディアの上に障害物を検知した	プラテンの上の障害物を除き、表面を平らにして OK ボタンでエラー解除してください。
2100	USB メモリーがありません	USB メモリーが挿入されていない	USB メモリーを再挿入してください。 解決しない場合は、USB メモリーのフォーマットや種類を確認してください。 “7-1. こんなときは”を参照してください。
2101	空き容量が不足しています	USB メモリーに書き込む際に、空き容量が足りない	PCでUSB メモリーの空き容量を確認してください。 空き容量が十分あるUSB メモリーを挿入してください。
2102	USB メモリーアクセスエラー	サポート外のUSB メモリーが挿入されている もしくはUSB メモリーの故障	USB メモリーのフォーマットや種類を確認してください。 “7-1. こんなときは”を参照してください。
2105	ファイルがありません	USB メモリーに有効なファイルが存在しない	USB メモリーをPCに接続して確認してください。 保存されているAR3 ファイルがあれば、ダブルクリックしてファイルビューアで中身を確認してください。 “7-1. こんなときは”を参照してください。

エラーコード	メッセージ	説明	解決策
3000	PC との通信エラー	PC からのデータ受信が中断した	PC と GT-3 の接続を確認し、印刷データを再送してください。うまくいかない場合は、PC ならびに GT-3 を再起動してください。 「データ受信中にケーブルが抜かれた場合」や、「データ受信中に Windows 上でキャンセル操作が行われた場合」にも発生します。
3001	PC との通信エラー	PC へのデータ送信が中断した	PC と GT-3 の接続を確認し、PC ツールでの操作を最初からやり直してください。うまくいかない場合は、PC ならびに GT-3 を再起動してください。 「データ送信中にケーブルが抜かれた場合」や、「データ送信中に Windows 上で PC ツールを終了させた場合」などにも発生することがあります。
3002	PC データエラー	GT-3 がサポートしていないデータを受信した	PC と GT-3 の接続を確認し、印刷データを再送してください。うまくいかない場合は、PC ならびに GT-3 を再起動してください。
3003	PC データエラー	プリンタードライバーとファームウェアのバージョンが不一致	プリンタードライバーが新しいのに本体ファームウェアが古いバージョンの可能性があります。アップデートのし忘れがないか確認してください。
3004	PC データエラー	PC と GT-3 との間の USB 通信エラー	送信しようとしている AR3 ファイルやプログラムデータに間違いがないか、ご確認ください。
3005			PC と GT-3 の接続を確認し、作業をやりなおしてください。解決しない場合は、PC ならびに GT-3 を再起動してください。
3010			これらのエラーは GT-3 の使用環境により誤作動した場合に発生することがあります。エラーが出なくなれば使えます。
3013			
3014			
3100	未対応データ(白あり)	白インクを使用する印刷データが、GT-341 へ送られた	プリンタードライバーの設定画面で、Machine Mode が“GT-341”になっていることを確認してください。GT-341 では、白インクを含んだ印刷データを受信できません。
3101	未対応データ(381 モード)	白 4 ヘッド分の印刷データが、GT-361 へ送られた	プリンタードライバーの設定画面で、Machine Mode が“GT-361”になっていることを確認してください。GT-361 で GT-381 用の印刷データを受信できません。
3407	空の印刷データです	PC から白紙ページの印刷データを受信した 印刷実行時にアプリケーションで印刷範囲として絵柄の真っ白の部分を選択し、これを GT-3 へ送信した、用紙サイズよりも大きな画像を作成し、その一部分を GT-3 で印刷しようとした、等	AR3 ファイルを GT-3 File Viewer で確認してください。 例えば、Photoshop の [プリントプレビュー] 機能等で、アプリケーションの印刷範囲や用紙サイズを確認してください。
3408	未対応データ (容量オーバー)	印刷データの容量が大きすぎる	*
3410	PC データエラー	PC と GT-3 との間の USB 通信エラー	送信しようとしている AR3 ファイルやプログラムデータに間違いがないか、ご確認ください。
3411			PC と GT-3 の接続を確認し、作業をやりなおしてください。解決しない場合は、PC ならびに GT-3 を再起動してください。
3412			これらのエラーは GT-3 の使用環境により誤作動した場合に発生することがあります。エラーが出なくなれば使えます。

7. トラブルシューティング

エラーコード	メッセージ	説明	解決策
4100	USB メモリーアクセスエラー	ファイルが開けない	USB メモリーの内容をご確認ください。 USB メモリーを再挿入して、操作をやり直してみてください。 解決しない場合は、GT-3 を再起動して、操作をやり直してみてください。 “7-1. こんなときは” を参照してください。
4101		ファイルが作成できない	
4102		ファイルがクローズできない	
4103		ファイル検索に失敗した	
4104		ファイルの読み込みに失敗した	
4105		ファイル書込みに失敗した	
4106		ファイルのデータが異常	
4107		ファイルのサイズが異常	
4108		ファイルサイズの取得に失敗した	
4109	ファイルがありません	ファイル検索に失敗した	USB メモリーの内容をご確認ください。 “7-1. こんなときは” を参照してください。
4110		ファイルが見つからない	
4200	メッセージデータエラー	液晶表示用の言語データに異常を検出した	ファームウェアのアップデートを中断した後にこのエラーが表示された場合は、アップデート作業を初めからやり直してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
4201			
4202			
4300	フォントデータエラー	液晶表示用のフォントデータに異常を検出した	
4301			
4302			
4400	テスト印刷データエラー	テスト印刷メニュー用の印刷データに異常を検出した	
4401			
4402			
4500	エラーが発生しました	ネットワークインターフェースの起動ができなかった。	OK ボタンを押して復帰します。 ネットワークの設定およびネットワーク管理者にご確認ください。メカ的なトラブルの場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
4501	エラーが発生しました	IP アドレスまたはサブネットマスク値の異常を検出した	OK ボタンを押して復帰します。メンテナンスツールで正しい IP アドレス、サブネットマスク値を設定しなおしてください。
4502	エラーが発生しました	ネットワークインターフェースの設定ができなかった	OK ボタンを押して復帰します。 ネットワークの設定およびネットワーク管理者にご確認ください。メカ的なトラブルの場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
4503	エラーが発生しました	デフォルトゲートウェイの異常を検出した	OK ボタンを押して復帰します。メンテナンスツールで正しいデフォルトゲートウェイのアドレスを設定しなおしてください。
5001	エラーが発生しました	ファームウェア内部の通信エラー	*
5002			
5020			
5021			
5090	エラーが発生しました	キャップが開かなかった	*
5091		キャップが閉じなかった	*

エラーコード	メッセージ	説明	解決策
5092	エラーが発生しました	ワイパーが動かない(往路)	*
5093		ワイパーが動かない(帰路)	*
5094	エラーが発生しました	プラテンがロードできない	*
5095		プラテンアンロードできない	*
5096		プラテンの送りができない	*
5101	エラーが発生しました	印刷データの印刷領域情報が異常	*
5102	エラーが発生しました	印刷データの展開エラー	*
5200	エラーが発生しました	メイン基板とメンテナンスユニットとの通信エラー	GT-3の付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 GT-3を再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
5201			
5230			
5231			
5232			
5233			
5260	メンテ PCB バージョンエラー	メンテナンス PCB 用ファームウェアのバージョンが合わない	ファームウェアのアップデートを中断した後にこのエラーが表示された場合は、アップデート作業を初めからやり直してください。 解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
5300	エラーが発生しました	メンテナンスユニット制御に伴う内部エラー	*
5301			
5302			
5311	エラーが発生しました	W1 インク残量センサー異常	GT-3の付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 GT-3を再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
5312		W2 インク残量センサー異常	
5313		W3 インク残量センサー異常	
5314		W4 インク残量センサー異常	
5315		K インク残量センサー異常	
5316		M インク残量センサー異常	
5317		C インク残量センサー異常	
5318		Y インク残量センサー異常	
5401	エラーが発生しました	メイン基板とメンテナンスユニットとの通信エラー	GT-3の付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 GT-3を再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
5402			
5403			
5404			
5405			

7. トラブルシューティング

エラーコード	メッセージ	説明	解決策	
5406	エラーが発生しました	メイン基板とメンテナンスユニットとの通信エラー	GT-3の付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 GT-3を再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。	
5411				
5412				
5413				
5414				
5421	エラーが発生しました	メンテナンスユニットのポンプが正常動作できていない	GT-3を再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。	
5422				
5431	エラーが発生しました	メンテナンスユニットのキャップが正常動作できていない	ワイパークリーナーやワイパーブレードが正しく装着できているか、キャップ付近に障害物がないか、確認してください。 GT-3を再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。	
5432				
5433				
5434				
5435				
5441	エラーが発生しました	メンテナンスユニットのワイパーが正常動作できていない	ワイパークリーナーやワイパーブレードが正しく装着できているか、ワイパー付近に障害物がないか、確認してください。 GT-3を再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。	
5442				
5443				
5451	エラーが発生しました	ファームウェアのアップデートに伴う、メンテナンスユニットの内部エラー	GT-3の付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 GT-3を再起動してファームウェアのアップデートをやり直してください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。	
5452				
5453				
5454	エラーが発生しました	ファームウェアのアップデートに伴う、メイン基板とメンテナンスユニットとの通信エラー		
5455				
5456				
5457				
5458	エラーが発生しました	ファームウェアのアップデートに伴う、メンテナンスユニットの内部エラー		
5471	エラーが発生しました	メンテナンスユニットとインクセンサー基板との通信エラー		GT-3の付近に強いノイズの発生源が無いか確認してください。 GT-3を再起動しても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
5472				
5473				
5474				
5475				
5476				
5477				
5478				
5491	エラーが発生しました	メンテナンスユニットの内部エラー	*	
6004	クリアランスセンサー異常	クリアランスセンサーの取り付け異常	*	

エラーコード	メッセージ	説明	解決策
6010	エラーが発生しました	メイン基板のEEPROM 書込みに失敗した	*
6011		メイン基板のFLASH ROM 消去に失敗した	
6012		メイン基板のFLASH ROM 書込みに失敗した	
6020	エラーが発生しました	リアルタイムクロック異常	*
6021	バッテリー切れ	リアルタイムクロックバッテリー切れ	*
6031	パネルボタン異常	プラテンボタン異常	操作パネルの上に何か乗っていないか確認してください。 お買い上げの販売店へご連絡ください。
6032		プリントボタン異常	
6033		ストップボタン異常	
6034		戻りボタン異常	
6035		OK ボタン異常	
6036		下ボタン異常	
6037		上ボタン異常	
6038		ヘッドクリーニングボタン異常	
6040	エラーが発生しました	ヘッドメモリー未検出	*
6100	エラーが発生しました キャリッジを調整してください	キャリッジ動作テストに異常がある(速度エラー)	“6-2-7. エンコーダーストリップの掃除” “6-2-2. プリンター内部の掃除”を参照して掃除ください。問題解決しなければ、お買い上げの販売店へご連絡ください。
6101	エラーが発生しました	キャリッジの移動が完了しない	キャリッジに何か引っかかっているか確認してください。“6-2-7. エンコーダーストリップの掃除”、“6-2-2. プリンター内部の掃除”を参照して掃除をしてください。
6102	エラーが発生しました キャリッジを調整してください	キャリッジの停止位置に異常がある	
6103			
6104	エラーが発生しました	キャリッジの印刷時 CR タイムアウト	*
6105	エラーが発生しました	キャリッジのフラッシング時 CR タイムアウト	*
6106	エラーが発生しました	キャリッジの原点復帰時、原点センサーの異常	*
6107			
6108	エラーが発生しました	キャリッジの原点復帰が異常終了した	*
6109	エラーが発生しました	キャリッジ速度の調整異常	*
6110			
6111			
6112			
6113			
6114	エラーが発生しました	キャリッジ速度の異常低下	*

7. トラブルシューティング

エラーコード	メッセージ	説明	解決策
6120	エラーが発生しました	ブラックヘッド温度異常	*
6121		マゼンタヘッド温度異常	
6122		シアンヘッド温度異常	
6123		イエローヘッド温度異常	
6124		白 W1 ヘッド温度異常	
6125		白 W2 ヘッド温度異常	
6126		白 W3 ヘッド温度異常	
6127		白 W4 ヘッド温度異常	
6134	エラーが発生しました	ヘッド電圧異常	*
6154	エラーが発生しました	ヘッド温度検出回路異常	*
6160	エラーが発生しました	環境温度センサー異常	*
7000	エラーが発生しました	システムコールエラー	*
7013	エラーが発生しました	一般プログラムエラー	*
7014	PC データエラー	印刷データバッファが空かなくて受信できない	印刷データは、GT-3 が印刷をしていないときに送信してください。
7015		印刷が終わらないので次の印刷データを受信できない	
7125	エラーが発生しました	プログラム内部エラー (移動エラー：近すぎて移動できない)	*

上記以外のエラーコードが表示された場合や、解決策に従っても症状が改善されない場合には、お買上げの販売店へご相談ください。

8. 仕様

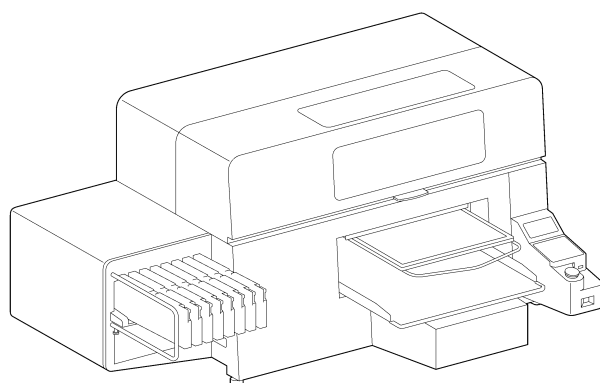
8-1. 装置

外形寸法	1370(幅)×1045(奥行き)×660(高さ)mm	
本体質量(プラテンを含む)	約 111kg	
最大印刷エリア	355.6 mm×406.4 mm	
プリント解像度	1200dpi×1200dpi、600dpi×600dpi	
電源	単相 100～240V	
電源周波数	50/60Hz	
消費電流	0.4A(実効値)	
稼働音	70dB 以下	
使用環境	動作保証範囲：	温度：10～35℃ 湿度：45～85%(結露なきこと)
	印刷保証範囲：	温度：18～30℃ 湿度：45～85%(結露なきこと)
	保管時：	温度：0～40℃ 湿度：20～85%(結露なきこと)

8-2. ソフトウェア

対応 OS	最新の Windows XP (32bit) Windows Vista、Windows7、Windows8 (32bit/64bit)
インターフェース	USB2.0、USB メモリー
最低動作環境	256MB RAM(推奨 512MB 以上) 128MB 以上の空き容量(推奨 256MB 以上) 1GHz CPU
高度な画像編集のための 推奨アプリケーション	Adobe Photoshop, Adobe Photoshop Elements, Adobe Illustrator, CorelDRAW, Paint Shop Photo Pro

brother



取扱説明書

* 製品改良のため、本書の内容の一部がお買い上げの製品と異なる場合がありますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社 <http://www.brother.co.jp/>

〒448-0803 刈谷市野田町北地蔵山1番地5 TEL:0120-101-708

© 2013,2015 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

GT-3 Series
I5011030F J
2015.02.F (1)